

令和4年度 全国学力・学習状況調査
報告書

令和4年10月

香川県教育センター

目 次

目次	1
はじめに	2
I 調査の概要	3
令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について	4
数値、グラフ等を見るうえでの留意点	6
香川県重点項目に関わる質問事項	8
II 調査結果（概論）	9
全体的な状況【小・中学校】	10
正答数分布【小学校】	11
正答数分布【中学校】	12
無解答率【小・中学校】	13
香川の結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】	14
香川の教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計	16
香川の結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】	19
特集1「主体的・対話的で深い学び」	22
特集2「ICTの活用」	24
特集3「教職員の資質向上」	26
特集4「家庭や地域社会との連携・協働」	27
Question 1「学習意欲に関わる質問項目」	28
Question 2「言語活動に関わる質問項目」	30
Question 3「学習習慣に関わる質問項目」	31
Question 4「自己有用感・規範意識等に関わる質問項目」	32
Question 5「学校生活に関わる質問項目」	34
Question 6「メディアの利用に関わる質問項目」	36
III 教科に関する調査結果及び分析	37
1 小学校国語	38
2 小学校算数	46
3 小学校理科	54
4 中学校国語	62
5 中学校数学	70
6 中学校理科	78
◇ ICTの効果的な活用アイデア例	86
IV 質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）	87
1 児童生徒質問紙 調査結果一覧	88
2 児童生徒質問紙 回答結果グラフ	93
3 学校質問紙 調査結果一覧	106
4 学校質問紙 回答結果グラフ	112
令和4年度学校教育実践の手引き【香川県教育委員会】の実現に向けて	131

はじめに

令和4年夏の終わり、全国高校野球選手権の優勝校、仙台育英高校監督のインタビューが話題となりました。コロナ下での苦勞に、野球部だけでなく全ての高校生を念頭に「青春って凄い密。そういうものが全て無くなった。活動していてもどこかでストップがかかる」と学校生活の苦しさやもどかしさを打ち明け、「全国の高校生に拍手してもらえたらと思います」と訴える熱いメッセージがとても印象的でした。

いつ終わるとも知れない新型コロナウイルス感染症との戦いに、どの学校現場も毎日大変な苦勞をしていると思います。しかし、そのような生活の中でも子どもたちに希望の光を決して失わせることなく、日々教育活動にご尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。

さて、平成19年から始まった全国学力・学習状況調査は、その時々状況を踏まえて変更しつつも、「児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育指導等の充実・改善を図ること」を目的に、継続して実施されています。今年は4年ぶりに理科の調査が加わり、観察や実験がしづらい環境が子どもたちの学習にどう影響するのか注目されました。

概して言えば、新学習指導要領で重視するデータ活用や科学的探究といった事項について課題が見られるという分析ができそうです。それは理科の設問に、批判的思考に基づく話し合いや、結果が予想と異なった場合といった、教科書にあまり載っていないような場面設定があり、それに子どもたちが対応しきれていないと推測される結果が見られるからです。しかし、各学校においてもあるいは教科においても課題は様々でしょう。国の報告書や本報告書を参考にしつつ、正答率や誤答の状況から個々の学校における課題の有無を把握して、学習指導の改善につなげていくことが重要です。

もちろん、本調査の結果を学校現場に任せるだけではなく、もう一つの目的である「教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る」という取組を、行政は継続・充実させていかなければなりません。その1歩目が本報告書であろうと考えています。

本報告書には、質問紙調査結果を含む膨大なデータが掲載されております。それぞれの立場から必要なデータを抽出し、ご活用いただければと思います。また、調査結果分析検討会議において、結果の分析を行っております。特に注目していただきたい内容についてはコラムとして取り上げておりますので、参考にいただければと思います。

報告書以外では、「活用ツール」を本年度も作成しております。各教育委員会や自校の現状把握、分析にご活用ください。当センターにおいても、指導主事が直接学校に出向き、状況の分析や改善を助言するなど、一層の学校支援に努めてまいります。

様々な立場の方がこの調査の結果を受け止め、教育活動を一步でも前に進めていくことが、苦しくもどかしい状況の中でも頑張っている子どもたちへの拍手になると信じています。

最後になりましたが、本報告書の作成に関し、ご指導・ご助言を賜りました香川大学教育学部の佐藤明宏先生、松島充先生、岡田涼先生、経済学部の横山佳充先生に深く感謝の意を表します。

令和4年10月

香川県教育センター
所長 藪内 康則

I 調査の概要

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象

- ① 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。なお、公立学校には公立大学法人が設置する学校（公立大学附属学校）を含む。
 - ア（小学校調査）小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
 - イ（中学校調査）中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年
- ② 特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。
 - ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
 - イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

(3) 調査事項

① 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕

【出題内容】 ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 イ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
【調査問題】 ・上記アとイを一体的に問う。 ・記述式の問題を一定割合で導入する。

② 質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

(4) 調査実施日

令和4年4月19日（火）

(5) 調査を実施した本県の学校・児童生徒数

【小学校調査】

	学校数(校)	児童数(人)
市町立小学校	148	7,579
国立小学校	2	171

※ 本報告書では、国立、私立を除いた公立小・中学校の結果を掲載している。

【中学校調査】

	学校数(校)	生徒数(人)
市町立中学校	64	7,183
県立中学校	1	98
特別支援学校(中学部)	2	2
国立中学校	2	198
私立中学校	3	180

2 調査結果の示し方

文部科学省は、小学校調査及び中学校調査のそれぞれの結果として、以下の事項等を示す。

(1) 教科に関する結果

- ① 国語、算数・数学、理科のそれぞれの教科（以下「各教科」という。）に係る問題の全体の平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等
- ② 各教科の平均正答数等の分布等が分かるグラフ
- ③ 各教科の設問ごとの正答率等
- ④ 各教科の設問ごとの解答類型別児童生徒数の割合

(2) 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果

- ① 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の回答状況
- ② 児童生徒質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の正答率等との相関関係の分析
- ③ 学校質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の平均正答率等との相関関係の分析

(3) その他、調査目的の達成に資する分析

3 調査結果の活用

各教育委員会、学校等及び文部科学省においては、調査の目的を達成するため、以下のような調査結果を活用した取組に努めることとする。

- ① 各教育委員会及び学校等においては、多面的な分析を行い、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力の基に適切に連携を図りながら、教育及び教育施策の改善に取り組むこと。
- ② 各学校においては、調査結果を踏まえ、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努めるとともに、自らの教育指導等の改善に向けて取り組むこと。
- ③ 各教育委員会においては、調査結果を踏まえ、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、域内の教育及び教育施策の改善に向けた取組を進めること。
- ④ 文部科学省は、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善に取り組むこととする。また、各教育委員会及び学校等における取組に対して必要な支援等を行うなど、教育及び教育施策の改善に向けた全国的な取組を進めることとする。

4 調査結果の取扱いに関する配慮事項

調査結果については、調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。

その際、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

数値、グラフ等を見るうえでの留意点

■ 1 調査結果の推移について

全国学力・学習状況調査は、平成 19 年度より実施(平成 22・24 年度は抽出調査、平成 23 年度・令和 2 年度は未実施)されているが、本報告書では、過去 5 年間(平成 30 年度以降)の回答状況を分析している。

なお、「全国的な学力調査の今後の改善方策について」(平成 29 年 3 月 29 日)では、「平均正答率については、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、国としては、小数点以下を四捨五入した整数値で結果を提供することとする。」とされており、平成 29 年度から都道府県別の平均正答率については、国から整数値で提供されている。

■ 2 数値について

表記された数値は、端数処理のため 0.1 の誤差が生じることがある。

■ 3 差について

「差」を表しているグラフや表の数値は、香川県の数値から全国の数値を引いたものを表す。

■ 4 散布図の見方

散布図は、各都道府県の回答状況について、小学校を縦軸、中学校を横軸に対応させ、全国と各都道府県のデータをプロットしたものである。

【散布図の見方】

- □ は、児童生徒質問紙を示す
- ■ は、学校質問紙を示す
- 数 / 数 は、(小学校の番号) / (中学校の番号) を示す

- 質問内容を簡潔にした見出しでは、児童生徒質問紙と学校質問紙を次のように文字の背景色で区別している

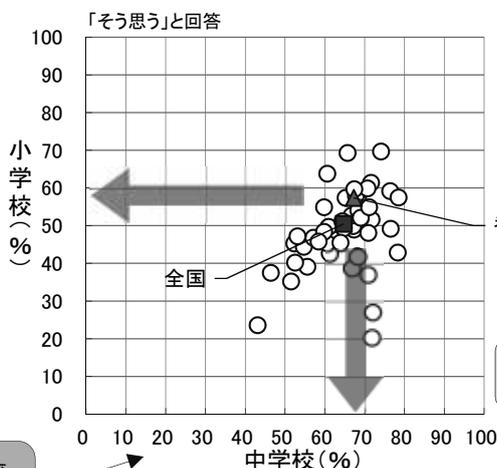
児童生徒質問紙 → ○○○○
 学校質問紙 → ○○○○

【生徒指導等】

児童生徒が相談したい時に相談できる体制

- 11/11 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

縦軸は小学校の割合



▲は、香川県を、
■は、全国の結果をプロットしたものである

• 香川県と全国の差を「n」で示す

$$n = (\text{香川県}) - (\text{全国})$$

	(例)
$5 \leq n$	◎7.2pt
$3 \leq n < 5$	◎4.8pt
$0 < n < 3$	○2.3pt
$n = 0$	○0.0pt
$-3 < n < 0$	▽1.4pt
$-5 < n \leq -3$	▼3.6pt
$n \leq -5$	▼6.1pt

小 ◎6.9pt
中 ○2.5pt

活用ツールで自校のデータを CHECK

本報告書では全国と香川県の状況を分析して掲載しています。活用ツール(Excelファイル)を使えば、全国と香川県の状況に加え、自分の学校の状況をグラフや表に表示、経年比較することができます。

① 活用ツールのダウンロード

香川県教育センターWebサイトから活用ツール(Excelファイル)と使用説明(PDFファイル)をダウンロードします。

香川県
教育センター
Web サイト



<https://www.kagawa-edu.jp/educ01/>

② 学校データの用意

文部科学省指定のWebシステムからダウンロードした調査結果の電子データをコンピュータのデスクトップに展開します。(別途文部科学省から送付されているはがきのパスワードが必要です。)

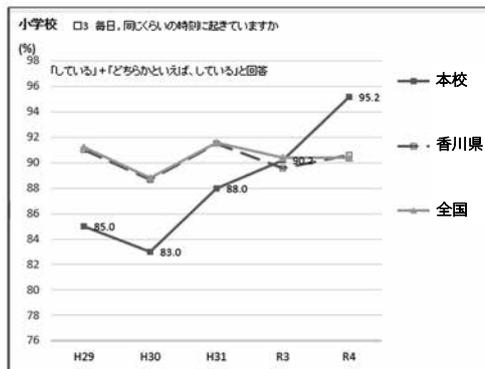
③ 活用ツールの起動

必要なファイル名を選び、実行すると表示されます。

※ 教科については、令和元年度から知識・活用を一体的に問う調査問題に変更になったため、平均正答率の経年比較は、令和元年度からとなります。

全問不正解率、無解答率は、平成30年度の結果がA・Bの区分ごとに表示されます。

児童生徒質問紙については、質問項目ごとに、全国・県・自校のデータをプロットした散布図と回答状況を示す帯グラフ、平成29年度からの経年変化を示す折れ線グラフが表示されます。



Column

学力調査を活用した「カリキュラム・マネジメント」

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査からは、多様なデータを得ることができます。普段から気になっていることについて根拠を見付けたり、把握していなかった成果や課題に気付いたりすることができるようになります。

そこで、この二つの調査を学校にとっての定期健診(学校ドック)と考え、十分に活用しましょう。

全国学力・学習状況調査では、国から届いた「各学校の結果データ」や「支援ツール」とともに、香川県教育センターが作成した「活用ツール」や「報告書」等を上手に使って、全国と香川県、そして各学校の状況を比較しながら、自校の良さや課題を明確にしましょう。

分析の際は、次のような観点から学校や児童生徒の状況をみる事で、組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと(カリキュラム・マネジメントの充実につなぐこと)が大切です。

- 今年度の結果だけでなく、経年変化によって児童生徒の変容を知る。
- 学校の取組と、児童生徒の意識の変化や教科に関する調査結果との関連を知る。
- 全国調査と県調査の結果を関連させて、PDCAサイクルを検証する。



活用ツールの使い方だけでなく、調査結果の活用や調査結果を基にした取組等、各学校で困っていることがありましたら、教育センターの「研究相談」や「研修サポート」をご利用ください。



香川県重点項目に関わる質問事項

重点項目	Q & A (ページ)	質問 番号	質問事項
学習意欲	Q 1 (P22)	39	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか
		44	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
		49	国語の勉強は好きですか
		50	国語の勉強は大切だと思いますか
		53	算数（数学）の勉強は好きですか
		54	算数（数学）の勉強は大切だと思いますか
		61	理科の勉強は好きですか
62	理科の勉強は大切だと思いますか		
言語活動	Q 2 (P24)	38	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
		43	学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
学習習慣	Q 3 (P25)	20	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
		21	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
		22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
自己有用感 規範意識等	Q 4 (P26)	7	自分には、よいところがあると思いますか
		8	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
		9	将来の夢や目標を持っていますか
		10	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか
		11	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
		12	人が困っているときは、進んで助けていますか
		13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか		
学校生活	Q 5 (P28)	14	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
		16	学校に行くのは楽しいと思いますか
		17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
		18	友達と協力するのは楽しいと思いますか
メディアの 利用	Q 6 (P29)	4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
		5	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか
		6	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか
		23	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか
		25	新聞を読んでいますか
		26	読書は好きですか

Ⅱ 調查結果（概論）

令和4年度全国学力・学習状況調査

全体的な状況【小・中学校】

Point

・教科に関する調査結果について、小・中学校ともに、国語、算数（数学）で全国平均を上回り、理科は全国平均と同等である。

※ 令和2年度は、実施していないためデータなし。

※ 令和元年度から、知識と活用を一体的に問う調査問題が実施されるようになったため、A、Bの区分がなくなっている。

※ 都道府県の調査区分ごとの平成29年度以降の平均正答率については、文部科学省から提供されている整数値で示す。

【小学校調査】

平成30年度～令和4年度平均正答率（※理科は、H27、H30、R4年度）

	国 A	国 B	国語			算 A	算 B	算数			理科		
調査年度	H 3 0		R 元	R 3	R 4	H 3 0		R 元	R 3	R 4	H 27	H 30	R 4
県（公立） 平均正答率（%）	69	58	65	63	67	64	53	68	71	65	62.3	60	63
全国（公立） 平均正答率（%）	71 70.7	55 54.7	64 63.8	65 64.7	66 65.6	64 63.5	52 51.5	67 66.6	70 70.2	63 63.2	60.8	60 60.3	63 63.3
県と全国との差 (pt)	-2	+3	+1	-2	+1	0	+1	+1	+1	+2	+1.5	0	0

【中学校調査】

平成30年度～令和4年度平均正答率（※理科は、H27、H30、R4年度）

	国 A	国 B	国語			数 A	数 B	数学			理科		
調査年度	H 3 0		R 元	R 3	R 4	H 3 0		R 元	R 3	R 4	H 27	H 30	R 4
県（公立） 平均正答率（%）	76	60	73	64	70	67	46	60	56	55	53.2	66	49
全国（公立） 平均正答率（%）	76 76.1	61 61.2	73 72.8	65 64.6	69 69.0	66 66.1	47 46.9	60 59.8	57 57.2	51 51.4	53.0	66 66.1	49 49.3
県と全国との差 (pt)	0	-1	0	-1	+1	+1	-1	0	-1	+4	+0.2	0	0

令和4年度全国学力・学習状況調査

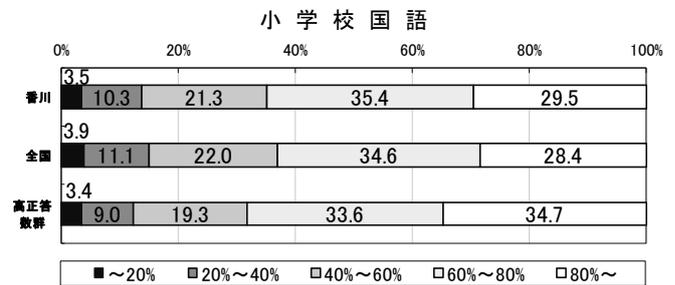
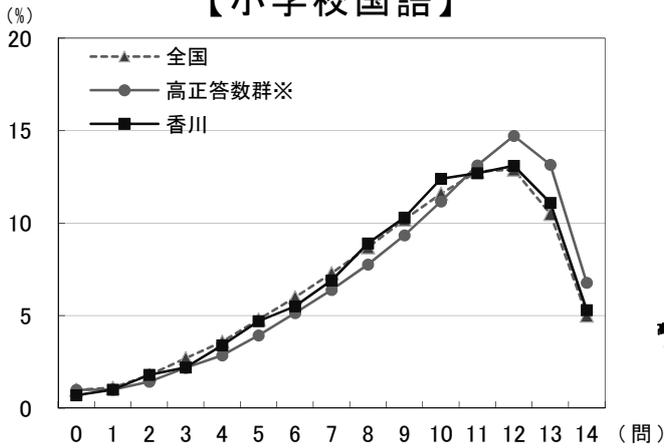
正答数分布【小学校】

Point

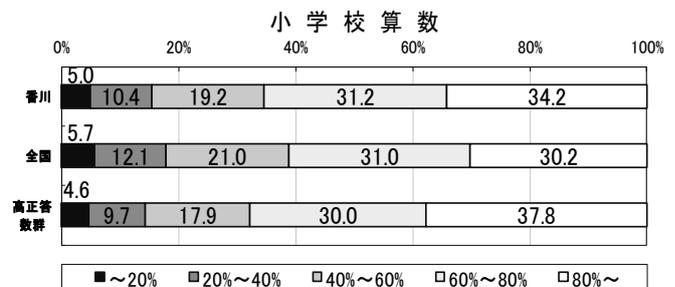
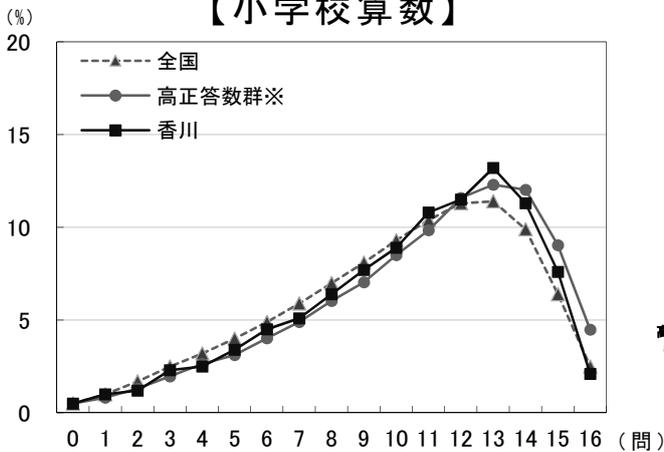
1. 正答率が40%未満の児童の割合は、国語、算数で全国を下回り、理科は全国と同等である。
2. 正答率が80%以上の児童の割合は、国語、算数で全国を上回り、理科で下回っている。また、理科では、高正答数群^(※)より9.0pt下回っている。

※ 高正答数群：高正答数の5都道府県の平均

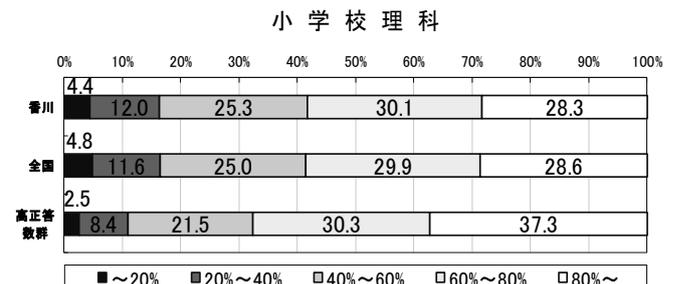
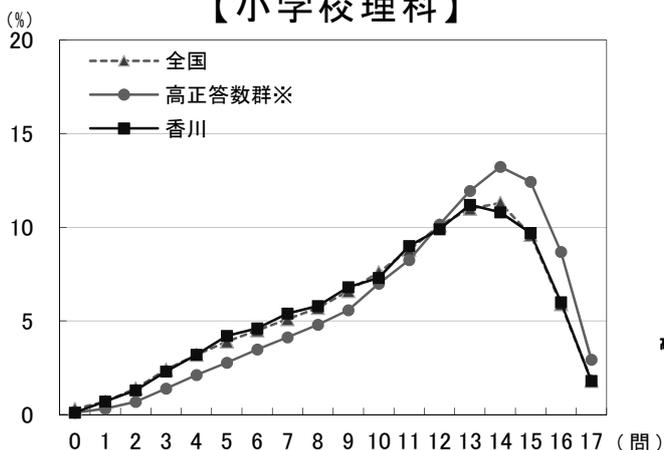
【小学校国語】



【小学校算数】



【小学校理科】



令和4年度全国学力・学習状況調査

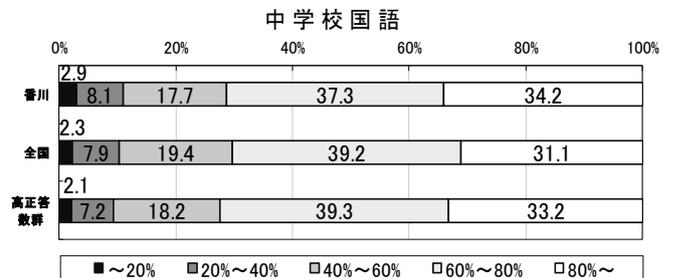
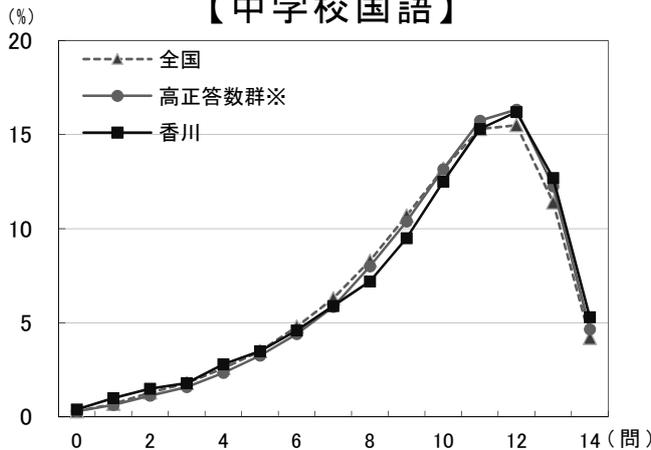
正答数分布【中学校】

Point

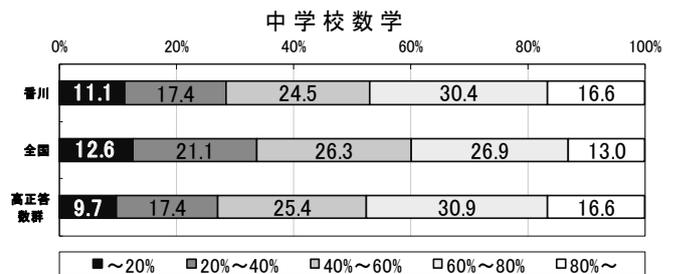
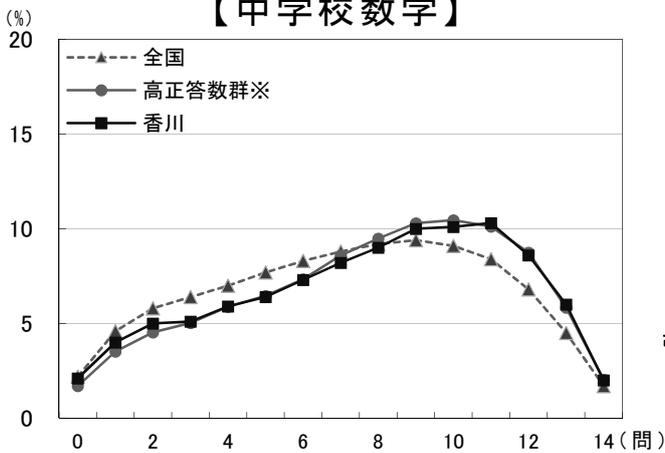
1. 正答率が40%未満の生徒の割合は、国語と理科で全国を上回り、数学で下回っている。
2. 正答率が80%以上の生徒の割合は、国語、数学、理科全ての教科において、全国を上回っている。高正答数群^(※)と比較すると、理科で下回っているものの、国語で上回り、数学は同じ割合になっている。

※ 高正答数群：高正答数の5都道府県の平均

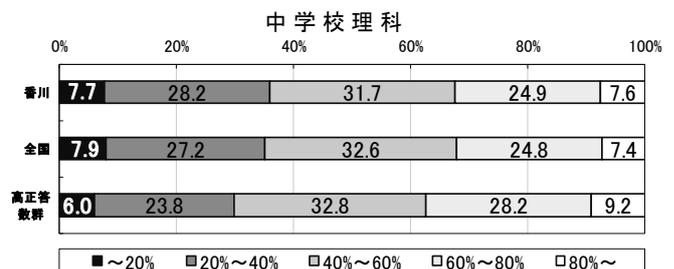
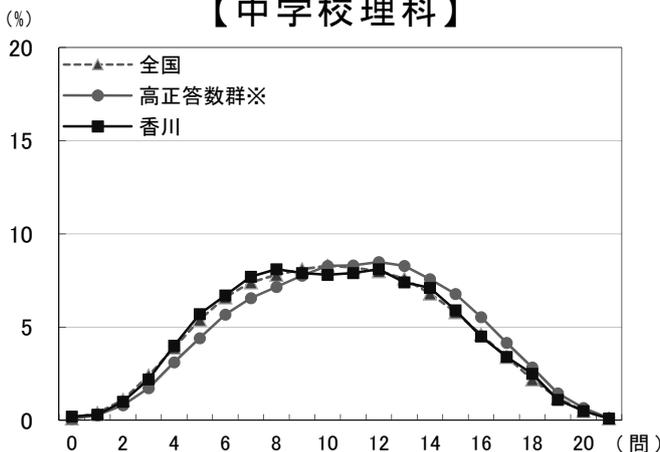
【中学校国語】



【中学校数学】



【中学校理科】



無解答率【小・中学校】

Point

- 1.無解答率が全国平均を上回った問題数は、小学校2問、中学校9問で、ともに前回よりも減少した。
- 2.無解答率が全国平均を上回った問題は、全て選択式問題であった。

◆ 無解答率が全国平均を上回った問題数と割合

小学校	調査問題数 (問)	無解答率が全国平均を上回った問題数 (問)				割合 (%)
		選択式	短答式	記述式	合計	
国語	14	1	0	0	1	7.1
算数	16	0	0	0	0	0
理科	17	1	0	0	1	5.9

中学校	調査問題数 (問)	無解答率が全国平均を上回った問題数 (問)				割合 (%)
		選択式	短答式	記述式	合計	
国語	14	3	0	0	3	21.4
数学	14	1	0	0	1	7.1
理科	21	5	0	0	5	23.8

◆ 前回の調査における無解答率が全国平均を上回った問題数と割合

小学校	調査問題数 (問)	無解答率が 全国平均を 上回った問 題数 (問)	割合 (%)	中学校	調査問題数 (問)	無解答率が 全国平均を 上回った問 題数 (問)	割合 (%)
国語 (R3)	14	8	57.1	国語 (R3)	14	13	92.9
算数 (R3)	16	2	12.5	数学 (R3)	16	14	87.5
理科 (H30)	16	0	0	理科 (H30)	27	18	66.7

Column

Ⅲ 教科に関する調査結果及び分析 (P37～) にあるように、無解答率が高いのは、小・中学校ともに記述式問題でしたが、全国平均を上回った問題は全て選択式問題でした。これを評価の観点別で見ると、知識・技能をみる問題が8問、思考・判断・表現をみる問題が3問となっています。

知識・技能をみる問題においては、知っている、というだけでは解けない問題もあります。何を問われているのか理解するとともに、問われている状況に照らして答えなければなりません。「生きて働く」知識・技能にしていくことが大切です。

香川の結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】

Point

- 1.小・中学校ともに、^{□45}「自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいるか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合が全国を下回っている。
- 2.ゲームの使用時間や動画の視聴時間については、「4時間以上」「3時間以上」と回答した児童生徒の割合が全国を下回っている。
- 3.小・中学校ともに、授業におけるICT機器の使用頻度についての質問に、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童生徒の割合が全国を下回っている。

※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。(回答選択肢一覧…P92)

※ 「R3番号」欄の「新」は、R4年度新たに問われた質問。

○肯定的な回答が3pt以上全国を上回る質問

【小・中共通】 なし

【小学校のみ】 なし

【中学校のみ】

				中学校	
質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
国2	104	68	解答時間は十分でしたか(国語50分)	9.4	4.5

▽肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

【小・中共通】

				小学校		中学校	
質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
45	100	39	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-4.3	-4.2	-7.7	-9.4
7	94	6	自分には、よいところがあると思いますか	-1.0	-3.6	-4.1	-4.4
39	99	33	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	-2.5	-3.5	-1.1	-3.2

【小学校のみ】

				小学校	
質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
49	101	43	国語の勉強は好きですか	-4.5	-8.0
51	101	45	国語の授業の内容はよく分かりますか	-5.1	-4.1
40	99	34	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	-2.7	-4.0

【中学校のみ】

				中学校	
質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
38	99	32	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	-2.6	-6.9
4	93	4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	-4.9	-5.6
68	104	H30 49	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	-4.3	-4.3
69	104	H30 50	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	-0.8	-3.2

□頻度に関する回答が3pt以上全国と開きがある質問

【小・中共通】			小学校		中学校		
質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
5	93	5	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	-3.9	-5.7	-4.3	-5.3
6	93	新	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)	-2.8	-3.3	-2.9	-3.8
32	98	26	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか	-8.6	-14.8	-10.4	-22.6
33	98	新	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(インターネット検索など)	-5.4	-14.3	-7.8	-21.3
34	98	新	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか	-2.1	-7.7	-2.9	-10.0
35	98	新	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか	-2.1	-6.8	-3.0	-8.5

※ □5、6と□32～35を分けて、差の大きい順に並べている。

【小学校のみ】			小学校		
質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
21	96	18	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	-3.9	-3.4

【中学校のみ】 なし

Close-up

肯定的な回答の全国との開きが3pt未滿でも、選択肢1の回答が全国と開きのあるものに着目することで、設定された学習課題や調査問題に粘り強く取り組む児童生徒の姿が想像できます。今後は、学校外へ視野を広げ、社会や未来に学んだことを自ら生かそうとする態度の育成も重視する必要があります。

○選択肢1の回答が3pt以上全国を上回る質問

【小・中共通】			小学校		中学校		
質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
理1	105	H30 51	今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	6.0	1.6	5.4	0.8
算1/数1	104	60	今回の算数(数学)の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く(説明する)問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	5.8	1.4	7.7	1.5
国1	104	51	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	5.6	1.6	4.9	1.5

【小学校のみ】			小学校		
質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
46	100	40	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	3.5	1.6
65	103	H30 43	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	3.3	1.3

【中学校のみ】			中学校		
質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
理2	105	H30 59	解答時間は十分でしたか(理科50分)	4.5	1.2
48	100	42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	3.7	0.3

▽選択肢1の回答が3pt以上全国を下回る質問

【小学校のみ】			小学校		
質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
国2	104	68	解答時間は十分でしたか(国語50分)	-4.6	-0.4
4	93	4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	-4.0	-1.7

【中学校のみ】			中学校		
質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
52	101	46	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	-4.4	-2.8
50	101	44	国語の勉強は大切だと思いますか	-4.1	-2.7
9	94	7	将来の夢や目標を持っていますか	-4.1	-2.7

香川の教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計

※ 調査区分全てにおいて、児童生徒質問紙調査結果の選択肢別平均正答率が、「回答1>回答2>回答3>回答4>回答5>回答6」の関係である調査結果を示す。ただし、質問項目5、6は「回答1<回答2<回答3<回答4<回答5<回答6」の関係。教科に関する質問、質問項目4の選択肢⑤⑥、6の⑦、43の⑤を除く。

1 【小学校】教科の平均正答率と関係が見られた児童質問紙調査結果

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)		
			国語	算数	理科
1	朝食を毎日食べていますか	① している	68.3	66.9	64.8
		② どちらかといえば、している	60.3	58.7	58.0
		③ あまりしていない	54.2	53.1	51.3
		④ 全くしていない	51.2	52.5	49.4
		差①-④	17.1	14.4	15.4
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	① している	68.7	67.6	65.0
		② どちらかといえば、している	67.7	66.1	64.5
		③ あまりしていない	61.0	59.4	58.2
		④ 全くしていない	53.3	51.9	50.0
		差①-④	15.4	15.7	15.0
4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	① きちんと守っている	68.1	66.5	64.3
		② だいたい守っている	67.1	66.1	63.9
		③ あまり守っていない	62.6	61.1	58.3
		④ 守っていない	49.7	50.9	47.5
		⑤ 携帯電話等は持っているが、約束はない	62.7	61.2	60.4
		⑥ 携帯電話等を持っていない	70.2	68.3	67.5
差①-④	18.4	15.6	16.8		
5	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	① 4時間以上	54.0	53.5	51.2
		② 3時間以上、4時間より少ない	58.8	59.2	56.9
		③ 2時間以上、3時間より少ない	65.4	63.8	61.6
		④ 1時間以上、2時間より少ない	70.3	68.4	66.2
		⑤ 1時間より少ない	73.3	71.7	70.2
		⑥ 全くしない	74.6	72.2	71.7
差⑥-①	20.6	18.7	20.5		
6	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)	① 4時間以上	54.6	53.6	50.4
		② 3時間以上、4時間より少ない	58.9	57.2	55.3
		③ 2時間以上、3時間より少ない	64.0	62.7	60.1
		④ 1時間以上、2時間より少ない	67.5	66.0	64.0
		⑤ 30分以上、1時間より少ない	69.6	68.1	66.1
		⑥ 30分より少ない	71.5	70.7	68.5
		⑦ 携帯電話等を持っていない	69.5	68.0	67.0
		差⑥-①	16.9	17.1	18.1
7	自分には、よいところがあると思いますか	① 当てはまる	69.0	67.9	65.9
		② どちらかといえば、当てはまる	67.0	65.8	63.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.2	60.9	59.2
		④ 当てはまらない	61.2	59.3	57.3
		差①-④	7.8	8.6	8.6
8	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	① 当てはまる	69.2	67.5	65.9
		② どちらかといえば、当てはまる	66.1	64.8	62.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.4	60.2	58.5
		④ 当てはまらない	57.2	58.4	55.3
		差①-④	12.0	9.1	10.6
10	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	① 当てはまる	68.1	66.8	64.4
		② どちらかといえば、当てはまる	67.1	65.6	64.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	60.8	59.8	57.9
		④ 当てはまらない	54.7	53.1	50.8
		差①-④	13.4	13.7	13.6
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	① 当てはまる	68.3	66.7	64.7
		② どちらかといえば、当てはまる	62.5	61.6	59.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	55.8	56.9	55.0
		④ 当てはまらない	51.9	49.1	48.3
		差①-④	16.4	17.6	16.4
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	68.6	67.1	65.2
		② どちらかといえば、当てはまる	66.2	64.6	62.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.1	61.6	58.5
		④ 当てはまらない	57.9	58.2	55.2
		差①-④	10.7	8.9	10.0
17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	69.9	68.6	66.6
		② どちらかといえば、当てはまる	67.3	65.9	63.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.5	61.9	60.1
		④ 当てはまらない	56.1	55.1	53.9
		差①-④	13.8	13.5	12.7
18	友達と協力するのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	67.1	65.8	63.6
		② どちらかといえば、当てはまる	66.5	64.8	63.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.7	62.2	60.6
		④ 当てはまらない	57.1	53.8	54.7
		差①-④	10.0	12.0	8.9
20	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	① よくしている	71.6	70.0	67.6
		② ときどきしている	66.8	65.2	63.1
		③ あまりしていない	63.4	62.1	61.3
		④ 全くしていない	57.7	58.5	55.4
		差①-④	13.9	11.5	12.2
26	読書は好きですか	① 当てはまる	72.6	69.4	69.2
		② どちらかといえば、当てはまる	64.5	64.1	61.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.0	61.7	57.9
		④ 当てはまらない	55.7	57.2	52.7
		差①-④	16.9	12.2	16.5

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)		
			国語	算数	理科
30	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	① 当てはまる	69.4	67.3	65.4
		② どちらかといえば、当てはまる	67.7	66.5	64.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	66.4	64.9	63.1
		④ 当てはまらない	62.8	62.1	60.0
		差①-④	6.6	5.2	5.4
36	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	① 役に立つと思う	67.3	66.0	63.9
		② どちらかといえば、役に立つと思う	66.3	64.6	63.2
		③ どちらかといえば、役に立たないと思う	61.2	61.2	56.9
		④ 役に立たないと思う	58.5	58.5	56.2
		差①-④	8.8	7.5	7.7
38	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	① 発表していた	72.6	71.3	68.9
		② どちらかといえば、発表していた	68.0	66.5	64.7
		③ どちらかといえば、発表していなかった	63.5	62.1	60.0
		④ 発表していなかった	57.2	56.0	54.9
		⑤ 考えを発表する機会はなかった	50.1	49.6	48.0
差①-④	15.4	15.3	14.0		
39	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	① 当てはまる	72.7	71.0	69.2
		② どちらかといえば、当てはまる	67.3	66.2	63.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	60.4	59.2	57.7
		④ 当てはまらない	52.4	50.2	49.2
		差①-④	20.3	20.8	20.0
40	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	① 当てはまる	71.6	70.2	67.6
		② どちらかといえば、当てはまる	68.1	66.4	64.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.2	61.2	59.7
		④ 当てはまらない	54.9	53.7	52.0
		差①-④	16.7	16.5	15.6
41	5年生までに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか	① 当てはまる	69.2	66.9	65.3
		② どちらかといえば、当てはまる	67.6	66.2	64.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	64.8	64.0	61.7
		④ 当てはまらない	56.9	57.5	54.6
		差①-④	12.3	9.4	10.7
42	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	① 当てはまる	70.6	69.2	67.2
		② どちらかといえば、当てはまる	66.9	65.4	63.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	58.6	57.3	55.9
		④ 当てはまらない	55.1	54.6	52.2
		差①-④	15.5	14.6	15.0
43	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	① 当てはまる	70.4	68.8	66.7
		② どちらかといえば、当てはまる	67.7	66.3	64.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	60.7	59.6	58.2
		④ 当てはまらない	50.3	49.8	49.1
		⑤ 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない	52.3	52.2	49.5
差①-④	20.1	19.0	17.6		
44	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	① 当てはまる	72.8	71.2	69.0
		② どちらかといえば、当てはまる	66.7	65.7	63.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	59.5	57.6	56.4
		④ 当てはまらない	53.8	52.3	52.3
		差①-④	19.0	18.9	16.7
45	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	71.2	68.9	67.2
		② どちらかといえば、当てはまる	67.6	66.7	64.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.0	61.8	59.9
		④ 当てはまらない	55.3	54.4	53.5
		差①-④	15.9	14.5	13.7
46	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	① 当てはまる	70.3	68.2	66.3
		② どちらかといえば、当てはまる	67.4	66.5	64.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.5	60.6	58.7
		④ 当てはまらない	56.7	55.3	53.0
		差①-④	13.6	12.9	13.3
47	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	① 当てはまる	68.8	66.9	64.5
		② どちらかといえば、当てはまる	67.3	66.2	64.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	64.1	62.9	61.3
		④ 当てはまらない	59.3	58.4	56.6
		差①-④	9.5	8.5	7.9
48	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	69.0	66.9	65.2
		② どちらかといえば、当てはまる	66.6	65.6	63.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.6	61.9	59.7
		④ 当てはまらない	57.9	58.9	56.2
		差①-④	11.1	8.0	9.0

2 【中学校】教科の平均正答率と関係が見られた生徒質問紙調査結果

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%)		
			国語	数学	理科
1	朝食を毎日食べていますか	① している	71.3	57.5	50.7
		② どちらかといえば、している	66.2	49.3	46.0
		③ あまりしていない	62.0	43.3	42.8
		④ 全くしていない	56.5	37.5	39.0
		差①-④	14.8	20.0	11.7
5	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	① 4時間以上	56.4	39.3	39.1
		② 3時間以上、4時間より少ない	63.8	48.0	44.4
		③ 2時間以上、3時間より少ない	66.2	50.3	45.9
		④ 1時間以上、2時間より少ない	71.9	58.9	50.9
		⑤ 1時間より少ない	76.9	64.3	55.4
		⑥ 全くしない	79.0	64.4	57.1
差⑥-①	22.6	25.1	18.0		
6	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)	① 4時間以上	59.8	43.0	41.6
		② 3時間以上、4時間より少ない	66.5	50.1	45.2
		③ 2時間以上、3時間より少ない	70.1	54.0	48.8
		④ 1時間以上、2時間より少ない	72.9	59.7	51.2
		⑤ 30分以上、1時間より少ない	73.4	60.7	53.2
		⑥ 30分より少ない	74.1	62.5	55.1
		⑦ 携帯電話等を持っていない	72.6	58.7	54.5
差⑥-①	14.3	19.5	13.5		

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%)		
			国語	数学	理科
7	自分には、よいところがあると思いますか	① 当てはまる	70.7	57.1	50.4
		② どちらかといえば、当てはまる	70.6	56.4	49.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	68.4	52.4	48.0
		④ 当てはまらない	65.2	48.7	45.8
		差①-④	5.5	8.4	4.6
8	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	① 当てはまる	71.3	57.0	50.5
		② どちらかといえば、当てはまる	69.9	55.3	49.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.5	50.6	45.9
		④ 当てはまらない	65.5	50.0	45.4
		差①-④	5.8	7.0	5.1
16	学校に行くのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	70.6	56.8	50.0
		② どちらかといえば、当てはまる	70.3	56.0	49.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	69.2	52.8	48.4
		④ 当てはまらない	63.0	45.4	44.7
		差①-④	7.6	11.4	5.3
17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	72.6	59.4	52.5
		② どちらかといえば、当てはまる	70.4	55.4	49.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	66.7	51.4	46.5
		④ 当てはまらない	57.1	40.7	39.8
		差①-④	15.5	18.7	12.7
20	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	① よくしている	74.6	61.9	53.2
		② ときどきしている	70.6	55.9	49.5
		③ あまりしていない	68.3	53.1	48.5
		④ 全くしていない	65.6	51.0	47.2
		差①-④	9.0	10.9	6.0
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教えている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	① 4時間以上	75.0	64.6	56.4
		② 3時間以上、4時間より少ない	73.9	59.9	52.6
		③ 2時間以上、3時間より少ない	72.2	57.5	50.5
		④ 1時間以上、2時間より少ない	70.1	55.1	49.4
		⑤ 1時間より少ない	66.3	51.4	46.9
		⑥ 全くしない	58.5	42.3	41.1
		差①-⑥	16.5	22.3	15.3
26	読書は好きですか	① 当てはまる	75.3	59.5	54.4
		② どちらかといえば、当てはまる	70.8	55.8	49.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.7	52.4	45.4
		④ 当てはまらない	58.4	46.5	40.3
		差①-④	16.9	13.0	14.1
39	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	① 当てはまる	74.9	64.1	54.9
		② どちらかといえば、当てはまる	71.1	56.1	49.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.9	44.4	42.6
		④ 当てはまらない	52.3	34.5	37.0
		差①-④	22.6	29.6	17.9
40	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	① 当てはまる	74.2	61.9	53.5
		② どちらかといえば、当てはまる	71.8	57.7	50.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.8	49.4	45.5
		④ 当てはまらない	57.5	39.5	40.6
		差①-④	16.7	22.4	12.9
41	1、2年生のときに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか	① 当てはまる	73.4	59.2	52.1
		② どちらかといえば、当てはまる	71.8	57.2	50.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.9	51.2	46.8
		④ 当てはまらない	58.7	43.9	40.9
		差①-④	14.7	15.3	11.2
42	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	① 当てはまる	72.2	59.6	51.5
		② どちらかといえば、当てはまる	71.4	56.9	50.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.0	48.5	45.6
		④ 当てはまらない	59.6	41.1	42.9
		差①-④	12.6	18.5	8.6
43	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	① 当てはまる	73.8	60.7	52.7
		② どちらかといえば、当てはまる	71.0	56.5	50.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.9	46.6	43.5
		④ 当てはまらない	54.6	35.6	37.5
		⑤ 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない	60.7	45.9	44.4
		差①-④	19.2	25.1	15.2
44	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	① 当てはまる	75.1	63.6	54.7
		② どちらかといえば、当てはまる	71.4	57.2	50.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.7	45.7	43.8
		④ 当てはまらない	54.8	35.9	38.3
		差①-④	20.3	27.7	16.4
45	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	73.2	58.9	51.9
		② どちらかといえば、当てはまる	71.1	57.3	50.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	67.7	52.5	47.4
		④ 当てはまらない	63.1	46.6	45.0
		差①-④	10.1	12.3	6.9
46	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	① 当てはまる	71.8	57.5	50.6
		② どちらかといえば、当てはまる	70.8	56.2	50.0
		③ どちらかといえば、当てはまらない	66.8	52.2	47.9
		④ 当てはまらない	63.3	48.1	44.6
		差①-④	8.5	9.4	6.0
48	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	73.0	58.9	51.6
		② どちらかといえば、当てはまる	69.0	54.1	48.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.4	47.5	44.6
		④ 当てはまらない	59.0	42.5	41.0
		差①-④	14.0	16.4	10.6

香川の結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】

Point

- 1.全国や県の学力調査の結果を分析し、教科指導の改善等に反映させている割合は、全国を上回っているが、近隣等の中学校（小学校）や保護者等との連携については全国を下回っている。
- 2.小・中学校ともに、ICT を活用した校務の効率化、授業における ICT の活用頻度について、肯定的な回答^(※)、頻度が全国を下回っている。
- 3.小・中学校ともに、理科の指導として、児童生徒が観察や実験をする授業を1クラス当たり「週1回以上」と回答した学校の割合が全国を上回っている。小学校における理科の教科担任制の実施についても、実施している学校の割合が全国より高い。

※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。（回答選択肢一覧…P111）

※ 「R3番号」欄の「新」は、R4年度新たに問われた質問。

○肯定的な回答が5pt以上全国を上回る質問

【小・中共通】

質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	小学校		中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
81/79	126	91	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	-7.4	6.3	6.3	8.6

【小学校のみ】

質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	小学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
75	125	83	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(74)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	-2.0	6.3
21	115	25	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	7.9	5.1

【中学校のみ】

質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
72	125	82	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	-1.9	6.1

Close-up

【選択肢1の回答が5pt以上全国を上回る質問】

質問番号	小学校 質問事項	選択肢1の差(pt)
55	調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、教科担任制を実施していましたか	11.3
11	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか	6.9
19	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	6.4
20	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	5.3

質問番号	中学校 質問事項	選択肢1の差(pt)
8	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	5.8
21	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	5.8

選択肢1の回答が5pt以上全国を上回っている質問の結果に目を向けてみましょう。

小学校では、理科の授業における教科担任制の実施、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーによる相談体制等に、中学校では、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導に特徴が見られます。また、研修に関する項目にも特徴が見られます。

▽肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

【小・中共通】

質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	小学校		中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
15_1	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、児童の出欠・遅刻に関する事務は軽減しましたか	-15.5	-29.0	-5.4	-27.1
71/69	124	79	令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校(小学校)と成果や課題を共有しましたか	-6.5	-26.3	-6.1	-16.2
69/67	124	77	前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	-6.1	-15.5	0.2	-7.4
82/80	126	新	令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	-14.3	-13.2	-12.4	-20.9
58/56	121	69	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか	1.4	-9.2	-6.0	-17.0
44	119	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度に、算数(数学)の授業における習熟度に応じた指導を行いましたか	-6.4	-8.8	-5.8	-10.1
15_3	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、学校からのお知らせ(学校通信等)は軽減しましたか	-1.5	-6.3	-1.7	-12.5
23	115	29	調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	-2.4	-6.1	0.2	-5.8
79/77	126	87	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童(生徒)が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かしましたか	-7.2	-6.0	0.1	-6.3

【小学校のみ】

質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	小学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
73	125	81	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	-4.3	-8.4
78	126	新	調査対象学年の児童の保護者に対して、前年度までに、児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	-7.7	-6.6
38	117	47	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をしましたか	-8.5	-6.4
57	121	68	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	-5.8	-5.5
12	112	13	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	-7.4	-5.0

【中学校のみ】

質問番号	掲載P	R3番号	質問事項	中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
15_4	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員等会議に関する事務は軽減しましたか	-11.8	-25.9
33	117	41	調査対象学年の生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	-7.0	-10.5
15_2	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、家庭への調査等に関する事務(個人面談等の日程調整や学校評価アンケートなど)は軽減しましたか	-9.1	-9.7
43	119	新	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度に、数学の授業における少人数による指導を行いましたか	-5.4	-8.3
30	116	36	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	-8.8	-7.6
24	115	30	調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	-2.9	-7.6
29	116	34	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	-5.4	-6.4
14	113	新	ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)に取り組んでいますか	-12.4	-6.2
68	124	78	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	-1.6	-5.8
40	118	52	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか	-10.8	-5.3
17	114	19	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	-6.4	-5.2

○頻度に関する回答が5pt以上全国を上回る質問

【小・中共通】

質問 番号	掲載P	R3 番号	質問事項	小学校		中学校	
				選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
54/53	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度に、児童が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	7.2	1.3	14.7	2.8

【小学校のみ】

質問 番号	掲載P	R3 番号	質問事項	小学校	
				選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
56	121	66	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	5.1	2.3

【中学校のみ】 なし

▽頻度に関する回答が5pt以上全国を下回る質問

【小・中共通】

質問 番号	掲載P	R3 番号	質問事項	小学校		中学校	
				選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
66/64	123	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	-14.2	-27.4	-15.5	-28.6
65/63	123	73	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	-12.1	-19.2	-11.9	-21.0
62/60	122	新	教職員と調査対象学年の児童(生徒)がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-10.4	-15.6	-10.0	-23.2
67_1/ 65_1	123	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、家庭におけるオンラインを活用した学習にどの程度活用していますか	-5.4	-11.7	-6.6	-11.1
67_4/ 65_4	123	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、不登校児童生徒(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか	-8.1	-11.4	-13.9	-21.7
61/59	122	新	調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-5.6	-10.2	-7.1	-16.3
59/57	122	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか	-11.6	-10.1	-25.6	-30.4
63/61	122	新	調査対象学年の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-3.9	-7.7	-8.7	-20.3
60/58	122	新	調査対象学年の児童(生徒)が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-5.7	-7.2	-13.6	-23.3
67_5/ 65_5	124	新	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する児童に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか	-6.3	-5.3	-3.8	-9.6

【小学校のみ】 なし

【中学校のみ】

質問 番号	掲載P	R3 番号	質問事項	中学校	
				選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
54	121	66	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	-10.2	-4.1



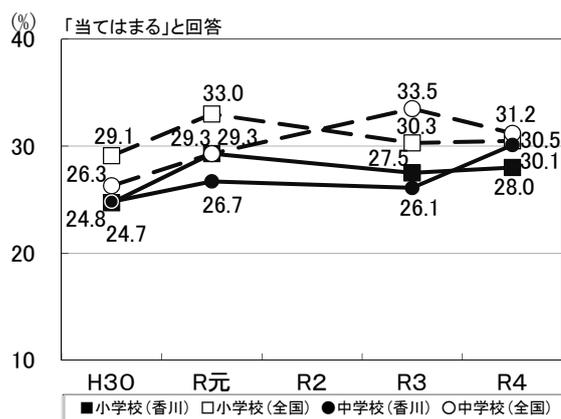
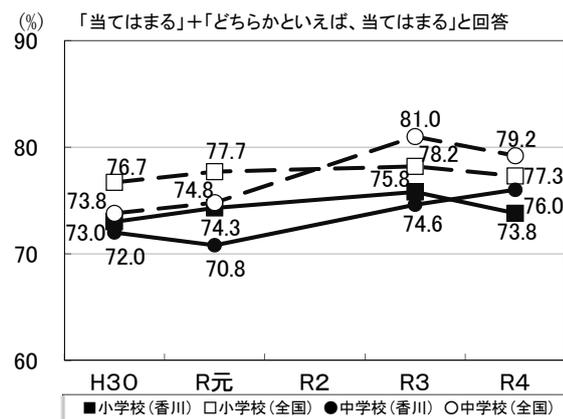
～特集1～ 主体的・対話的 で深い学び

1. 「^{□39}5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国を下回っているが、中学校では令和3年度より増加している。
2. 「^{□48}道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国を上回っている。

1 自分で考え、自分から取り組む学習

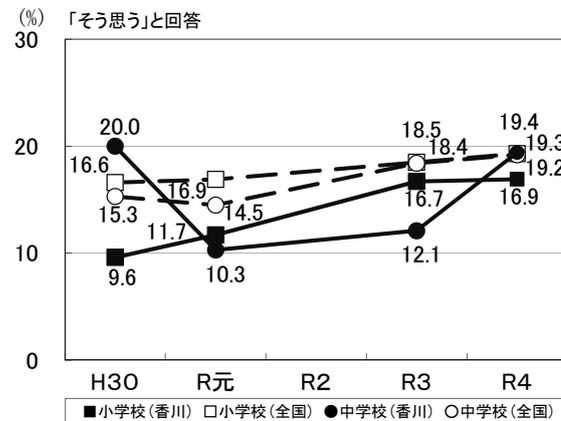
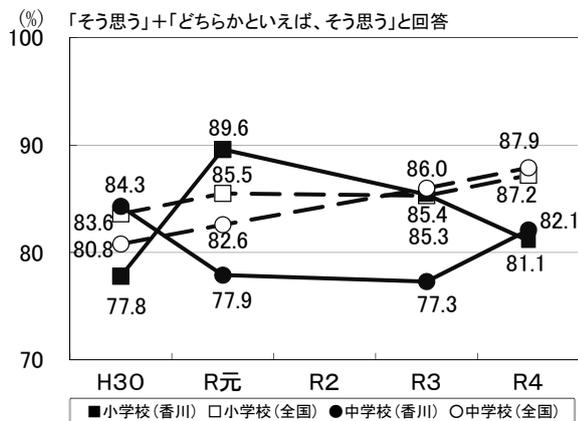
P99, 115

□39 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか 【児童生徒質問紙】



■23 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校質問紙】



Column

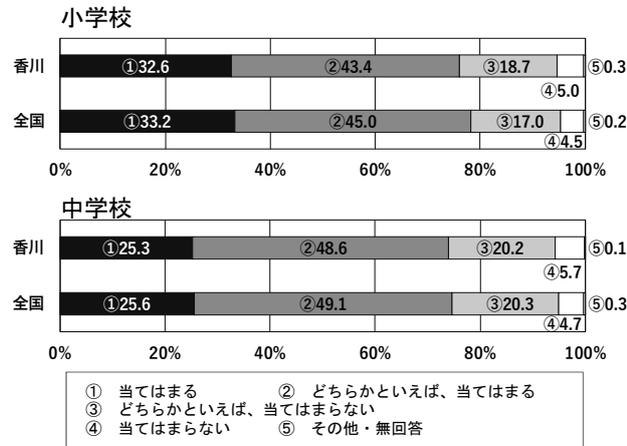
～児童生徒が試行錯誤できる場を大切に～

P14で取り上げたように、児童生徒質問紙□39の結果は、肯定的に回答した児童生徒の割合が、小・中学校ともに、全国より3pt以上下回っています。学校質問紙■23の結果についても、肯定的に回答した学校の割合が全国より低いのが現状です。しかし、中学校においては、昨年度より肯定的な回答の割合が増えている良い傾向がうかがえます。さらに、「当てはまる」「そう思う」という選択肢1の回答に絞った経年変化を見ると、小・中学校ともに、昨年度より増加していることがわかります。ここでも、中学校の伸びが大きく、学校全体で意識的に取り組んでいる様子がうかがえます。

それでは、今以上に、主体的な学習を進めていくためには、どのようなことを心がけるとよいのでしょうか。それには、単元で育成したい資質・能力を明確にした上で、解決したくなる学習課題の設定を工夫することはもちろん、「児童生徒が試行錯誤できる場を設ける」ことが大切です。その過程においては、個人で探究する場面、それらを持ち寄り友達と協働的に探究する場面などを組み合わせることが有効です。また、その中で、ICTを用いると効果が上がる場面も生まれてくるでしょう。P23で現状を示していますが、児童生徒質問紙□44で問われている「振り返り」を効果的に行いながら、課題の解決に向けて、何度も挑戦できる場が必要なのです。学習評価における「主体的に学習に取り組む態度」についても、このような試行錯誤できる場を設定してこそ、粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする姿として現れるのです。

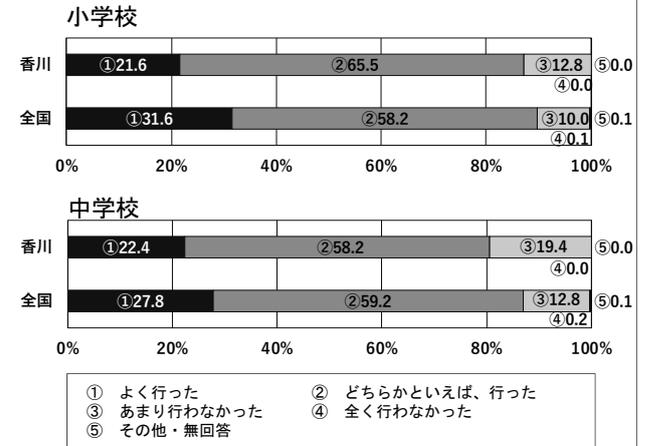
□44 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

【児童生徒質問紙】



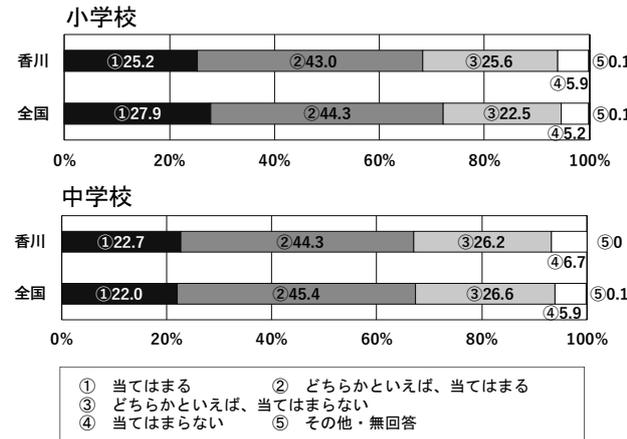
■29 前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

【学校質問紙】



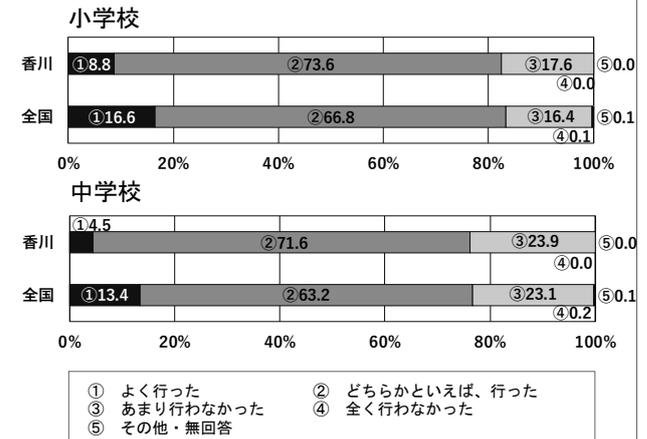
□40 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

【児童生徒質問紙】



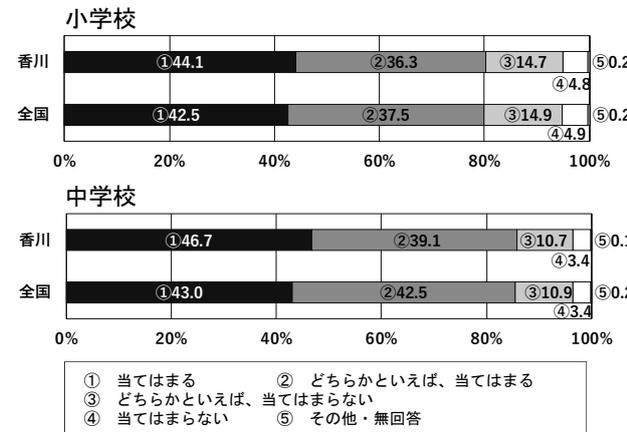
■31 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか

【学校質問紙】



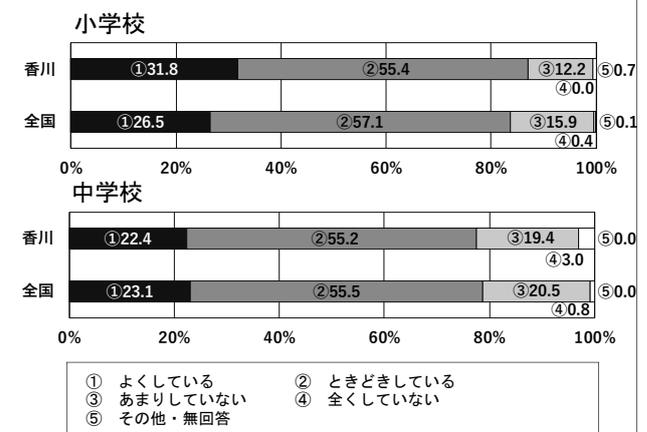
□48 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

【児童生徒質問紙】



■20 児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

【学校質問紙】



Column

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、各学校では、「主体性」や「対話」、「振り返り」などに焦点を当てながら研究を進めていることでしょう。これらは、社会で生きていくために大切な力となります。スポーツなどの世界においても、自分で考え、挑戦し、その過程や結果を振り返り、次に生かすといった主体性を大切にした取組が成果を上げています。授業づくりにおいても同じです。学習者である児童生徒がしっかりと自分たちで考え、表現する場が設定できているか、日々の授業を見直すとともに、私たち教職員も、「主体的・対話的で深い学び」の実践者になりたいものです。

～特集2～ ICTの活用

- 1.授業において、児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどのICT 機器の使用頻度について、「ほぼ毎日」「週3日以上」と回答した学校、児童生徒の割合は、小・中学校ともに、どちらも全国を下回っている。
- 2.「^{58/59}ICTの活用における教員以外のサポート体制」について、肯定的に回答した学校の割合は、全国を下回っている。

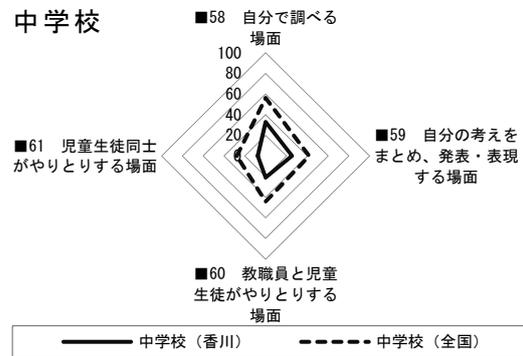
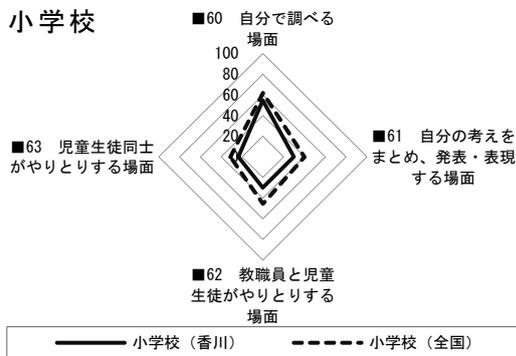
1 授業における ICT の活用状況

 P98、122

【学校質問紙の結果から】

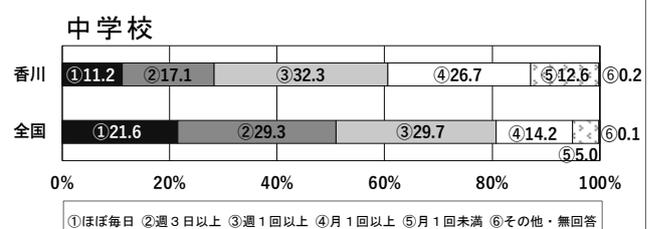
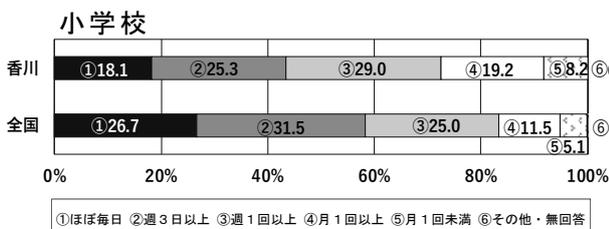
■ あなたの学校では、調査対象である第6学年(第3学年)の児童(生徒)に対して、次のような場面で児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。当てはまる番号を1ずつ選んでください 【学校質問紙】

「ほぼ毎日」+「週3日以上」と回答(%)



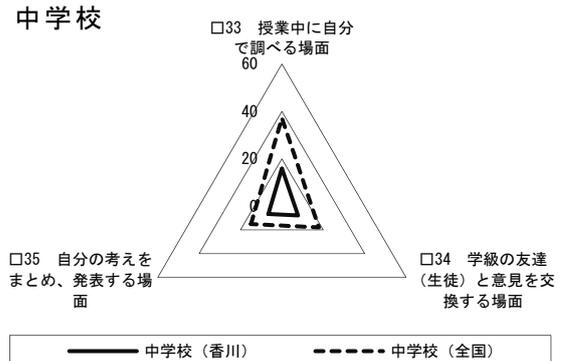
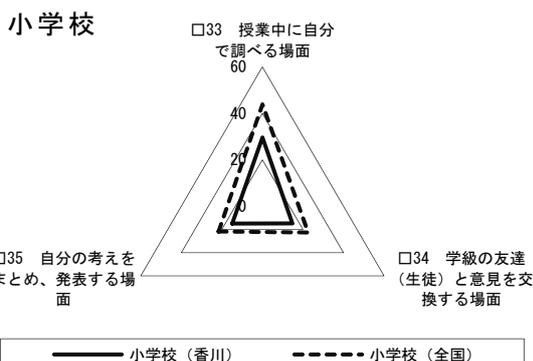
【児童生徒質問紙の結果から】

□32 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか 【児童生徒質問紙】



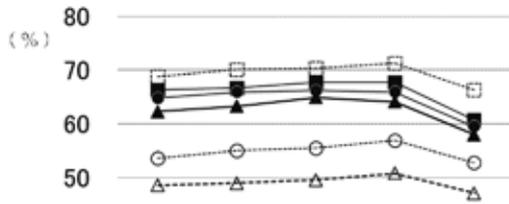
□33~35 学校で、○○場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか 【児童生徒質問紙】

「ほぼ毎日」+「週3日以上」と回答(%)



【活用頻度と平均正答率】

「□32 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度活用しましたか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率 【児童生徒質問紙】

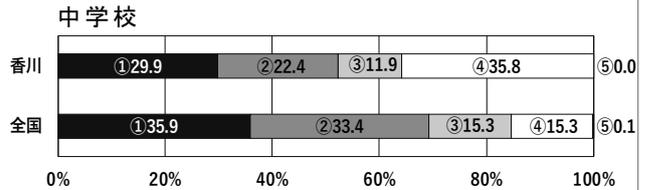
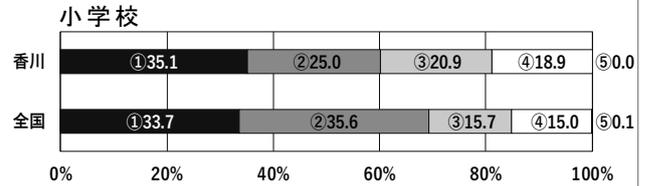


	回答①	回答②	回答③	回答④	回答⑤
■ 小国語	66.4	66.7	67.7	67.8	60.8
□ 中国語	68.8	70.1	70.3	71.2	66.3
● 小算数	64.8	65.9	66.2	65.9	59.5
○ 中数学	53.6	55.0	55.5	56.9	52.8
▲ 小理科	62.3	63.3	64.9	64.1	58.0
☆ 中理科	48.6	49.0	49.6	50.8	47.1

- ① ほぼ毎日
- ② 週3日以上
- ③ 週1回以上
- ④ 月1回以上
- ⑤ 月1回未満

【活用におけるサポート体制】

■ 58/56 コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか 【学校質問紙】



- ① ある
- ② どちらかといえば、ある
- ③ どちらかといえば、ない
- ④ ない
- ⑤ その他・無回答

Column

～ICTだからこそできることを生かし、さらなる「主体的・対話的で深い学び」の実現を～

「□32 ICTの活用頻度」と児童生徒が回答した選択肢別平均正答率の間に、際立った特徴は見られませんでした。また、今年度の全体的な状況(P10)は、小・中学校ともに、どの教科も全国と同水準か、それより高い平均正答率でした。

これは、先生方が「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して、日々授業研究に取り組まれている成果、これまで培ってきた授業づくりにおけるスキルの高さによるところが大きいと思われます。

それでは、このまま児童生徒一人一人に配備されたICT機器の活用を行わなくてもよいのでしょうか。もちろん、■58/56で問われているように、多忙な業務の中、ICT機器を抵抗なく使用していくためには、日々のサポート体制も必要でしょう。しかし、これからは、使うことが目的であった段階から脱却し、ICTを使うことで、児童生徒の資質・能力育成に効果を上げていくことが求められます。

授業の中で、次のように考え、ICT機器を活用してみたいはかがでしょうか。

ICTを使うことで・・・

- 活躍する場を増やす。
- 考える時間を増やす。
- 対話を活性化させる。
- 多様な考えに触れる。
- 学習過程を振り返り、自分の変容をつかむ。



これまで、グループ活動の際、話し合いに参加できずに、見ているだけだった児童生徒はいませんか。例えば、共同編集機能を用いることで、すべての児童生徒が自分の考えを表出し、活躍することができます。

また、それぞれの考えを端末上に表示し、互いの考えを比較することも簡単にできますから、それをきっかけに、実際の話し合いにつないで対話を活性化させることもできるでしょう。端末上に完全な考えを記入しなくてもよいのです。後から、もっと調べたくなる、聞きたくなる、話したくなる、そんなしかけの一つです。全員の考えを把握することについてはこれまでより時間を短縮することができるので、考える時間を増やすことにもつながります。体育の実技などでは、動画を活用して、自分の変容をつかむことができ、振り返りに生かすこともできるでしょう。

授業中の活動の全てにおいてICTを使う必要はありません。ICTだからこそできることを生かして、さらなる「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指しましょう。

～特集3～

教職員の 資質向上

1. 「¹²授業」で問題を抱えている教員へ、「週に1回程度、またはそれ以上」「月に数回」の話し合いを行ったと回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国を下回っている。
2. 「¹³学級」で問題を抱えている教員とともに「週に1回程度、またはそれ以上」「月に数回」問題解決に当たったと回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国を下回っている。
3. 「¹⁹実践的な研修」の機会は、小・中学校ともに、全国と同様、令和元年度以降減少している。

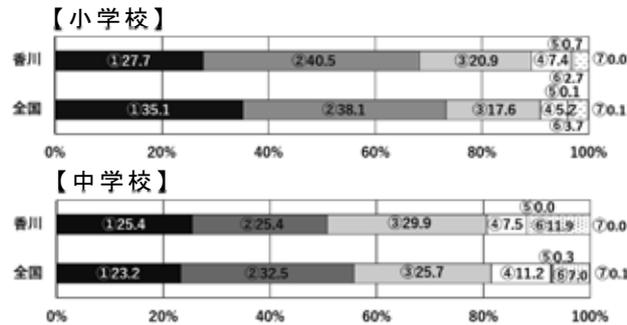
教職員の資質向上に向けた取組状況

 P112, 113, 114, 117

【授業で問題を抱えた教員への対応】

■ 12 前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

【学校質問紙】

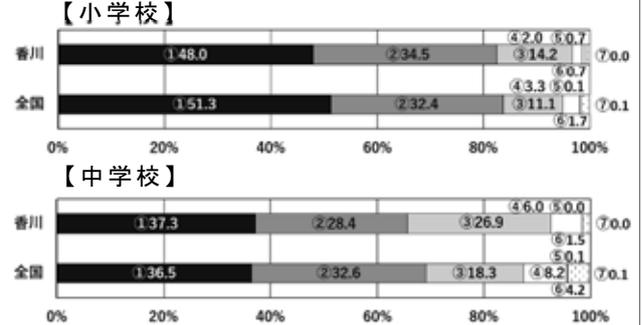


- ① 週に1回程度、または、それ以上行った
- ② 月に数回程度行った
- ③ 学期に数回程度、行った
- ④ 年に数回程度、行った
- ⑤ 行わなかった
- ⑥ 特に問題を抱えていなかった
- ⑦ その他・無回答

【学級の問題を抱えた教員への対応】

■ 13 前年度に、教員が学級で問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

【学校質問紙】

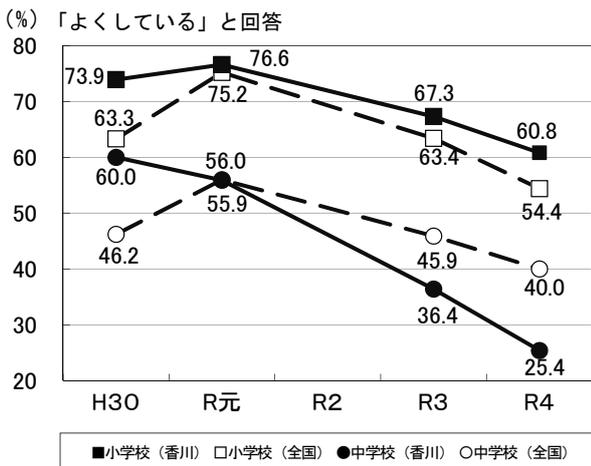


- ① 週に1回程度、または、それ以上行った
- ② 月に数回程度行った
- ③ 学期に数回程度、行った
- ④ 年に数回程度、行った
- ⑤ 行わなかった
- ⑥ 特に問題を抱えていなかった
- ⑦ その他・無回答

【授業研究等、実践的な研修】

■ 19 授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

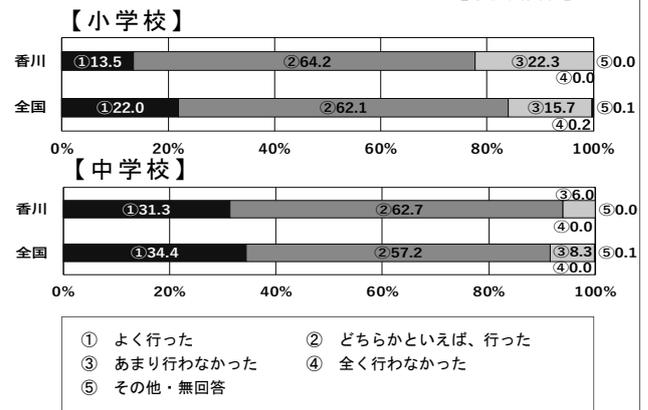
【学校質問紙】



【学習評価への取組】

■ 38 前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をしましたか

【学校質問紙】



- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

Column

近年、教職員の若年化が進んでいます。また、新型コロナウイルス感染症の影響等から、実践的な研修の機会が減少する中、いかにして、教職員の資質向上を目指すかが課題となっています。改まった研修の機会も大事ですが、学校と教室を中心とした同僚関係を大切に育み、日常の授業を互いに参観したり、授業について話し合ったりできる教職員集団を形成していくことが大切です。

～特集4～

家庭や地域 社会との連携・ 協働

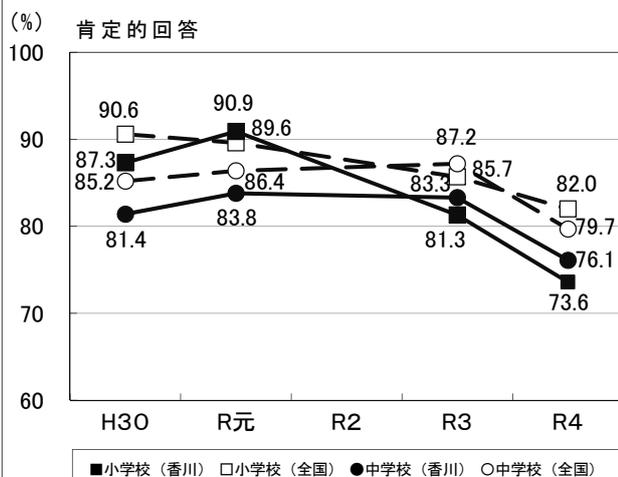
- 1.新型コロナウイルス感染症の影響で、令和元年度以降、家庭や地域と連携する機会が少なくなっているためか、「73/71 教育課程の趣旨についての共有」を図る取組について、肯定的に回答した学校の割合が平成30年度以降最も低くなっている。
- 2.「30 児童生徒の地域や社会へ貢献する意識」についても、小・中学校ともに、肯定的な回答の割合が令和3年度より減少し、全国を下回っている。

家庭や地域との連携の取組状況や児童生徒の意識

 P94, 97, 125, 129

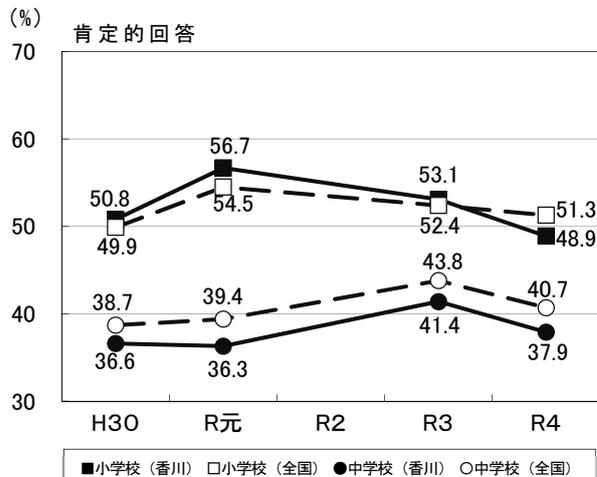
【教育課程の趣旨の共有】

■73/71 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか 【学校質問紙】



【児童生徒の意識】

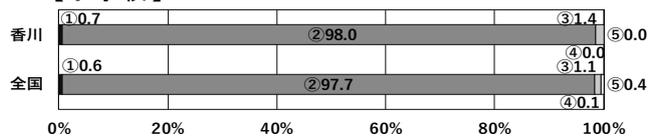
30 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか 【児童生徒質問紙】



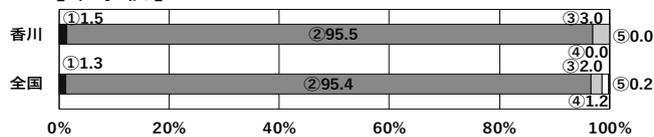
Column

■Ⅲ-1 前年度に、運動会・競技会・球技会をどのように実施しましたか 【学校質問紙】

【小学校】

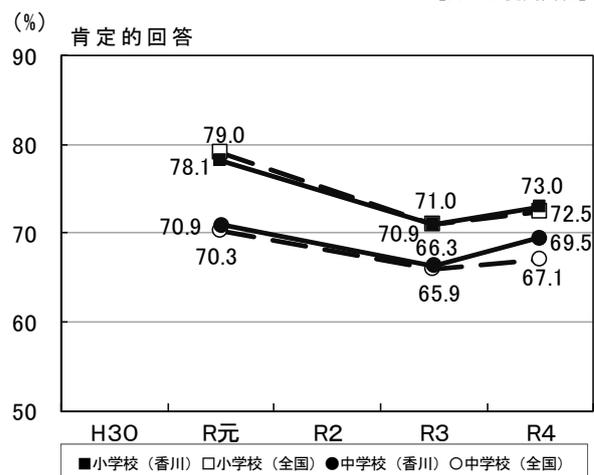


【中学校】



- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

11 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか 【児童生徒質問紙】



新型コロナウイルス感染症の影響により、地域や家庭との協働による取組が減少しているのと同じように、様々な学校行事についても思うように実施できない状況が続いています。そのような中、Ⅲ-1にもあるように、各学校では、内容や方法を変更し、何とか工夫をして実施していることが分かります。先生方のこのような温かい取組が、「11 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」の質問に対する肯定的な回答の増加（昨年度比）に影響しているのかもしれませんが。現在は、地域や家庭と連携する機会は減っていますが、この状況において活動の見直しを図り、児童生徒の健やかな成長につながる連携の在り方を模索していきたいものです。

Question 1
学習意欲
に関わる
質問項目

「学習意欲」に関わる質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

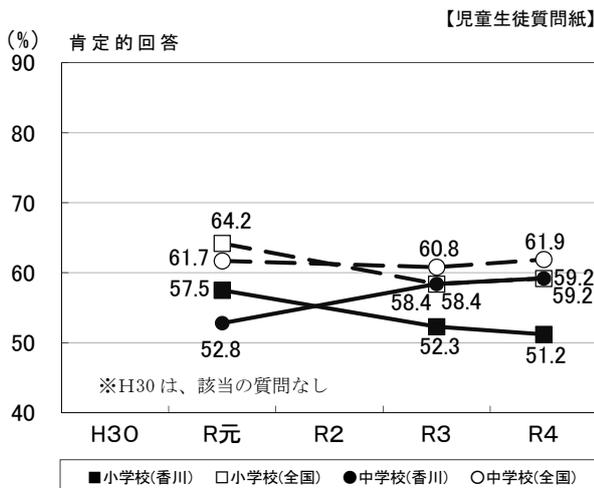
Answer

1. 「^{□49}国語^{□53}算数(数学)^{□61}理科の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、前回より小学校で減少し、中学校で増加している。
2. 「^{□51}国語^{□55}算数(数学)^{□63}理科の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合も、前回より小学校で減少し、中学校で増加している。
3. 小・中学校ともに、3教科全てにおいて、「授業の内容がよく分かる」と肯定的に回答した割合の前回からの増減と、「好き」と肯定的に回答した割合の増減には同じような傾向が見られる。
4. 小学校において、授業の理解度とその教科が好きである、という肯定的な回答の割合が減少していることは、全国とほぼ同様の傾向であるが、「国語の勉強は好きですか」という質問については、全国が令和3年度より増加しているのに対して本県は令和元年度から減少が続き、全国との差も広がっている。

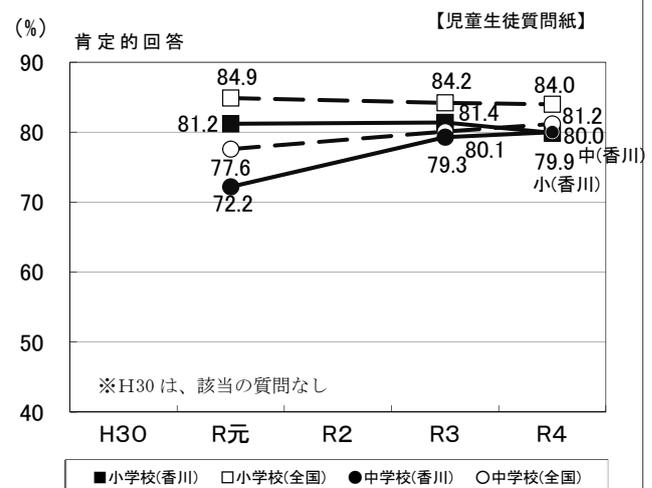
1 国語に対する意識



□49 国語の勉強は好きですか



□51 国語の授業の内容はよく分かりますか



Column

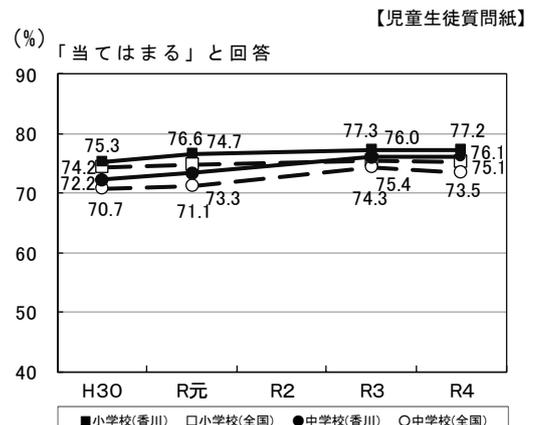


～協働的な学びの中で、学習意欲を育む～

児童生徒は、学習の内容によっては、必ずしも意欲的に取り組めない場合があります。しかし、学習に向かう中で、何かのきっかけで楽しくなったり好きになったりして、自ら学ぶようになることもあります。

きっかけの一つとして、「人の役に立ちたい」というような気持ちが働く場合が挙げられます。例えば、協働的に学ぶ場面で、自分の考えが友達に取り入れられたり、協力して何かを作り出したりするようなことが考えられるでしょう。□15の結果からも、「人の役に立ちたい」と思っている児童生徒が多いことが分かります。協働的な学びを、児童生徒の学習意欲を育む一つの機会ととらえ、大切にしましょう。

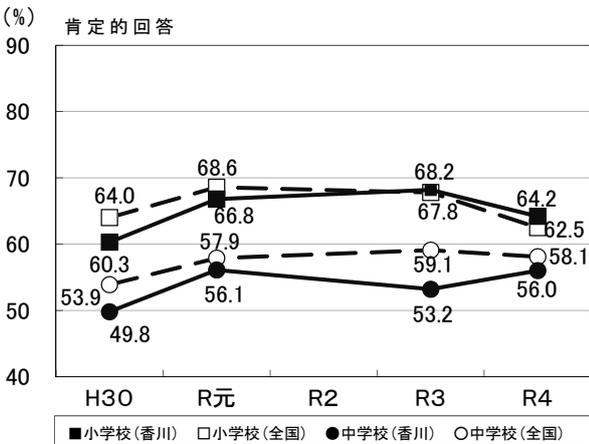
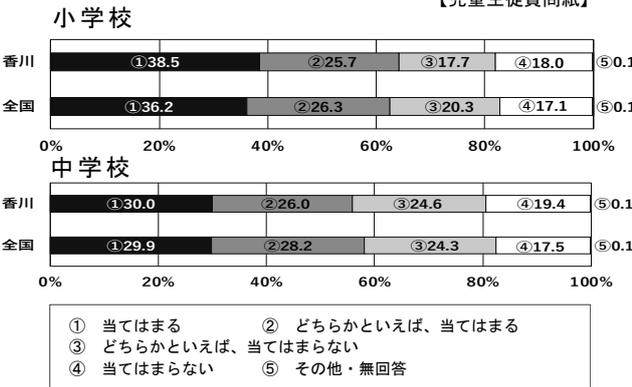
□15 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



2 算数・数学に対する意識

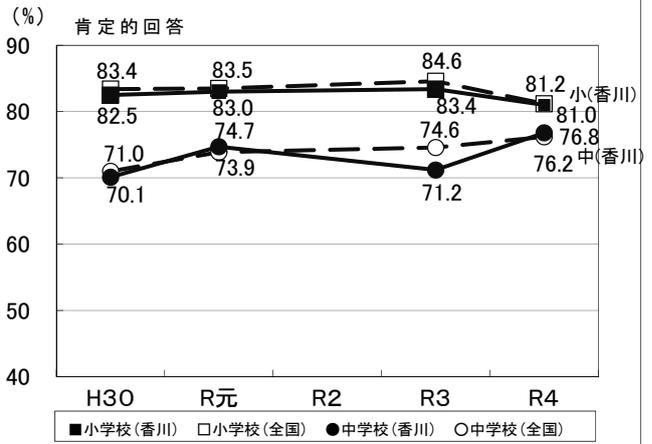
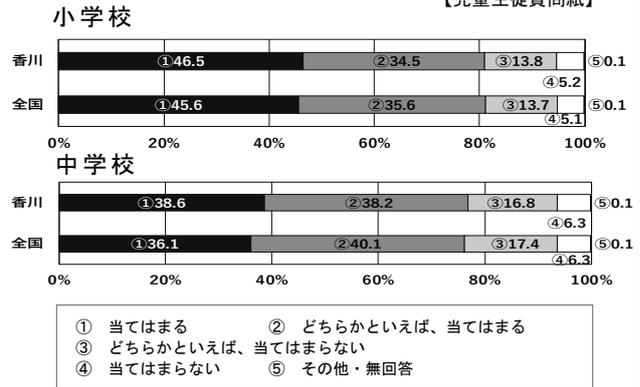
□53 算数（数学）の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



□55 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか

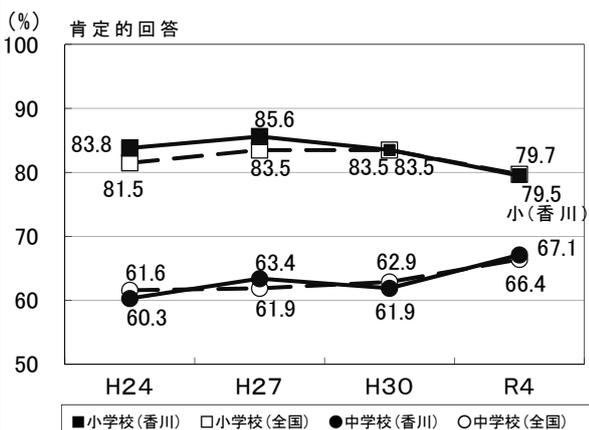
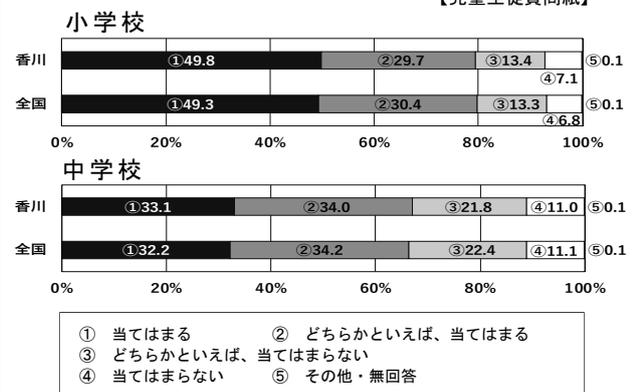
【児童生徒質問紙】



3 理科に対する意識

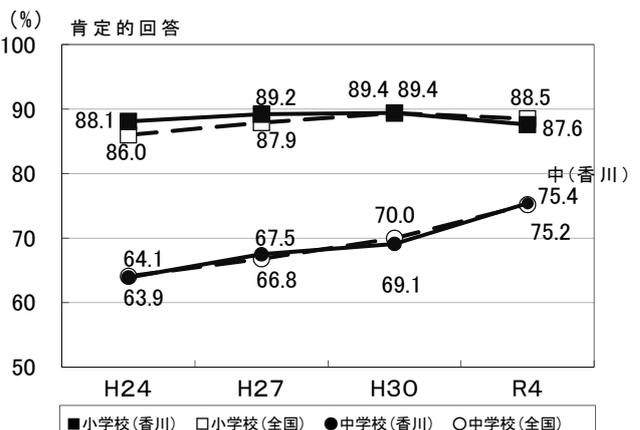
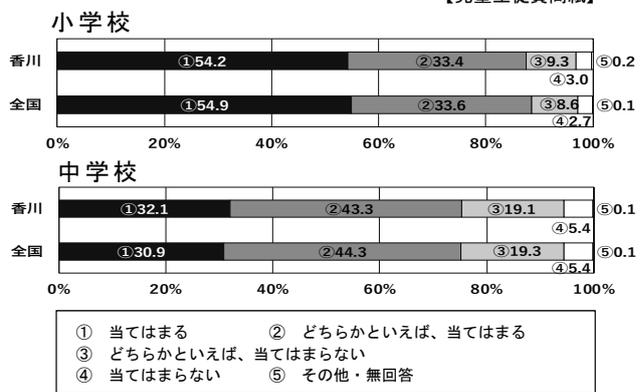
□61 理科の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



□63 理科の授業の内容はよく分かりますか

【児童生徒質問紙】



Question 2
言語活動
に関する
質問項目

「言語活動」に関わる質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

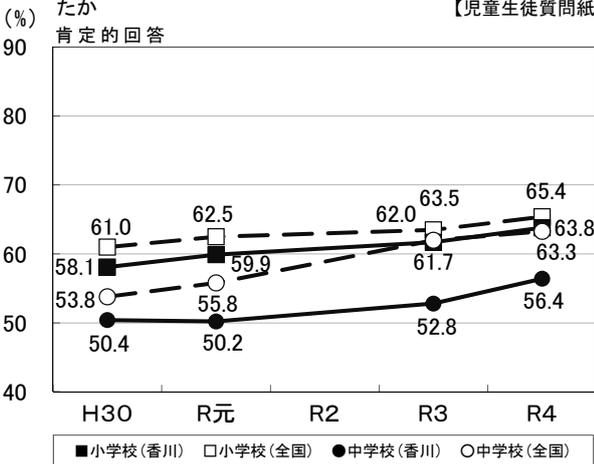
Answer

- 「□38 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国を下回っているものの、令和元年度以降増加している。
- 「□43 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国と同様、令和元年度以降増加しているが、約20%の児童生徒は、「当てはまらない」「どちらかといえば、当てはまらない」と回答している。

1 自分の考えの表現



□38 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
【児童生徒質問紙】



Column

～ICTの活用で、さらなる言語活動の充実を～

□38 で問われている自分の考えを発表する場面では、ICTを効果的に活用することで、さらに活動を充実させることができます。

例えば、資料の順番を入れ替えたり、見せたいところを拡大したりすることが簡単にできます。端末上のカードを操作することで、話の構成を吟味することもできるでしょう。また、録画機能を用いると、自分の発表している姿を客観的に捉えることができ、達成感や新たな課題追究につながります。

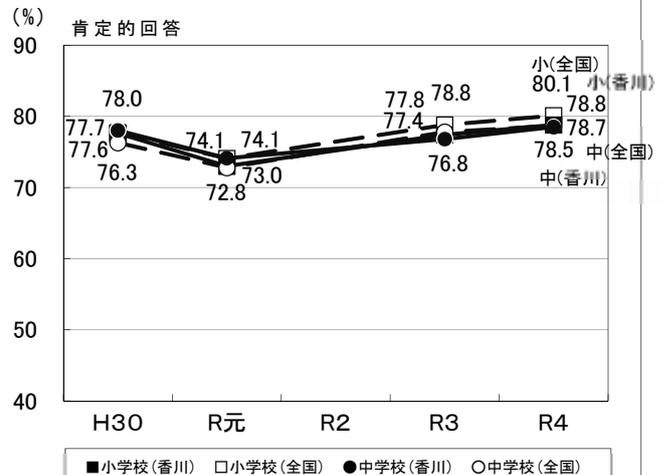
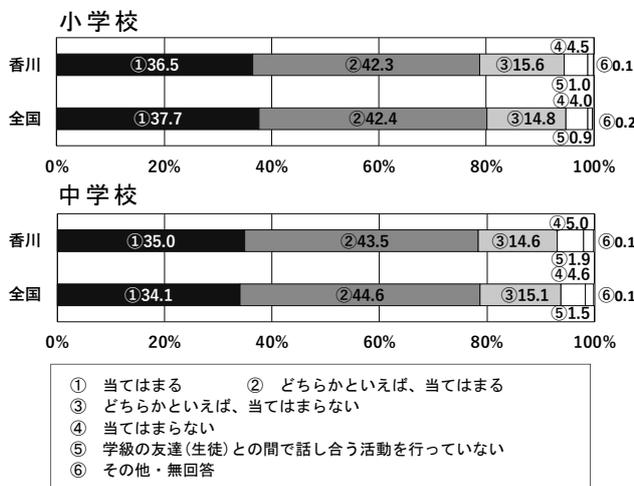
ぜひ、言語活動にもICTを活用してみましょう。

2 自分の考えの深化・拡張



□43 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

【児童生徒質問紙】



Question 3
学習習慣
に関する
質問項目

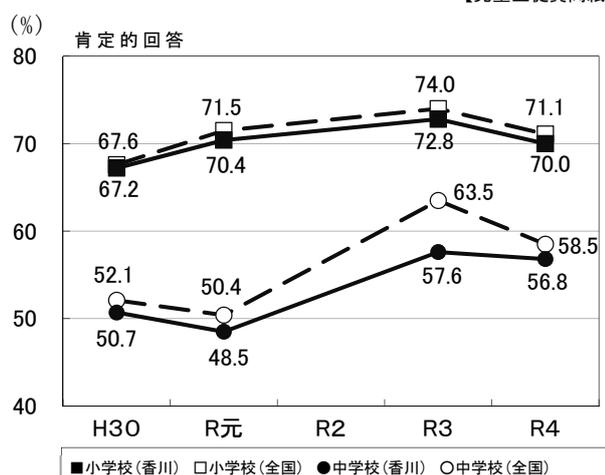
「学習習慣」に関する質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。また、1日当たりの勉強時間は、どのような結果になっていたか。

- Answer**
- 「20家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国と同様、令和3年度より減少している。
 - 「21学校の授業時間以外の勉強時間」は、小・中学校ともに、1時間以上2時間未満の児童生徒の割合が多い。
 - 「77/75家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか」の質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに、平成30年度以降最も高くなっている。特に、中学校での伸びが大きく、全国を上回った。

1 家庭での計画的な学習



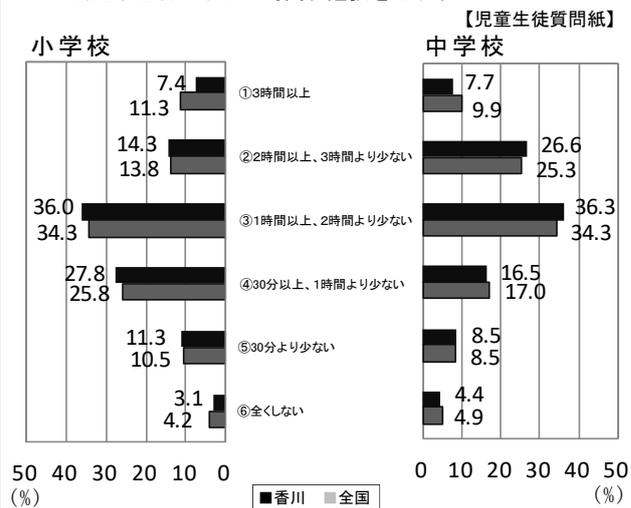
□20 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
【児童生徒質問紙】



2 平日1日当たりの勉強時間



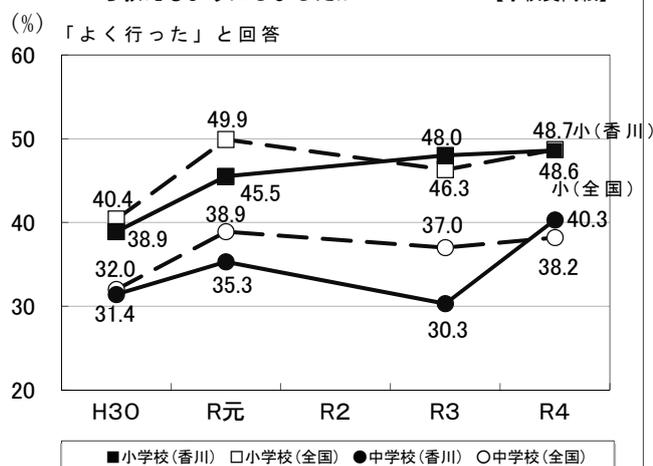
□21 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
【児童生徒質問紙】



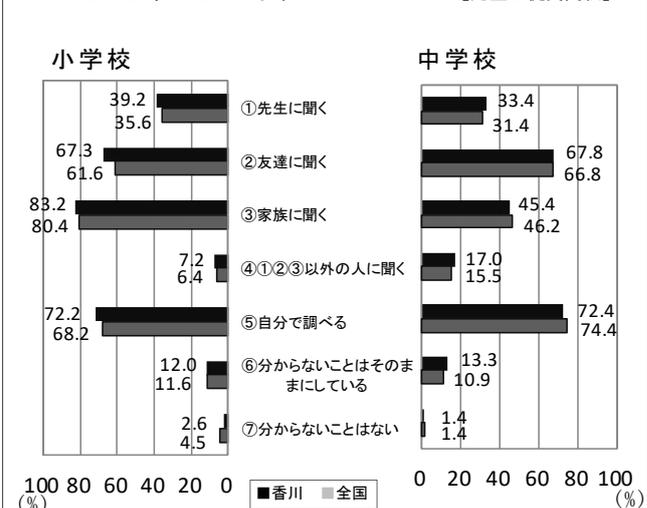
3 家庭での学習方法等の指導



■77/75 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童(生徒)に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか
【学校質問紙】



□19 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか
【児童生徒質問紙】



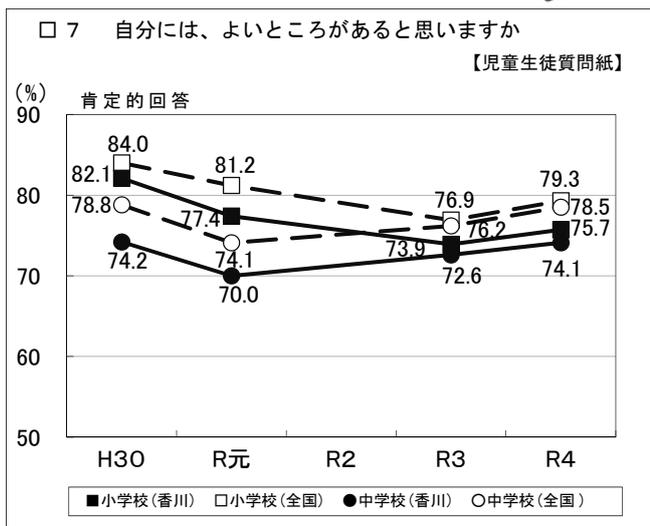
Question 4
自己有用感・
規範意識等
に関わる質問項目

「自己有用感・規範意識等」に関わる質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

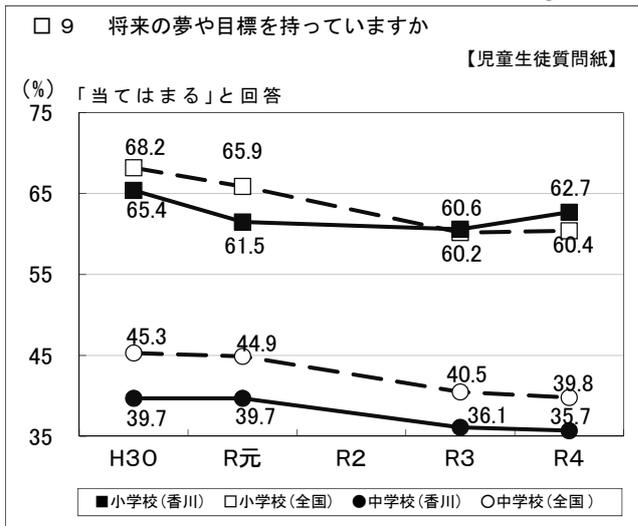
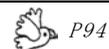
Answer

- 「□7 自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国と同様、令和3年度より増加している。
- 「□9 将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で令和3年度より増加し、全国を上回っている。中学校は、令和3年度より減少し、全国を下回っている。
- 「□8 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、令和元年度より増加している。
- 「□13 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が、小・中学校ともに、全国を上回っている。

1 自分のよさ



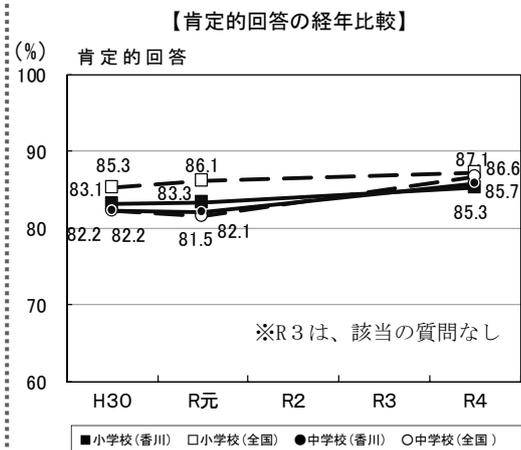
2 将来の夢や目標



Column



□8 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか 【児童生徒質問紙】

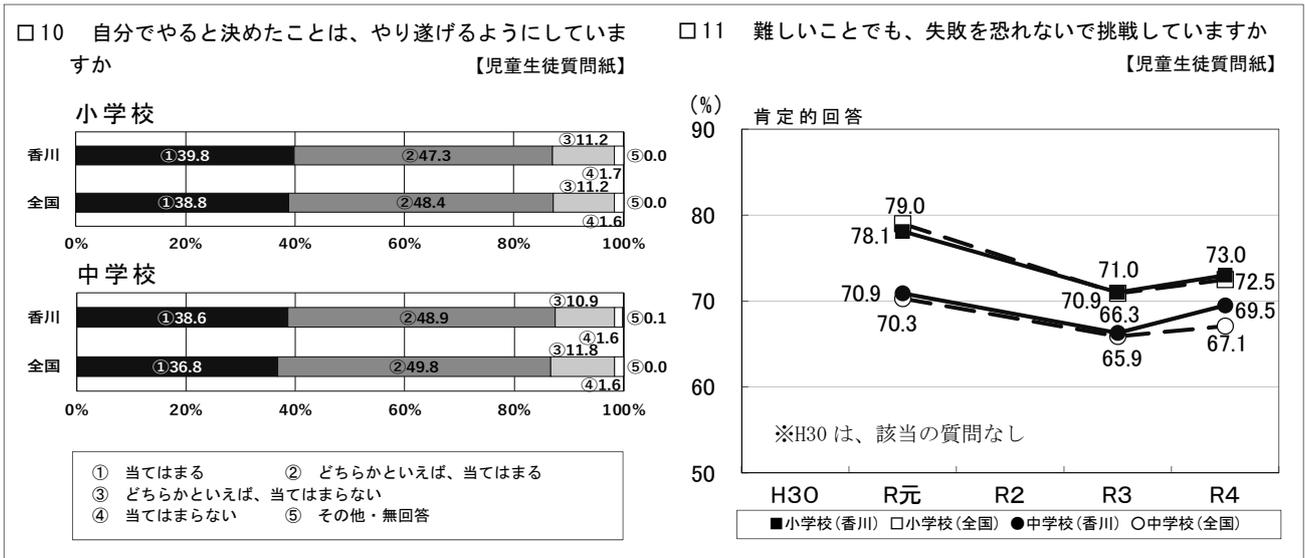


□7の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、前回より増加していますが、全国を下回っています。□8の質問については、前回より増加するとともに、全国とほぼ同じ割合となっています。

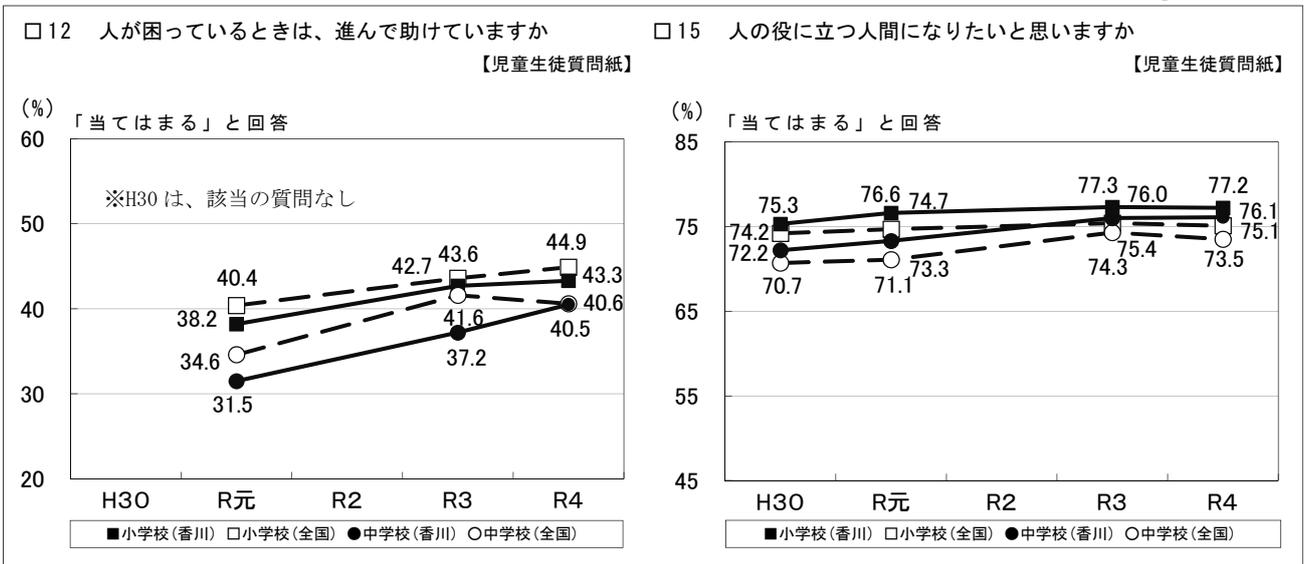
児童生徒が自分のよいところに気付くためには、授業や日常生活において、活動前後の自分の考えや演技、作品などを比較したり、活動の過程における自分の取組を振り返ったりすることで、自分の成長を捉えることが大切です。また、相互評価を取り入れることも効果的でしょう。

教職員は児童生徒の様子をしっかりと見取り、結果だけでなく、過程を踏まえて「認め励ます」ようにしましょう。

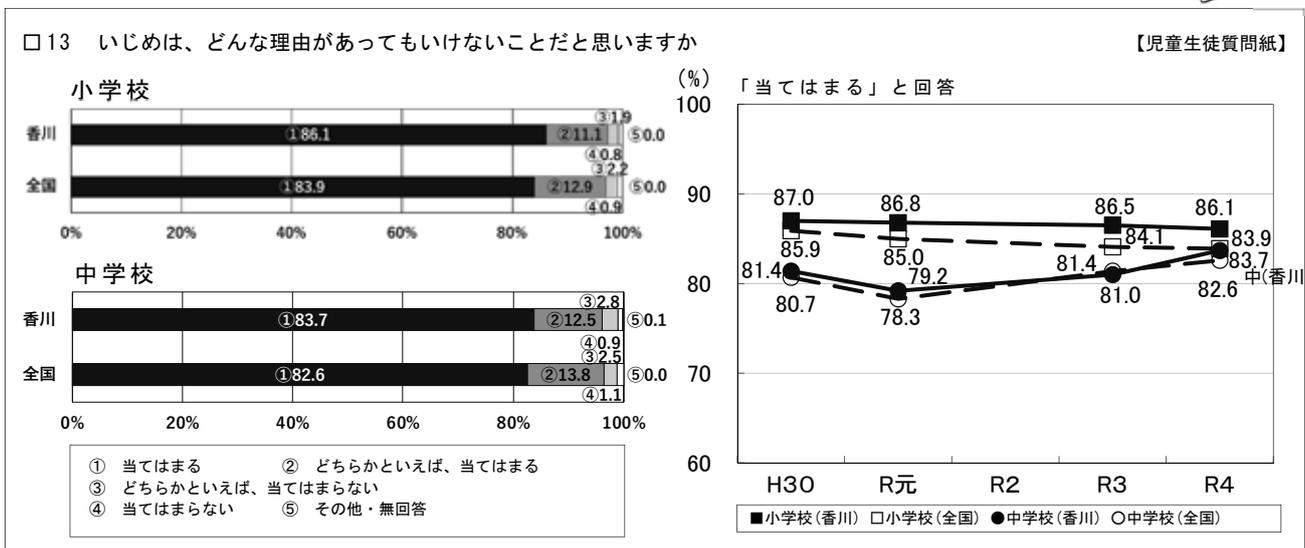
3 達成感・挑戦



4 人との関わり



5 いじめ



Question 5
学校生活
に関わる
質問項目

「学校生活」に関わる質問項目について、どのような回答状況が見られたか。

Answer

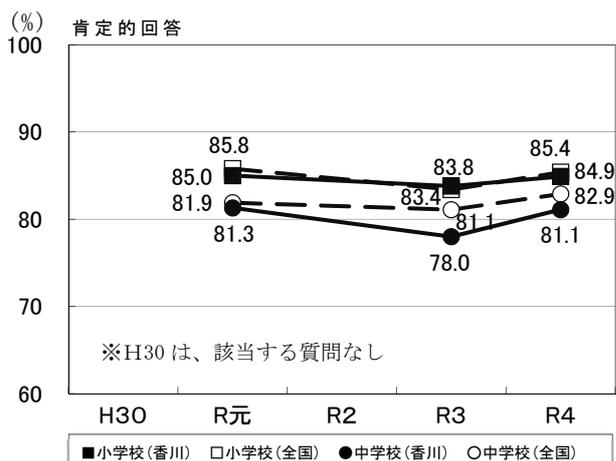
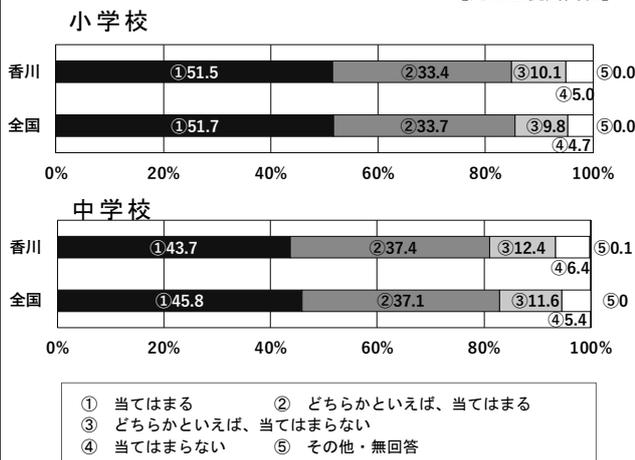
- 「□16 学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国と同様、令和3年度より増加している。
- 「□14 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問に対して、小・中学校ともに、全国と同様、約30%の児童生徒が「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答している。
- 「□18 友達と協力するのは楽しいと思いますか」の質問に対して、小・中学校ともに、全国と同様、90%以上の児童生徒が肯定的に回答している。

1 学校や学級に対する意識

P95

□16 学校に行くのは楽しいと思いますか

【児童生徒質問紙】

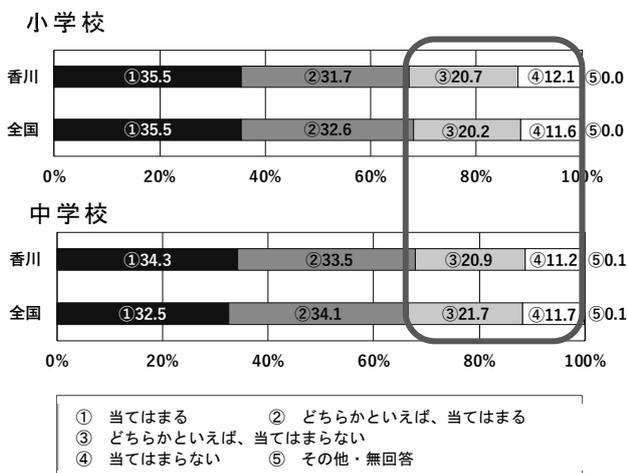


Close-up

P95

□14 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

【児童生徒質問紙】

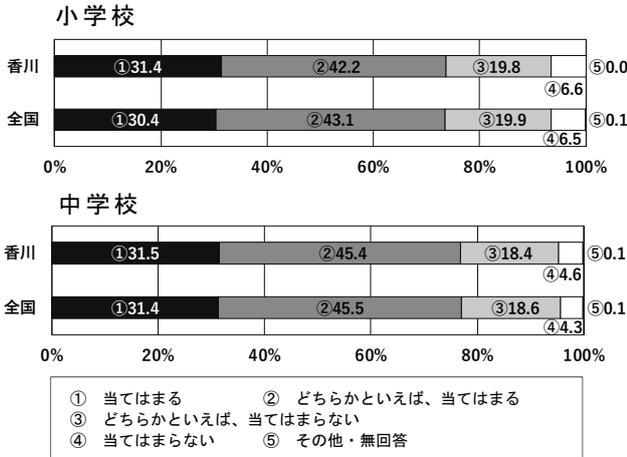


□14 の質問に対して、否定的に回答した児童生徒が、小・中学校ともに、約30%います。これは、全国とほぼ同じ割合ですが、自分からは伝えることができない児童生徒がいることを意識しておくことが、まずは大切です。

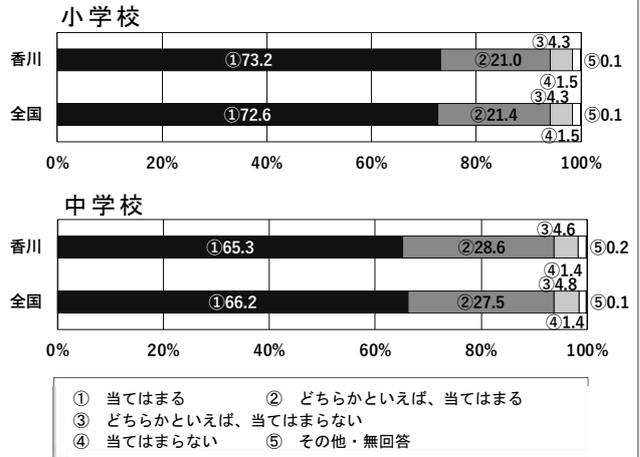
各学校においては、引き続きすべての児童生徒にしっかりと目を向け、悩みを一人で抱えて苦しんではいないか、表情や行動など様々な角度から思いや考えをくみ取り、関わり方や支援の在り方を考える必要があります。

また、教職員も、児童生徒への対応について一人で抱え込まず、チームで関わっていくようにしましょう。

□17 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか
【児童生徒質問紙】



□18 友達と協力するのは楽しいと思えますか
【児童生徒質問紙】



Column

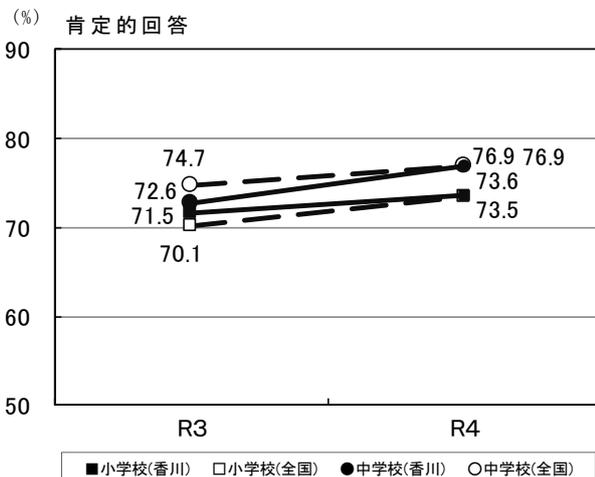
～話し合う活動を通じて、互いの考えを認め合う～

□17の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合が昨年度より増加しています。これは、□18の質問に対して、90%以上の児童生徒が肯定的に回答したことや、□43の質問に対して、約80%の児童生徒が「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができている」と肯定的に回答していることにも表れていると考えられます。

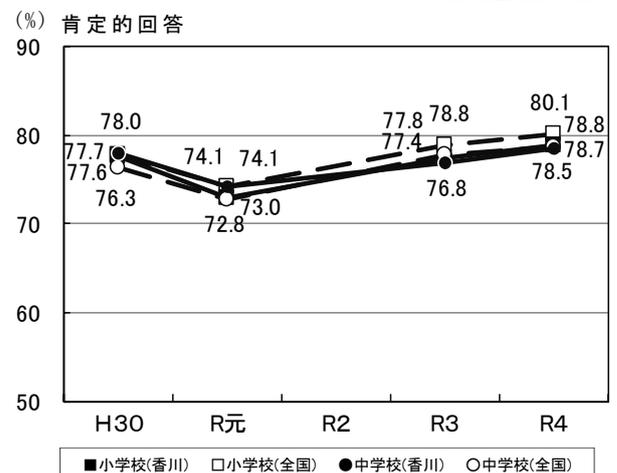
児童生徒にとって、友達と違う意見を述べるのは勇気が必要な場合もあります。しかし、話し合う活動を通して、自分と違う意見でも認め合う経験や、違う意見を聞くことで考えが深まったり広がったりする経験を積み重ねていくことで、友達と違う意見を述べることへの抵抗感が小さくなり、互いに認め合ってよりよい考えを作り出そうとする態度につながるでしょう。□43で否定的な回答をした約20%の児童生徒についても効果があるはずです。

学校生活を楽しく過ごすためにも、引き続き、互いの考えを認め合い、そのよさを生かしてよりよい考えを作り出す話し合う活動を大切にしていきたいと思います。

□17 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか
【児童生徒質問紙】



□43 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
【児童生徒質問紙】



Question 6
メディアの利用
に関する
質問項目

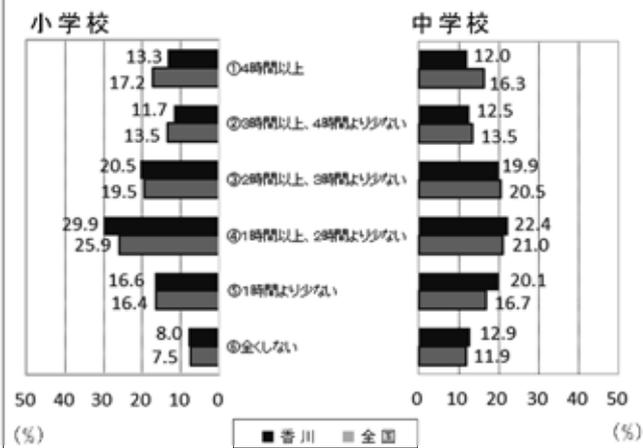
「メディアの利用」に関する質問項目について、どのような回答状況が見られたか。

Answer

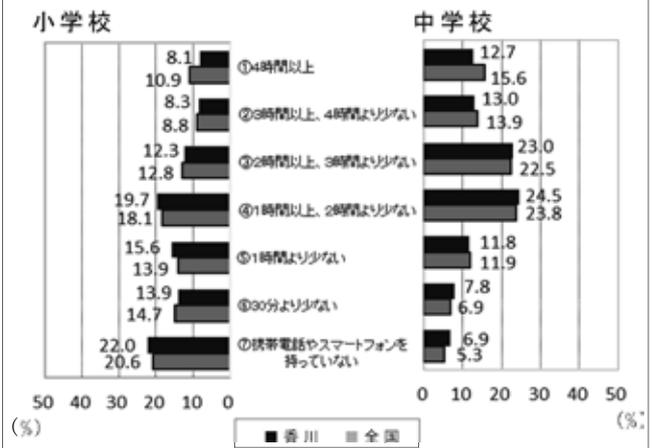
- ⁵ 平日1日当たりのテレビゲームの時間、□⁶ SNSや動画視聴の時間についての質問に対して、小・中学校ともに、「1時間以上、2時間より少ない」と回答した児童生徒の割合が最も高くなっている。SNSや動画視聴の時間と平均正答率との関係を見ると、小・中学校ともに、調査したどの教科においても、「30分より少ない」と回答した児童生徒の平均正答率が最も高くなっている。
- ²³ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますかの質問に対して、小学校では「10分～30分」、中学校では「全くしない」と回答した児童生徒の割合が最も高くなっている。

1 平日1日当たりのゲーム、SNSや動画視聴の時間 P93

□⁵ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）を読みますか 【児童生徒質問紙】

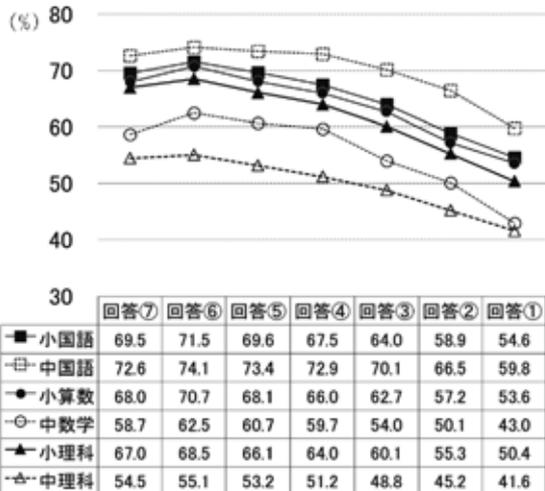


□⁶ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く） 【児童生徒質問紙】



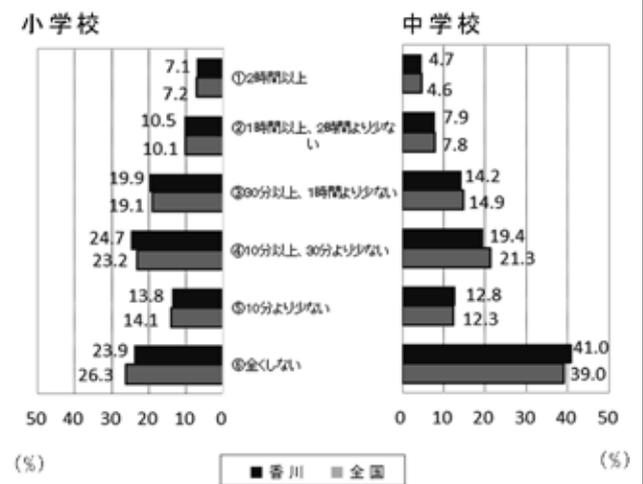
3 SNSや動画視聴等の時間と平均正答率 P93

「□⁶ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか」の質問に対する選択肢別平均正答率 【児童生徒質問紙】



4 平日1日当たりの読書の時間 P96

□²³ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 【児童生徒質問紙】



Ⅲ 教科に関する調査結果及び分析

1 小学校国語 <調査の分析・検証>

概要

国語について、県と全国の平均正答率の比較から、全国平均より上回っている。

- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」で上回っている。
- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「読むこと」で下回っている。

■令和4年度調査結果の集計値

小学校国語	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県（公立）	7,541	148	9.3 / 14	67
全国(公立)	965,308	18,668	9.2 / 14	66 (65.6)

■平成30年度～令和4年度の県と全国の調査結果

調査区分	国語A	国語B	国語		
			H30	R元	R3
調査年度	H30		R元	R3	R4
県（公立） 平均正答率 (%)	69	58	65	63	67
全国(公立) 平均正答率 (%)	71 (70.7)	55 (54.7)	64 (63.8)	65 (64.7)	66 (65.6)
県と全国との 差(pt)	▲2	3	1	▲2	1

■令和3、4年度の内容別調査結果

	学習指導要領の内容	国語					
		思考力、判断力、表現力等			知識及び技能		
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文 化に関する事項
令和四年度	県(公立)平均正答率 (%)	69.6	48.7	66.1	69.8		82.3
	全国(公立)平均正答率 (%)	66.2	48.5	66.6	69.0		77.9
	県と全国との差(pt)	3.4	0.2	▲0.5	0.8		4.4
令和三年度	県(公立)平均正答率 (%)	77.0	56.9	44.5	67.9		
	全国(公立)平均正答率 (%)	77.8	60.7	47.2	68.3		
	県と全国との差(pt)	▲0.8	▲3.8	▲2.7	▲0.4		

Ⅲ 小国語

■令和元年度の領域等別調査結果

	国語			
学習指導要領の領域等	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
県(公立)平均正答率(%)	75.1	58.5	82.9	53.0
全国(公立)平均正答率(%)	72.3	54.5	81.7	53.5
県と全国との差(pt)	2.8	4.0	1.2	▲0.5

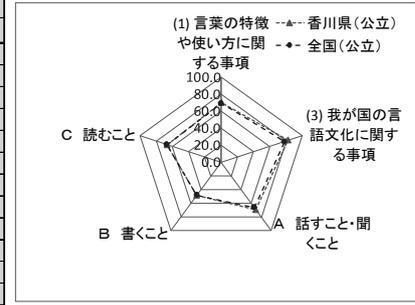
■平成30年度の領域等別調査結果

	国語				
学習指導要領の領域等	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項	
国語A	県(公立)平均正答率(%)	91.8	75.7	74.3	64.5
	全国(公立)平均正答率(%)	90.8	73.8	74.0	67.0
	県と全国との差(pt)	1.0	1.9	0.3	▲2.5
国語B	県(公立)平均正答率(%)	69.4	49.8	56.0	
	全国(公立)平均正答率(%)	64.6	45.6	50.8	
	県と全国との差(pt)	4.8	4.2	5.2	

■問題別調査結果【国語】

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			香川県(公立)	全国(公立)	
全体		14	67	65.6	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	69.8	69.0
		(2)情報の扱い方に関する事項	0		
		(3)我が国の言語文化に関する事項	1	82.3	77.9
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	2	69.6	66.2
		B 書くこと	2	48.7	48.5
C 読むこと		4	66.1	66.6	
評価の観点	知識・技能	6	71.9	70.5	
	思考・判断・表現	8	62.6	62.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	8	72.0	71.8	
	短答式	3	63.5	63.6	
	記述式	3	55.2	51.3	

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)				
			(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項			A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)
1一	【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する	5・6 イ						85.2	85.5	0.8	0.9		
1二	【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える	5・6 ア						73.4	68.8	0.8	1.0		
1三	【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える			3・4 エ				84.0	84.7	0.9	1.0		
1四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、□□でどのように話すかを書く	互いの立場や意図を明確にしながらかつ計画的に話し合い、自分の考えをまとめる			5・6 オ			○	55.2	47.7	1.8	3.0		
2一(1)	「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える				3・4 イ		○	68.0	68.4	0.7	1.0		
2一(2)	「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する	登場人物の相互関係について、描写を基に捉える				5・6 イ		○	70.3	70.6	1.0	1.6		
2二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の□□に入る内容を書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像する				5・6 エ		○	71.7	68.3	7.6	12.2		
2三	【山村さんの文章】の□□に入る内容として適切なものを選択する	表現の効果を考える				5・6 エ		○	54.4	59.2	3.3	3.2		
3一	【文章2】の□□の部分で、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える				5・6 オ		○	58.7	59.2	2.1	2.5		
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける				5・6 カ		○	38.6	37.7	9.5	14.5		
3三ア	【文章2】の中の□□部を、漢字を使って書き直す(ろくが)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	5・6 エ					○	60.3	65.2	5.5	8.1		
3三イ	【文章2】の中の□□部を、漢字を使って書き直す(はんせい)		5・6 エ					○	60.9	58.7	6.0	10.2		
3三ウ	【文章2】の中の□□部を、漢字を使って書き直す(したしむ)		5・6 エ					○	69.4	67.1	9.2	14.7		
3四	(一)から(二)に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する	漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く				3・4 エ(イ)		○	82.3	77.9	4.5	5.9		

■ 正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【小学校国語】（全14問中4問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国との差(pt)
1二	【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	言葉	知技	選択	73.4	0.8	4.6
1四	「ゴミ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="text"/> でどのように話すかを書く	話聞	思判表	記述	55.2	1.8	7.5
2二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="text"/> A <input type="text"/> に入る内容を書く	読む	思判表	記述	71.7	7.6	3.4
3四	(一)から(二)に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する	言文	知技	選択	82.3	4.5	4.4

■ 正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【小学校国語】（全14問中2問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国との差(pt)
2三	【山村さんの文章】の <input type="text"/> B <input type="text"/> に入る内容として適切なものを選択する	読む	思判表	選択	54.4	3.3	▲4.8
3三ア	【文章2】の中の——部アを、漢字を使って書き直す(ろくが)	言葉	知技	短答	60.3	5.5	▲4.9

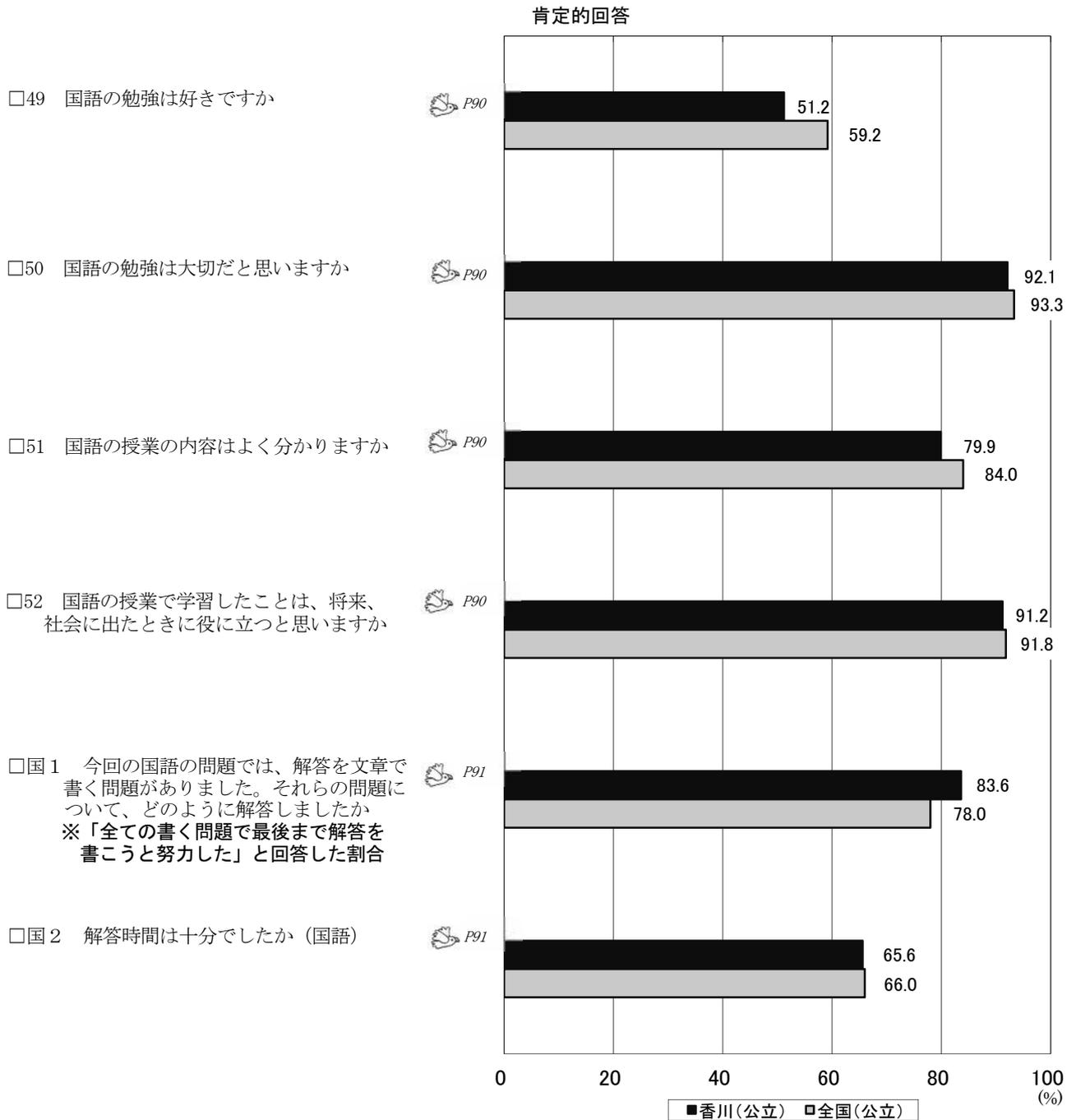
■ 正答率が低い問題（50%未満）

【小学校国語】（全14問中1問）

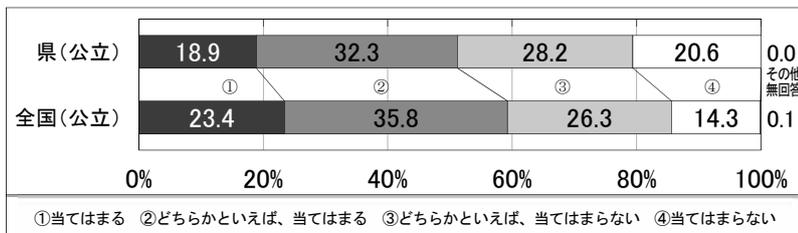
問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国との差(pt)
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	書く	思判表	記述	38.6	9.5	0.9

【内容】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと : 話聞 書くこと : 書く 読むこと : 読む 言葉の特徴や使い方に関する事項 : 言葉 情報の扱い方に関する事項 : 情報 我が国の言語文化に関する事項 : 言文	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

■小学校国語に関わる質問の全国との比較

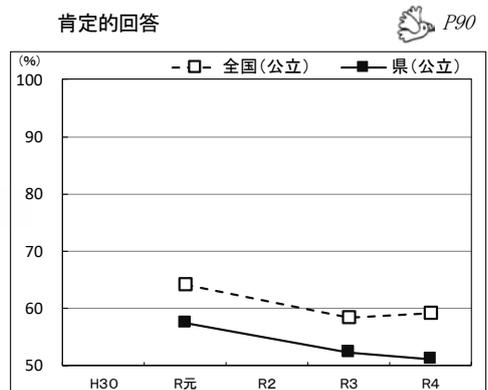


□49 国語の勉強は好きですか

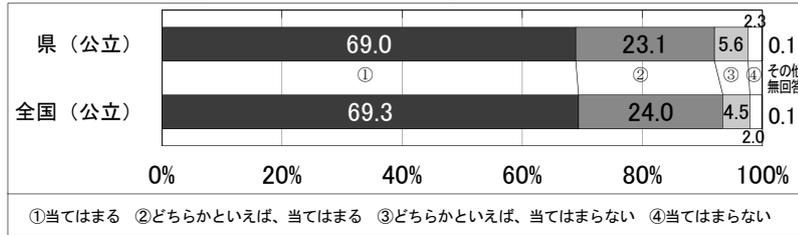


肯定的に回答した児童の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)		57.5		52.3	51.2
全国(公立)(%)		64.2		58.4	59.2
県と全国の差(pt)		▲6.7		▲6.1	▲8.0



□50 国語の勉強は大切だと思いますか

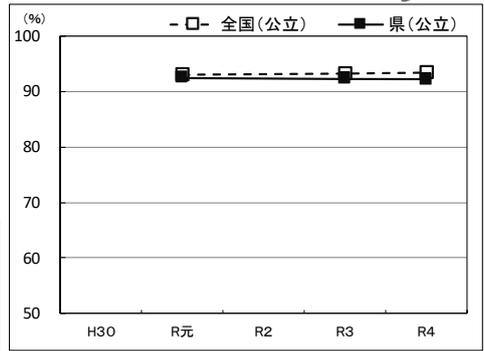


①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

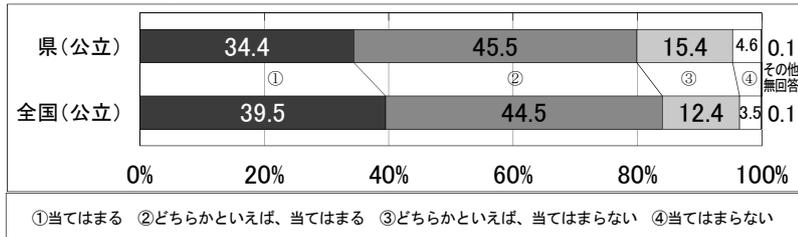
肯定的に回答した児童の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)		92.4		92.2	92.1
全国(公立)(%)		93.0		93.2	93.3
県と全国の差(pt)		▲0.6		▲1.0	▲1.2

肯定的回答



□51 国語の授業の内容はよくわかりますか

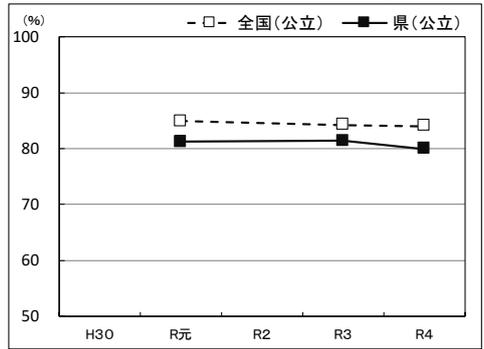


①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

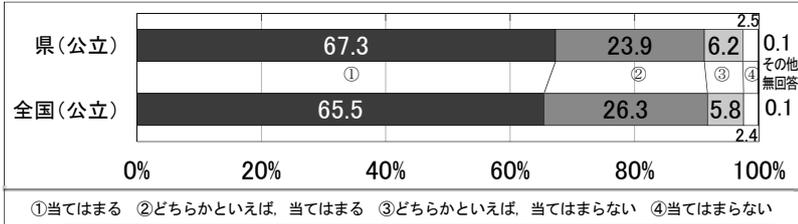
肯定的に回答した児童の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)		81.2		81.4	79.9
全国(公立)(%)		84.9		84.2	84.0
県と全国の差(pt)		▲3.7		▲2.8	▲4.1

肯定的回答



□52 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

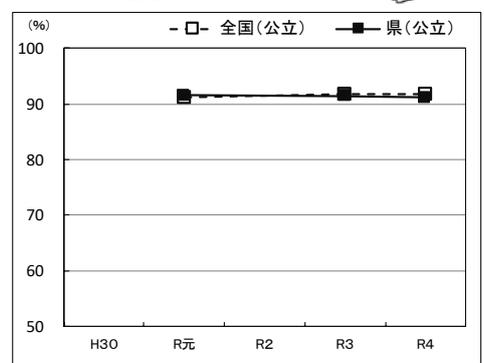


①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

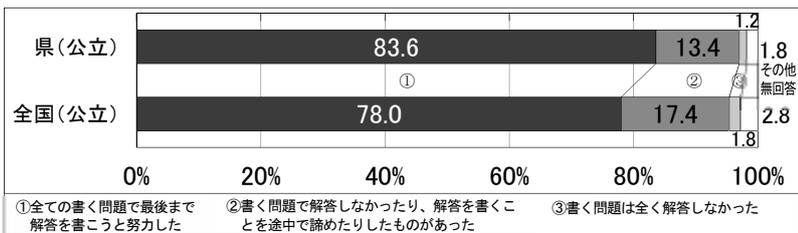
肯定的に回答した児童の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)		91.6		91.5	91.2
全国(公立)(%)		91.2		91.8	91.8
県と全国の差(pt)		0.4		▲0.3	▲0.6

肯定的回答



□国 1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか

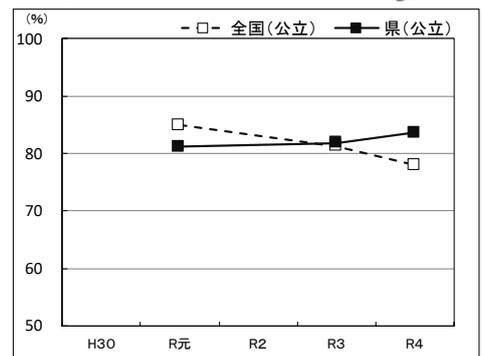


①全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した ②書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた ③書く問題は全く解答しなかった

①と回答した児童の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)		83.4		81.8	83.6
全国(公立)(%)		80.4		81.3	78.0
県と全国の差(pt)		3.0		0.5	5.6

①と回答



※H30は該当の質問はなし。R2は全国学力・学習状況調査を実施していない。

人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 国語 2 二 三

（条件）

- この物語から伝わってくることを考えて書くこと。
- 十字以上、三十字以内にとめて書くこと。

※左の原簿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※の印から書きましょう。どちらの行を突えないで、続けて書きましょう。

二 森田さんは、物語から伝わってくることをまとめ、せいせんする文章を書いています。次は、「森田さんの文章」です。あなたが森田さんなら、Aに入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【森田さんの文章】

これは、過去や未来にいけるうちゅう船を作りたいと思っている「ぼく」と、そんなうちゅう船を作った「老人」の物語です。
この物語は、「老人」が未来の「ぼく」かもしれないと思わせる表現をさがして読む楽しさを味わうことができます。それだけでなく、この物語を読むと、わたしは前向きな気持ちになります。なぜかという、「老人」に出会った「ぼく」を通して、この物語がわたしに伝えてくれることがあるからです。それは、

A

（那須田淳「銀色の幻想」による）

（那須田淳「銀色の幻想」による）

【物語の一部】※ 部アからオや、……部①から③は、あとの問いで取り上げられます。

【物語のこれまでのあらすじ】

学校の帰りに、自分と同じ名前前のH.I.R.O.K.I模型店を見つけたぼく。一歩その店の入口に近づくと、ドアが音もなく開き、カウンターのすみに座っている老人が、やけになれなれしく「ようち。」と手をあげた。店の中は、宇宙船などの模型で占められていた。

2 森田さんの学級では、不思議な出来事が描かれている物語を読み、友達とせいせんし合うことになりました。森田さんは、「銀色の幻想」という題名の物語を選んで読み、気になるところにふせんをはっています。次は「物語のこれまでのあらすじ」と「物語の一部」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

問題番号	正答の条件
2 二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① この物語から伝わってくることを考えて書いている。 ② 10字以上、30字以内で書いている。

問題番号	解答類型	県対応率 (%)	全国対応率 (%)	正答
2 二	1 条件①、②を満たしているもの	71.7	68.3	◎
	2 条件①は満たしているが、条件②を満たしていないもの	0.3	0.3	
	99 上記以外の解答	20.4	19.2	
	0 無解答	7.6	12.2	
正答率		71.7	68.3	

問題番号	解答類型	県対応率 (%)	全国対応率 (%)	正答
2 三	1 1 と解答しているもの	8.6	8.4	
	2 2 と解答しているもの	54.4	59.2	◎
	3 3 と解答しているもの	23.7	21.2	
	4 4 と解答しているもの	9.7	7.7	
	99 上記以外の解答	0.3	0.3	
	0 無解答	3.3	3.2	
正答率		54.4	59.2	

- 色の表現を使い、季節が変わったことを印象づけている。
- 「ぼく」が体験した信じられないような出来事を印象づけている。
- 空と風を表す表現を使い、「ぼく」が宇宙に行った不思議さを印象づけている。
- 「ぼく」が過去から現在にもどってきた安心感を印象づけている。

三 同じ学級の山村さんも、「銀色の幻想」を読み、せいせんする文章を書いています。次の「山村さんの文章」のBの中に入る内容として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【山村さんの文章】

この物語は、主人公の「ぼく」が自分と同じ名前のもけい店で「老人」と出会うことから始まる。「老人」は、未来の「ぼく」のすがたかもしれないのだが、読者にそう思わせる表現が文章全体に散りばめられている。そのため、読み進めるうちに、物語の世界にどんどん引きこまれていく。そして、最後の一文「ただ、透明な空の青さのなかで、ススキの穂波が銀色に光り、風にそよんでいるだけだった。」は、

B

読み終わった後も物語の世界にひたることができるとおすすめの作品だ。

分析・考察

- ②二は、登場人物の相互関係や主人公の人物像等から、物語の全体像を具体的に想像し、この物語から伝わってくることをまとめることができるかどうかをみる問題である。
- ②三は、主人公が信じられないような出来事を体験したという物語の全体像と関わらせながら、その不思議さを印象付けるという最後の一文の表現の効果を考えることができるかどうかをみる問題である。
- ②二の、本県の無解答率は7.6%である。文学的な文章を読んで、その文章から伝わってきたことを考えたり、表現したりすることに課題がある。
- ②三の解答類型3の反応率は23.7%である。この解答をした児童は、空と風の表現により、不思議さを印象付けるという表現の効果を考えることはできている。しかし、主人公が「宇宙に行っていない」にも関わらず「宇宙に行った」と捉えているため、物語の全体像と関わらせながら考えることができていると考えられる。

授業改善のポイント

【物語から伝わってきたことを自分の言葉でまとめる経験を繰り返す】

物語を読み、内容や感想、考えたことを伝え合う言語活動を、低・中学年の頃から充実させることが大切である。比較的読みやすい低学年向けの物語を使って学習する段階から、内容や感想、考えたことを自分の言葉で表現することに慣れ親しませることで、自分の言葉でまとめることへの意欲を高めていきたい。中・高学年においては、字数等を指定し、その条件内でまとめることにも留意して指導したい。

【物語の全体像と表現の効果を関わらせて捉える】

「表現の効果を考える」とは、物語の全体像と想像した人物像とを関わらせながら、様々な表現が読み手に与える効果について、自分の考えを明らかにしていくことである。「はじめは自信満々で飛び出していった主人公が道に迷ってしまい、だんだん不安でいっぱいな気持ちになったことを表すために、『どンドン、どンドン』という表現を繰り返し使っていると思う」や「『土砂降りだった空に、急に爽やかな晴れ間が見えた』という情景描写は、ずっと、苦手なテストばかりで憂鬱だと思って過ごしていた主人公の気持ちが、友達の一語で、前向きな気持ちに変化したことを表していると思う」など、物語全体の内容と表現の効果の両方を意識させることが大切である。そのためには、場面ごとだけでなく、物語の全文を繰り返し読み、物語全体の複数の叙述を関係付けながら、あらすじや登場人物の心情変化等の全体像と表現の効果を捉えさせることに留意して指導する必要がある。その際には、適宜全文を提示したり、児童が手元で確認できるようにしたり、関係付ける叙述を線で結び、どのような関係にあるのかを、付箋に書いて線の近くに貼ったりすることができるなど、物語全体を捉えられるような指導と視覚的な支援が有効である。また、教科書教材にとどまらず、一人一人の児童がテーマに合った本を選び、身に付いた資質・能力を活用する機会を、単元内外に設定することも、力を定着させるためには重要である。

◎ ○○を読んで、一番おもしろいと思った表現とその理由を紹介しよう

私は、ここの「口を真一文字に閉めて」を選んだよ。場面一のA、場面二のBと、だんだんと主人公のお母さんの怒りが高まっていて、ここで、お母さんの怒りが頂点に達していることを表していると思うからだよ。

なるほど、確かにそこもおもしろいね。ぼくは、ここの「あつという間に転がって」という表現を選んだよ。場面一のCや場面二のDの部分では余裕だと思っていた主人公が、あつという間に慌てることになってしまった様子を、実際に玉が転がっていくことを表す表現で、一緒に表していると思うからだよ。

全文を掲載したシート

場面一 A 少しずつ運びなさいよ

場面二 B 腕を組んで

場面三 母の怒りの度合いの高まり

場面四 口を真一文字に閉めて

全文を掲載したシート

場面一 C こんなの罰数前さ

場面二 D へっちゃらへっちゃら

場面三 あつという間に転がって

場面四 様子の大きな変化

2 小学校算数 <調査の分析・検証>

概要

算数について、県と全国の平均正答率の比較から、全国平均より上回っている。

- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「数と計算」「図形」「データの活用」で上回っており、特に「図形」の領域で大きく上回っている。
- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「変化と関係」で同等である。

■令和4年度調査結果の集計値

小学校算数	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県（公立）	7,551	148	10.4 / 16	65
全国(公立)	965,431	18,667	10.1 / 16	63 (63.2)

■平成30年度～令和4年度の県と全国の調査結果

調査区分	算数A	算数B	算数		
			H30	R元	R3
調査年度	H30		R元	R3	R4
県（公立） 平均正答率 (%)	64	53	68	71	65
全国(公立) 平均正答率 (%)	64 (63.5)	52 (51.5)	67 (66.6)	70 (70.2)	63 (63.2)
県と全国との 差(pt)	0	1	1	1	2

■令和3、4年度の領域別調査結果

	学習指導要領の領域	算数				
		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
令和四年度	県(公立)平均正答率(%)	71.3	69.4		51.3	70.7
	全国(公立)平均正答率(%)	69.8	64.0		51.3	68.7
	県と全国との差(pt)	1.5	5.4		0.0	2.0
令和三年度	県(公立)平均正答率(%)	65.8	58.0	76.5	76.9	75.6
	全国(公立)平均正答率(%)	63.1	57.9	74.8	75.9	76.0
	県と全国との差(pt)	2.7	0.1	1.7	1.0	▲0.4

■令和元年度の領域別調査結果

	学習指導要領の領域	算数			
		数と計算	量と測定	図形	数量関係
	県(公立)平均正答率(%)	65.3	54.1	78.0	69.4
	全国(公立)平均正答率(%)	63.2	52.9	76.7	68.3
	県と全国との差(pt)	2.1	1.2	1.3	1.1

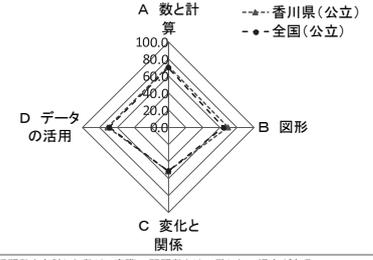
■平成30年度の領域別調査結果

	学習指導要領の領域	算数			
		数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数A	県(公立)平均正答率(%)	62.0	74.3	57.2	58.4
	全国(公立)平均正答率(%)	62.3	72.7	56.9	60.1
	県と全国との差(pt)	▲0.3	1.6	0.3	▲1.7
算数B	県(公立)平均正答率(%)	60.8	54.7	60.3	45.8
	全国(公立)平均正答率(%)	58.4	52.4	59.9	45.1
	県と全国との差(pt)	2.4	2.3	0.4	0.7

■問題別調査結果【算数】

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			香川県(公立)	全国(公立)
	全体	16	65	63.2
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	71.3	69.8
	B 図形	4	69.4	64.0
	C 測定	0		
	C 変化と関係	4	51.3	51.3
評価の観点	D データの活用	3	70.7	68.7
	知識・技能	9	68.7	68.2
	思考・判断・表現	7	60.7	56.7
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	6	53.3	51.8
	短答式	6	76.1	76.5
	記述式	4	66.8	60.2

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)	
1(1)	1050×4を計算する	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	3(1) 7(2) 3(3) 7(4) 4(7) 7(7)						○			○			91.4	92.4	0.3	0.3
1(2)	14と21の最小公倍数を求める	二つの数の最小公倍数を求めることができる	5(1) 7(4)						○			○			72.1	72.2	1.8	3.0
1(3)	カップケーキ7個分の値段を、1470÷3で求めることができるわけを書く	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる	3(4) 1(7) 4(3) 7(4)						○			○			80.1	76.0	3.0	5.2
1(4)	85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる	4(2) 1(7)						○	○					34.6	34.8	0.6	0.9
2(1)	果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す	百分率で表された割合を分数で表すことができる				5(3) 7(4)			○			○			67.9	71.1	2.3	3.9
2(2)	果汁が40%含まれている飲み物の量が100mLのときの、果汁の量を書く	百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる				5(3) 7(4)			○			○			60.6	64.6	2.1	3.3
2(3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している				5(3) 7(7)			○			○			20.9	21.4	0.9	1.1
2(4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる				5(1) 1(7)			○			○			56.0	48.0	3.5	5.5
3(1)	表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる	4(6) 7(7)				3(1) 7(7)		○			○			79.0	75.3	1.6	2.1
3(2)	分類整理されたデータから、全員の希望が一つは通るように、遊びを選ぶ	分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる					3(1) 1(7)		○			○			63.7	63.9	1.2	1.6
3(3)	1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ	目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる					5(1) 7(7)		○			○			69.4	66.8	1.3	2.2
3(4)	1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる	4(6) 7(7) 1(7)						○			○			70.6	67.7	5.0	8.6
4(1)	示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す	正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる	3(1) 7(7) 4(5) 7(7) 1(7)						○			○			60.7	48.8	2.4	3.8
4(2)	長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く	図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している	2(1) 7(4)						○			○			85.5	83.2	3.3	4.7
4(3)	辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかくことができるプログラムを選ぶ	図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している	4(1) 7(4)						○			○			72.0	66.5	3.2	4.6
4(4)	示されたプログラムでかくことができる図形を選ぶ	示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる	4(1) 7(4) 1(7)						○			○			59.5	57.6	3.7	5.1

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【小学校算数】（全16問中5問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国との差(pt)
1(3)	カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを書く	計算	思判表	記述	80.1	3.0	4.1
2(4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	変関	思判表	記述	56.0	3.5	8.0
3(1)	表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く	計算 デ活	知技	短答	79.0	1.6	3.7
4(1)	示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す	図形	思判表	記述	60.7	2.4	11.9
4(3)	辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかくことができるプログラムを選ぶ	図形	知技	選択	72.0	3.2	5.5

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【小学校算数】（全16問中2問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国との差(pt)
2(1)	果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す	変関	知技	短答	67.9	2.3	▲3.2
2(2)	果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く	変関	知技	短答	60.6	2.1	▲4.0

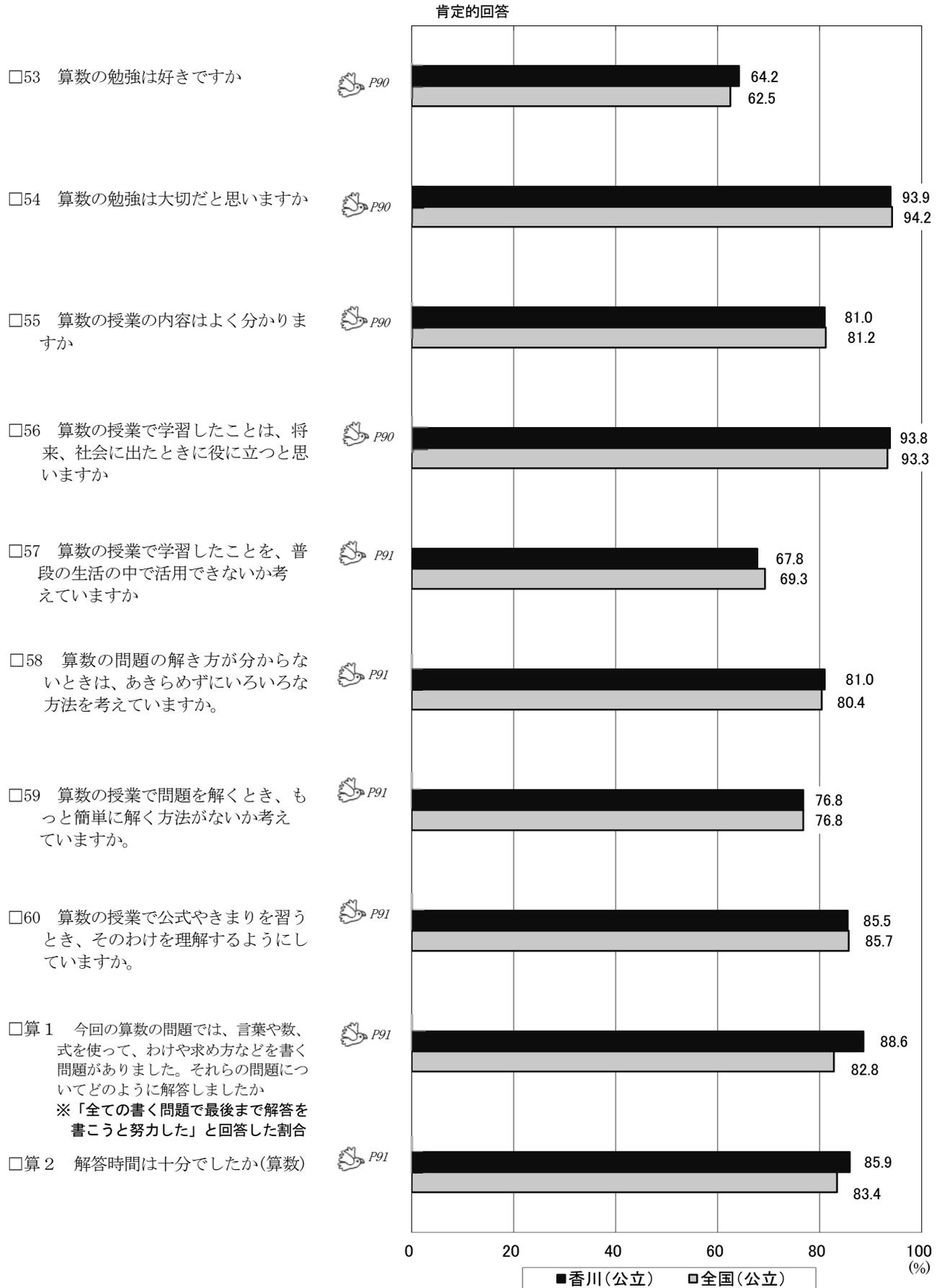
■正答率が低い問題（50%未満）

【小学校算数】（全16問中2問）

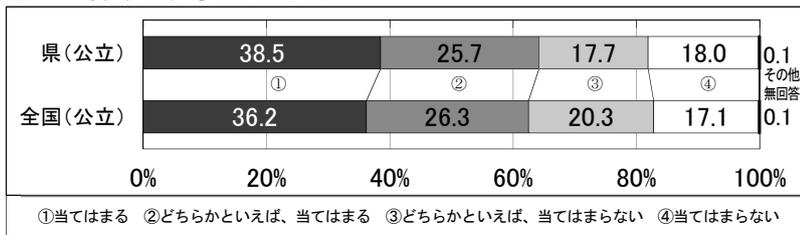
問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国との差(pt)
1(4)	85×21 の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	知技	思判表	選択	34.6	0.6	▲0.2
2(3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	変関	知技	選択	20.9	0.9	▲0.5

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と計算 : 計算 図形 : 図形 測定 : 測定 変化と関係 : 変関 データの活用 : デ活	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

■小学校算数に関わる質問の全国との比較



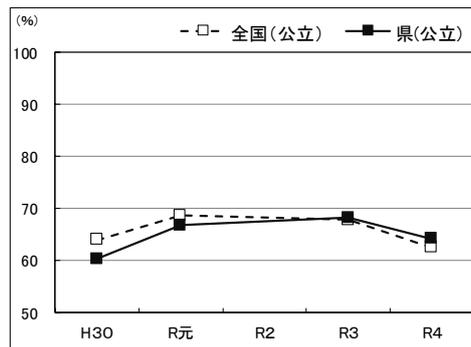
□53 算数の勉強は好きですか



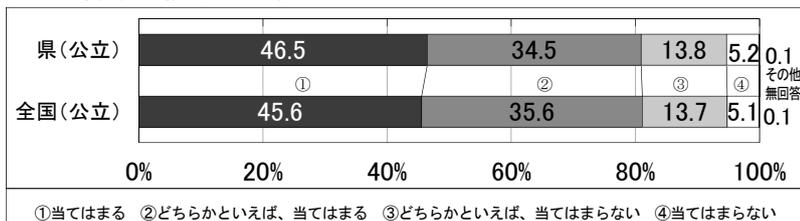
肯定的に回答した児童の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)	60.3	66.8		68.2	64.2
全国(公立)(%)	64.0	68.6		67.8	62.5
県と全国の差(pt)	▲3.7	▲1.8		0.4	1.7

肯定的回答



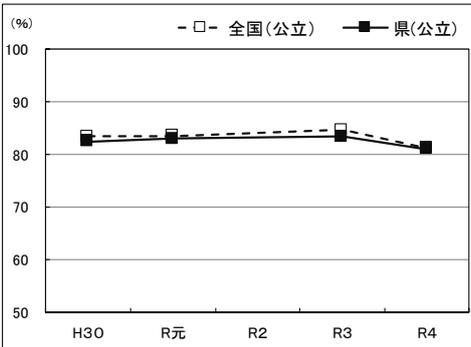
□55 算数の授業の内容はよくわかりますか



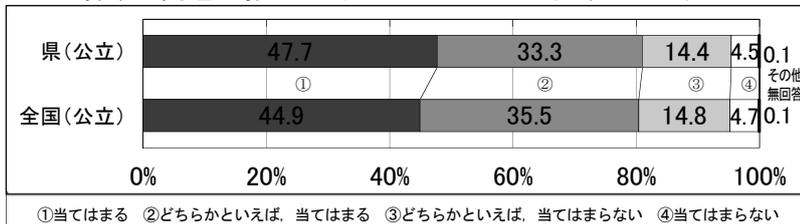
肯定的に回答した児童の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)	82.5	83.0		83.4	81.0
全国(公立)(%)	83.4	83.5		84.6	81.2
県と全国の差(pt)	▲0.9	▲0.5		▲1.2	▲0.2

肯定的回答



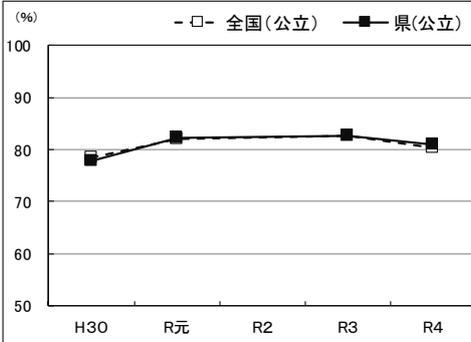
□58 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



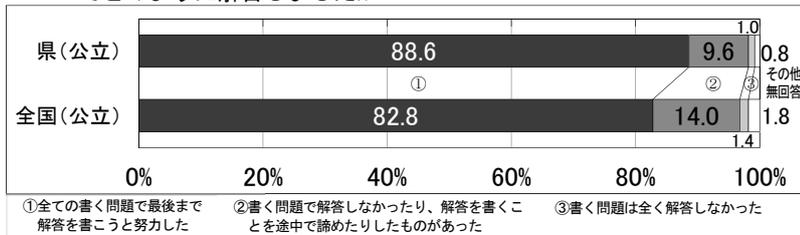
肯定的に回答した児童の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)	77.8	82.3		82.7	81.0
全国(公立)(%)	78.4	82.0		82.7	80.4
県と全国の差(pt)	▲0.6	0.3		0.0	0.6

肯定的回答



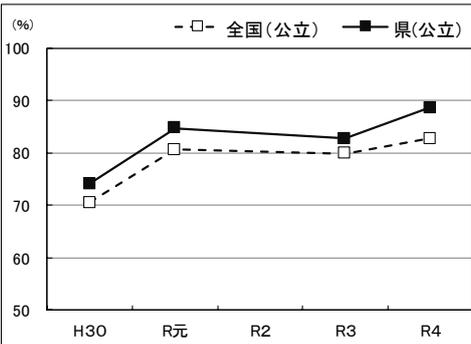
□算1 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか



①と回答した児童の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)	74.1	84.8		82.8	88.6
全国(公立)(%)	70.6	80.7		79.9	82.8
県と全国の差(pt)	3.5	4.1		2.9	5.8

①と回答



※R2は全国学力・学習状況調査を実施していない。

小学校算数

調査結果から授業改善へ

数量が変わっても割合は変わらないことを理解できるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 算数 2(3)

2

(3) リンゴの果汁が20%ふくまれている飲み物が500 mLあります。
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250 mLになります。

250 mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまどめします。

250 mLは、500 mLの $\frac{1}{2}$ の量です。
このとき、%

上の空にはあてはまる文字、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

問題番号	解答類型		県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
② (3)	1	1 と解答しているもの	68.1	67.9	
	2	2 と解答しているもの	9.4	9.3	
	3	3 と解答しているもの	20.9	21.4	◎
	99	上記以外の解答	0.7	0.5	
	0	無解答	0.9	1.1	
正答率			20.9	21.4	

分析・考察

- 本問題の本県の正答率は、20.9%であり、全国の正答率を0.5ポイント下回っている。示された場面のよりに、数量が変わっても割合は変わらないことの理解が不十分である。
- 解答類型1の反応率は68.1%である。これは、果汁が20%含まれている飲み物を2人で等しく分けたとき、飲み物の量が2分の1になると、同様に果汁の割合も2分の1になると誤って捉えていると考えられる。

授業改善のポイント

【① 割合を視覚的に実感できる活動を通して、考察できるようにする】

日常の場面に対応させながら、飲み物の量に対する果汁の量の割合が、飲み物の果汁の濃さを表していることを理解できるようにすることが重要である。その際、二つに分けても、果汁の濃さは変わらないということを視覚的に実感できるようにする事も有効である。

例えば、絵の具を混ぜた色水を二つに等しく分け、「分ける前と分けた後の色水は、どちらの色が濃いか?」と問う活動が考えられる。すると、「どちらも同じ色水なので、変わらない。」という反応が予想される。このような視覚に訴える活動を通して、濃さが変わらないことから水の量に対する絵の具の量の割合は変化しないと判断できる場を設ける事が大切である。

【② 具体的な場面に対応させながら、割合について理解できるようにする】

①の活動の後、視覚を基にした判断と、絵の具の量の割合を計算で求めた結果を関連付けて考える場面を設ける必要がある。例えば、「色水の量を半分にした時の絵の具の量はどうなるか?」と問うた時、①の具体的な活動から、「絵の具の量も半分になる。」という反応が予想される。すると、絵の具の量の割合は、右図のように $25 \text{ (比較量)} \div 250 \text{ (基準量)} = 0.1 \text{ (割合)}$ で10%と計算でき、水の量を半分にしても絵の具の割合は変わらないことが分かる。

絵の具10%の色水を半分にする

色水の量	絵の具の量
500 g	50 g
↓半分	↓半分
250 g	25 g

このように、 $(\text{比較量}) \div (\text{基準量}) = (\text{割合})$ の式を基に答えを導くだけでなく、味や濃度等の生活経験と関連付けて「比較量」や「基準量」を判断し、割合の意味を理解することが大切である。

小学校算数

調査結果から授業改善へ

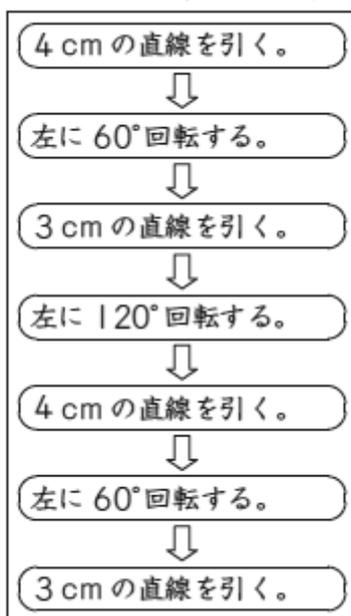
示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 算数 4(4)

4 (4) 次に、ひろとさんは、下のプログラムをつくりました。

【ひろとさんがつくったプログラム】



【ひろとさんがつくったプログラム】を実行すると、どのような図形をかくことができますか。

下の 1 から 5 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 二等辺三角形
- 2 長方形
- 3 平行四辺形
- 4 ひし形
- 5 正六角形

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
④ (4)	1 と解答しているもの	10.3	11.2	
	2 と解答しているもの	4.6	4.5	
	3 と解答しているもの	59.5	57.6	◎
	4 と解答しているもの	13.1	12.6	
	5 と解答しているもの	7.6	7.7	
	99 上記以外の解答	1.3	1.4	
	0 無解答	3.7	5.1	
正答率		59.5	57.6	

分析・考察

- 本問題の本県の正答率は、59.5%であり、全国の正答率を1.9ポイント上回っている。
- 解答類型4の反応率は13.1%である。二組の向かい合う角の大きさがそれぞれ等しいことを捉えているが、辺の長さに着目できず、ひし形であると判断していると考えられる。

授業改善のポイント

【図形を構成する要素に着目し、図形の性質を確かめることができるようにする】

例えば、示された作図の手順から、どのような図形ができるのかを予想する活動が考えられる。「直線を引く」という言葉が四つあることから「四角形ができそう」と予想したり、「4cm」と「3cm」が交互にあることから、「向かい合う辺の長さが等しい図形ができそう」と予想したりすることである。さらに、それを実際に作図することで図形の性質を確かめながら、どのような図形ができるかを判断できるようにすることが大切である。

【図形の意味や性質を基に、発展的に考える事ができるようにする】

三角形の三つの角の大きさの和が 180° であることを基に、四角形や五角形等多角形の角の大きさの和を求める活動等、既習を基に絶えず考察の範囲を広げていくことで、新しい知識や理解を得ることができる機会を設けることが重要である。

例えば、本問の場合、平行四辺形やひし形、正方形等、それぞれの図形に共通、また、異なる要素に着目し、回転する角の大きさや直線の長さを変えるプログラムを設定することで、意図した図形を作図する活動が考えられる。このように図形を構成する要素の一部（プログラムの一部）を変えるだけで、いろいろな図形を作図できるというよさを実感し、発展的に考察する機会を設けることが大切である。

3 小学校理科 <調査の分析・検証>

概要

理科について、県と全国の平均正答率の比較から、全国平均と同等である。

- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「『生命』を柱とする領域」で上回っている。
- 全国（公立）の平均正答率と比較すると「『エネルギー』を柱とする領域」は同等である。
- 全国（公立）の平均正答率と比較すると「『粒子』を柱とする領域」、「『地球』を柱とする領域」で下回っている。

■令和4年度調査結果の集計値

小学校理科	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県（公立）	7,557	147	10.8 / 17	63
全国(公立)	965,761	18,601	10.8 / 17	63 (63.3)

■平成24・27・30・令和4年度の県と全国の調査結果

調査区分	理科			
	H24	H27	H30	R4
調査年度	H24	H27	H30	R4
県（公立） 平均正答率 (%)	64.3	62.3	60	63
全国(公立) 平均正答率 (%)	60.9	60.8	60 (60.3)	63 (63.3)
県と全国との 差(pt)	3.4	1.5	0	0

■令和4年度の区分・領域別調査結果

	学習指導要領の区分・領域	理科			
		A区分		B区分	
		「エネルギー」を 柱とする領域	「粒子」を 柱とする領域	「生命」を 柱とする領域	「地球」を 柱とする領域
令和四年度	県(公立)平均正答率(%)	51.6	59.5	75.6	64.0
	全国(公立)平均正答率(%)	51.6	60.4	75.0	64.6
	県と全国との差(pt)	0.0	▲0.9	0.6	▲0.6

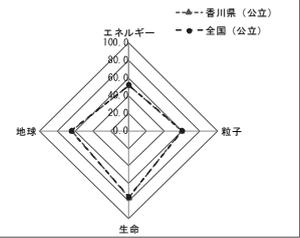
■平成24・27・30年度の区分・内容別調査結果

	学習指導要領の区分・内容	理科			
		A区分		B区分	
		エネルギー	物質	生命	地球
平成三十年度	県(公立)平均正答率(%)	53.9	58.5	71.6	49.4
	全国(公立)平均正答率(%)	53.1	59.8	73.6	49.5
	県と全国との差(pt)	0.8	▲1.3	▲2.0	▲0.1
平成二十七年度	県(公立)平均正答率(%)	66.5	58.5	63.4	58.7
	全国(公立)平均正答率(%)	65.6	57.4	61.2	57.8
	県と全国との差(pt)	0.9	1.1	2.2	0.9
平成二十四年度	県(公立)平均正答率(%)	65.7	65.3	70.1	53.5
	全国(公立)平均正答率(%)	59.8	61.4	68.6	50.6
	県と全国との差(pt)	5.9	3.9	1.5	2.9

問題別調査結果【理科】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			香川県(公立)	全国(公立)
全体		17	63	63.3
学習指導要領 の区分・領域	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	51.6	51.6
		「粒子」を柱とする領域	59.5	60.4
	B区分	「生命」を柱とする領域	75.6	75.0
		「地球」を柱とする領域	64.0	64.6
評価の観点	知識・技能	6	61.5	62.5
	思考・判断・表現	11	64.2	63.7
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	11	66.7	66.8
	短答式	3	66.4	66.2
	記述式	3	47.6	47.3

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の区分・領域		評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
			A区分	B区分			香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)
1(1)	見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ	問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる		3B (1)ア (ア)※	○	○	93.6	92.9	0.1	0.2
1(2)	自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く	自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討し、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる		3B (1)ア (イ)※	○	○	67.7	67.5	3.5	5.0
1(3)	昆虫の体のつくりの特徴を基に、ナナホシテントウが昆虫であるかどうかを説明するための視点を選ぶ	昆虫の体のつくりを理解している		3B (1)ア (イ)	○	○	71.3	73.1	0.1	0.3
1(4)	資料を基に、カブトムシは育ち方と主な食べ物の特徴から二次元の表のどこに当てはまるのかを選ぶ	提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		3B (1)ア (ア)※ (イ)※	○	○	77.2	76.1	0.4	0.7
1(5)	育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ	観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		3B (1)ア (ア)※ (イ)※	○	○	68.4	65.5	0.9	1.4
2(1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く	メスシリンダーという器具を理解している	4A (2)ア (ウ)		○	○	72.2	67.8	5.4	9.8
2(2)	水50mLをはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ	メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている	4A (2)ア (ウ)		○	○	67.0	70.0	0.7	0.6
2(3)	水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまとめを選ぶ	自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる	4A (2)ア (ウ) 5A (1)ア (ア)※ (イ)※		○	○	61.5	62.8	0.9	1.0
2(4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	4A (2)ア (ウ) 5A (1)ア (ア)※ (イ)※		○	○	39.4	39.3	5.3	8.7
3(1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	日光は直進することを理解している	3A (3)ア (ア)		○	○	27.7	27.8	0.3	0.6
3(2)	実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ	問題に対するまとめを導きだすことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している	3A (3)ア (ア) (イ)		○	○	73.5	74.4	0.8	1.3
3(3)	鏡ではね返した日光の位置が変化していることを基に、継続して同じ条件で実験を行うために、実験の方法を見直し、新たに追加した手順を書く	自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる	3A (3)ア (ア) (イ)※	3B (2)ア (ア)※	○	○	69.4	68.9	3.0	5.1
3(4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	3A (3)ア (ア) (イ)※		○	○	35.9	35.1	6.1	11.2
4(1)	冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ	観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		4B (4)ア (ア)※	○	○	81.7	82.3	0.6	1.0
4(2)	夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ	予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる		4B (4)ア (ア)※	○	○	62.9	64.5	0.9	1.3
4(3)	結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ	観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		4B (4)ア (ア)※	○	○	48.6	45.5	3.8	6.5
4(4)	鉄棒に付着していた水滴と水の粒は、何が変化したものかを書く	水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している	4A (2)ア (ウ)	4B (4)ア (イ)	○	○	57.4	62.0	3.5	6.2

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等をみるために用いる知識及び技能を示している。

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【小学校理科】（全17問中2問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2(1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く	粒子	知技	短答	72.2	5.4	4.4
4(3)	結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ	地球	思判表	選択	48.6	3.8	3.1

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【小学校理科】（全17問中2問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2(2)	水50mLをはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ	粒子	知技	選択	67.0	0.7	▲3.0
4(4)	鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く	粒子 地球	知技	短答	57.4	3.5	▲4.6

■正答率が低い問題（50%未満）

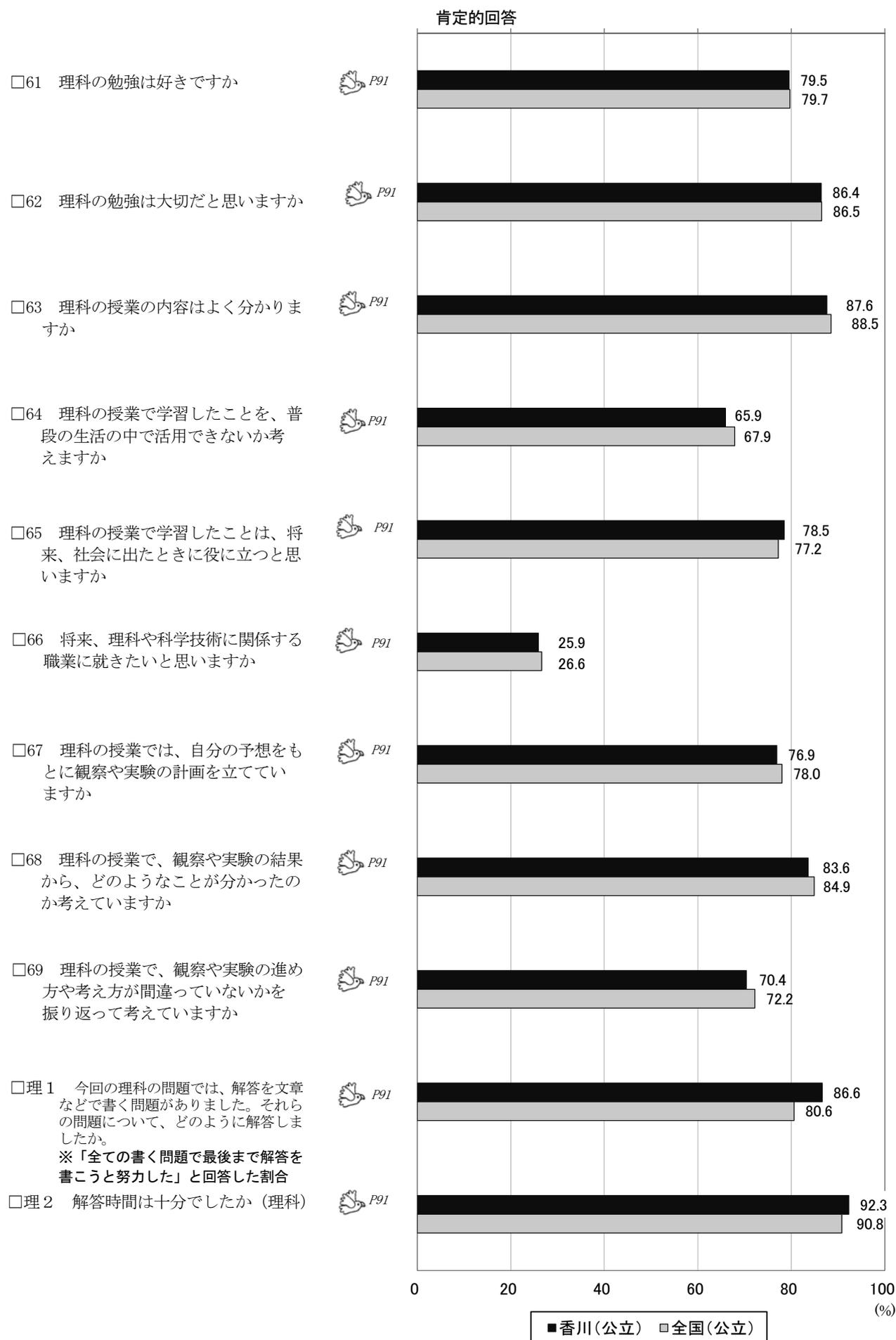
【小学校理科】（全17問中4問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2(4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	粒子	思判表	記述	39.4	5.3	0.1
3(1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	エネ	知技	選択	27.7	0.3	▲0.1
3(4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	エネ	思判表	記述	35.9	6.1	0.8
4(3)	結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ	地球	思判表	選択	48.6	3.8	3.1

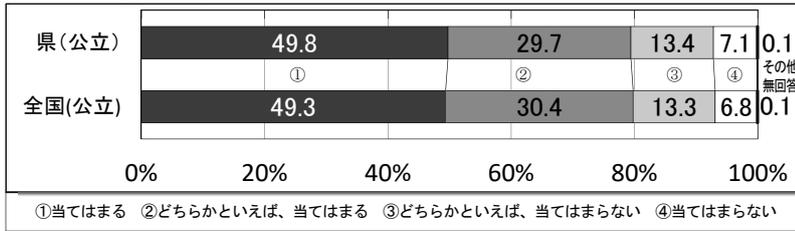
【領域】	【評価観点】	【問題形式】
エネルギー 粒子 生命 地球	: エネ : 粒子 : 生命 : 地球	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体
		選択式: 選択 短答式: 短答 記述式: 記述

Ⅲ
小
理
科

■小学校理科に関わる質問の全国との比較



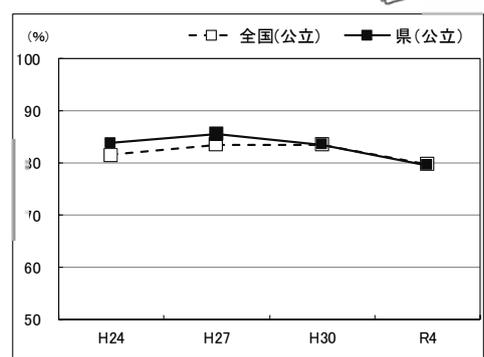
□61 理科の勉強は好きですか



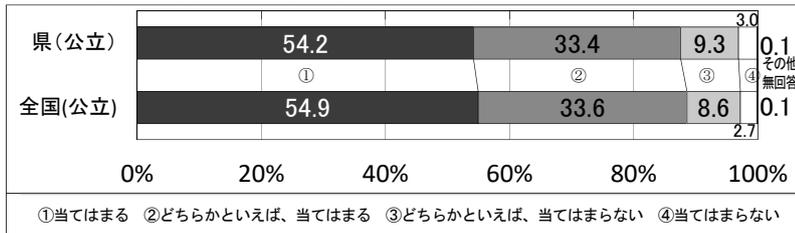
肯定的に回答した児童の割合

	H24	H27	H30	R4
県(公立)(%)	83.8	85.6	83.5	79.5
全国(公立)(%)	81.5	83.5	83.5	79.7
県と全国の差(pt)	2.3	2.1	0.0	▲0.2

肯定的回答



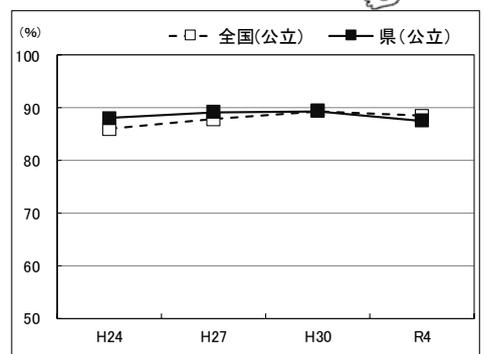
□63 理科の授業の内容はよくわかりますか



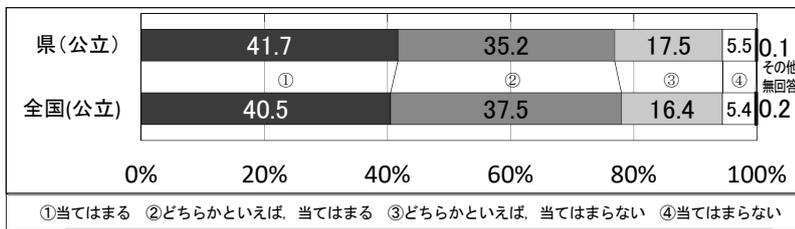
肯定的に回答した児童の割合

	H24	H27	H30	R4
県(公立)(%)	88.1	89.2	89.4	87.6
全国(公立)(%)	86.0	87.9	89.4	88.5
県と全国の差(pt)	2.1	1.3	0.0	▲0.9

肯定的回答



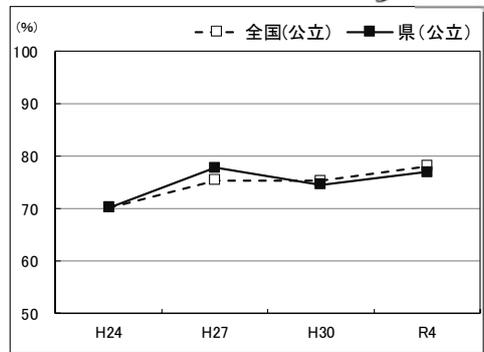
□67 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか



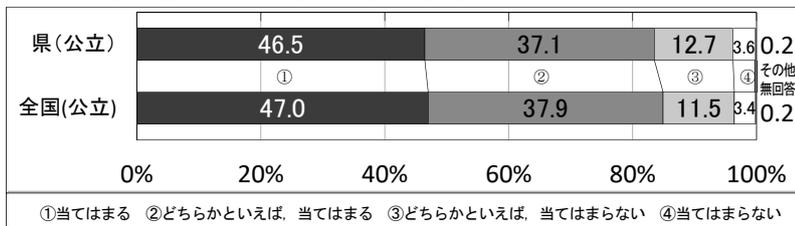
肯定的に回答した児童の割合

	H24	H27	H30	R4
県(公立)(%)	70.1	77.7	74.5	76.9
全国(公立)(%)	70.1	75.3	75.2	78.0
県と全国の差(pt)	0.0	2.4	▲0.7	▲1.1

肯定的回答



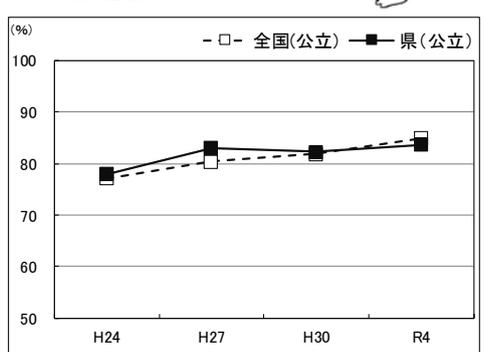
□68 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか



肯定的に回答した児童の割合

	H24	H27	H30	R4
県(公立)(%)	77.9	83.0	82.3	83.6
全国(公立)(%)	77.1	80.4	81.8	84.9
県と全国の差(pt)	0.8	2.6	0.5	▲1.3

肯定的回答



小学校理科

調査結果から授業改善へ

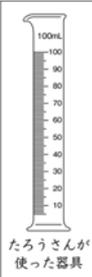
器具や機器の操作にどのような意味があるのかを理解し、実験の目的に応じて正しく取り扱うことができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

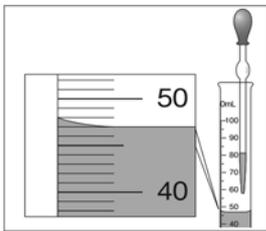
小学校 理科 2(2)

2

(1) たろうさんは、実験で使用する砂糖水と食塩水をつくるために、水50 mLを右のような器具を使ってはかりとることにしました。
たろうさんが使った器具の名前を書きましょう。



(2) (1)の器具に、次の図のように、50の目盛りよりも下まで水を入れました。50 mLの水をはかりとるためには、このあとスポイトでどれだけの水を入れるとよいですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



- 1 2 mL
- 2 3 mL
- 3 4 mL
- 4 6 mL

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
2	1 1 と解答しているもの	19.6	17.4	
	2 2 と解答しているもの	67.0	70.0	◎
	3 3 と解答しているもの	9.1	8.5	
	4 4 と解答しているもの	3.4	3.3	
	99 上記以外の解答	0.1	0.1	
	0 無解答	0.7	0.6	
正答率		67.0	70.0	

分析・考察

- 本問題の本県の正答率は、67.0%であり、全国の正答率を3.0ポイント下回っている。2(1)実験器具の名称（メスシリンダー）を書く問題では、全国の正答率を4.4ポイント上回っているが、メスシリンダーに入れた水の体積を液面の位置に注意して正確に読み取る技能に課題がある。
- 解答類型1の反応率は19.6%である。これは、水がガラス壁面の影響を受けて盛り上がった位置を液面だと誤って捉え「48mL」と読み取ってしまっていると考えられる。解答累計3と4の反応率の合計は12.5%であり、このメスシリンダーの1目盛りが何mLを表しているのかを理解できていないと考えられる。

授業改善のポイント

【個々が器具や機器の操作の意味と正しい扱い方を理解した上で操作技能を高められるようにする】

児童に器具や機器を操作させる活動では、正しい扱い方だけでなく、その操作の意味も理解させることが重要である。また、グループ毎に実験を行わせる場合、一部の限られた児童のみが器具や機器を扱うことがないよう留意する必要がある。

例えば、メスシリンダーで水を量り取る方法を指導する際には、メスシリンダーを水平な場所に置くことや読み取る目の高さを液面と同じにすること、量り取りたい体積の少し手前で注ぐのを止めてスポイト等で微調整すること等、あらゆる操作が正確に量り取るために必要不可欠であり、意味があるということを経験によって理解することが重要である。操作方法を一斉指導する際には、操作方法を解説したデジタルコンテンツ（動画等）を活用すると短時間で効率よく説明できる。さらに1人1台端末と併せて活用すれば、児童が手元で必要な時に何度も繰り返して操作方法を確認できる。

また、器具や機器を扱う機会を全員にできるだけ多く確保するためには、実験を行うグループをできるだけ少人数に設定する方法が考えられる。その他、実験結果を検証するための再実験や児童の新たな気付きや疑問に応じた追加実験を設定することも考えられる。実験の回数が増えることで実験結果のデータも増えるが、これらを効率よく短時間で整理する際にもICTは効果的に活用できる。

調査結果から授業改善へ

実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 理科 ③(4)

3 【問題】
はね返した日光を水の入ったかんにあてると、何色のかんの水の温度が最も高くなるのか。

たかしさんは、次のような実験をしました。

【方法】
固定した温度計
空きかん

①同じ種類、同じ大きさの空きかんに色をぬる。(黒色、赤色、青色、白色)
②それぞれの空きかんに、同じ量の水を入れ、温度計をとりつける。
③はね返した日光をかんにあて、0分、20分後、40分後のかんの中の水の温度をはかる。

中 略

実験の【結果】は、下の表のようになりました。

【結果】 (かんの色による水の温度の変化)

かんの色	時間	0分	20分後	40分後
黒		24℃	28℃	32℃
赤		24℃	27℃	29℃
青		24℃	27℃	30℃
白		24℃	25℃	26℃

【問題】に対するまどめは、「はね返した日光を水の入ったかんにあてると、黒色のかんの水の温度が最も高くなる。」といえる。

(4) はなこさんが、下線部のようにまとめたわけを上の【結果】を使って書きましょう。

問題番号	解答類型	県 反応率(%)	全国 反応率(%)	正答
③	(正答の条件) 次の①、②、③、④の全てを記述している。 ①「黒色のかん」、「黒以外のかん」など、結果のうち、黒色の缶、または、それ以外の缶の色について言及する趣旨で解答しているもの ②「40分後には」、「最後には」など、結果のうち、時間について言及する趣旨で解答しているもの ③「28℃」、「32℃」など、結果のうち、缶の水の温度について言及する趣旨で解答しているもの ④「黒のかんの水の温度よりも高い」、「一番水の温度が高い」など、缶の水の温度を比較することを示す趣旨で解答しているもの			
④	(正答例) ・黒色のかんの水の温度は、40分後には32℃で、ほかのかんの水の温度よりも高いから			
1	①、②、③、④の全てを記述しているもの	12.7	11.2	◎
2	①、②、④を記述しているもの (正答例) ・黒色のかんの水の温度は、40分後、ほかのかんの水の温度より高かったから。	21.8	22.5	○
3	①、③、④を記述しているもの (正答例) ・黒色のかんの水の温度は32℃で、ほかのかんの水の温度より高かったから	1.3	1.4	○
4	①、②、③を記述しているもの	1.7	1.4	
5	①、②、または、①、③を記述しているもの	1.8	1.7	
6	①、④を記述しているもの	20.4	19.3	
7	②、③、④、または、②と③のみを記述しているもの	2.8	3.2	
8	②、③、または、②と③のみを記述しているもの	1.1	1.2	
9	①、②、③、④の条件に当てはまらず、結果のみを示す形で記述しているもの	1.3	1.2	
10	結果を用いず、原因を示す形で記述しているもの	23.9	19.5	
99	上記以外の解答	5.1	6.2	
0	無解答	6.1	11.2	
	正答率	35.9	35.1	

分析・考察

- 本問題の本県の正答率は、35.9%であり、全国の正答率を0.8ポイント上回っているものの、実験で得た結果を「問題の視点」で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を的確に表現することに課題がある。
- 解答類型6の反応率は20.4%であり、「黒色のかんの水の温度は、ほかの色のかんの水より高かったから」というように「時間」もしくは「水温」といった結果から分かる詳細な事実を記述していないと考えられる。
- 解答類型10の反応率は23.9%であり、「黒色は光を吸収し、熱をもつから」というように「まとめたわけ」ではなく「結果のわけ(原因)」を記述しており、題意を正確に捉えることができていないと考えられる。

授業改善のポイント

【常に「問題の視点」を意識して表現しながら問題解決を進める】

理科では、児童が自ら問題を見だし、予想や仮説を基に観察、実験等を行い、結果を整理し、その結果を基に結論を導き出すといった学習者主体の問題解決学習が重要である。こうした問題解決学習を支える根幹が「問題の視点」、つまり「何を確かめようとしているのかという視点」であり、実験計画や実験結果、結論を発表する際には、必ず「問題の視点」を意識して自分なりに表現させることが必要である。

【実験結果から結論を導き出す前に、一旦立ちどまって事実を整理、分析し、自分なりに解釈する】

実験結果の表やグラフからすぐに結論を導き出すのではなく、一旦立ち止まって実験結果から分かった事実を全て整理し、自分なりに解釈してから最終的な結論へと絞りこむことが重要である。その際にも「問題の視点」を意識することは必要である。最初に見いだした問題は単純であっても、練り上げた実験を行うことで数多くの事実を確かめることができる。また同時に、はっきりと確かめることができなかつた事や別の方法でも確かめてみたい事等も明確になり、次の新たな問題発見へとつながる。

4 中学校国語 <調査の分析・検証>

概要

国語について、県と全国の平均正答率の比較から、全国平均より上回っている。

- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」で上回っている。
- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「我が国の言語文化に関する事項」で同等である。
- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「読むこと」で下回っている。

令和4年度調査結果の集計値

中学校国語	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県（公立）	7,198	67	9.8 / 14	70
全国(公立)	891,820	9,340	9.7 / 14	69 (69.0)

平成30年度～令和4年度の県と全国の調査結果

調査区分	国語A	国語B	国語		
			H30	R元	R3
県（公立） 平均正答率 (%)	76	60	73	64	70
全国(公立) 平均正答率 (%)	76 (76.1)	61 (61.2)	73 (72.8)	65 (64.6)	69 (69.0)
県と全国との 差(pt)	0	▲1	0	▲1	1

■令和4年度の内容別調査結果

学習指導要領の内容	国語					
	思考力、判断力、表現力等			知識及び技能		
	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項
県(公立)平均正答率(%)	65.7	50.3	67.5	73.3	50.3	70.2
全国(公立)平均正答率(%)	63.9	46.5	67.9	72.2	46.5	70.2
県と全国との差(pt)	1.8	3.8	▲0.4	1.1	3.8	0.0

■令和元・3年度の領域等別調査結果

	学習指導要領の領域等	国語			
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
令和3年度	県(公立)平均正答率(%)	79.0	56.2	48.3	74.6
	全国(公立)平均正答率(%)	79.8	57.1	48.5	75.1
	県と全国との差(pt)	▲0.8	▲0.9	▲0.2	▲0.5
令和元年度	県(公立)平均正答率(%)	69.1	83.9	72.1	67.5
	全国(公立)平均正答率(%)	70.2	82.6	72.2	67.7
	県と全国との差(pt)	▲1.1	1.3	▲0.1	▲0.2

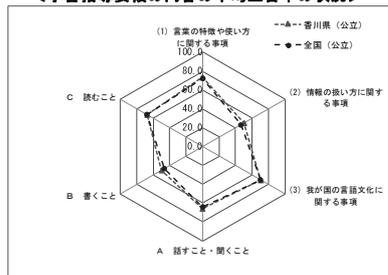
■平成30年度の領域等別調査結果

	学習指導要領の領域等	国語			
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
国語A	県(公立)平均正答率(%)	74.4	72.7	76.3	76.8
	全国(公立)平均正答率(%)	75.2	73.9	76.7	76.5
	県と全国との差(pt)	▲0.8	▲1.2	▲0.4	0.3
国語B	県(公立)平均正答率(%)	74.6	31.5	52.1	49.6
	全国(公立)平均正答率(%)	76.6	31.3	53.5	49.2
	県と全国との差(pt)	▲2.0	0.2	▲1.4	0.4

■問題別調査結果【国語】

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			香川県(公立)	全国(公立)	
全体		14	70	69.0	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	6	73.3	72.2
		(2)情報の扱い方に関する事項	1	50.3	46.5
		(3)我が国の言語文化に関する事項	3	70.2	70.2
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	65.7	63.9
		B 書くこと	1	50.3	46.5
		C 読むこと	2	67.5	67.9
評価の観点	知識・技能	10	70.1	69.0	
	思考・判断・表現	6	63.7	62.3	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	6	73.4	73.7	
	短答式	5	70.9	70.3	
	記述式	3	60.5	57.4	

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)				
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)
			(1)	(2)	(3)	A	B	C									
1一	スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す	聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する					1ウ			○	○	76.5	74.7	3.5	3.8		
1二	話の進め方のよさを具体的に説明したのとして適切なものを選択する	論理の展開などに注意して聞く					2エ			○	○	63.9	65.1	0.2	0.1		
1三	スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す	1ア				1ウ			○	○	56.6	51.8	12.1	16.2		
2一	意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する	助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う	2オ							○	○	81.8	82.3	0.3	0.2		
2二①	漢字を書く(のぞく)	文脈に即して漢字を正しく書く	2ウ							○	○	82.5	82.1	6.2	8.8		
2二②	漢字を書く(よるこんで)		2ウ							○	○	80.5	80.5	2.0	3.3		
2三	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く		1イ			1ウ			○	○	50.3	46.5	7.7	9.0		
3一	「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する	表現の技法について理解する	1オ							○	○	54.6	52.5	0.5	0.7		
3二	「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解する	1ウ							○	○	83.9	84.0	0.4	0.3		
3三	話の展開に沿って「おれ」の行動や心情を並べ替える	場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える						1イ		○	○	60.4	62.0	1.0	1.0		
3四	「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く	場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する						1ウ		○	○	74.5	73.8	10.1	13.3		
4一	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する					1エ(4)			○	○	40.9	39.4	0.7	0.9		
4二	最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する	漢字の行書の読みやすい書き方について理解する					2ウ(7)			○	○	89.7	90.1	0.8	1.0		
4三	書き直した文字の「と」の書き方について説明したものとして適切なものを選択する	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する					2ウ(7)			○	○	80.1	81.1	0.8	1.1		

■ 正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校国語】（全14問中2問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(p)
1三	スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く	話聞言葉	知技 思判表	記述	56.6	12.1	4.8
2三	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	情報書く	知技 思判表	短答	50.3	7.7	3.8

■ 正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校国語】（全14問中） 無し

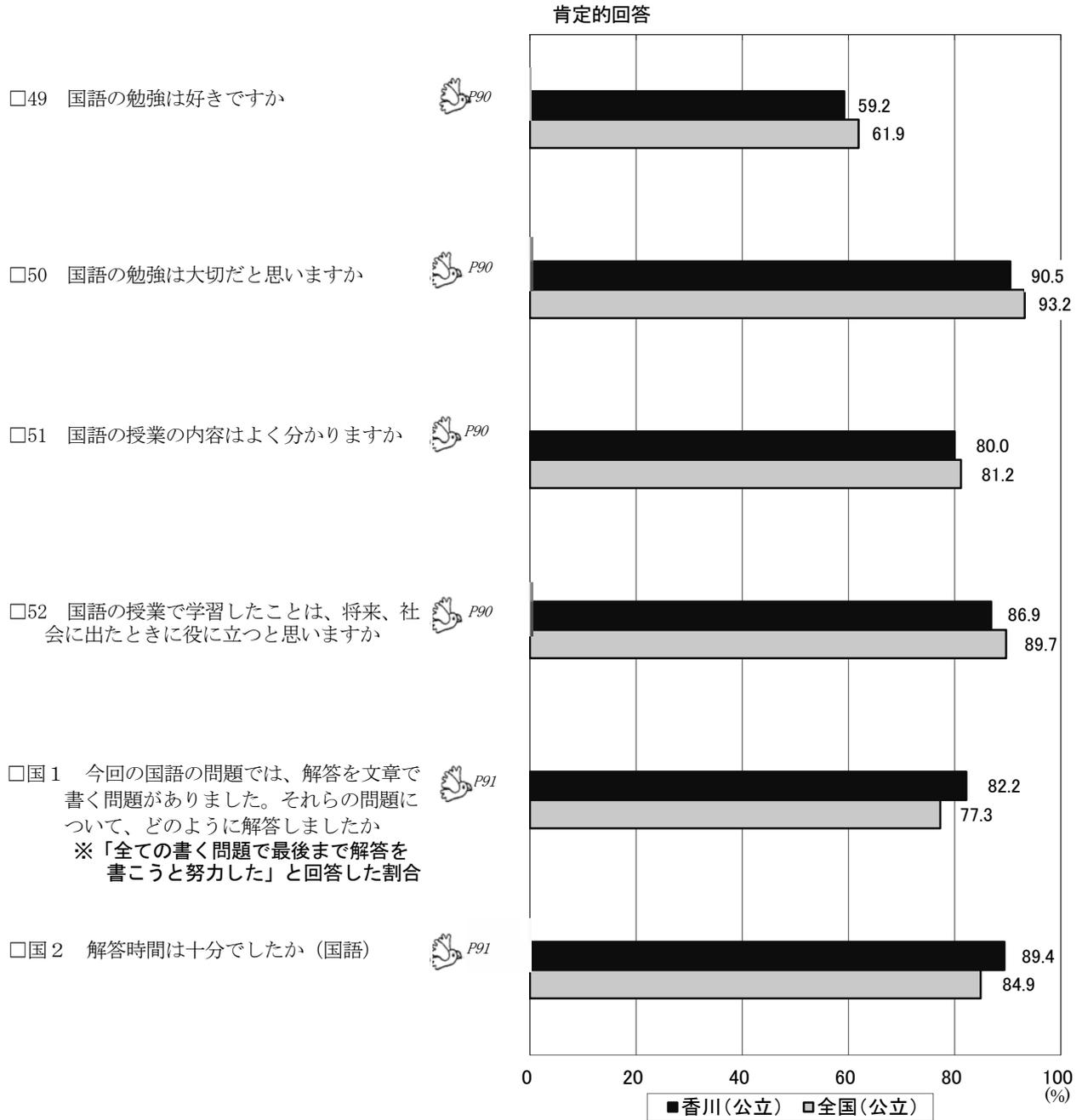
■ 正答率が低い問題（50%未満）

【中学校国語】（全14問中1問）

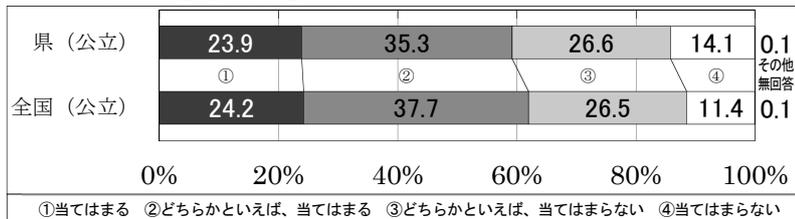
問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(p)
4一	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	文化	知技	選択	40.9	0.7	1.5

【内容】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと : 話聞 書くこと : 書く 読むこと : 読む 言葉の特徴や使い方に関する項 : 言葉 情報の扱い方に関する事項 : 情報 我が国の言語文化に関する事項 : 文化	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

■中学校国語に関わる質問の全国との比較

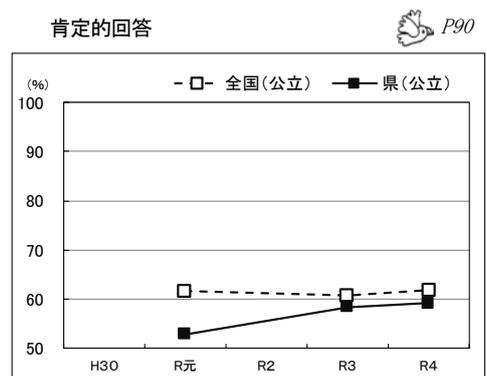


□49 国語の勉強は好きですか

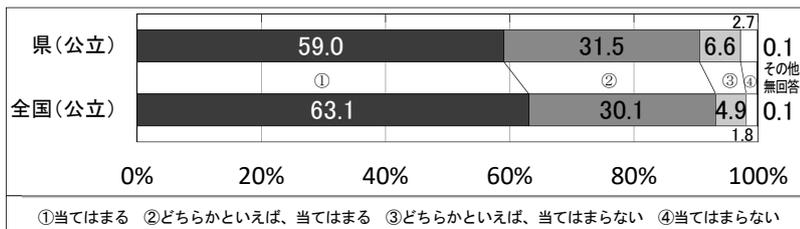


肯定的に回答した児童の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)		52.8		58.4	59.2
全国(公立)(%)		61.7		60.8	61.9
県と全国の差(pt)		▲8.9		▲2.4	▲2.7



□50 国語の勉強は大切だと思いますか

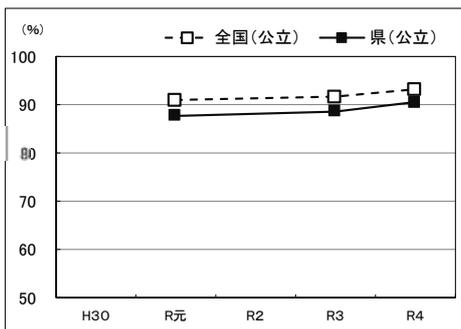


肯定的に回答した生徒の割合

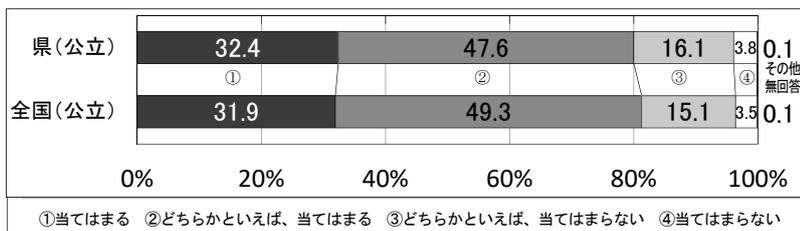
	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)		87.8		88.6	90.5
全国(公立)(%)		91.0		91.6	93.2
県と全国の差(pt)		▲3.2		▲3.0	▲2.7

肯定的回答

P90



□51 国語の授業の内容はよく分かりますか

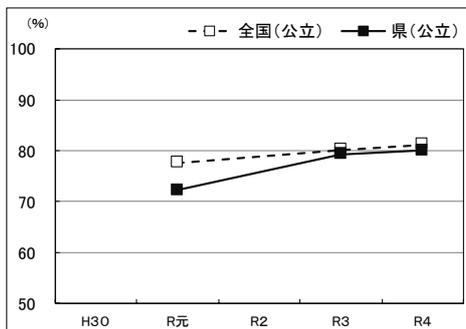


肯定的に回答した生徒の割合

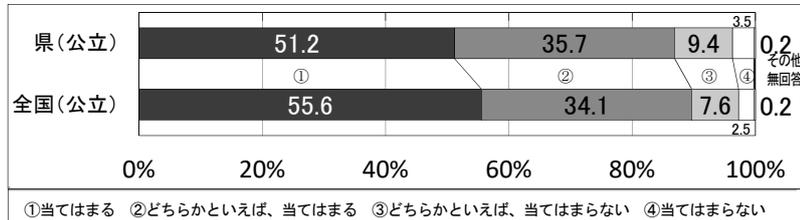
	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)		72.2		79.3	80.0
全国(公立)(%)		77.6		80.1	81.2
県と全国の差(pt)		▲5.4		▲0.8	▲1.2

肯定的回答

P90



□52 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

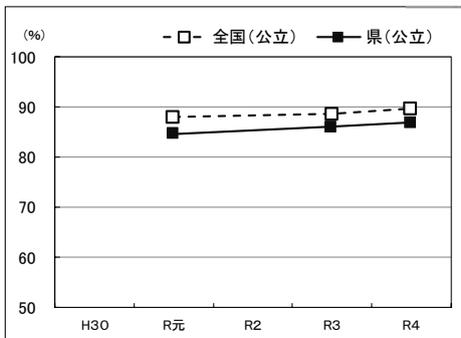


肯定的に回答した生徒の割合

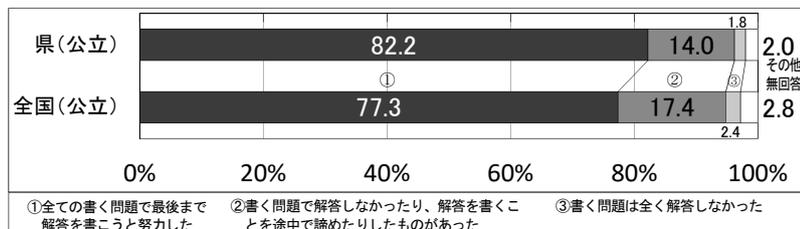
	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)		84.6		86.0	86.9
全国(公立)(%)		88.0		88.7	89.7
県と全国の差(pt)		▲3.4		▲2.7	▲2.8

肯定的回答

P90



□国1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか

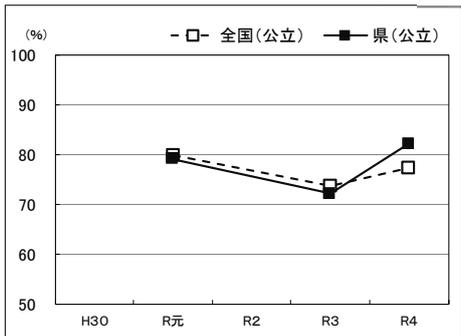


①と回答した生徒の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)		79.1		72.1	82.2
全国(公立)(%)		79.8		73.7	77.3
県と全国の差(pt)		▲0.7		▲1.6	4.9

①と回答

P91



※H30は該当の質問はなし。R2は全国学力・学習状況調査を実施していない。

論理の展開などに注意して聞くことができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 国語 1 二

問題番号	解答類型		県反応率(%)	全国反応率(%)	正答
	1	2			
1 二	1	1と解答	10.5	11.2	
	2	2と解答	6.8	6.0	
	3	3と解答	63.9	65.1	◎
	4	4と解答	18.5	17.5	
	99	上記以外の解答	0.0	0.0	
	0	無解答	0.2	0.1	
	正答率		63.9	65.1	

1 川口さんは、国語の時間に、最近気になったことについてスピーチをする学習に取り組んでいます。川口さんは、動画に自分のスピーチを記録し、それを田中さんに見せて助言をもらっています。次の【川口さんのスピーチ】
【二人の会話の一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

二 【二人の会話の一部】で田中さんは、線部②「始めに話したこととながっている点が良い」と述べていますが、これを具体的に説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 インターネットの「利便さを実感」していることの例として、総合的な学習の時間での自分の経験を挙げています。

2 インターネットの「利便さを実感」していることの例として、友達が話してくれた言葉を挙げています。

3 「やりとりをスムーズに行にくい」ということの例として、総合的な学習の時間での自分の経験を挙げています。

4 「やりとりをスムーズに行にくい」ということの例として、友達が話してくれた言葉を挙げています。

分析・考察

- 本問題は、論理の展開等に注意して聞くことができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は、63.9%で全国を1.2ポイント下回っている。
- 解答類型1、2、4の反応率の合計は、35.8%である。解答類型1、2の生徒は、川口さんが「一方で、相手と直接会っていないので、やりとりをスムーズに行にくい」と述べていることを捉えることができているものと考えられる。解答類型4の生徒は、「やりとりをスムーズに行う」ための方法の一つである「相手の言ったことに対して相づちを打つように気を付けていました」という「友達が話してくれた言葉を、やりとりをスムーズに行にくい」ということの例と捉えたものと考えられる。

授業改善のポイント

【観点を明確にし、話し手と聞き手両方の立場からねらいに迫る】

話し手の考えを聞いて自分の考えをまとめる際には、情報同士の結び付きに注意しながら、話の要点を捉えたり、意見に対する根拠の適切さを判断したりして聞くことが大切である。

授業においては、まず、何のために、だれを対象に、どのような状況で話したり聞いたりするのかを具体的に考え、話し方や聞き方を工夫することができる言語活動を設定したい。その上で、意見と根拠、具体と抽象等情報と情報との関係について意識できるよう、話し手と聞き手両方の立場から、話の中心となる意見とその根拠や具体例等が適切なものとなっているか、話し合う活動等を通して確かめ合いたい。ICT 端末で録画したスピーチをもとに話し合うことも効果的である。その際、「意見に対する根拠や言葉遣いは適切か」など相手や目的に合わせた観点を明確にもち、動画を止めたり繰り返したりしながら確認することが大切である。

場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 国語 3 三

問題番号	解答類型	県反応率(%)	全国反応率(%)	正答
3 三	1 A→B→Cと解答しているもの	0.8	0.7	
	2 A→C→Bと解答しているもの	2.5	2.1	
	3 B→A→Cと解答しているもの	11.7	10.3	
	4 B→C→Aと解答しているもの	60.4	62.0	◎
	5 C→A→Bと解答しているもの	3.6	3.5	
	6 C→B→Aと解答しているもの	19.6	20.1	
	99 上記以外の解答	0.4	0.2	
	0 無解答	1.0	1.0	
		正答率	60.4	62.2

3 次
三 次の文章は、「こどもの日浅い水辺を海にして」という俳句から想像を広げることので生まれた小説です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

A 昔のことについて、母と電話で押し問答をする。
B 息子の遊ぶ様子を見ながら、不意に妙ななつかしさにとらわれる。
C 息子への申し訳なさを募らせつつ、目の前の息子を頼もしく思う。

三 次のAからCまでの「おれ」の行動や心情を、話の展開に沿って順番に並べ替えるなどどのようになりますか。A、B、Cを適切に並べ替えて書きなさい。

分析・考察

- 本問題は、場面の展開や登場人物の心情の変化等について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は、60.4%で全国の正答率を1.6ポイント下回っている。
- 解答類型1～3、5、6の反応率の合計は、38.2%である。このように解答した生徒は、話の展開を確かめながら、A～Cの順番を整理することができていないものと考えられる。解答類型6の生徒は、Aが作品終盤の「おれ」の行動であることを捉えることはできているが、息子の遊ぶ様子を見ている場面での「おれ」の心情の変化を捉えることができていないものと考えられる。B、Cは、いずれも息子の遊ぶ様子を見ている「おれ」の心情であるが、本文にある「水辺での遊びを満喫しているらしい息子を頼もしく思う気持ちも芽生えていた」という表現に着目して心情を捉えることができていないものと考えられる。

授業改善のポイント

【全文を貫く課題を設定し、複数の場面を関連付けて読む】

文学的な文章を読み味わう際には、個々の場面や描写から直接分かることを把握するだけでなく、複数の場面を相互に結び付けたり、各場面と登場人物の心情や行動、情景等の描写とを結び付けたりすることによって、場面や描写に新たな意味付けを行うことが重要である。

授業においては、題名の意味や登場人物の成長を考えるなど、全文を貫く課題を設定し、複数の場面を同時に扱ったり、前の場面に戻って確かめたりするような学習展開にすることで、本問題で問われている場面の展開や登場人物の心情の変化等について捉えることができるようになる。その際、描写については、例えば、心情を表す言葉を取り上げてその変化をたどったり、叙述の細かな違いに注意して読み、それぞれの叙述が表している心情の違いを考えたりする学習活動が考えられる。このような学習を通して、生徒にある程度分量のある文章の読み方を習得させ、楽しみを味わわせて、豊かな読書生活を基盤にした読解力の向上を図りたい。

5 中学校数学 <調査の分析・検証>

概要

数学について、県と全国の平均正答率の比較から、全国平均より上回っている。

- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、全ての領域で上回っており、特に「数と式」の領域で大きく上回っている。

■令和4年度調査結果の集計値

中学校数学	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県(公立)	7,208	67	7.7 / 14	55
全国(公立)	891,913	9,339	7.2 / 14	51 (51.4)

■平成30年度～令和4年度の県と全国の調査結果

調査区分	数学A	数学B	数学		
			R元	R3	R4
調査年度	H30		R元	R3	R4
県(公立) 平均正答率 (%)	67	46	60	56	55
全国(公立) 平均正答率 (%)	66 (66.1)	47 (46.9)	60 (59.8)	57 (57.2)	51 (51.4)
県と全国との 差(pt)	1	▲1	0	▲1	4

■令和4年度の領域別調査結果

学習指導要領の領域	数学			
	数と式	図形	関数	データの活用
県(公立)平均正答率(%)	64.8	44.5	47.2	57.8
全国(公立)平均正答率(%)	57.4	43.6	43.6	57.1
県と全国との差(pt)	7.4	0.9	3.6	0.7

■令和元・3年度の領域別調査結果

	学習指導要領の領域	数学			
		数と式	図形	関数	資料の活用
令和3年度	県(公立)平均正答率(%)	64.0	49.8	54.9	54.3
	全国(公立)平均正答率(%)	64.9	51.4	56.4	53.8
	県と全国との差(pt)	▲0.9	▲1.6	▲1.5	0.5
令和元年度	県(公立)平均正答率(%)	65.8	71.7	41.9	55.9
	全国(公立)平均正答率(%)	63.8	72.4	40.8	56.3
	県と全国との差(pt)	2.0	▲0.7	1.1	▲0.4

■平成30年度の領域別調査結果

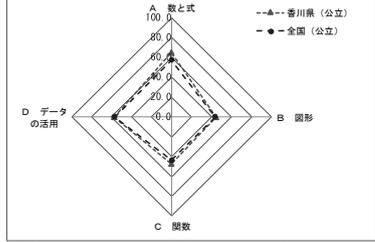
	学習指導要領の領域	数学			
		数と式	図形	関数	資料の活用
数学A	県(公立)平均正答率(%)	73.5	68.6	56.5	63.3
	全国(公立)平均正答率(%)	71.1	69.1	55.5	63.5
	県と全国との差(pt)	2.4	▲0.5	1.0	▲0.2
数学B	県(公立)平均正答率(%)	51.0	45.8	50.9	36.1
	全国(公立)平均正答率(%)	51.4	46.7	52.8	38.0
	県と全国との差(pt)	▲0.4	▲0.9	▲1.9	▲1.9

■問題別調査結果【数学】

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			香川県(公立)	全国(公立)
	全体	14	55	51.4
学習指導要領の領域	A 数と式	5	64.8	57.4
	B 図形	3	44.5	43.6
	C 関数	3	47.2	43.6
	D データの活用	3	57.8	57.1
評価の観点	知識・技能	9	64.7	59.9
	思考・判断・表現	5	38.0	36.2
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	4	54.7	52.6
	短答式	5	72.7	65.7
	記述式	5	38.0	36.2

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)			
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)		
1	42を素因数分解する	自然数を素数の積で表すことができる	1(1) ア(イ)				○					○			80.7	52.2	4.5	11.5
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 2x+y=1 \\ y=x+4 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2) ア(ウ)				○					○			79.3	74.5	4.4	6.1
3	ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ	反例の意味を理解している		2(2) ア(イ)			○					○			44.7	44.9	0.5	0.4
4	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	一次関数の変化の割合の意味を理解している			2(1) ア(ア)		○					○			45.8	37.9	0.4	0.4
5	容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している				1(2) ア(ア)	○					○			83.6	83.3	0.3	0.3
6(1)	同じ偶数の和である $2n+2n=4n$ について、 n が9のときのような計算を表しているかを書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	2(1) ア(イ)				○					○			73.9	73.8	5.5	6.0
6(2)	差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1) イ(イ)				○					○			53.1	48.7	14.9	20.0
6(3)	ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	2(1) イ(イ)				○					○			37.1	37.6	20.6	26.2
7(1)	コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる				1(1) イ(ア)	○					○			45.1	44.0	1.2	1.4
7(2)	箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ	箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる				2(1) ア(ア)	○					○			44.7	44.1	0.7	0.7
8(1)	与えられたグラフにおいて、点Eの座標を書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる				1(1) ア(ウ) イ(イ)	○					○			54.9	54.6	5.9	7.2
8(2)	目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる				1(1) イ(イ)	○					○			40.8	38.4	19.8	24.4
9(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している				2(2) ア(ア)	○					○			74.6	73.2	7.0	7.5
9(2)	$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する	筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる				2(2) イ(イ)	○					○			14.2	12.5	30.7	38.5

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校数学】（全14問中4問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1	42を素因数分解する	数式	知技	短答	80.7	4.5	28.5
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 2x + y = 1 \\ y = x + 4 \end{cases}$ を解く	数式	知技	短答	79.3	4.4	4.8
3	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	関数	知技	選択	45.8	0.4	7.9
6(2)	差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する	数式	思判表	記述	53.1	14.9	4.4

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校数学】（全14問中）なし

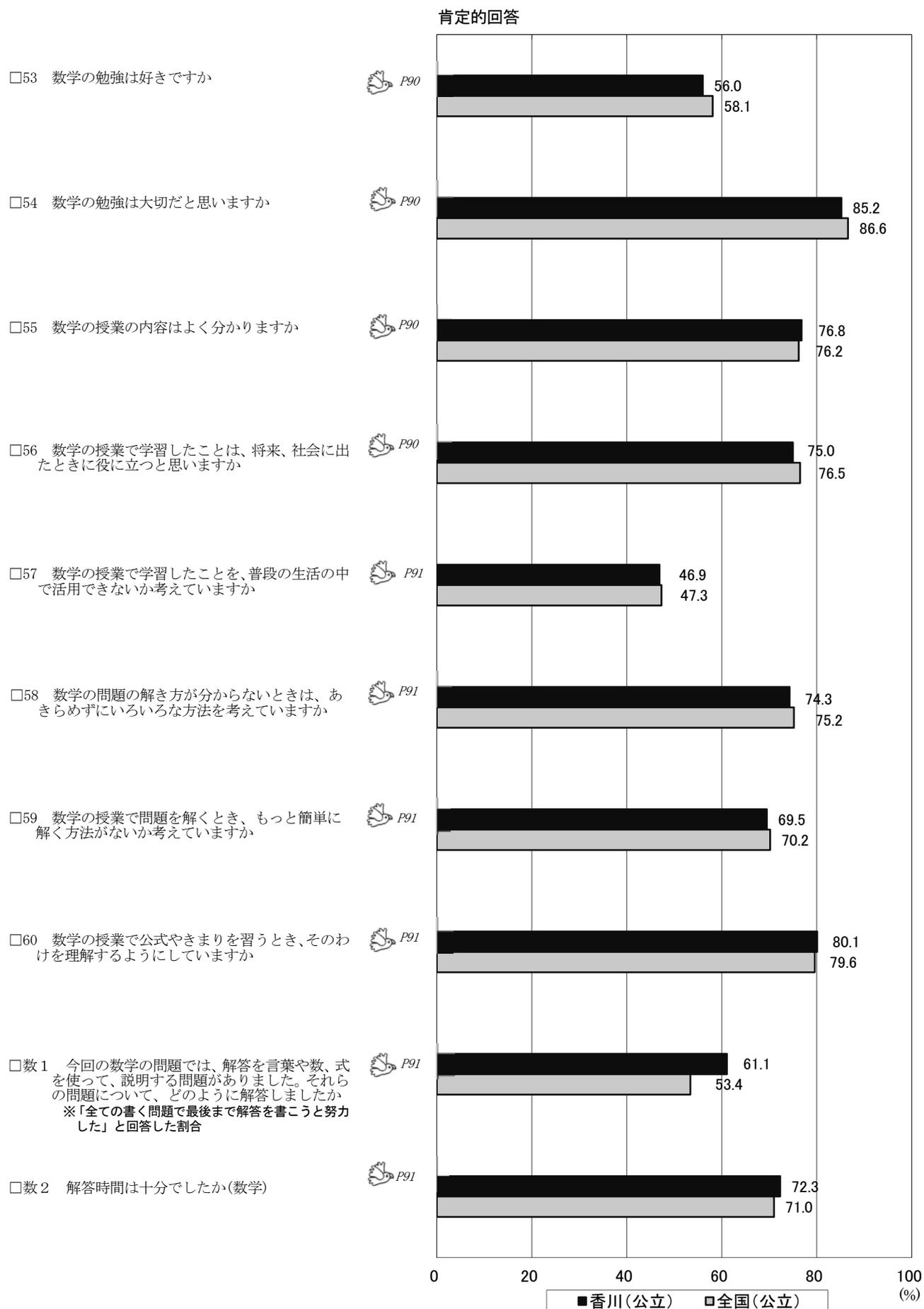
■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校数学】（全14問中7問）

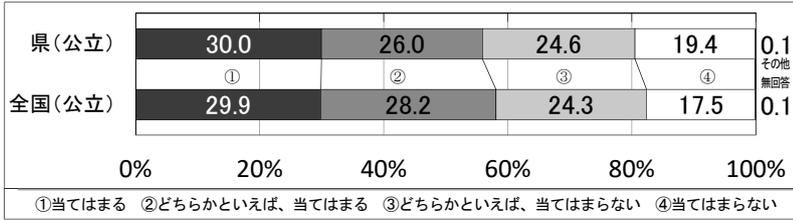
問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
3	ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ	図形	知技	選択	44.7	0.5	▲0.2
4	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	関数	知技	選択	45.8	0.4	7.9
6(3)	ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する	数式	思判表	記述	37.1	20.6	▲0.5
7(1)	コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する	デ活	思判表	記述	45.1	1.2	1.1
7(2)	箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ	デ活	知技	選択	44.7	0.7	0.6
8(2)	目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する	関数	思判表	記述	40.8	19.8	2.4
9(2)	$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する	図形	思判表	記述	14.2	30.7	1.7

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と式 図形 関数 データの活用	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述
: 数式 : 図形 : 関数 : デ活	: 知技 : 思判表 : 主体	

■中学校数学に関わる質問の全国との比較



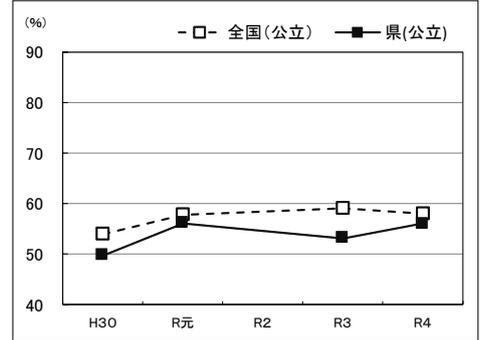
□53 数学の勉強は好きですか



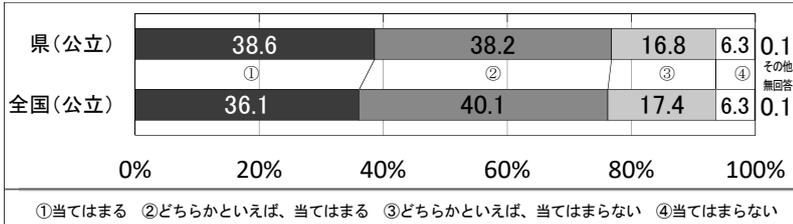
肯定的に回答した生徒の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)	49.8	56.1		53.2	56.0
全国(公立)(%)	53.9	57.9		59.1	58.1
県と全国の差(pt)	▲4.1	▲1.8		▲5.9	▲2.1

肯定的回答



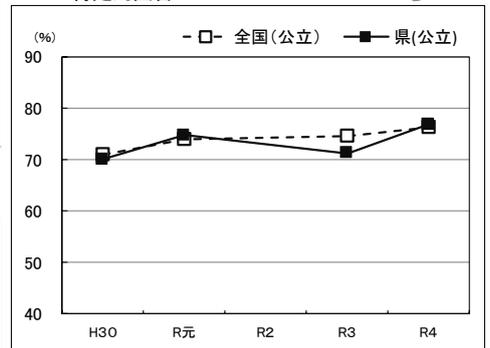
□55 数学の授業の内容はよく分かりますか



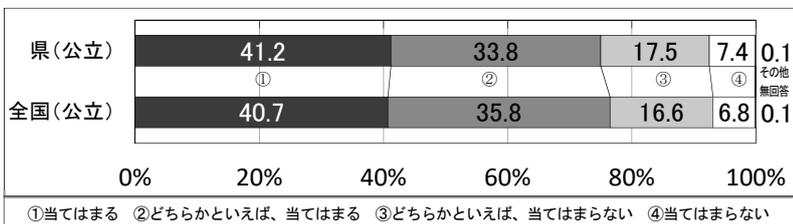
肯定的に回答した生徒の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)	70.1	74.7		71.2	76.8
全国(公立)(%)	71.0	73.9		74.6	76.2
県と全国の差(pt)	▲0.9	0.8		▲3.4	0.6

肯定的回答



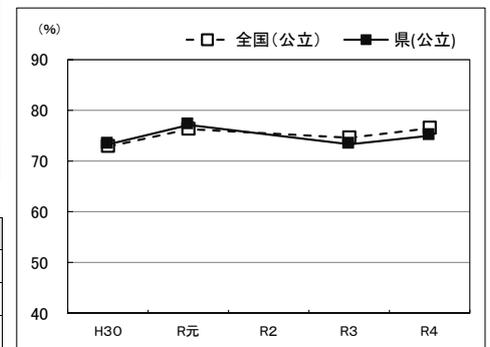
□56 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



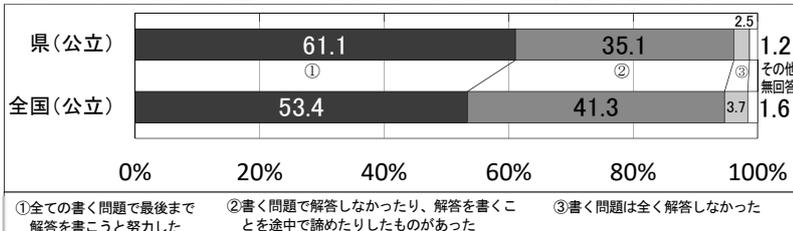
肯定的に回答した生徒の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)	73.4	77.2		73.4	75.0
全国(公立)(%)	72.9	76.2		74.6	76.5
県と全国の差(pt)	0.5	1.0		▲1.2	▲1.5

肯定的回答



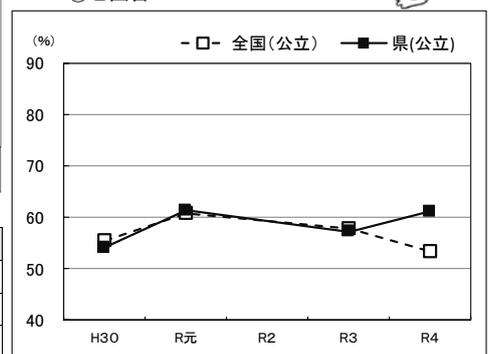
□数1 今回の数学の問題では、言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



①と回答した生徒の割合

	H30	R元	R2	R3	R4
県(公立)(%)	54.1	61.3		57.2	61.1
全国(公立)(%)	55.5	60.8		57.8	53.4
県と全国の差(pt)	▲1.4	0.5		▲0.6	7.7

①と回答



※R2は全国学力・学習状況調査を実施していない。

中学校数学

調査結果から授業改善へ

具体例をあげて調べる活動や説明し合う活動を通して、結論が成り立つための前提を捉え、数学的に表現できるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 数学 6(3)

6 康太さんは、2つの偶数の和がどのような場合に4の倍数になるかを調べています。

$$\begin{array}{lll} 2+2=4 & 4+2=6 & 6+2=8 \\ 2+4=6 & 4+4=8 & 6+4=10 \\ 2+6=8 & 4+6=10 & 6+6=12 \end{array}$$

2+2=4, 4+4=8, 6+6=12のように、同じ2つの偶数の場合、2つの偶数の和が4の倍数になっていることから、康太さんは次のように予想しました。

4 = 4 × 1
8 = 4 × 2
12 = 4 × 3
3つとも4の倍数になっているね。



予想1

同じ2つの偶数の和は、4の倍数になる。

(途中省略)

予想2

差が4である2つの偶数の和は、4の倍数になる。

(途中省略)

(3) 同じ2つの偶数の和や、差が4である2つの偶数の和のほかにも、2つの偶数の和がいつでも4の倍数になることがあります。どのような2つの偶数のとき、その2つの偶数の和が4の倍数になりますか。前ページの予想2のように、「は、……になる。」という形で書きなさい。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
	(正答の条件) 「○○は、◇◇になる。」という形で、次の(a)、(c)又は(b)、(c)について記述しているもの。 (a)○○が、「差が4の倍数である2つの偶数の和」である。 (b)○○が、「差が8である2つの偶数の和」である。 (c)◇◇が、「4の倍数」である。			
1	(a)、(c)について記述しているもの。	1.6	2.4	◎
2	上記1について、(a)についての記述が十分でなく、(c)について記述しているもの。	0.1	0.2	○
3	(a)のみを記述しているもの。	0.0	0.0	
4	(b)、(c)について記述しているもの。	27.5	26.2	◎
5	上記4について、(b)についての記述が十分でなく、(c)について記述しているもの。	0.9	1.1	○
6	(b)のみを記述しているもの。	0.7	0.5	
6(3)	7 上記4、5について、差が8以外の具体的な4の倍数になる2つの偶数の和について記述しているもの。	1.5	1.5	◎
8	上記7について、差が8以外の具体的な4の倍数になる2つの偶数についての記述が十分でなく、(c)について記述しているもの。	0.0	0.1	○
9	差が8以外の具体的な4の倍数になる2つの偶数の和のみを記述しているもの。	0.0	0.0	
10	上記1、2、4、5、7、8以外で、和が4の倍数になる2つの偶数について記述し、(c)について記述しているもの。	4.7	5.2	◎
11	上記10について、和が4の倍数になる2つの偶数についての記述が十分でないが、(c)について記述しているもの。	0.7	0.9	○
12	上記10、11について、(c)についての記述がないもの。	0.0	0.0	
99	上記以外の解答	41.5	35.6	
0	無解答	20.6	26.2	
	正答率	37.1	37.6	

分析・考察

○ 本問題は事象を数学的に考察する場面において、統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明する問題である。本県の正答率は37.1%であり、全国の正答率を0.5ポイント下回っている。結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。

授業改善のポイント

【具体例をあげて調べる活動や説明し合う活動を通して、結論が成り立つための前提を捉え、数学的に表現できるようにする】

本設問で授業を行う際は、「差が4である2つの偶数の和は、4の倍数になる。」ことから、「他にはどのような2つの偶数であれば、その和が4の倍数となるのか」と発展的に考察し、説明し合う活動を取り入れることが考えられる。その際、成り立つ事柄を予想するために、具体的な数を用いて調べ、その2つの偶数にどんな特徴があるのか話し合う場面を設定し、見いだした事柄を数学的に表現できるようにすることが大切である。

事柄を数学的に表現することは、後の学習において逆の意味を吟味したり、解の吟味の必要性に気付いたりするなど論理的に考えながら新たな知識を習得できるようにする上でも大切である。そのために、「他に成り立ちそうなことはないか」、「最初の条件を変えるとどうなるか」などと解決の過程を振り返り、統合的・発展的に考察し、数学的に表現する機会を継続的に設けることが大切である。

中学校数学

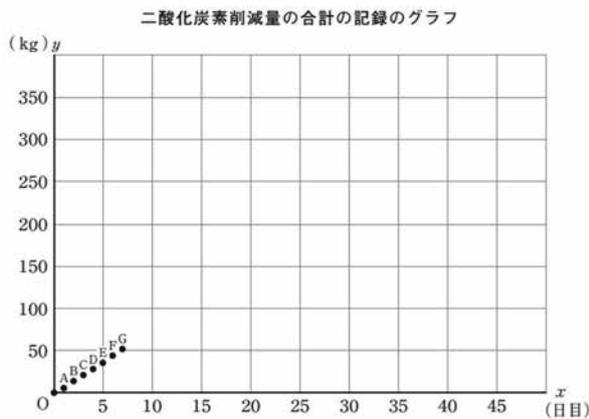
調査結果から授業改善へ

日常生活や社会の事象における問題の解決に数学を活用する活動を通して、数学を活用する方法を考え、説明できるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 数学 8(2)

8(2) 愛理さんは、7日目までの取り組みの結果から、目標を達成できるのがおよそ何日目になるかを予測することにしました。
そこで、下の二酸化炭素削減量の合計の記録のグラフにおいて、原点Oから点Gまでの点が一直線上にあるとし、このまま同じように取り組みを続け、二酸化炭素削減量の合計が一定の割合で増加すると仮定して考えることにしました。



このとき、目標の300kg削減を達成できるのがおよそ何日目になるかを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に何日目になるかを求める必要はありません。

問題番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
	(正答の条件) 次のことについて記述しているもの。 <グラフを用いることについて記述している場合> 次の(a)、(b)について記述している。 (a) 直線のグラフをかいて利用すること。 (b) y座標が300のときのx座標を読むこと。 <式を用いることについて記述している場合> 次の(c)、(d)について記述している。			

	(c) 比例の式又は一次関数の式を求めて利用すること。 (d) $y=300$ を代入して、 x の値を求めること。 <表や数値を用いることについて記述している場合> 次の(e)、(f)について記述している。 (e) 表や数値を用いて割合を求めて利用すること。 (f) 二酸化炭素削減量の合計が300kgになる日数を算出すること。			
1	(a)、(b)について記述しているもの。	4.5	6.3	◎
2	(a)について「直線」についての記述が十分でなかったり、(b)について「 $y=300$ 」の記述がなかったりするが、グラフを用いることとその用い方について記述しているもの。	0.7	0.8	○
3	(a)のみを記述しているもの。	9.6	9.2	
4	(b)のみを記述しているもの。	0.2	0.5	
5	グラフを用いることについて記述しているが、(a)、(b)について記述していないもの。	2.9	2.7	
6	(c)、(d)について文で記述しているもの。	8.8	6.7	◎
7	(c)について「比例」、「一次関数」についての記述がなかったり、(d)について「 $y=300$ 」の記述がなかったりするが、式を用いることとその用い方について記述しているもの。	1.4	1.2	○
8	(c)のみを記述しているもの。	2.9	2.3	
9	(d)のみを記述しているもの。	0.2	0.1	
10	(e)、(f)について文で記述しているもの。	12.7	12.0	◎
11	(e)について「割合」についての記述が十分でなかったり、(f)について求める日数の記述が十分でなかったりするが、表や数値を用いることとその用い方について記述しているもの。	12.7	11.3	○
12	(e)のみを記述しているもの。	13.2	13.5	
13	(f)のみを記述しているもの。	3.3	2.4	
99	上記以外の解答	7.0	6.4	
0	無解答	19.8	24.4	
	正答率	40.8	38.4	

分析・考察

○ 本問題は、与えられた情報を読み、数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題である。本県の正答率は40.8%であり、全国の正答率を2.4ポイント上回っているが、低い状況にあり、課題がある。

授業改善のポイント

【日常生活や社会の事象における問題の解決に数学を活用できるようにする】

具体的な場面において、事象を理想化したり単純化したりして、日常生活や社会の事象における問題を数学の問題として捉え、数学を活用して解決できるように指導することが大切である。例えば、得られたデータを自ら表にしたり、グラフにプロットしたりする活動を通して、生徒自らが一次関数とみなすことができるようにすることが大切である。

【問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする】

数学を活用して様々な問題を解決する学習を行う際、問題解決の過程を自ら振り返ったり、他者と協働的に問題を解いたりする場面で、問題解決の方法に焦点を当て、方法や手順を的確に記述したり、伝え合ったりする活動が考えられる。例えば、表、式、グラフ等の「用いるもの」をどう用いたのかといった「用い方」について考え、何の目的のために、どのような過程を設定したかを含めて説明できるように指導することが大切である。

6 中学校理科 <調査の分析・検証>

概要

理科について、県と全国の平均正答率の比較から、全国平均と同等である。

- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「『エネルギー』を柱とする領域」、「『粒子』を柱とする領域」で上回っている。
- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「『生命』を柱とする領域」、「『地球』を柱とする領域」で下回っている。

■令和4年度調査結果の集計値

中学校理科	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県(公立)	7,217	67	10.4 / 21	49
全国(公立)	892,585	9,337	10.4 / 21	49 (49.3)

■平成24・27・30・令和4年度の県と全国の調査結果

調査区分	理科				
	調査年度	H 2 4	H 2 7	H 3 0	R 4
県(公立) 平均正答率 (%)		51.5	53.2	66	49
全国(公立) 平均正答率 (%)		51.0	53.0	66 (66.1)	49 (49.3)
県と全国との 差(pt)		0.5	0.2	0	0

■令和4年度の分野・領域別調査結果

	学習指導要領の分野・領域	理科			
		第1分野		第2分野	
		「エネルギー」を 柱とする領域	「粒子」を 柱とする領域	「生命」を 柱とする領域	「地球」を 柱とする領域
令和四年度	県(公立)平均正答率(%)	43.5	51.0	57.4	43.7
	全国(公立)平均正答率(%)	41.9	50.9	57.9	44.3
	県と全国との差(pt)	1.6	0.1	▲0.5	▲0.6

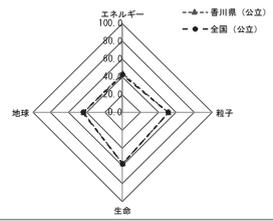
■平成24・27・30年度の分野等別調査結果

	学習指導要領の分野等	理科			
		第1分野		第2分野	
		物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域
平成三 十年度	県(公立)平均正答率(%)	72.1	65.6	73.5	56.5
	全国(公立)平均正答率(%)	74.4	65.0	72.5	57.8
	県と全国との差(pt)	▲2.3	0.6	1.0	▲1.3
平成二 十七年度	県(公立)平均正答率(%)	48.7	57.0	62.9	45.5
	全国(公立)平均正答率(%)	48.9	56.2	62.2	46.4
	県と全国との差(pt)	▲0.2	0.8	0.7	▲0.9
平成二 十四年度	県(公立)平均正答率(%)	46.5	57.3	51.9	51.9
	全国(公立)平均正答率(%)	45.9	56.9	50.7	52.0
	県と全国との差(pt)	0.6	0.4	1.2	▲0.1

問題別調査結果【理科】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			香川県(公立)	全国(公立)
全体		21	49	49.3
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	6	43.5	41.9
	「粒子」を柱とする領域	5	51.0	50.9
	「生命」を柱とする領域	5	57.4	57.9
	「地球」を柱とする領域	6	43.7	44.3
評価の観点	知識・技能	7	45.4	46.1
	思考・判断・表現	14	51.3	51.0
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	15	49.4	49.6
	短答式	1	28.8	24.8
	記述式	5	53.3	53.5

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
			「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域			香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)
1(1)	日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する	日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問うことで、静電気に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	(3) (7)			○	○	46.4	44.2	0.1	0.1	
1(2)	タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する	モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる	(3) (7)			○	○	80.1	78.5	0.1	0.1	
2(1)	観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を空気の柱の長さで説明する際、適切な長さの変化を選択する	観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を考える学習場面において、観測地の標高を空間的に捉え、気圧の概念を空気の柱で説明できるか問うことで、気圧に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる			(4) (7)	○	○	51.8	54.2	0.2	0.2	
2(2)	気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する	継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる			(4) (7)	○	○	40.8	40.8	0.2	0.3	
2(3)	上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する	飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる			(4) (7)	○	○	29.4	28.5	0.2	0.3	
3(1)	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す	化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる	(4) (7)			○	○	81.1	80.1	0.2	0.1	
3(2)	水素を燃料として使うくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択する	水を電気分解して発生させた水素を燃料として使うくみを探究する学習場面において、粒子の保存性の視点から化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈できるかどうかをみる	(4) (7)			○	○	62.7	60.2	0.3	0.3	
3(3)	水素を燃料として使うくみの例の全体を働かせるおおもとを指摘する	化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うくみの例の全体を働かせるおおもととして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる	(3) (7)	(4) (7)		○	○	28.8	24.8	3.3	4.3	
4(1)	ダイオウグソクムシとダンゴムシのあしの様子が異なることについて、生活場所や移動の仕方と関連付け、その理由を説明する	節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈できるかどうかをみる			(1) (7)	○	○	74.5	74.5	4.5	5.5	
4(2)	脊椎動物には骨格のつくり共通点があることから、カラスの関節Aに対応するヒトカエルのはしの関節を選択する	複数の脊椎動物の外部形態の観察を行う場面において、あしの骨格について共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる			(1) (7)	○	○	64.4	65.6	0.2	0.2	
5(1)	おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する	力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる	(1) (7)			○	○	13.1	15.3	0.4	0.2	
5(2)	「ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか」という課題に正対した考察を行うために、適切に処理されたグラフを選択する	課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる	(1) (7)			○	○	48.7	45.0	0.6	0.4	
5(3)	考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する	考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる	(1) (7)			○	○	44.0	43.3	22.7	29.4	
6(1)	玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する	玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる			(2) (7)	○	○	46.9	48.0	0.3	0.3	
6(2)	陸上のB地点で中生代のサンゴの化石が観察されることについて、垂直方向の変動だけで推論した他者の考察を検討し、水平方向の変動も踏まえた推論が必要であることを指摘する	過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、水平方向の移動も踏まえて、検討して改善できるかどうかをみる			(2) (7)	○	○	58.3	60.3	0.7	0.6	
6(3)	東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを選択する	地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる			(2) (7)	○	○	34.8	34.2	0.7	0.7	
7(1)	液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する	液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な現象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	(2) (7)			○	○	29.9	35.9	0.5	0.4	
7(2)	吸湿発熱繊維に水蒸気を多く含む空気を通した一つの実験だけで行った考察について、課題に正対しているかどうかを検討し、必要な実験を指摘する	実験の結果が考察の根拠として十分かどうかを検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみる	(2) (7)			○	○	52.3	53.4	0.8	1.0	
8(1)	アリの視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する	アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる			(3) (7)	○	○	53.0	55.2	9.4	11.6	
8(2)	予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する	予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見直しをもつことができるかどうかをみる			(3) (7)	○	○	53.2	55.1	12.6	14.9	
8(3)	生物Xが昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する	未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる			(1) (7)	○	○	41.9	39.2	1.3	1.4	

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校理科】（全21問中2問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国正答率との差(pt)
3(3)	水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとを指摘する	エネ 粒子	思判表	短答	28.8	3.3	4.0
5(2)	「ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか」という課題に正対した考察を行うために、適切に処理されたグラフを選択する	エネ	知技	選択	48.7	0.6	3.7

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校理科】（全21問中1問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国正答率との差(pt)
7(1)	液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する	粒子	知技	選択	29.9	0.5	▲6.0

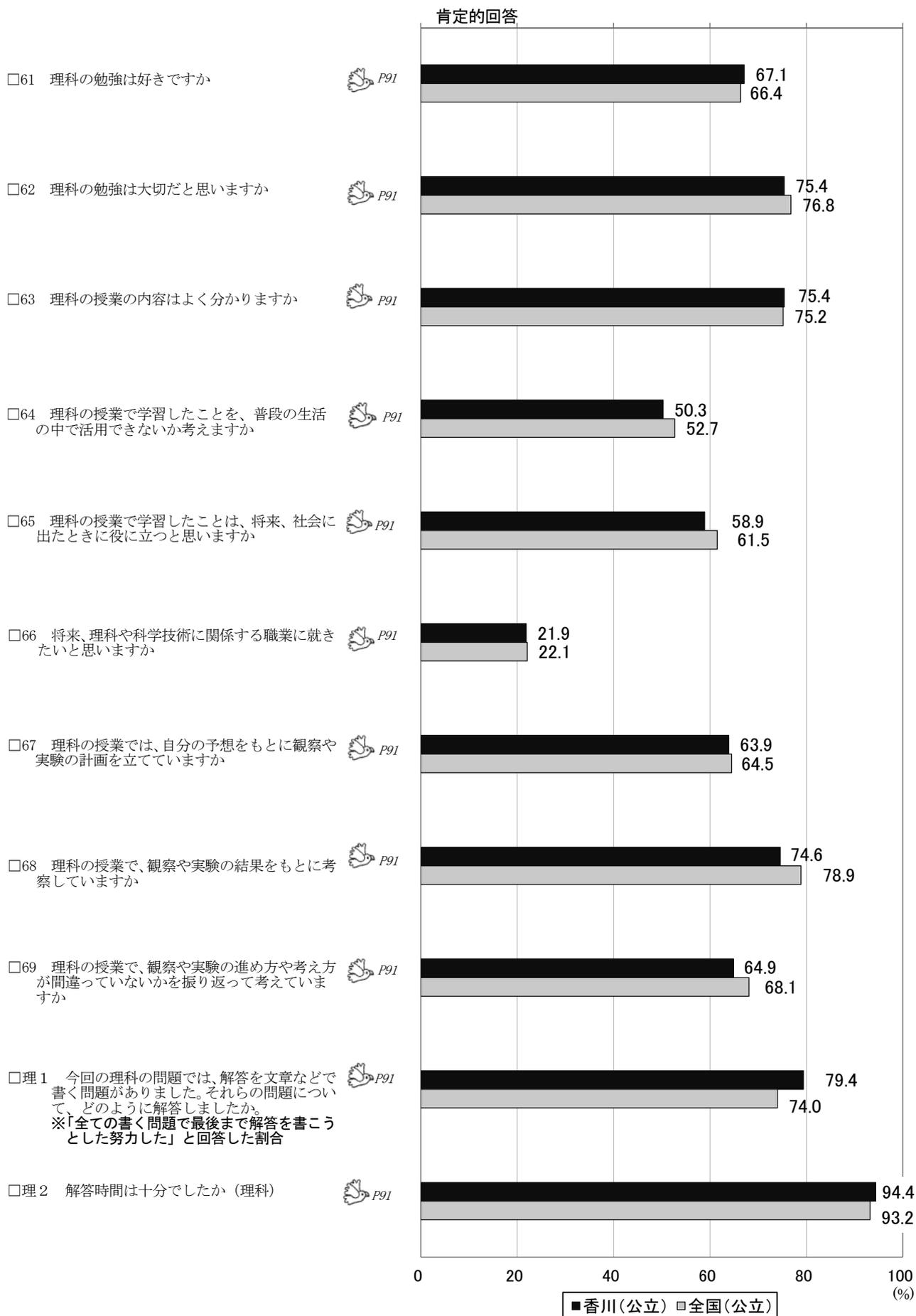
■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校理科】（全21問中11問）

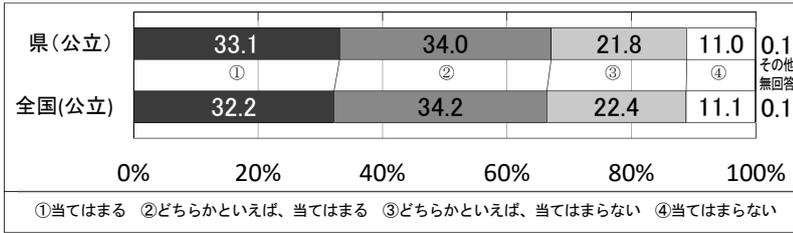
問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国正答率との差(pt)
1(1)	日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する	エネ	知技	選択	46.4	0.1	2.2
2(2)	気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する	地球	思判表	選択	40.8	0.2	0.0
2(3)	上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する	地球	思判表	選択	29.4	0.2	0.9
3(3)	水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとを指摘する	エネ 粒子	思判表	短答	28.8	3.3	4.0
5(1)	おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する	エネ	知技	選択	13.1	0.4	▲2.2
5(2)	「ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか」という課題に正対した考察を行うために、適切に処理されたグラフを選択する	エネ	知技	選択	48.7	0.6	3.7
5(3)	考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する	エネ	思判表	記述	44.0	22.7	0.7
6(1)	玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する	地球	知技	選択	46.9	0.3	▲1.1
6(3)	東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを選択する	地球	思判表	選択	34.8	0.7	0.6
7(1)	液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する	粒子	知技	選択	29.9	0.5	▲6.0
8(3)	生物Xが昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する	生命	思判表	記述	41.9	1.3	2.7

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
エネルギー 粒子 生命 地球	: エネ : 粒子 : 生命 : 地球	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体
		選択式: 選択 短答式: 短答 記述式: 記述

■中学校理科に関わる質問の全国との比較



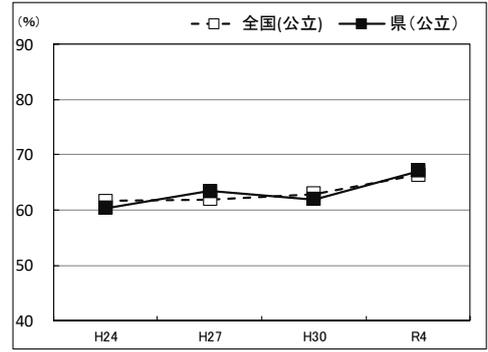
□61 理科の勉強は好きですか



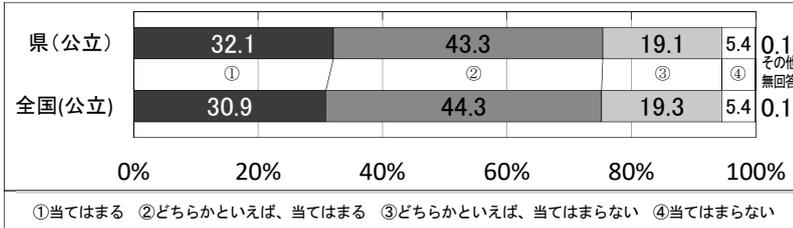
肯定的に回答した生徒の割合

	H24	H27	H30	R4
県(公立)(%)	60.3	63.4	61.9	67.1
全国(公立)(%)	61.6	61.9	62.9	66.4
県と全国の差(pt)	▲1.3	1.5	▲1.0	0.7

肯定的回答



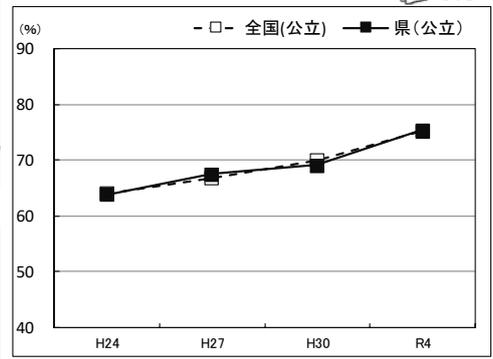
□63 理科の授業の内容はよく分かりますか



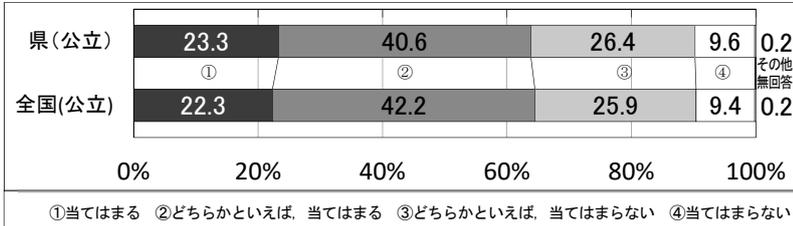
肯定的に回答した生徒の割合

	H24	H27	H30	R4
県(公立)(%)	63.9	67.5	69.1	75.4
全国(公立)(%)	64.1	66.8	70.0	75.2
県と全国の差(pt)	▲0.2	0.7	▲0.9	0.2

肯定的回答



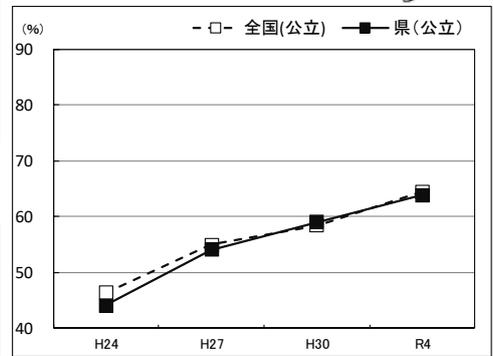
□67 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか



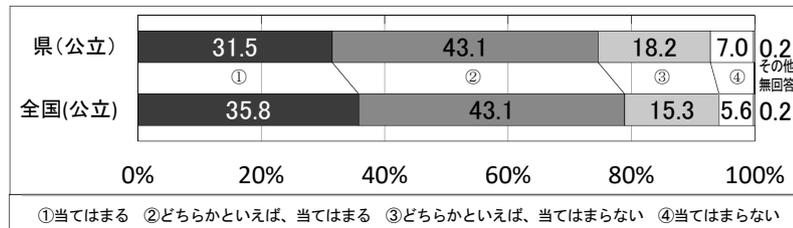
肯定的に回答した生徒の割合

	H24	H27	H30	R4
県(公立)(%)	44.1	54.1	59.0	63.9
全国(公立)(%)	46.4	55.0	58.5	64.5
県と全国の差(pt)	▲2.3	▲0.9	0.5	▲0.6

肯定的回答



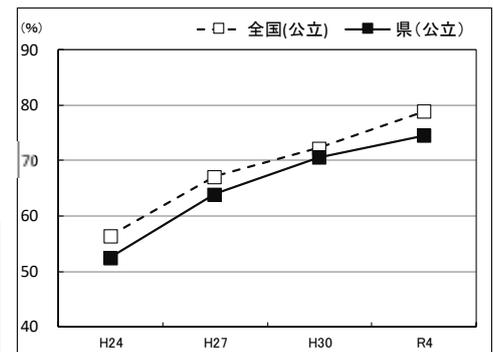
□68 理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか



肯定的に回答した生徒の割合

	H24	H27	H30	R4
県(公立)(%)	52.5	64.0	70.6	74.6
全国(公立)(%)	56.5	67.2	72.3	78.9
県と全国の差(pt)	▲4.0	▲3.2	▲1.7	▲4.3

肯定的回答



調査結果から授業改善へ

身に付けた知識を身近な現象で活用できる程度に概念を理解できるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 理科 7 (1)

7 水の状態変化について科学的に探究したことを、2つのグループが理科の授業でポスター発表しています。
(1)と(2)の各問に答えなさい。



グループ1 水が水蒸気になるときの温度変化

アフリカの乾燥地帯の電気を使わない冷蔵庫 (断面図)

湿らせた布

水を含んだ砂

水蒸気

水

水蒸気

素焼きのつば

素焼きのつばには小さな穴がたくさんあり、水が表面にしみ出します。

空気が乾燥しているので、しみ出した水は、すぐに熱をうばって蒸発するため、全体が冷えます。

(1) 正確らしくみが同じ現象も、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。



問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
7 (1)	1 ア と解答しているもの	19.1	19.9	
	2 イ と解答しているもの	11.3	10.6	
	3 ウ と解答しているもの	29.9	35.9	◎
	4 エ と解答しているもの	39.2	33.1	
	99 上記以外の解答	0.1	0.1	
0 無解答		0.5	0.4	
正答率		29.9	35.9	

分析・考察

- 本問題は液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる問題である。本県の正答率は29.9%であり、全国の正答率を6.0ポイント下回っており、課題が見られる。
- 解答類型4の反応率が39.2%と最も高く、温度が下がることのみに着目し、「水はすぐ熱をうばって蒸発するため、全体が冷える」という現象では、水が蒸発して水蒸気になるという状態変化が起こっていることに注目できていないことが考えられる。

授業改善のポイント

【日常生活と関連する「学習課題」を設定することで、主体的に探究することができるようにする】

理科では、身に付けた知識及び技能を活用して日常生活で見られる事象を主体的に探究することが大切である。指導に当たっては、状態変化に関する知識と身近な現象を関連付けて探究する場面を設定することが考えられる。学んだことを日常生活や社会の特定の場面につなげて考えることで学ぶ意義や有用性が実感できる。例えば、次のような展開が考えられる。

課題の把握・・・打ち水をすると、温度が下がる現象について体験し、水が水蒸気に状態変化して、それによって温度が下がる現象について問題を見だし、課題を設定する。

学習課題「暑い日に打ち水をすると、温度が下がり、涼しくなるのはなぜだろう」

課題の探究・・・仮説を確かめる実験の計画を立案し、[結果の予想]を立てる。実験の結果が、[結果の予想]と異なる場合を想定して、探究の方法について検討する。具体的には、2本の温度計を用意し、1本はそのまま(X)、もう1本は水で濡らしたガーゼを巻く(Y)。数分置いて、温度変化を調べる。どのようなことが結果に影響しそうか考えさせることで、室温の水で濡らすこと等の条件に気付かせる。

課題の解決・・・検討した実験方法で実験を行い、水が水蒸気になることによって温度が下がることを見だし、暑い日に打ち水をすると、温度が下がり、涼しくなることと関連付けて説明する活動を行う。振り返りの場面では、社会や日常生活と関連する事象について考えることで、実感を伴う学びにつなげる。例えば、アルコール消毒で手が冷たくなる現象、7のようなアフリカの冷蔵庫等、温度が下がる現象と状態変化の知識を関連付けながら概念等を理解し、新たな疑問を見いだすことができるようにすることが大切である。

実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 理科 8(1)

8 【フェアブル見虫記】を読んで、アリの行列のつくり方に興味をもち、科学的に探究しました。
(1)から(3)までの各問に答えなさい。

レポートの一部

【課題1】
アリは、視覚による情報をもとに行列をつくるか。

【実験1】
① 図のように行列を覆い、10分間まわりの景色を見えなくする。

② 覆い前後の行列のようすを写真に撮り、比較する。
③ ①と②の操作を別のアリの行列で3回繰り返す。

【結果1】

6月9日(13時から15時) 場所：中央公園

覆いをする前	約2m	約2m	約2m
覆いをした後	約2m	約2m	約2m
1回目	2回目	3回目	

【考察1】
この実験の結果からは、アリの行列のようすは P ので、 Q と考えられる。

(1) P、 Q に当てはまる適切な言葉をそれぞれ書きなさい。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
8 (1)	(正答の条件) 次の(a)と(b)の両方を満たしているもの (a) アリの行列が変化しなかったことについて記述している。 (b) アリは、視覚による情報を基に行列をつくらないことについて記述している。			
	1 (a)を満たしているもの (b)を満たしているもの	53.0	55.2	◎
	2 (a)を満たしているもの (b)を満たしていないもの	28.0	24.6	
	3 (a)を満たしていないもの (b)を満たしているもの	0.5	0.7	
	4 (a)を満たしていないもの (b)を満たしていないもの	7.1	6.3	
	5 (a)と(b)の両方を満たすが、においに関することなど、この実験の考察としては過剰な推論等を記述しているもの	0.1	0.2	
	99 上記以外の解答	1.9	1.5	
0 無解答				
正答率		53.0	55.2	

分析・考察

○ 本問題は、アリが視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述することができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は53.0%であり、全国の正答率を2.2ポイント下回っており、課題が見られる。解答類型1、2「(a)を満たしているもの」は81.0%で、全国の反応率を1.2ポイント上回っていることから、結果から「アリの行列が変化しなかった」という事実を正しく捉えることはできていることが見取れる。しかし、その結果を分析して解釈することに課題があると考えられる。

授業改善のポイント

【課題についての予想や仮説を設定したり、実験の計画を立案したりすることで見通しをもたせる】

科学的な思考力や表現力を育成するために、観察や実験の結果から課題に対して適切に考察することは大切である。指導に当たっては、課題についての予想や仮説を設定したり、観察、実験の方法を生徒自身が考える活動を取り入れたりすることで、実験のねらいを理解させる。実験の計画を立案する際には、探究の方法について検討する場面を設定し、見通しをもたせることが、課題に正対した考察につながる。

【課題に正対した考察になるよう視点を示し、考察がより妥当なものになるようにする】

観察、実験の結果を分析して解釈する上で、課題を明らかにしようとしていることは何かを意識して考察することが大切である。指導に当たっては、問題を見いだして設定した課題と考察が正対しているか、考察の根拠は明確か等の検討を促す学習場面を設定することが考えられる。例えば、考察の場面では「今日は何について考えていた？」と考察の視点を助言することが考えられる。また、「根拠となるもの」を書く部分と、課題を意識して「考えたことや判断したこと」を書く部分を空欄にした具体例を示し、両者を区別しながら記述する学習活動を行うことが考えられる。全ての領域で繰り返し取り組むことで、課題に正対した考察を行うことができるようになる。さらに、次のような手順で授業や単元を構想するなどして、教師自身が学習課題と考察やまとめのつながりを意識することも大切である。

- ①授業のねらいを明確にする
- ②ねらいに沿ったゴールを決める
- ③課題や導入を考える
- ④授業の展開を考える

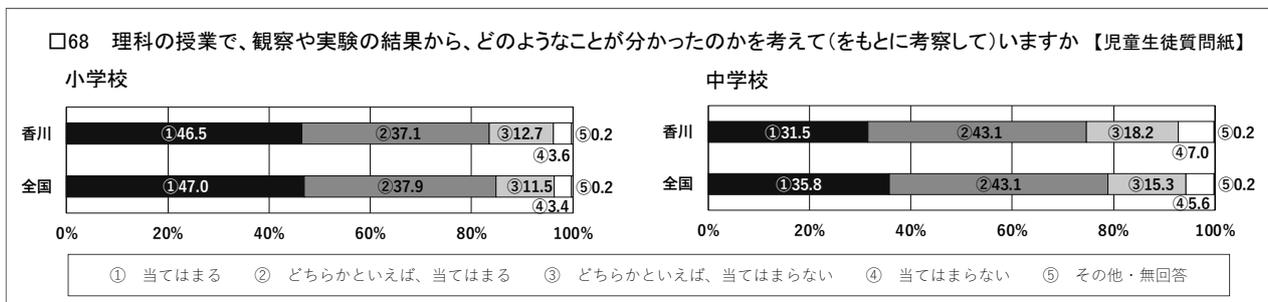
考察

(根拠となるもの)だから、
(考えたことや判断したこと)と
考えられる。

ICT の効果的な活用アイデア例

昨年度から小・中学校で「1人1台端末」の本格的な活用が始まっています。P25でも示したように、さらなる「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、ICTだからこそできる、ICTの強みを生かした授業作りに挑戦しましょう。

理科【実験動画の共有で、考える時間を増やす】



□68の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合が、小・中学校ともに全国を下回っています。■54/53で観察や実験をする授業の頻度は、全国を上回っている(P21参照)ことから、授業のさらなる工夫が求められています。

例えば、観察や実験の様子を録画し、グループや学級で共有することで、結果を共有する時間が短縮でき、その分、考察の時間を確保することができます。また、注目ポイントに絞って繰り返し確認したり、いくつかの結果と比較したりすることも一人一人の端末上で行うことができますから、考察の深まりにつなげたいところです。さらに、それらの動画を用いながら、自分の考察を友達に説明することで、学習の理解を深めることもできるでしょう。

【ICTの活用例とよさ】

「観察や実験など活動の様子を録画」

- ◎繰り返し見ることができる。
- ◎考察の説明に使える。

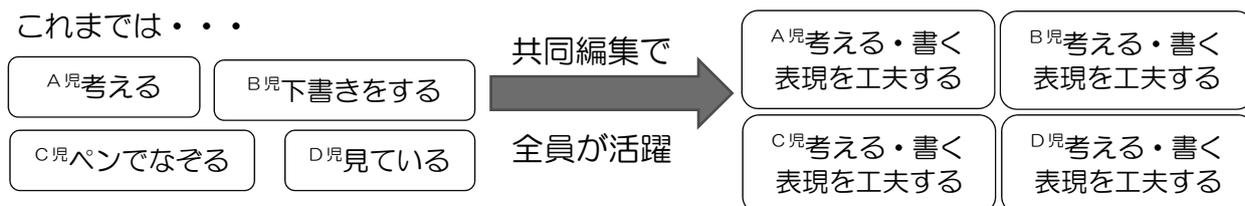
「動画の共有」

- ◎考察の時間が確保できる。
- ◎比較することで、考察が深まる。



国語、社会、総合など【表現物の共同編集で、活躍する場を増やす】

これまで・・・



これまで、グループで表現物を作成する活動の際には、例えば、「考える人」「下書きをする人」「ペンでなぞる人」役割がなく「見ている人」というような状況が生まれがちでした。しかし、「共同編集機能」を使えば、全員が同時に「考える」「書く」「表現を工夫する」ことができますし、やらなければならない状況になりますから、一人一人の学習を保障し、活躍する場を増やすためにも、大いに活用したいところです。

【ICTの活用例とよさ】

「共同編集機能」で表現物作成（新聞作りなど）

- ◎すべての児童生徒が、「考える」「書く」「表現を工夫する」ことができる。
- ◎共有する時間を短縮し、検討したり、修正したりする時間を確保することができる。



この他にも、香川県教育センターHPには、県内の学校で実践されたICTの活用例を掲載しています。(4月8日付文書記載のID、パスワードが必要です。)

教育センターWebサイト→認証領域→【認】研究課→授業実践レポート



香川県教育センター
Webサイト

IV 質問紙調査結果

(児童生徒質問紙・学校質問紙)

1 児童生徒質問紙 調査結果一覧

※「R3番号」欄の「新」は、R4年に新たに問われた質問。 校種の欄の1段目：香川県(公立)の割合(%) 2段目：全国(公立)の割合(%)

質問番号	掲載P	R3 番号	質問事項	校 種	選択肢 (質問の選択項目は、P92を参照)									その他 ※	無回答	1の差 1+2の差		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9					
【基本的生活習慣等】																		
1	1	93	1	朝食を毎日食べていますか	小	84.0	10.2	4.0	1.7							0.0	0.0	-0.9
					中	84.9	9.5	4.1	1.4									0.0
2	2	93	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	小	79.6	12.5	5.5	2.5							0.0	0.0	-0.3
					中	79.9	12.0	5.4	2.7								0.0	0.0
3	3	93	3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	小	40.0	41.5	15.4	3.1							0.0	0.0	-0.7
					中	40.7	40.8	15.0	3.4								0.0	0.0
4	4	93	4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	小	37.1	43.4	16.2	3.3							0.0	0.1	0.1
					中	37.0	42.9	16.3	3.7								0.0	0.0
5	5	93	5	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	小	55.6	35.0	7.7	1.7							0.1	0.0	-1.2
					中	56.8	33.6	7.9	1.7								0.1	0.0
6	6	93	新	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)	小	58.3	33.8	6.7	1.1							0.0	0.1	1.5
					中	56.8	35.4	6.5	1.2								0.0	0.1
7	7	94	6	自分には、よいところがあると思いますか	小	35.4	34.4	7.5	1.5	11.9	9.2					0.0	0.0	-4.0
					中	39.4	32.1	4.8	1.1	11.2	11.4						0.0	0.0
8	8	94	R元 6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小	27.3	36.6	8.0	2.0	20.7	5.3					0.0	0.1	-4.9
					中	32.2	37.3	6.6	1.5	18.2	4.1						0.0	0.0
9	9	94	7	将来の夢や目標を持っていますか	小	13.3	11.7	20.5	29.9	16.6	8.0					0.0	0.0	-3.9
					中	17.2	13.5	19.5	25.9	16.4	7.5						0.0	0.0
10	10	94	8	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	小	12.0	12.5	19.9	22.4	20.1	12.9					0.0	0.1	-4.3
					中	16.3	13.5	20.5	21.0	16.7	11.9						0.0	0.1
11	11	94	9	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	小	8.1	8.3	12.3	19.7	15.6	13.9	22.0				0.0	0.1	-2.8
					中	10.9	8.8	12.8	18.1	13.9	14.7	20.6					0.0	0.1
12	12	94	10	人が困っているときは、進んで助けていますか	小	12.7	13.0	23.0	24.5	11.8	7.8	6.9				0.0	0.2	-2.9
					中	15.6	13.9	22.5	23.8	11.9	6.9	5.3					0.0	0.1
【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】																		
13	13	95	11	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	小	38.4	37.3	14.8	9.4							0.0	0.0	-1.0
					中	39.4	39.9	13.5	7.2									0.0
14	14	95	新	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	小	31.9	42.2	17.8	8.1							0.0	0.0	-4.1
					中	36.0	42.5	14.9	6.6								0.0	0.0
15	15	95	12	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	小	45.0	40.3	10.2	4.4							0.0	0.0	-1.3
					中	46.3	40.8	9.4	3.4								0.0	0.1
16	16	95	13	学校に行くのは楽しいと思いますか	小	39.9	46.7	9.9	3.4							0.0	0.1	-0.9
					中	39.9	46.7	9.9	3.4								0.0	0.1
17	17	95	15	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小	62.7	19.1	9.4	8.9							0.0	0.0	2.3
					中	60.4	19.4	10.3	9.9								0.0	0.0
18	18	95	16	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	35.7	28.9	20.9	14.3							0.0	0.1	-4.1
					中	39.8	27.5	19.1	13.4								0.0	0.1
19	19	95	17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小	39.8	47.3	11.2	1.7							0.0	0.0	1.0
					中	38.8	48.4	11.2	1.6								0.0	0.0
20	20	95	18	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	38.6	48.9	10.9	1.6							0.0	0.1	1.8
					中	36.8	49.8	11.8	1.6								0.0	0.0
21	21	95	19	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小	27.3	45.7	22.0	4.9							0.0	0.1	-0.3
					中	27.6	44.9	22.4	5.1								0.0	0.0
22	22	95	20	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	23.0	46.5	25.9	4.5							0.0	0.0	1.6
					中	21.4	45.7	27.6	5.3								0.0	0.0
23	23	95	21	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	43.3	45.1	9.7	1.8							0.0	0.0	-1.6
					中	44.9	44.0	9.3	1.7								0.0	0.0
24	24	95	22	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	40.5	47.6	10.2	1.6							0.0	0.1	-0.1
					中	40.6	47.8	10.0	1.6								0.0	0.1
25	25	95	23	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	86.1	11.1	1.9	0.8							0.0	0.0	2.2
					中	83.9	12.9	2.2	0.9								0.0	0.0
26	26	95	24	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	83.7	12.5	2.8	0.9							0.0	0.1	1.1
					中	82.6	13.8	2.5	1.1								0.0	0.0
27	27	95	25	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	35.5	31.7	20.7	12.1							0.0	0.0	0.0
					中	35.5	32.6	20.2	11.6								0.0	0.0
28	28	95	26	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	34.3	33.5	20.9	11.2							0.0	0.1	1.8
					中	32.5	34.1	21.7	11.7								0.0	0.1
29	29	95	27	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	77.2	18.4	3.1	1.3							0.0	0.0	2.1
					中	75.1	20.0	3.4	1.5								0.0	0.0
30	30	95	28	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	76.1	19.1	3.2	1.5							0.0	0.1	2.6
					中	73.5	21.5	3.4	1.5								0.0	0.1
31	31	95	29	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	51.5	33.4	10.1	5.0							0.0	0.0	-0.2
					中	51.7	33.7	9.8	4.7								0.0	0.0
32	32	95	30	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	43.7	37.4	12.4	6.4							0.0	0.1	-2.1
					中	45.8	37.1	11.6	5.4								0.0	0.0
33	33	95	31	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	31.4	42.2	19.8	6.6							0.0	0.0	1.0
					中	30.4	43.1	19.9	6.5								0.0	0.1
34	34	95	32	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	31.5	45.4	18.4	4.6							0.0	0.1	0.1
					中	31.4	45.5	18.6	4.3								0.0	0.1
35	35	95	33	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	73.2	21.0	4.3	1.5							0.0	0.1	0.6
					中	72.6	21.4	4.3	1.5								0.0	0.1
36	36	95	34	友達と協力するのは楽しいと思いますか	小	65.3	28.6	4.6	1.4							0.0	0.2	-0.9
					中	66.2	27.5	4.8	1.4								0.0	0.1

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

質問番号 小 中	掲載P 番号	R3 番号	質問事項	校 種	選択肢 (質問の選択項目は、P92を参照)									その他 ※	無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9				
【学習習慣、学習環境等】																	
19	19	96	新	家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか(複数選択)	小	39.2	67.3	83.2	7.2	72.2	12.0	2.6			1.2	0.0	3.6
					中	35.6	61.6	80.4	6.4	68.2	11.6	4.5			0.5	0.1	9.3
20	20	96	17	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	小	33.4	67.8	45.4	17.0	72.4	13.3	1.4			0.0	0.0	2.0
					中	26.9	43.1	22.0	7.9						0.0	0.0	-0.6
21	21	96	18	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	小	31.4	66.8	46.2	15.5	74.4	10.9	1.4			0.0	0.0	3.0
					中	14.2	42.6	30.7	12.5						0.0	0.0	-1.2
22	22	96	19	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	小	15.4	43.1	29.6	11.8						0.0	0.1	-1.7
					中	7.4	14.3	36.0	27.8	11.3	3.1			0.0	0.0	-3.9	
23	23	96	21	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	小	11.3	13.8	34.3	25.8	10.5	4.2			0.0	0.0	-3.4	
					中	7.7	26.6	36.3	16.5	8.5	4.4			0.0	0.0	-2.2	
24	24	96	22	あなたの家には、おおよそどれくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)	小	9.9	25.3	34.3	17.0	8.5	4.9			0.0	0.0	-0.9	
					中	5.0	5.6	13.7	31.5	31.9	12.2			0.0	0.0	-3.0	
25	25	97	23	新聞を読んでいますか	小	8.0	5.6	12.6	29.9	31.5	12.3			0.0	0.0	-3.0	
					中	6.8	13.0	25.3	28.6	18.0	8.3			0.0	0.0	-0.5	
26	26	97	R元 21	読書は好きですか	小	7.3	13.3	24.3	25.9	19.0	10.2			0.0	0.0	-0.8	
					中	7.1	10.5	19.9	24.7	13.8	23.9			0.1	0.0	-0.1	
27	27	97	H30 41	自然の中で遊ぶことや自然観察をすることができますか	小	4.7	7.9	14.2	19.4	12.8	41.0			0.0	0.1	0.1	
					中	4.6	7.8	14.9	21.3	12.3	39.0			0.0	0.1	0.2	
28	28	97	H30 24	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることができますか(習い事の先生は除く)	小	11.1	18.5	35.2	19.2	11.1	4.8			0.0	0.0	-0.5	
					中	11.6	18.9	34.1	19.2	11.6	4.5			0.0	0.0	-0.9	
29	29	97	24	今住んでいる地域の行事に参加していますか	小	15.2	19.9	31.0	16.9	12.2	4.6			0.1	0.0	0.6	
					中	14.6	19.6	32.1	17.3	12.1	4.1			0.0	0.1	0.9	
30	30	97	25	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができますか	小	4.5	9.7	15.7	70.0					0.1	0.0	-0.3	
					中	4.8	9.0	13.1	73.0					0.1	0.1	0.4	
31	31	98	新	放課後や週末に何をしておごることが多いですか(複数選択)	小	3.7	7.0	13.8	75.4					0.0	0.1	0.7	
					中	3.0	6.4	11.5	79.0					0.0	0.1	1.3	
32	32	98	26	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使いましたか	小	42.2	31.4	16.2	10.0					0.1	0.1	0.3	
					中	41.9	31.2	16.7	10.0					0.1	0.1	0.5	
33	33	98	新	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(インターネット検索など)	小	37.9	30.3	18.5	13.2					0.0	0.1	-0.8	
					中	29.0	35.3	26.8	8.9					0.0	0.0	0.9	
34	34	98	新	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか	小	28.1	37.0	26.6	8.3					0.0	0.0	-0.8	
					中	22.7	33.6	30.8	12.9					0.0	0.1	1.4	
35	35	98	新	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか	小	21.3	33.7	31.6	13.4					0.0	0.0	1.3	
					中	17.1	16.0	26.2	40.7					0.0	0.0	2.0	
36	36	98	28	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	小	11.9	11.6	25.5	51.0					0.0	0.0	2.5	
					中	9.9	11.2	24.3	54.6					0.0	0.1	2.4	
37	37	99	29	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	小	24.3	29.4	23.5	22.7					0.1	0.1	0.9	
					中	23.4	29.3	23.6	23.6					0.0	0.1	1.0	
38	38	99	29	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	小	16.3	25.2	27.3	31.0					0.0	0.1	2.0	
					中	14.3	25.7	26.9	33.1					0.0	0.1	1.5	
39	39	99	29	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	小	17.6	31.3	31.9	19.0					0.0	0.1	0.0	
					中	17.6	33.7	31.2	17.4					0.0	0.1	-2.4	
40	40	99	29	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	小	11.3	26.6	36.9	24.9					0.0	0.2	0.2	
					中	11.1	29.6	36.5	22.6					0.0	0.2	-2.8	
41	41	99	29	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	小	54.5	5.9	3.3	22.4	39.2	48.4	84.8	77.8	55.0	0.1	0.2	2.3
					中	52.2	4.7	3.4	24.1	36.3	42.7	82.1	72.5	61.6	0.1	0.2	3.5
42	42	99	29	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	小	81.3	47.2	1.8	37.4	19.4	27.0	89.1	66.5	53.3	0.0	0.1	7.4
					中	73.9	47.9	1.8	36.8	19.8	27.3	88.0	63.4	54.6	0.0	0.1	6.7
43	43	99	26	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使いましたか	小	18.1	25.3	29.0	19.2	8.2				0.0	0.0	-8.6	
					中	26.7	31.5	25.0	11.5	5.1				0.0	0.1	-14.8	
44	44	99	26	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使いましたか	小	11.2	17.1	32.3	26.7	12.6				0.0	0.2	-10.4	
					中	21.6	29.3	29.7	14.2	5.0				0.0	0.1	-22.6	
45	45	99	26	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使いましたか	小	8.9	20.7	33.6	25.0	11.7				0.0	0.1	-5.4	
					中	14.3	29.6	32.2	16.4	7.3				0.0	0.1	-14.3	
46	46	99	26	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使いましたか	小	4.5	11.4	29.1	34.9	19.9				0.0	0.2	-7.8	
					中	12.3	24.9	34.5	20.6	7.6				0.0	0.1	-21.3	
47	47	99	26	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使いましたか	小	4.3	10.5	23.7	29.2	32.2				0.0	0.1	-2.1	
					中	6.4	16.1	26.9	24.2	26.2				0.0	0.1	-7.7	
48	48	99	26	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使いましたか	小	2.1	5.7	16.9	27.0	48.1				0.0	0.2	-2.9	
					中	5.0	12.8	25.7	27.6	28.7				0.0	0.1	-10.0	
49	49	99	26	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使いましたか	小	4.8	10.1	20.9	30.5	33.7				0.0	0.1	-2.1	
					中	6.9	14.8	23.5	28.7	25.8				0.0	0.1	-6.8	
50	50	99	26	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使いましたか	小	1.7	4.8	14.3	27.6	51.5				0.0	0.1	-3.0	
					中	4.7	10.3	20.3	32.3	32.3				0.0	0.1	-8.5	
51	51	99	28	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	小	66.1	28.4	3.6	1.7					0.2	0.0	0.6	
					中	65.5	28.9	3.6	1.7					0.2	0.1	0.1	
52	52	99	28	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	小	57.2	34.6	5.5	2.7					0.0	0.1	0.5	
					中	56.7	35.9	5.0	2.4					0.0	0.1	-0.8	
53	53	99	29	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	小	3.4	4.0	10.4	19.3	30.9	20.8	11.1			0.0	0.1	-0.9
					中	4.3	4.9	12.4	22.2	30.0	16.9	9.2			0.0	0.1	-1.8
54	54	99	29	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	小	2.1	2.8	8.5	19.8	39.1	22.3	5.2			0.1	0.1	-0.4
					中	2.5	3.8	11.4	23.1	37.5	18.6	3.0			0.1	0.1	-1.4

質問番号 小 中	掲載P	R 3 番号	質問事項	校 種	選択肢 (質問の選択項目は、P92を参照)									その他 ※	無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9				
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】																	
38	38	99	32	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	小	26.0	37.8	23.8	10.4	2.0					0.1	0.0	-1.1
					中	27.1	38.3	23.2	9.4	2.0					0.0	0.1	-1.6
39	39	99	33	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	小	19.9	36.5	26.2	15.0	2.3					0.0	0.0	-2.6
					中	22.5	40.8	23.8	10.4	2.4				0.0	0.1	-6.9	
40	40	99	34	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	小	28.0	45.8	21.3	4.8						0.1	0.0	-2.5
					中	30.5	46.8	18.7	3.9					0.0	0.1	-3.5	
41	41	99	新	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか	小	30.1	45.9	19.4	4.6						0.0	0.0	-1.1
					中	31.2	48.0	17.2	3.5					0.0	0.1	-3.2	
42	42	99	35	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	小	25.2	43.0	25.6	5.9						0.1	0.0	-2.7
					中	27.9	44.3	22.5	5.2					0.0	0.1	-4.0	
43	43	100	37	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	小	22.7	44.3	26.2	6.7						0.0	0.0	0.7
					中	22.0	45.4	26.6	5.9					0.0	0.1	-0.4	
44	44	100	38	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	小	29.9	39.1	23.7	7.2						0.0	0.1	1.6
					中	28.3	40.1	24.0	7.5					0.0	0.1	0.6	
45	45	100	39	総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳	小	25.5	42.7	24.5	7.3						0.0	0.0	1.3
					中	24.2	43.0	25.2	7.5					0.0	0.1	1.0	
46	46	100	40	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	小	39.5	41.7	14.1	4.6						0.1	0.1	2.8
					中	36.7	43.0	15.3	4.9					0.0	0.1	1.5	
47	47	100	41	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	小	25.3	51.3	18.5	4.9						0.0	0.0	2.5
					中	22.8	52.5	19.6	5.0					0.0	0.1	1.3	
48	48	100	42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	小	36.5	42.3	15.6	4.5	1.0					0.0	0.1	-1.2
					中	37.7	42.4	14.8	4.0	0.9				0.0	0.2	-1.3	
49	49	101	43	国語の勉強は好きですか	小	35.0	43.5	14.6	5.0	1.9					0.0	0.1	0.9
					中	34.1	44.6	15.1	4.6	1.5				0.0	0.1	-0.2	
50	50	101	44	国語の勉強は大切だと思いますか	小	32.6	43.4	18.7	5.0						0.1	0.2	-0.6
					中	33.2	45.0	17.0	4.5					0.0	0.2	-2.2	
51	51	101	45	国語の授業の内容はよく分かりますか	小	25.3	48.6	20.2	5.7						0.0	0.1	-0.3
					中	25.6	49.1	20.3	4.7					0.0	0.3	-0.8	
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)】																	
52	52	101	46	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	27.4	41.1	24.5	7.0						0.0	0.0	-4.3
					中	31.7	41.0	21.4	5.8					0.0	0.1	-4.2	
53	53	101	52	算数(数学)の勉強は好きですか	小	20.7	42.0	27.6	9.6						0.0	0.1	-7.7
					中	28.4	43.7	21.6	6.2					0.0	0.1	-9.4	
54	54	101	53	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	34.0	41.1	18.9	6.0						0.0	0.1	3.5
					中	30.5	43.0	20.2	6.2					0.0	0.1	1.6	
55	55	102	54	算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	小	27.4	46.4	20.2	5.9						0.0	0.1	-1.6
					中	29.0	47.8	18.0	5.0					0.0	0.1	-3.0	
56	56	102	55	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	32.1	41.3	20.9	5.6						0.0	0.1	1.1
					中	31.0	42.8	20.5	5.7					0.0	0.1	-0.4	
57	57	101	47	算数(数学)の勉強は好きですか	小	25.3	44.8	23.1	6.7						0.0	0.2	0.0
					中	25.3	46.4	22.1	6.0					0.0	0.2	-1.6	
58	58	101	48	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	44.1	36.3	14.7	4.8						0.0	0.2	1.6
					中	42.5	37.5	14.9	4.9					0.0	0.2	0.4	
59	59	101	49	国語の勉強は好きですか	小	46.7	39.1	10.7	3.4						0.0	0.1	3.7
					中	43.0	42.5	10.9	3.4					0.0	0.2	0.3	
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】																	
60	60	101	52	算数(数学)の勉強は好きですか	小	18.9	32.3	28.2	20.6						0.0	0.0	-4.5
					中	23.4	35.8	26.3	14.3					0.0	0.1	-8.0	
61	61	101	53	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	23.9	35.3	26.6	14.1						0.0	0.1	-0.3
					中	24.2	37.7	26.5	11.4					0.0	0.1	-2.7	
62	62	101	54	算数(数学)の勉強は好きですか	小	69.0	23.1	5.6	2.3						0.0	0.1	-0.3
					中	69.3	24.0	4.5	2.0					0.0	0.1	-1.2	
63	63	101	55	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	59.0	31.5	6.6	2.7						0.0	0.1	-4.1
					中	63.1	30.1	4.9	1.8					0.0	0.1	-2.7	
64	64	101	56	算数(数学)の勉強は好きですか	小	34.4	45.5	15.4	4.6						0.0	0.1	-5.1
					中	39.5	44.5	12.4	3.5					0.0	0.1	-4.1	
65	65	101	57	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	32.4	47.6	16.1	3.8						0.0	0.1	0.5
					中	31.9	49.3	15.1	3.5					0.0	0.1	-1.2	
66	66	101	58	算数(数学)の勉強は好きですか	小	67.3	23.9	6.2	2.5						0.0	0.1	1.8
					中	65.5	26.3	5.8	2.4					0.0	0.1	-0.6	
67	67	101	59	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	51.2	35.7	9.4	3.5						0.0	0.2	-4.4
					中	55.6	34.1	7.6	2.5					0.0	0.2	-2.8	
68	68	101	60	算数(数学)の勉強は好きですか	小	38.5	25.7	17.7	18.0						0.0	0.1	2.3
					中	36.2	26.3	20.3	17.1					0.0	0.1	1.7	
69	69	101	61	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	30.0	26.0	24.6	19.4						0.0	0.1	0.1
					中	29.9	28.2	24.3	17.5					0.0	0.1	-2.1	
70	70	101	62	算数(数学)の勉強は好きですか	小	77.7	16.2	4.0	2.0						0.0	0.1	1.1
					中	76.6	17.6	3.7	2.0					0.0	0.1	-0.3	
71	71	101	63	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	52.1	33.1	10.6	4.1						0.0	0.1	0.0
					中	52.1	34.5	9.8	3.4					0.0	0.1	-1.4	
72	72	102	64	算数(数学)の勉強は好きですか	小	46.5	34.5	13.8	5.2						0.0	0.1	0.9
					中	45.6	35.6	13.7	5.1					0.0	0.1	-0.2	
73	73	102	65	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	38.6	38.2	16.8	6.3						0.0	0.1	2.5
					中	36.1	40.1	17.4	6.3					0.0	0.1	0.6	
74	74	102	66	算数(数学)の勉強は好きですか	小	76.2	17.6	4.1	2.0						0.0	0.1	1.5
					中	74.7	18.6	4.5	2.1					0.0	0.1	0.5	
75	75	102	67	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	41.2	33.8	17.5	7.4						0.0	0.1	0.5
					中	40.7	35.8	16.6	6.8					0.0	0.1	-1.5	

質問番号 小 中	掲載P	R 3 番号	質問事項	校 種	選択肢 (質問の選択項目は、P92を参照)									その他 ※	無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9				
57	57	102	56	算数(数学)の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	小	32.9	34.9	21.8	10.4						0.0	0.0	-0.2
					中	33.1	36.2	21.2	9.5							0.0	0.1
58	58	102	57	算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	小	17.2	29.7	31.9	21.1						0.0	0.1	0.8
					中	16.4	30.9	33.2	19.3							0.0	0.2
59	59	102	R元 53/ H30 34	算数(数学)の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	小	47.7	33.3	14.4	4.5						0.0	0.1	2.8
					中	44.9	35.5	14.8	4.7							0.0	0.1
60	60	102	58	算数(数学)の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	小	36.7	37.6	18.9	6.6						0.0	0.2	1.5
					中	35.2	40.0	18.6	6.0							0.0	0.2
61	61	103	H30 38	理科の勉強は好きですか	小	44.7	32.1	16.8	6.3						0.0	0.1	0.9
					中	43.8	33.0	16.7	6.4							0.0	0.1
62	62	103	H30 39	理科の勉強は大切だと思いますか	小	35.3	34.2	21.3	9.1						0.0	0.2	1.4
					中	33.9	36.3	21.7	8.0							0.0	0.2
63	63	103	H30 40	理科の授業の内容はよく分かりますか	小	49.4	36.1	10.9	3.6						0.0	0.1	0.9
					中	48.5	37.2	10.7	3.3							0.0	0.2
64	64	103	H30 42	理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	小	41.4	38.7	14.2	5.4						0.0	0.3	2.2
					中	39.2	40.4	14.6	5.3							0.0	0.5
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(理科)】																	
61	61	103	H30 38	理科の勉強は好きですか	小	49.8	29.7	13.4	7.1						0.0	0.1	0.5
					中	49.3	30.4	13.3	6.8							0.0	0.1
62	62	103	H30 39	理科の勉強は大切だと思いますか	小	33.1	34.0	21.8	11.0						0.0	0.1	0.9
					中	32.2	34.2	22.4	11.1							0.0	0.1
63	63	103	H30 40	理科の授業の内容はよく分かりますか	小	60.0	26.4	10.2	3.3						0.0	0.1	2.6
					中	57.4	29.1	10.1	3.3							0.0	0.1
64	64	103	H30 42	理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	小	35.9	39.5	18.7	5.8						0.0	0.1	-1.0
					中	36.9	39.9	17.6	5.4							0.0	0.1
65	65	103	H30 43	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	54.2	33.4	9.3	3.0						0.1	0.1	-0.7
					中	54.9	33.6	8.6	2.7							0.0	0.1
66	66	103	H30 44	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	小	32.1	43.3	19.1	5.4						0.0	0.1	1.2
					中	30.9	44.3	19.3	5.4							0.0	0.1
67	67	104	H30 48	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	小	34.7	31.2	23.0	11.1						0.0	0.1	-0.4
					中	35.1	32.8	22.0	9.9							0.0	0.1
68	68	104	H30 49	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	小	20.0	30.3	32.7	16.9						0.0	0.1	-0.2
					中	20.2	32.5	31.6	15.5							0.0	0.2
69	69	104	H30 50	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	小	48.8	29.7	15.7	5.6						0.0	0.1	3.3
					中	45.5	31.7	16.6	6.0							0.0	0.1
70	70	104	H30 51	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	小	23.8	35.1	28.8	12.2						0.0	0.1	-1.0
					中	24.8	36.7	27.3	11.0							0.0	0.2
71	71	104	H30 52	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	小	12.8	13.1	25.0	49.1						0.0	0.1	-0.3
					中	13.1	13.5	26.2	47.1							0.0	0.1
72	72	104	H30 53	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	小	7.6	14.3	29.0	49.0						0.0	0.1	-0.4
					中	8.0	14.1	28.9	48.8							0.0	0.2
73	73	104	H30 54	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	小	41.7	35.2	17.5	5.5						0.0	0.1	1.2
					中	40.5	37.5	16.4	5.4							0.0	0.2
74	74	104	H30 55	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	小	23.3	40.6	26.4	9.6						0.0	0.2	1.0
					中	22.3	42.2	25.9	9.4							0.0	0.2
75	75	104	H30 56	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	小	46.5	37.1	12.7	3.6						0.1	0.1	-0.5
					中	47.0	37.9	11.5	3.4							0.0	0.2
76	76	104	H30 57	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	小	31.5	43.1	18.2	7.0						0.0	0.2	-4.3
					中	35.8	43.1	15.3	5.6							0.0	0.2
77	77	104	H30 58	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	小	33.1	37.3	21.2	8.4						0.0	0.1	-0.2
					中	33.3	38.9	20.0	7.5							0.0	0.2
78	78	104	H30 59	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	小	24.5	40.4	24.9	9.9						0.0	0.2	-0.8
					中	25.3	42.8	23.5	8.2							0.0	0.2
【各教科に関する調査の解答状況】																	
国1	国1	104	51	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	83.6	13.4	1.2							0.1	1.7	5.6
					中	78.0	17.4	1.8								0.1	2.7
国2	国2	104	68	解答時間は十分でしたか(国語)	小	82.2	14.0	1.8							0.0	2.0	4.9
					中	77.3	17.4	2.4								0.0	2.8
算1数1	算1数1	105	60	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	25.3	40.3	27.4	5.2						0.0	1.7	-4.6
					中	29.9	36.1	26.4	4.8							0.0	2.8
算2数2	算2数2	105	69	解答時間は十分でしたか(算数・数学)	小	54.8	34.6	7.8	0.8						0.0	2.0	9.4
					中	45.4	39.5	11.1	1.1							0.0	2.9
理1	理1	105	H30 51	今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	88.6	9.6	1.0							0.0	0.8	5.8
					中	82.8	14.0	1.4								0.1	1.7
理2	理2	105	H30 59	解答時間は十分でしたか(理科)	小	61.1	35.1	2.5							0.0	1.2	7.7
					中	53.4	41.3	3.7								0.0	1.6
理1	理1	105	H30 51	今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	57.4	28.5	10.7	2.5						0.0	0.9	0.2
					中	57.2	26.2	12.0	2.9							0.0	1.7
理2	理2	105	H30 59	解答時間は十分でしたか(理科)	小	41.2	31.1	22.7	3.7						0.0	1.3	2.6
					中	38.6	32.4	23.7	3.7							0.0	1.6
理1	理1	105	H30 51	今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	86.6	11.5	1.0							0.0	0.9	6.0
					中	80.6	15.9	1.7								0.1	1.6
理2	理2	105	H30 59	解答時間は十分でしたか(理科)	小	79.4	18.7	1.2							0.0	0.6	5.4
					中	74.0	23.3	1.7								0.0	1.0
理1	理1	105	H30 51	今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	75.0	17.3	5.4	1.4						0.0	0.9	0.8
					中	74.2	16.6	6.2	1.4							0.0	1.6
理2	理2	105	H30 59	解答時間は十分でしたか(理科)	小	71.7	22.7	4.5	0.6						0.0	0.6	4.5
					中	67.2	26.0	4.9	0.8							0.0	1.0

児童生徒質問紙 選択肢一覧

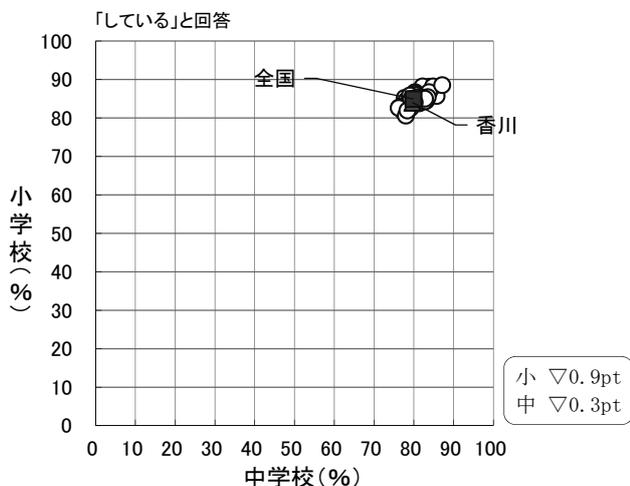
質問番号	選 択 肢
1～3	1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない
7～18 26、29、30 39～42 44～59 61～69	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない
4	1 きちんと守っている 2 だいたい守っている 3 あまり守っていない 4 守っていない 5 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない 6 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない
5、22	1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 1時間より少ない 6 全くしない
6	1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 30分以上、1時間より少ない 6 30分より少ない 7 携帯電話やスマートフォンを持っていない
19	1 先生に聞く 2 友達に聞く 3 家族に聞く 4 1、2、3以外の人に聞く 5 自分で調べる 6 分からないことはそのままにしている 7 分からないことはない
20	1 よくしている 2 ときどきしている 3 あまりしていない 4 全くしていない
21	1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全くしない
23	1 2時間以上 2 1時間以上、2時間より少ない 3 30分以上、1時間より少ない 4 10分以上、30分より少ない 5 10分より少ない 6 全くしない
24	1 0～10冊 2 11～25冊 3 26～100冊 4 101～200冊 5 201～500冊 6 501冊以上
25	1 ほぼ毎日読んでいる 2 週に1～3回程度読んでいる 3 月に1～3回程度読んでいる 4 ほとんど、または、全く読まない
27、28	1 よくある 2 ときどきある 3 あまりない 4 全くない
31	1 家で勉強や読書をしている(小) / 学校の部活動に参加している(中) 2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している(小) / 家で勉強や読書をしている(中) 3 地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む) 4 学習塾など学校以外の場所で勉強している 5 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている 6 スポーツ(スポーツに関する習い事を含む) 7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている 8 家族と過ごしている 9 友達と遊んでいる
32～35	1 ほぼ毎日 2 週3回以上 3 週1回以上 4 月1回以上 5 月1回未満
36	1 役に立つと思う 2 どちらかといえば、役に立つと思う 3 どちらかといえば、役に立たないと思う 4 役に立たないと思う
37	1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全く使っていない 7 スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を持っていない
38	1 発表していた 2 どちらかといえば、発表していた 3 どちらかといえば、発表していなかった 4 発表していなかった 5 考えを発表する機会はなかった
43	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない 5 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を行っていない
60	1 そうしている 2 どちらかといえば、そうしている 3 どちらかといえば、そうしていない 4 そうしていない
国1、算1 数1、理1	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた 3 書く問題は全く解答しなかった
国2、算2 数2、理2	1 時間が余つた 2 ちょうどよかった 3 やや足りなかった 4 全く足りなかった

2 児童生徒質問紙 回答結果グラフ

【基本的生活習慣等】

朝食

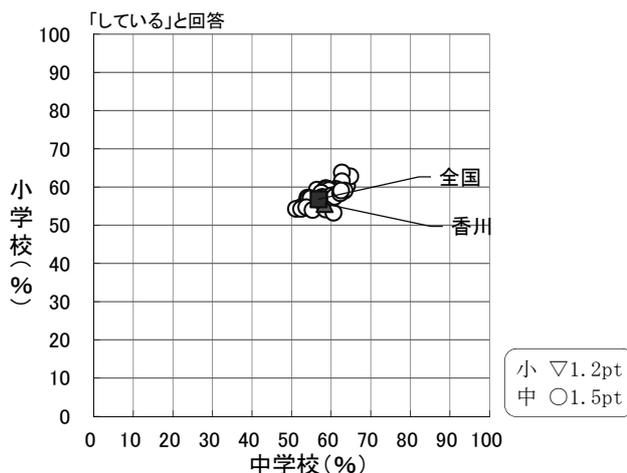
□ 1/1 朝食を毎日食べていますか



【基本的生活習慣等】

起きる時刻

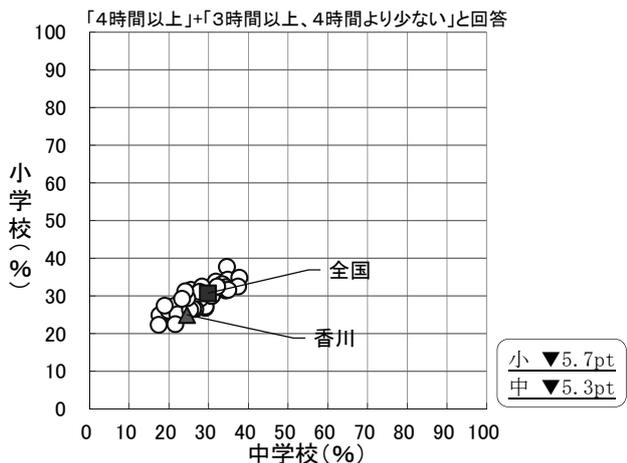
□ 3/3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



【基本的生活習慣等】

ゲームの時間

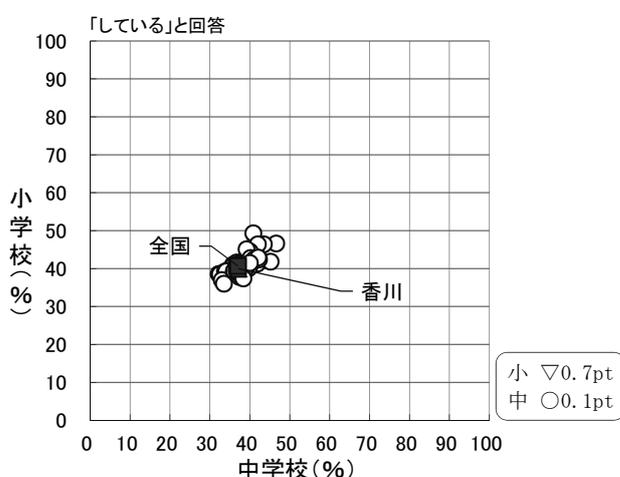
□ 5/5 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



【基本的生活習慣等】

寝る時刻

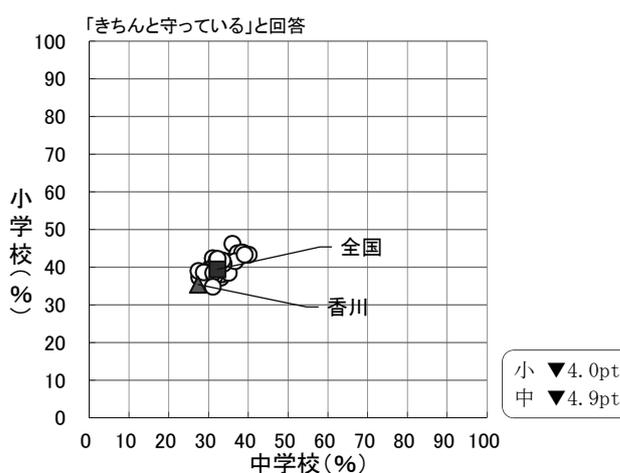
□ 2/2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



【基本的生活習慣等】

家の人との約束(コンピュータ等の使い方)

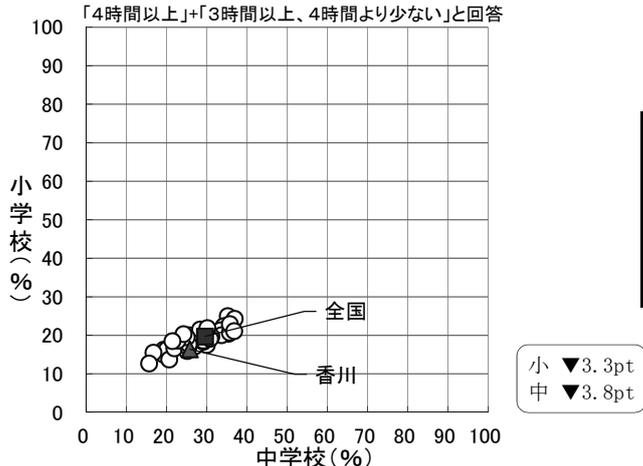
□ 4/4 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



【基本的生活習慣等】

SNSや動画視聴の時間

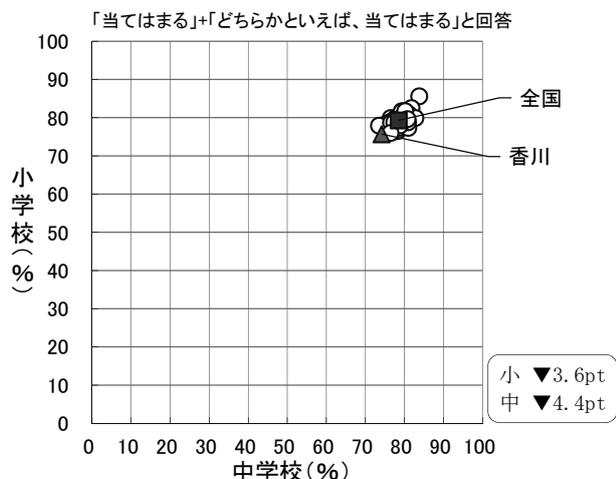
□ 6/6 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

自分にはよいところがある

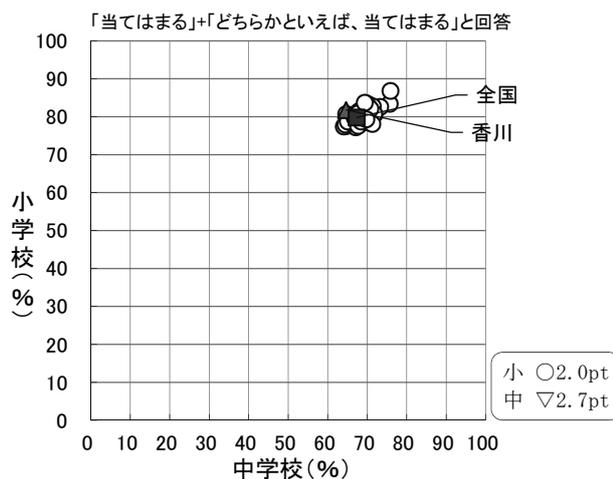
□ 7/7 自分には、よいところがあると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

将来の夢や目標

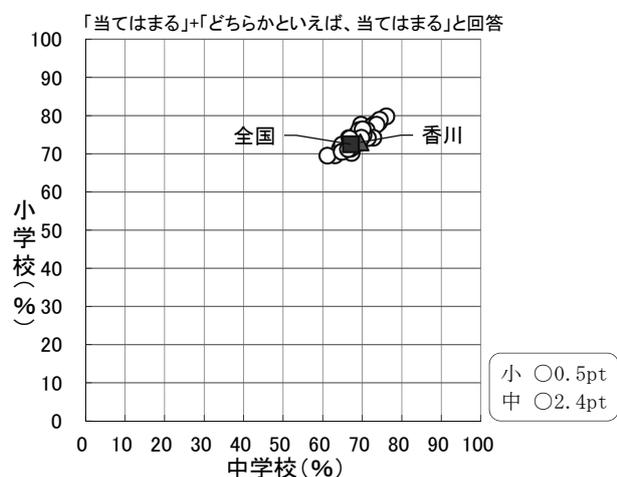
□ 9/9 将来の夢や目標を持っていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

失敗を恐れずに挑戦する

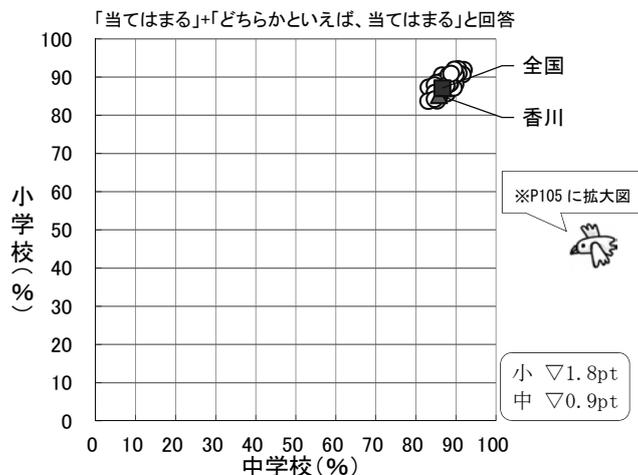
□ 11/11 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

先生はよいところを認めてくれている

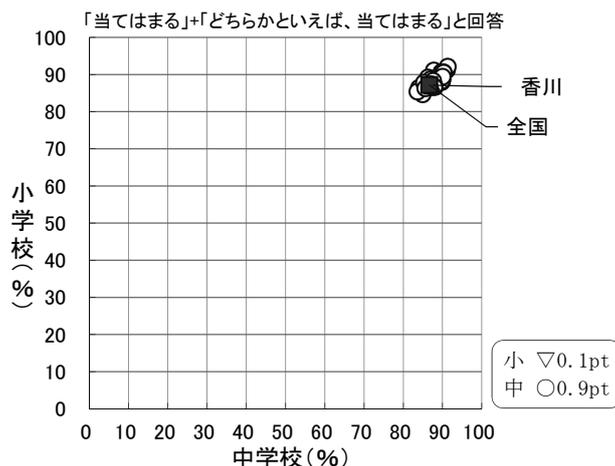
□ 8/8 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

自分で決めたことはやり遂げる

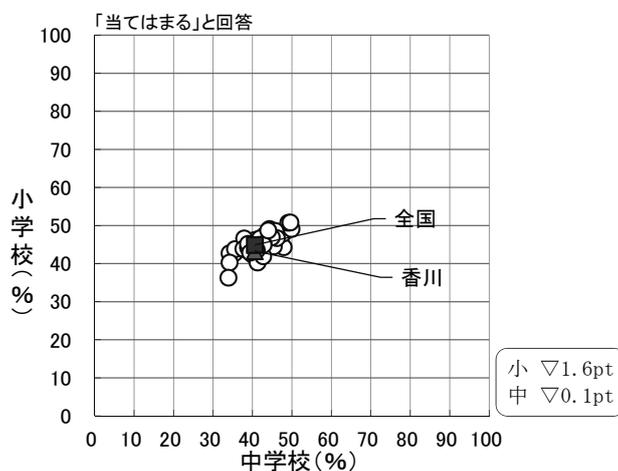
□ 10/10 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

人が困っているときは進んで助ける

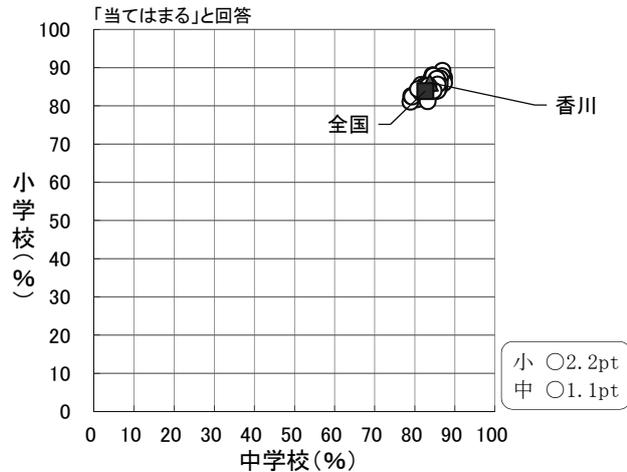
□ 12/12 人が困っているときは、進んで助けていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

いじめはいけないことだ

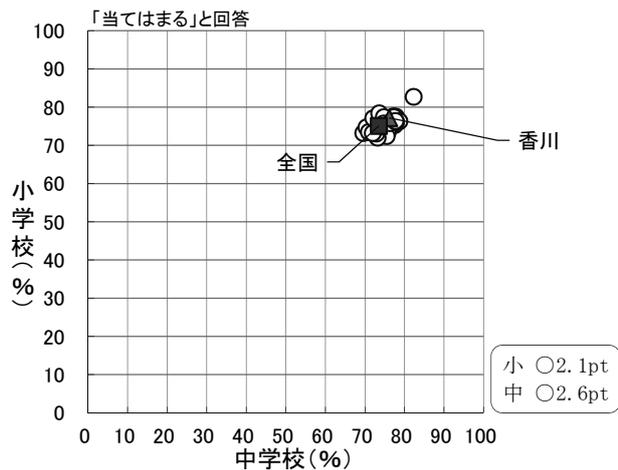
□ 13/13 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

人の役に立つ人間になりたい

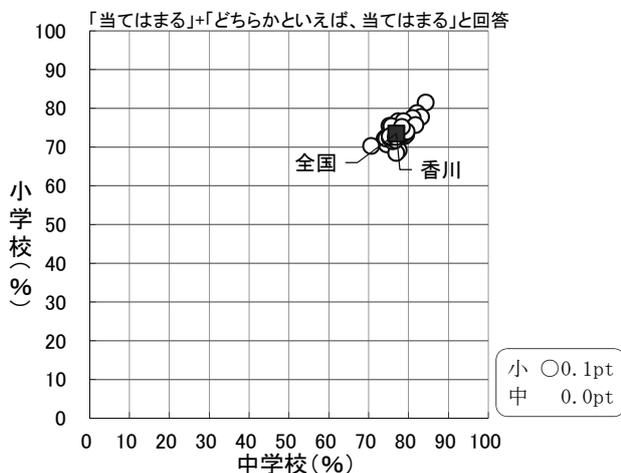
□ 15/15 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

自分と違う意見について考えるのは楽しい

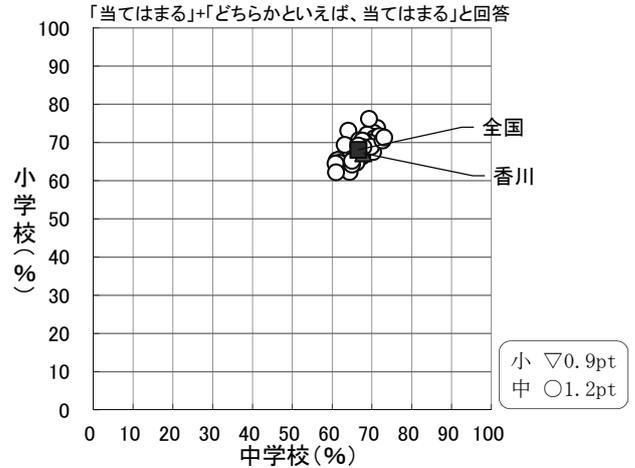
□ 17/17 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

いつでも相談できる

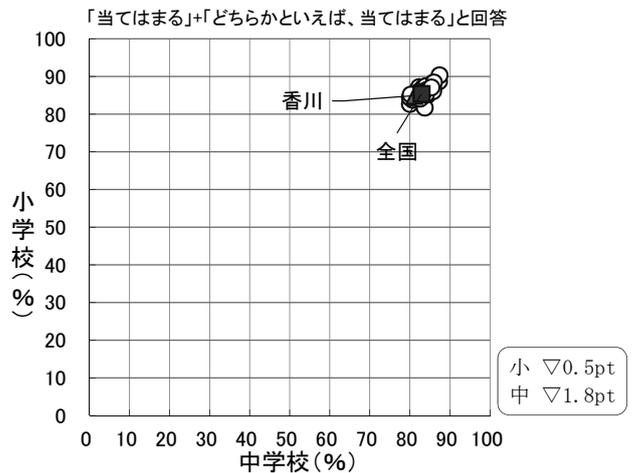
□ 14/14 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

学校に行くのは楽しい

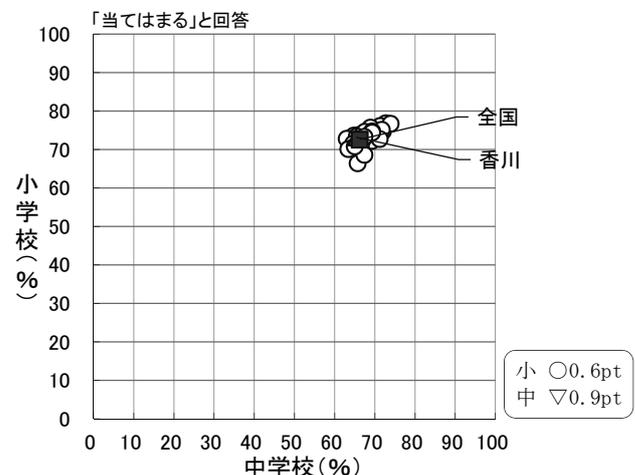
□ 16/16 学校に行くのは楽しいと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

友達と協力するのは楽しい

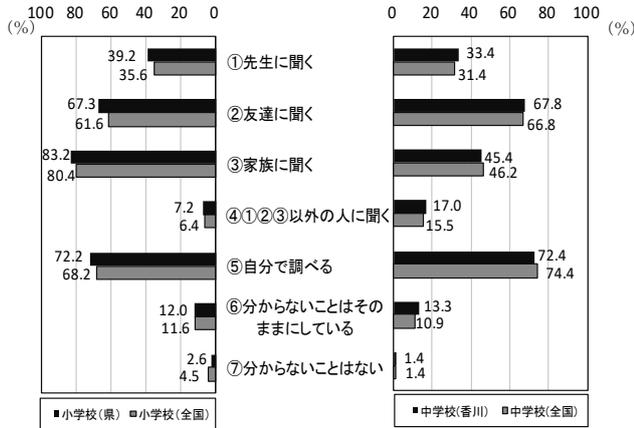
□ 18/18 友達と協力するのは楽しいと思いますか



【学習習慣、学習環境等】

課題で分からないことがあったときの対応

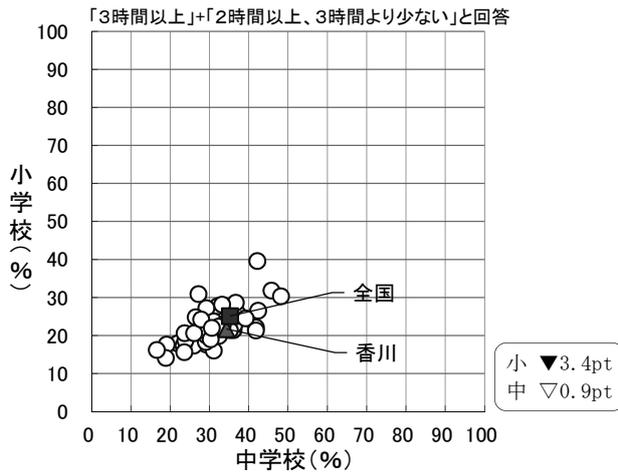
□ 19/19 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか



【学習習慣、学習環境等】

普段の勉強時間

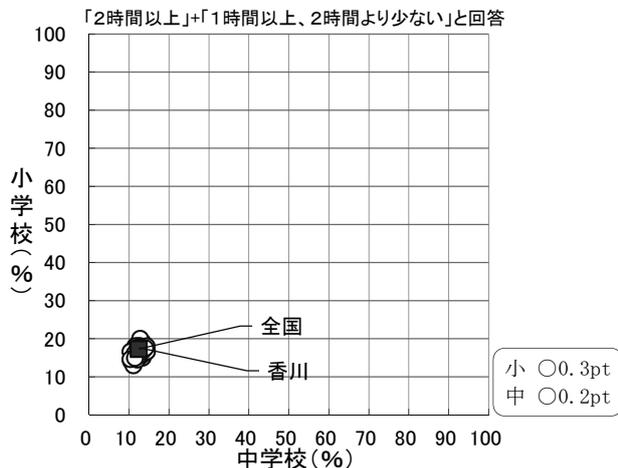
□ 21/21 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



【学習習慣、学習環境等】

読書の時間

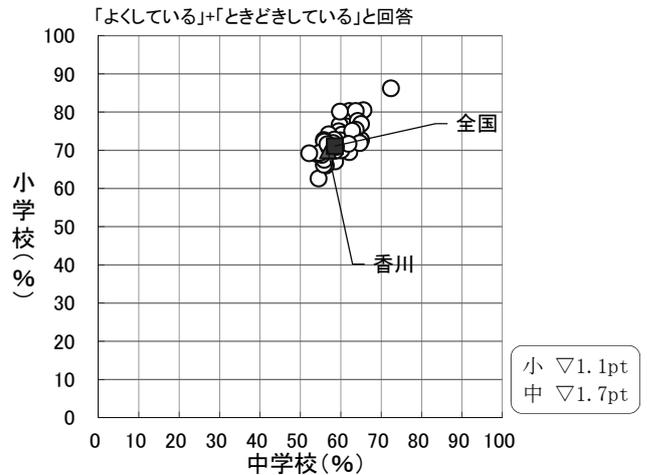
□ 23/23 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



【学習習慣、学習環境等】

自分で計画を立てて勉強

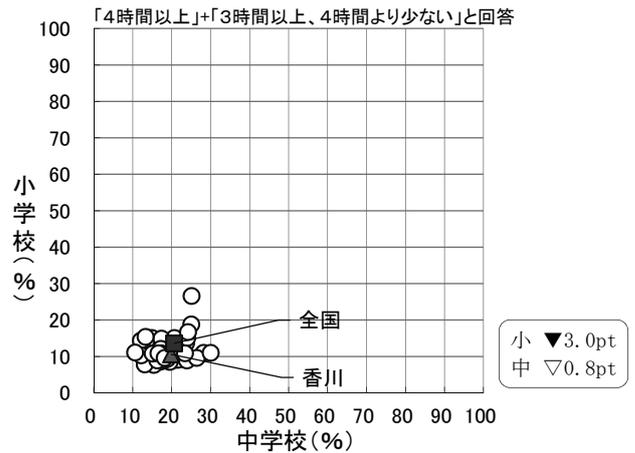
□ 20/20 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



【学習習慣、学習環境等】

学校が休みの日の勉強時間

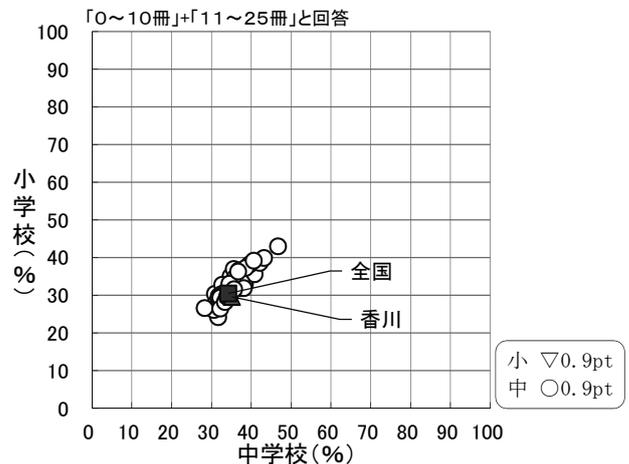
□ 22/22 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



【学習習慣、学習環境等】

どれくらいの本があるか

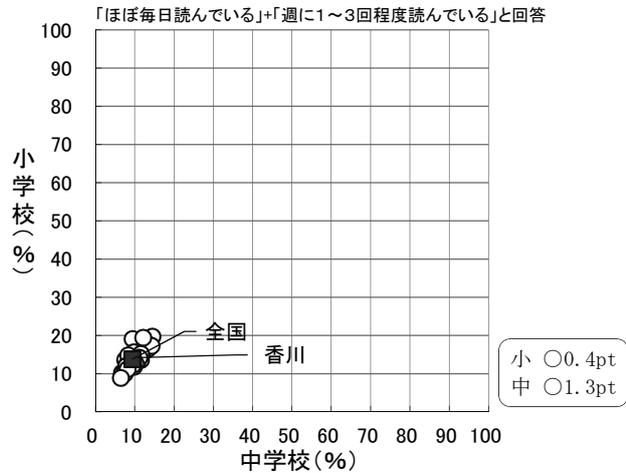
□ 24/24 あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)



【学習習慣、学習環境等】

新聞を読んでいる

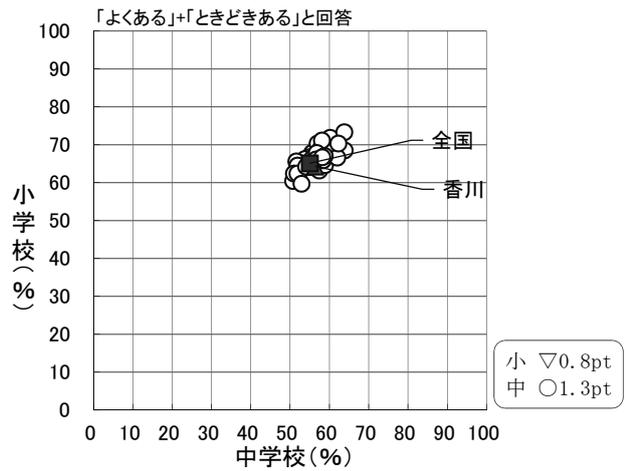
□ 25/25 新聞を読んでいますか



【地域や社会に関わる活動の状況等】

自然の中での遊びや自然観察をする

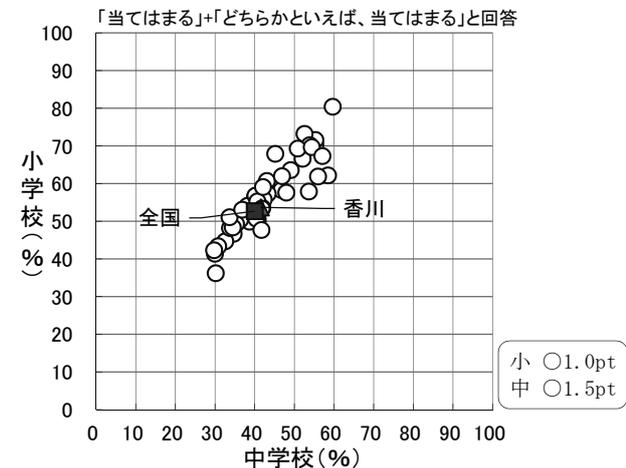
□ 27/27 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあります



【地域や社会に関わる活動の状況等】

地域の行事への参加

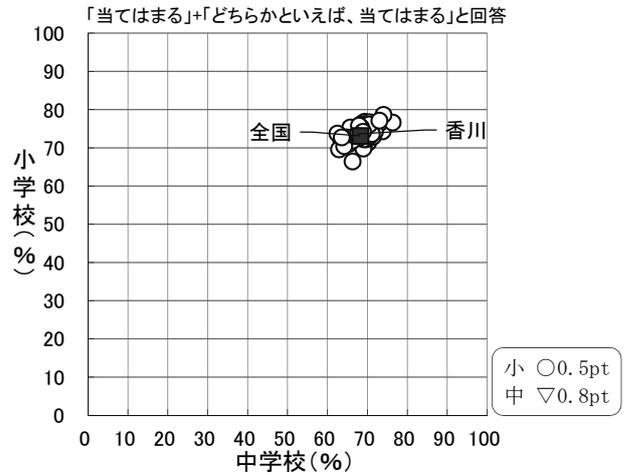
□ 29/29 今住んでいる地域の行事に参加していますか



【学習習慣、学習環境等】

読書が好きである

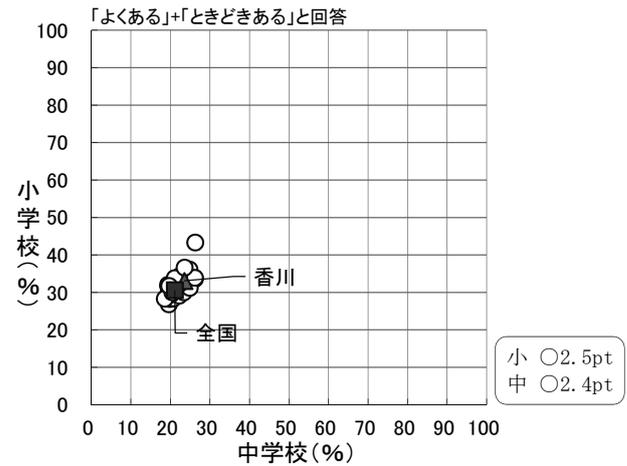
□ 26/26 読書は好きですか



【地域や社会に関わる活動の状況等】

地域の大人との関わり

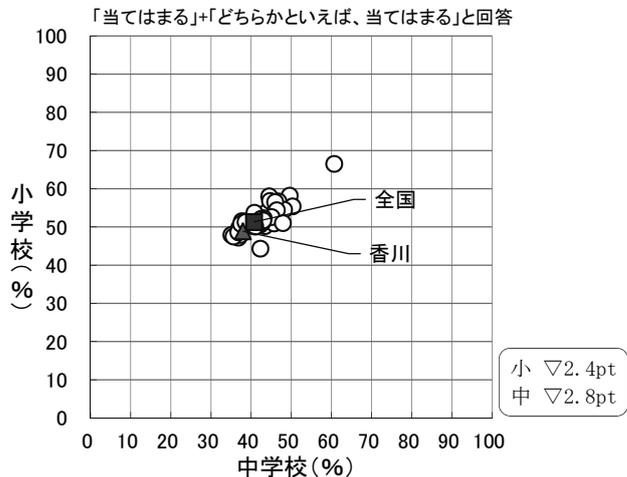
□ 28/28 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教してもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります(習い事の先生は除く)



【地域や社会に関わる活動の状況等】

地域のために何をすべきかを考える

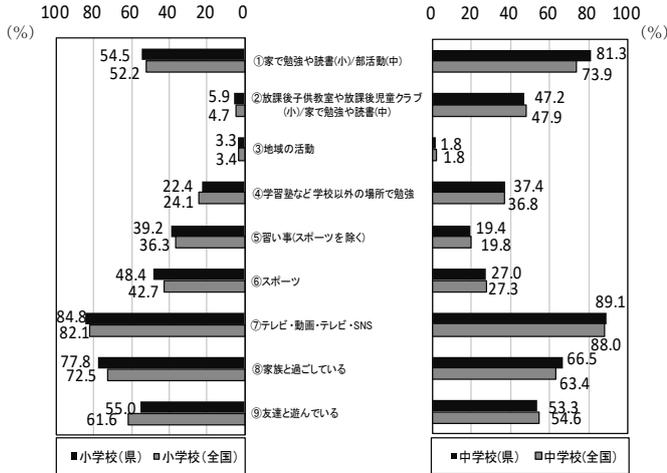
□ 30/30 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



【地域や社会に関わる活動の状況等】

放課後や週末の過ごし方

□ 31/31 放課後や週末に何をしておこなうことが多いですか (複数選択)

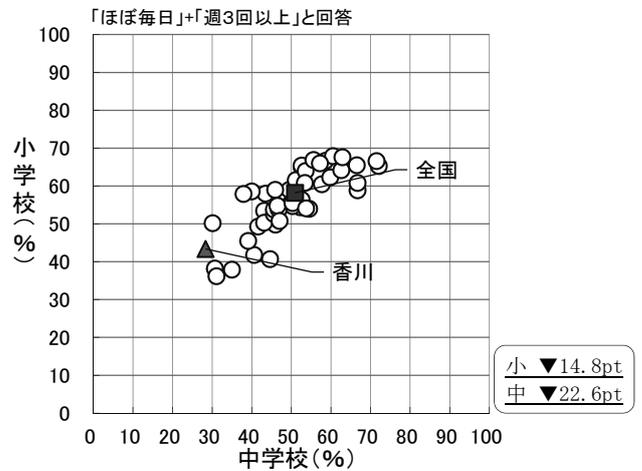


※回答選択肢の文言は省略している。(P92 参照)

【ICT を活用した学習状況】

授業での ICT の使用頻度

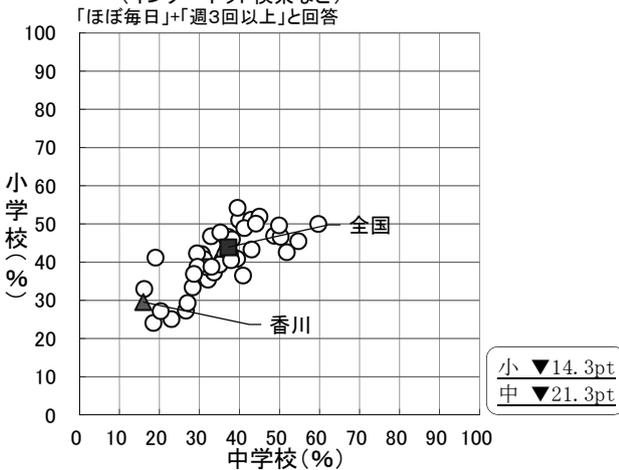
□ 32/32 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



【ICT を活用した学習状況】

ICT 機器を調べ学習で使用している

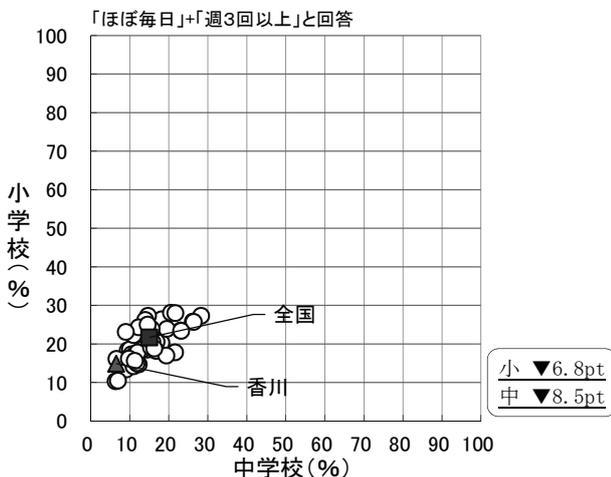
□ 33/33 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか (インターネット検索など)



【ICT を活用した学習状況】

ICT 機器を自分の考えをまとめ、発表する場面で使用している

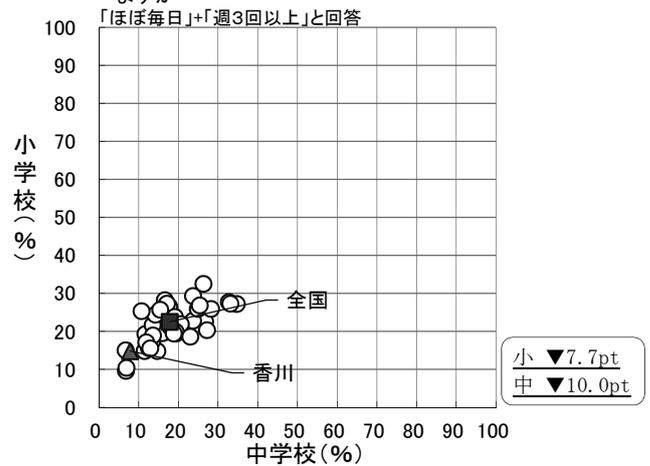
□ 35/35 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか



【ICT を活用した学習状況】

ICT 機器を意見交換する場面で使用している

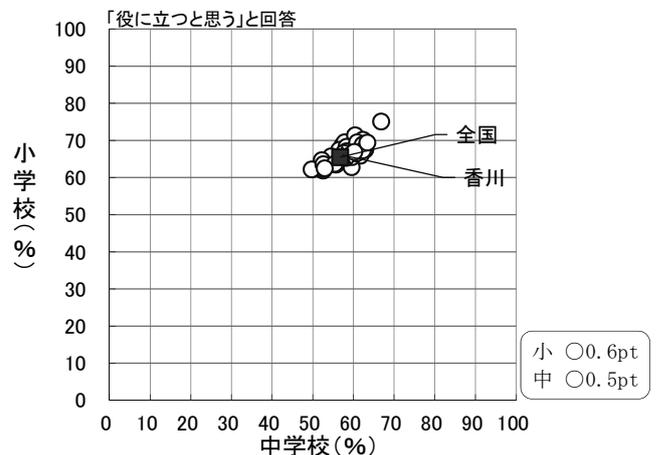
□ 34/34 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか



【ICT を活用した学習状況】

ICT 機器は勉強の役に立つ

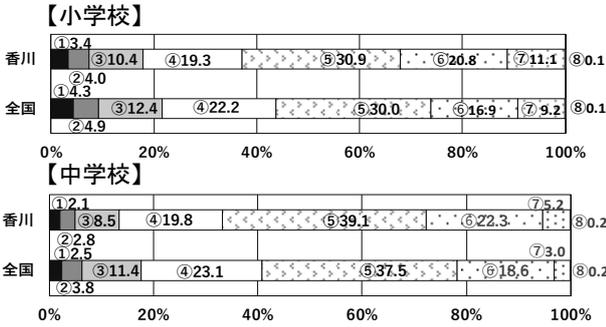
□ 36/36 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



【ICT を活用した学習状況】

普段 ICT 機器を勉強のために使っている

□ 37/37 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか

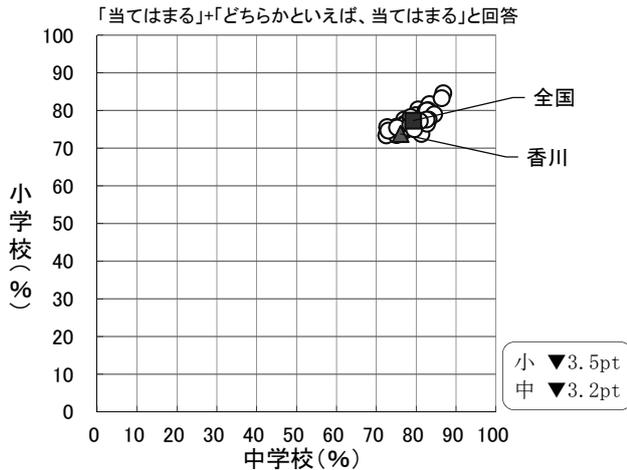


- ① 3時間以上
- ② 2時間以上、3時間より少ない
- ③ 1時間以上、2時間より少ない
- ④ 30分以上、1時間より少ない
- ⑤ 30分より少ない
- ⑥ 全く使っていない
- ⑦ スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を持っていない
- ⑧ その他・無回答

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

課題の解決に向けて、自ら考え、取り組む

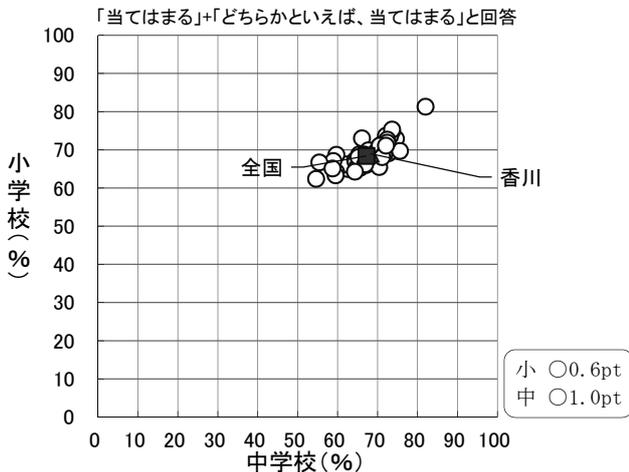
□ 39/39 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

授業で新しいものを創り出す活動を行っている

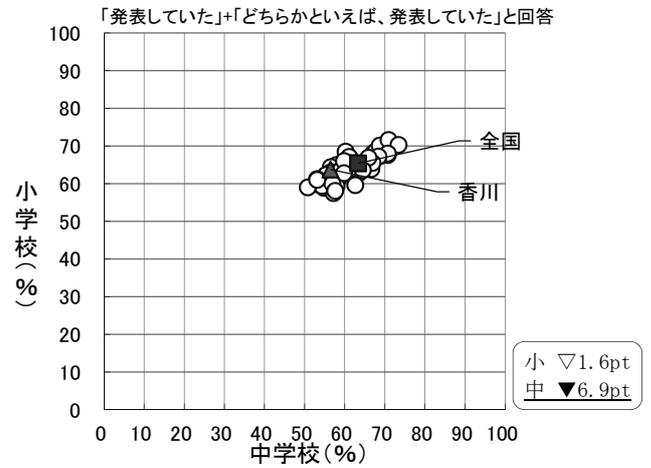
□ 41/41 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えを発表する機会

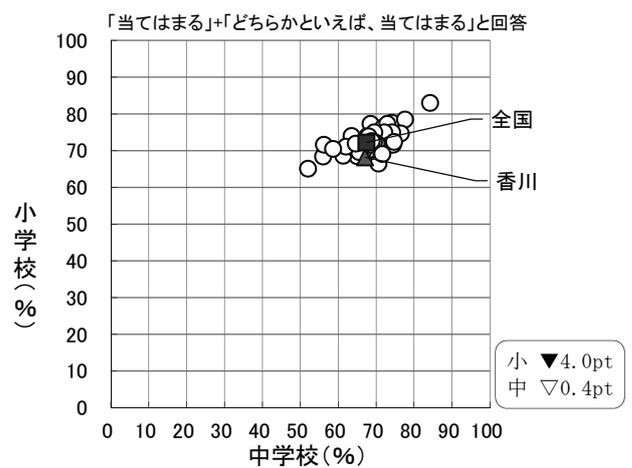
□ 38/38 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

授業で自分の考えをまとめる活動を行っている

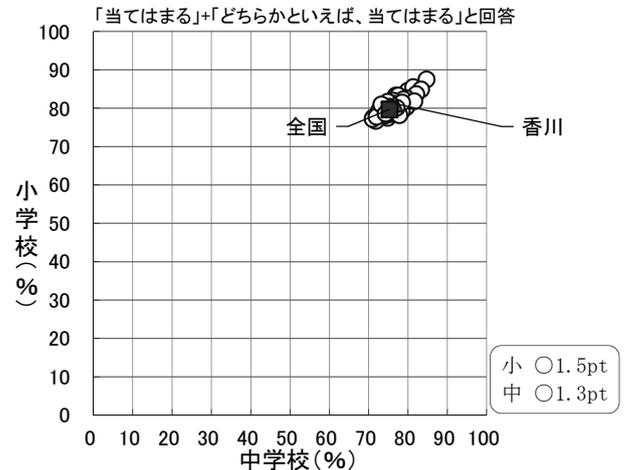
□ 40/40 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分に合った教え方、教材、学習時間

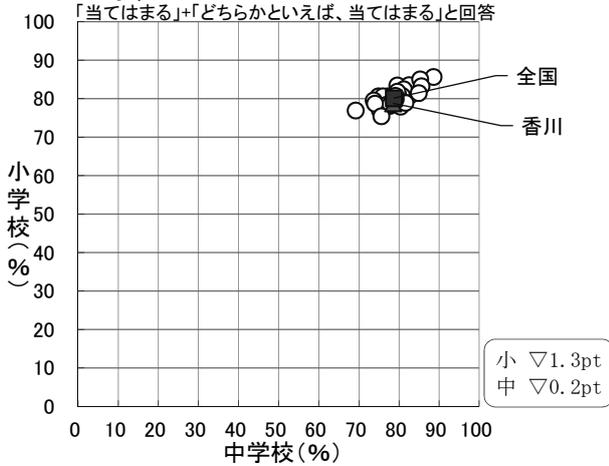
□ 42/42 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

話し合いで考えを深めたり、広げたりする

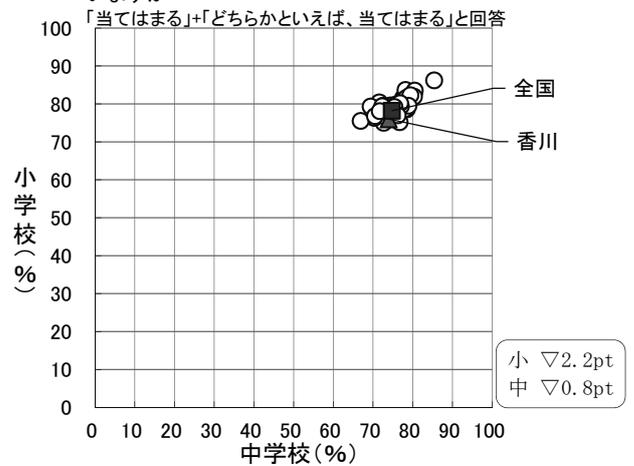
□ 43/43 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学習内容を見直し、次の学習につなげる

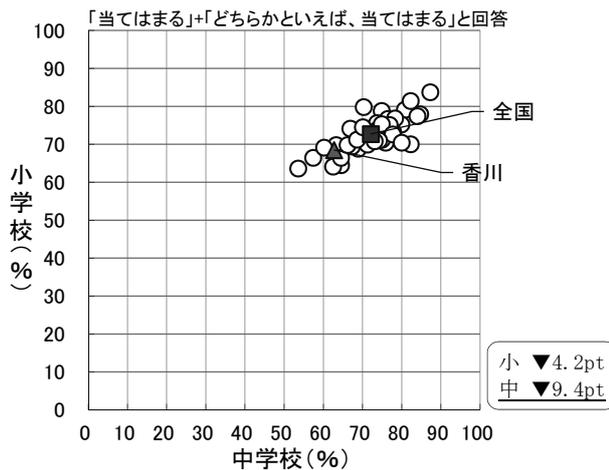
□ 44/44 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科、道徳】

総合的な学習の時間で課題を立てて発表している

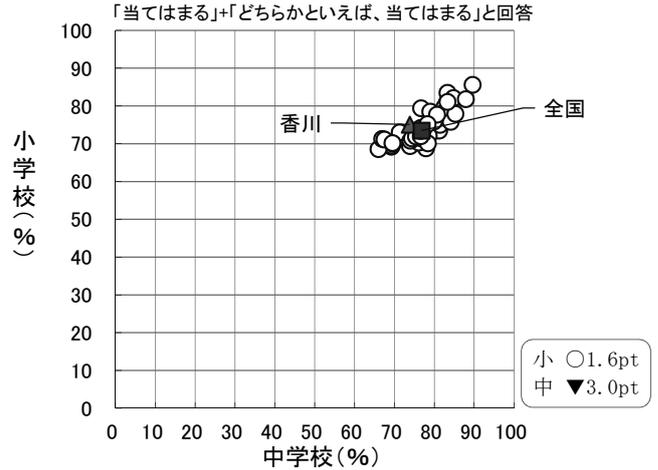
□ 45/45 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科、道徳】

互いの意見のよさを生かした解決方法

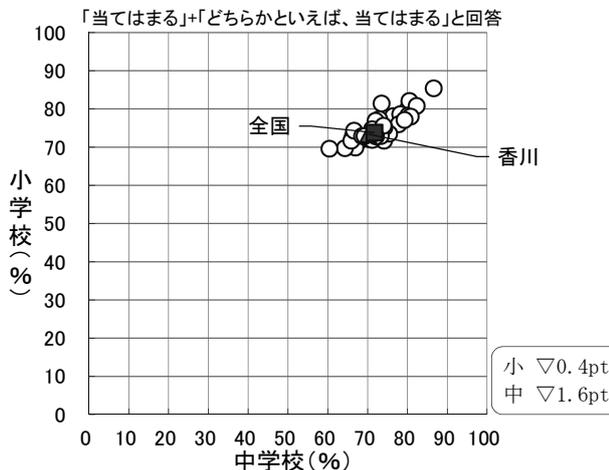
□ 46/46 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

話し合いを生かして努力すべきことに取り組む

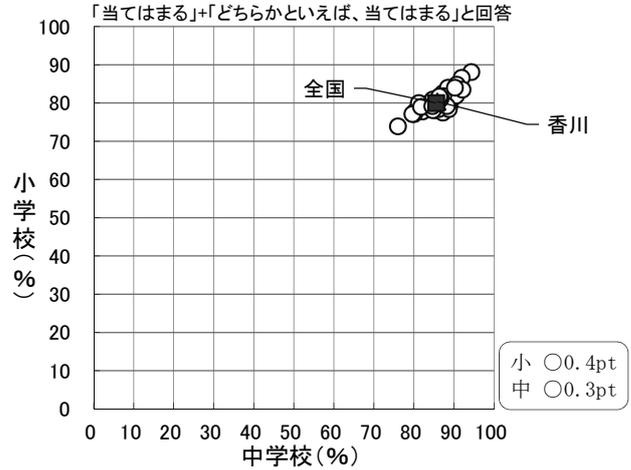
□ 47/47 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

道徳で考えを深めたり、話し合ったりする

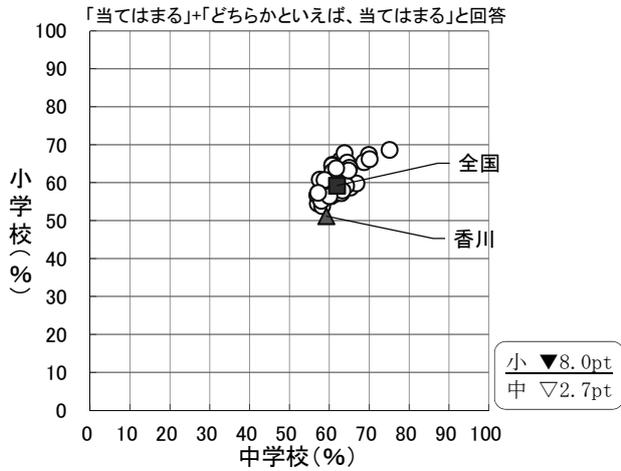
□ 48/48 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の勉強は好き

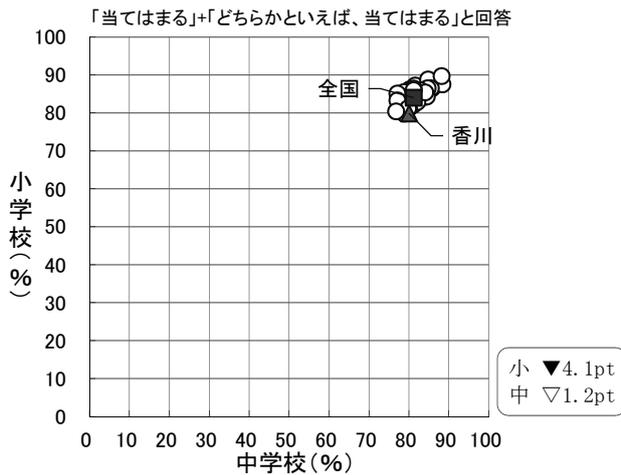
□ 49/49 国語の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の授業の授業の内容はよく分かる

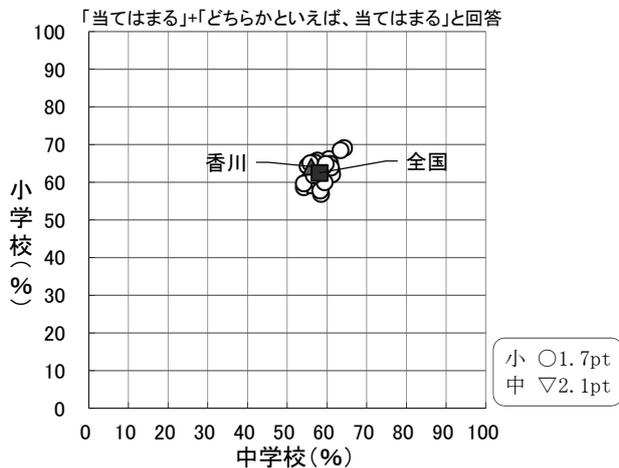
□ 51/51 国語の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数(数学)の勉強は好き

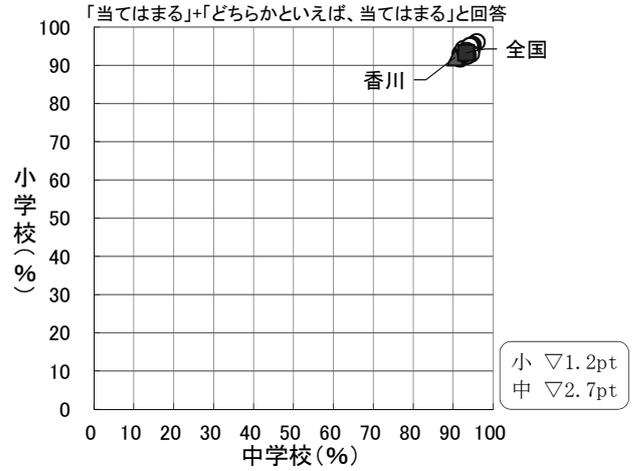
□ 53/53 算数(数学)の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の勉強は大切

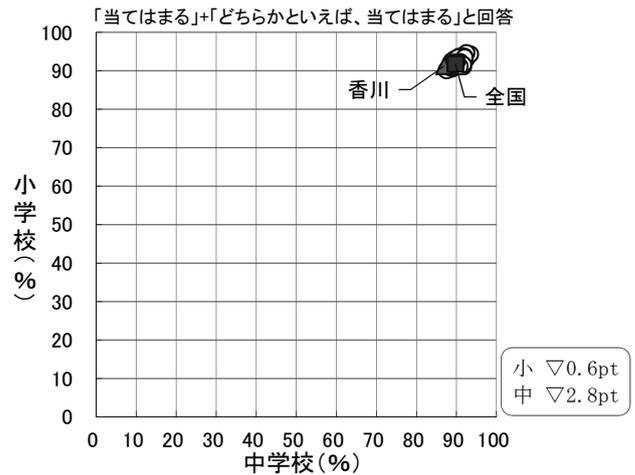
□ 50/50 国語の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

将来、社会に出た時に役に立つ

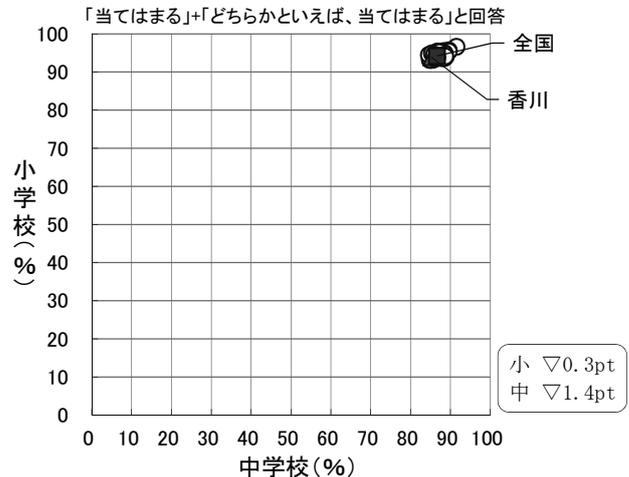
□ 52/52 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数(数学)の勉強は大切

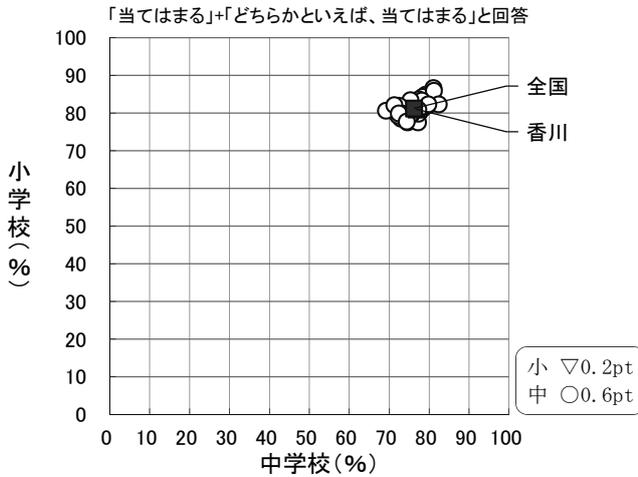
□ 54/54 算数(数学)の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数(数学)の授業の内容はよく分かる

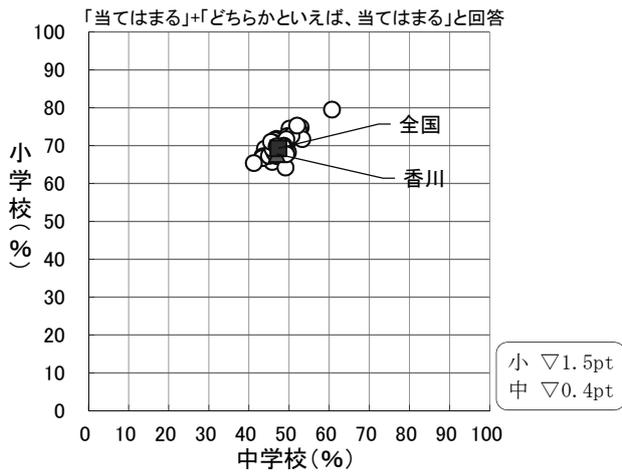
□ 55/55 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

普段の生活の中で活用しようとしている

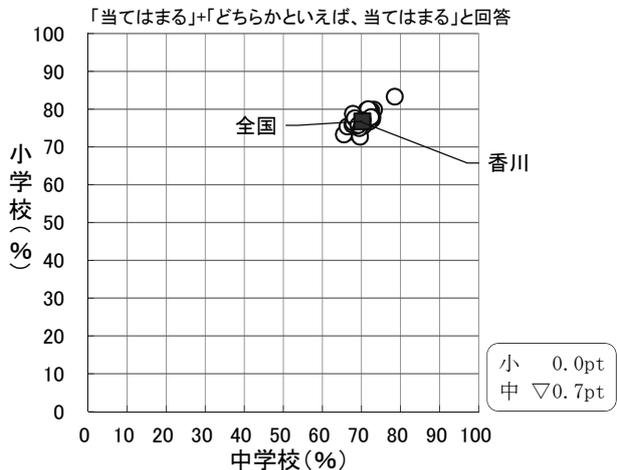
□ 57/57 算数(数学)の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

もっと簡単に解く方法がないか考える

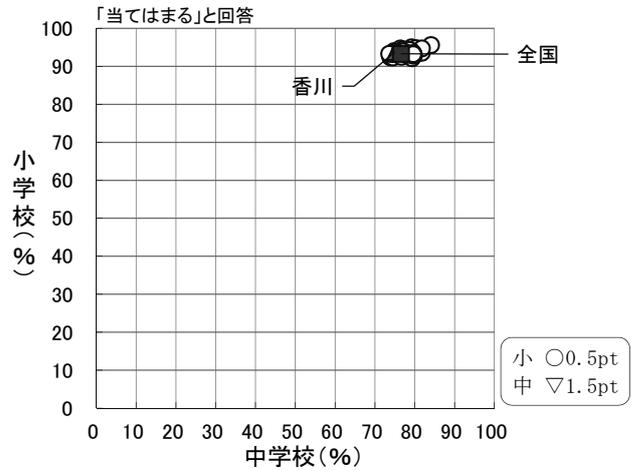
□ 59/59 算数(数学)の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

将来、社会に出たときに役に立つ

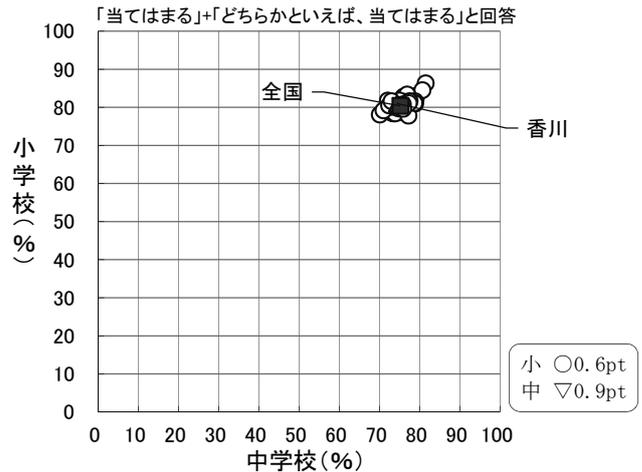
□ 56/56 算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

あきらめずにいろいろな方法を考える

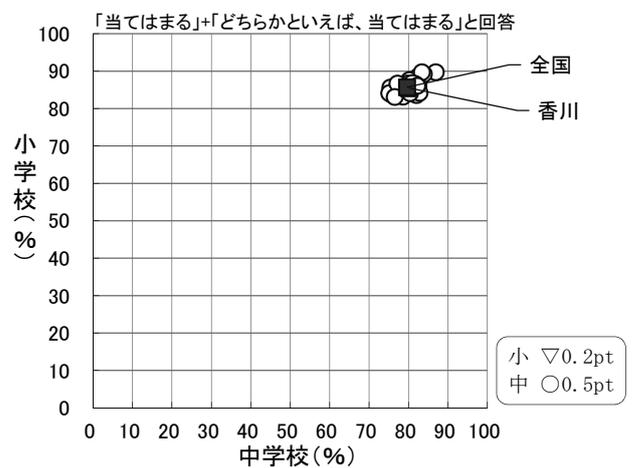
□ 58/58 算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

公式やきまりのわけを理解する

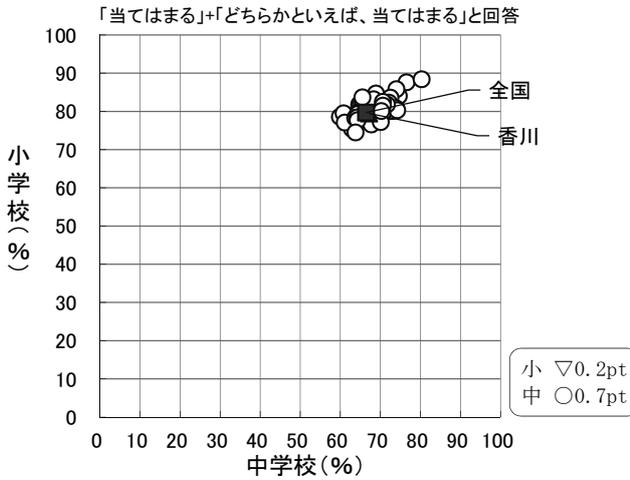
□ 60/60 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(理科)】

理科の勉強は好き

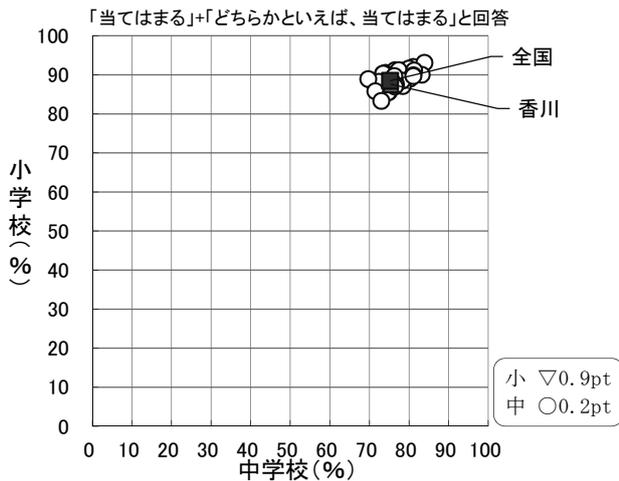
□ 61/61 理科の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(理科)】

理科の授業の内容はよく分かる

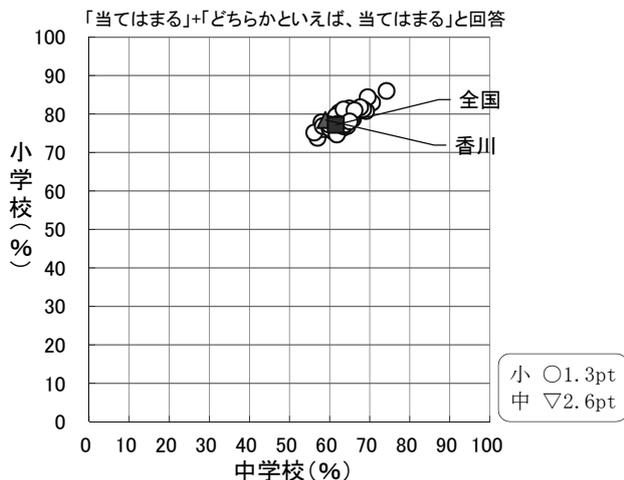
□ 63/63 理科の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(理科)】

将来、社会に出たときに役に立つ

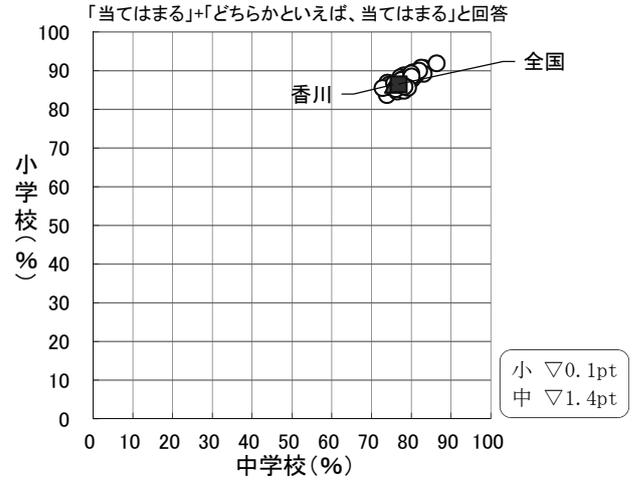
□ 65/65 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(理科)】

理科の勉強は大切

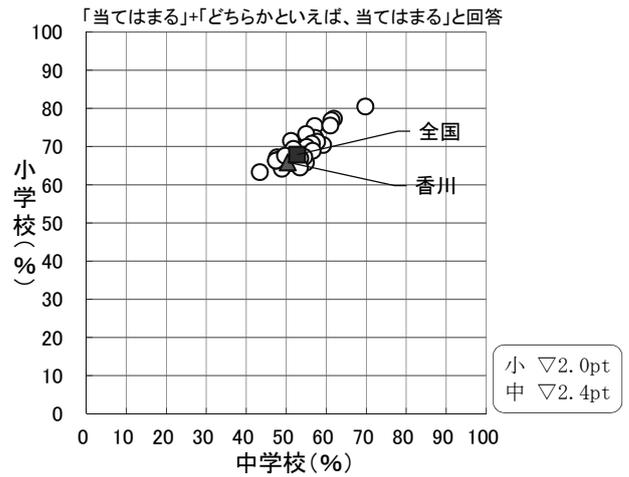
□ 62/62 理科の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(理科)】

普段の生活の中で活用しようとしている

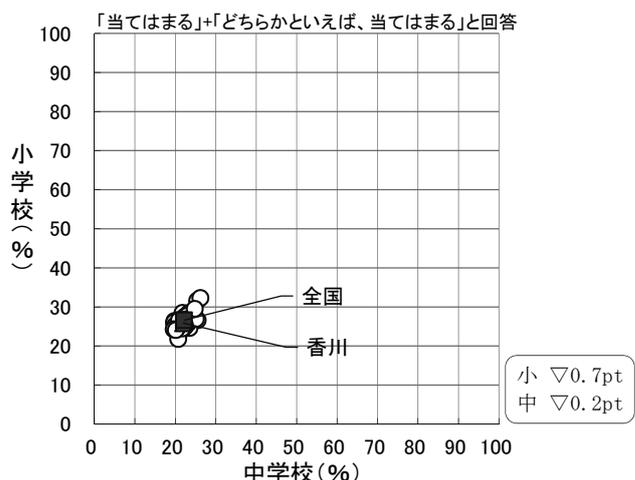
□ 64/64 理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(理科)】

理科等に関する職業に就きたい

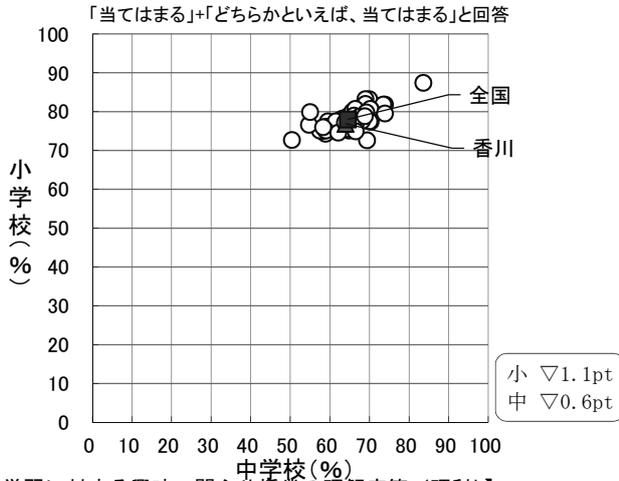
□ 66/66 将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）】

観察や実験の計画を立てている

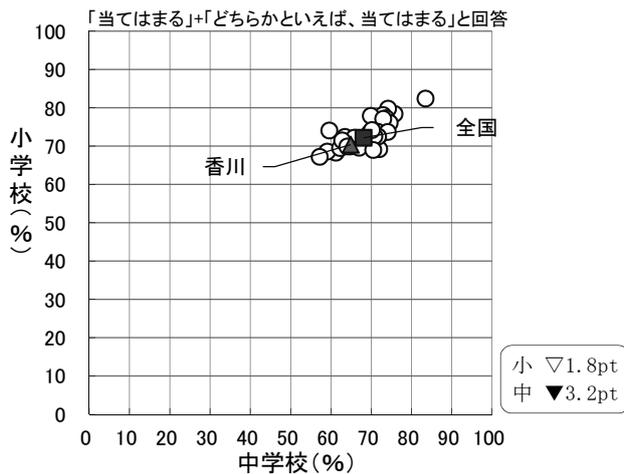
□ 67/67 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）】

観察や実験の進め方や考え方を振り返っている

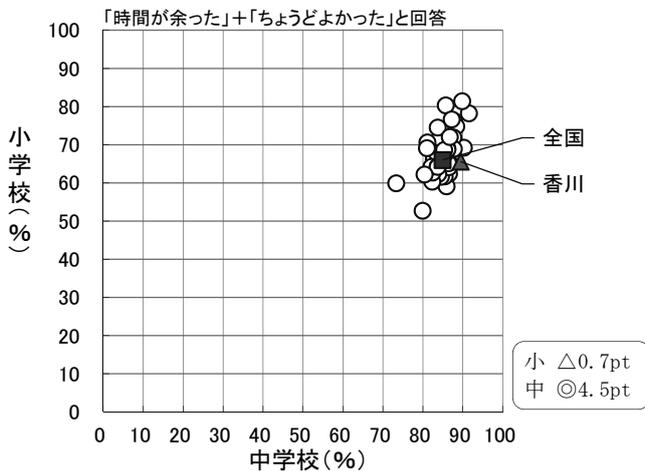
□ 69/69 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか



【各教科に関する調査の解答状況】

解答時間は十分だった（国語）

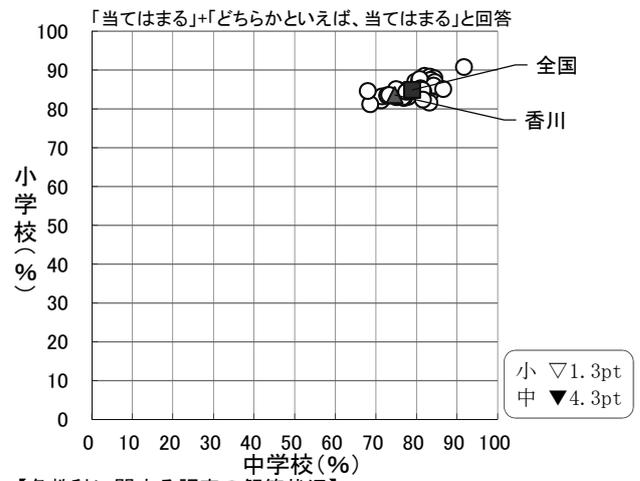
□ 国2 解答時間は十分でしたか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科）】

観察や実験の結果をもとに考察している

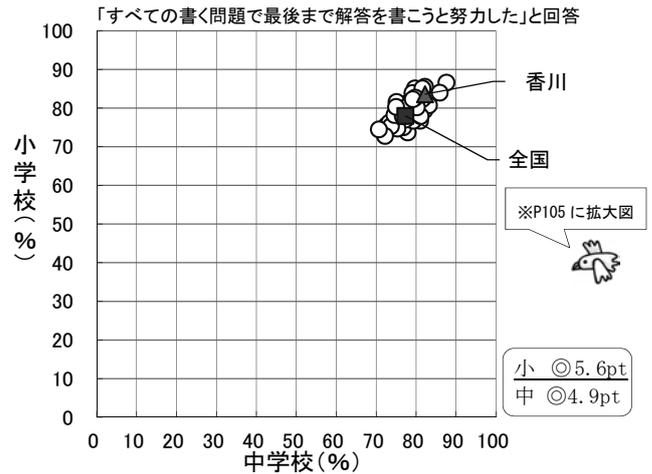
□ 68/68 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えて（をもとに考察して）いますか



【各教科に関する調査の解答状況】

（書く問題）最後まで解答を書こうと努力する

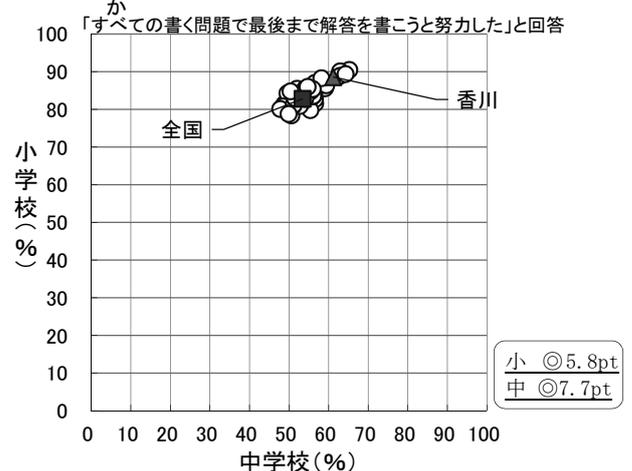
□ 国1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



【各教科に関する調査の解答状況】

（書く問題）最後まで解答を書こうと努力する

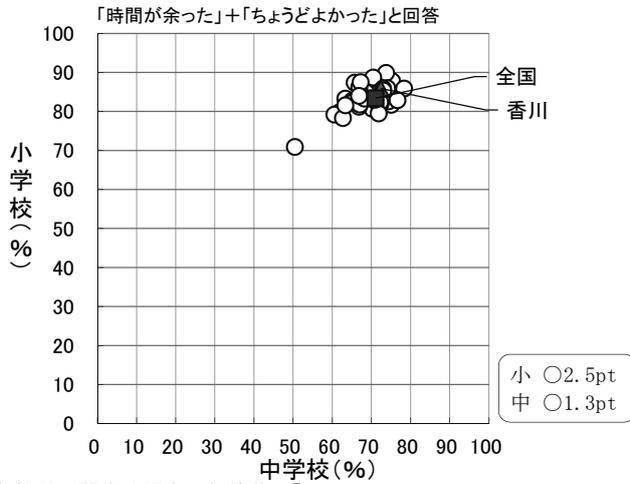
□ 算・数1 今回の算数（数学）の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く（説明する）問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



【各教科に関する調査の解答状況】

解答時間は十分だった(算数・数学)

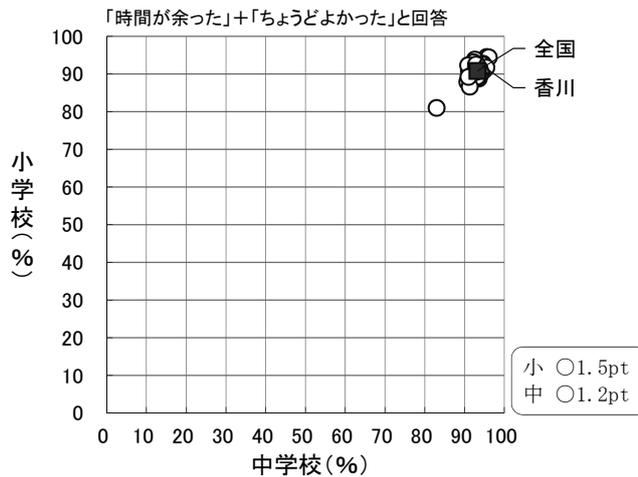
□算・数2 解答時間は十分でしたか



【各教科に関する調査の解答状況】

解答時間は十分だった(理科)

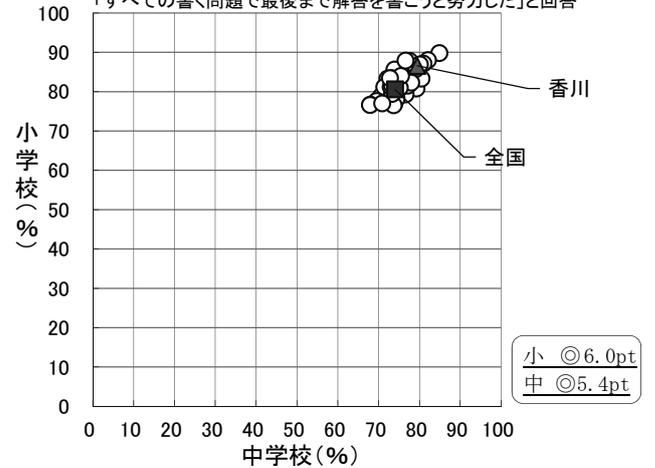
□理2 解答時間は十分でしたか



【各教科に関する調査の解答状況】

(書く問題)最後まで解答を書こうと努力する

□理1 今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答

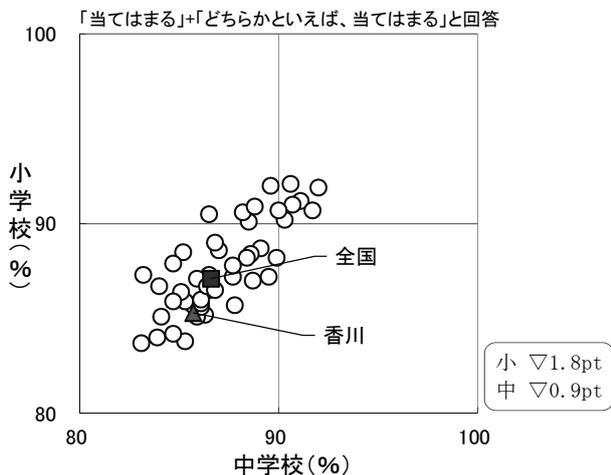


児童生徒質問紙 回答結果グラフ【拡大図】

【挑戦心、達成心、規範意識、自己有用感等】

先生はよいところを認めてくれる

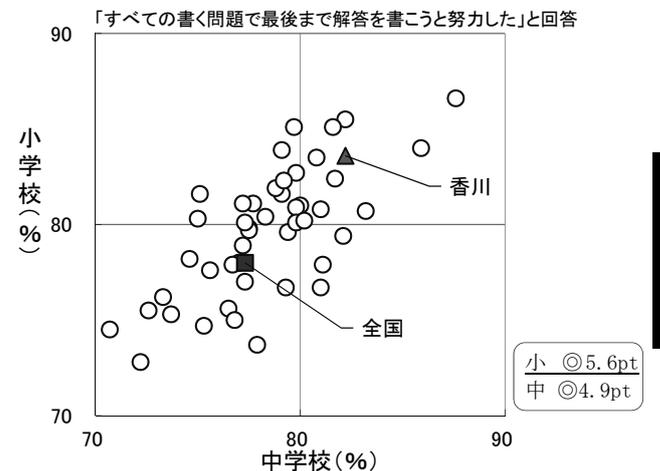
□ 8/8 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



【各教科に関する調査の解答状況】

(書く問題)最後まで解答を書こうと努力する

□国1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



3 学校質問紙 調査結果一覧

※「R3番号」欄の「新」は、R4年度新たに問われた質問。

1段目：香川県(公立)の割合(%) 2段目：全国(公立)の割合(%)

質問番号 小 中	掲載P 番号	R3 番号	質問事項	校 種	1段目：香川県(公立)の割合(%) 2段目：全国(公立)の割合(%)							その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7			
【生徒指導等】														
7	7	112	7	調査対象学年の児童(生徒)は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	小	43.2	47.3	9.5	0.0				0.0	1.2
					中	42.0	45.2	11.1	1.6				0.1	3.3
8	8	112	8	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	小	68.7	31.3	0.0	0.0				0.0	3.6
					中	65.1	30.5	3.7	0.6				0.0	4.4
9	9	112	9	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	小	20.3	67.6	11.5	0.0				0.7	-0.1
					中	20.4	64.2	14.9	0.4				0.1	3.3
10	10	112	11	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか	小	56.7	43.3	0.0	0.0				0.0	5.8
					中	50.9	47.6	1.4	0.0				0.1	1.5
11	11	112	新	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童(生徒)が相談したい時に相談できる体制となっていますか	小	46.6	50.0	3.4	0.0				0.0	-1.9
					中	48.5	47.7	3.6	0.1				0.1	0.4
12	12	112	13	教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	小	44.8	50.7	4.5	0.0				0.0	1.3
					中	43.5	50.8	5.4	0.1				0.1	1.2
13	13	113	14	教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか	小	58.8	40.5	0.7	0.0				0.0	-0.2
					中	59.0	39.7	1.2	0.0				0.1	0.6
14	14	113	新	ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)に取り組んでいますか	小	52.2	47.8	0.0	0.0				0.0	-3.0
					中	55.2	42.9	1.8	0.0				0.1	1.9
15	15	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、児童(生徒)の出欠・遅刻に関する事務は軽減しましたか	小	57.4	33.1	9.5	0.0				0.0	6.9
					中	50.5	37.9	9.4	2.1				0.0	2.1
16	16	113	14	教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか	小	67.2	31.3	1.5	0.0				0.0	2.5
					中	64.7	30.2	4.0	1.0				0.0	3.6
【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】														
17	17	113	13	教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	小	27.7	40.5	20.9	7.4	0.7	2.7		0.0	-7.4
					中	35.1	38.1	17.6	5.2	0.1	3.7		0.1	-5.0
18	18	113	14	教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか	小	25.4	25.4	29.9	7.5	0.0	11.9		0.0	2.2
					中	23.2	32.5	25.7	11.2	0.3	7.0		0.1	-4.9
19	19	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、児童(生徒)の出欠・遅刻に関する事務は軽減しましたか	小	48.0	34.5	14.2	2.0	0.7	0.7		0.0	-3.3
					中	51.3	32.4	11.1	3.3	0.1	1.7		0.1	-1.2
20	20	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、家庭への調査等に関する事務(個人面談等の日程調整や学校評価アンケートなど)は軽減しましたか	小	37.3	28.4	26.9	6.0	0.0	1.5		0.0	0.8
					中	36.5	32.6	18.3	8.2	0.1	4.2		0.1	-3.4
21	21	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、学校からのお知らせ(学校通信等)は軽減しましたか	小	31.8	64.2	4.1	0.0				0.0	-7.9
					中	39.7	55.3	4.8	0.0				0.1	1.0
22	22	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、児童(生徒)の出欠・遅刻に関する事務は軽減しましたか	小	25.4	62.7	11.9	0.0				0.0	-12.4
					中	37.8	56.5	5.5	0.0				0.1	-6.2
23	23	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、家庭への調査等に関する事務(個人面談等の日程調整や学校評価アンケートなど)は軽減しましたか	小	6.1	28.4	37.2	8.8	18.9			0.7	-15.5
					中	21.6	41.9	19.5	4.3	12.7			0.1	-29.0
24	24	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、家庭への調査等に関する事務(個人面談等の日程調整や学校評価アンケートなど)は軽減しましたか	小	11.9	20.9	37.3	7.5	22.4			0.0	-5.4
					中	17.3	42.6	22.1	5.5	12.3			0.1	-27.1
25	25	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、学校からのお知らせ(学校通信等)は軽減しましたか	小	17.6	40.5	23.0	6.8	12.2			0.0	-1.4
					中	19.0	41.8	21.9	3.9	13.2			0.1	-2.7
26	26	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、学校からのお知らせ(学校通信等)は軽減しましたか	小	9.0	43.3	23.9	6.0	17.9			0.0	-9.1
					中	18.1	43.9	22.0	4.0	12.0			0.1	-9.7
27	27	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、学校からのお知らせ(学校通信等)は軽減しましたか	小	9.5	34.5	39.9	6.8	9.5			0.0	-1.5
					中	11.0	39.3	33.8	5.7	10.1			0.1	-6.3
28	28	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員等会議に関する事務は軽減しましたか	小	10.4	29.9	38.8	10.4	10.4			0.0	-1.7
					中	12.1	40.7	31.3	6.0	9.8			0.1	-12.5
29	29	113	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員等会議に関する事務は軽減しましたか	小	16.9	53.4	20.3	4.1	5.4			0.0	-1.3
					中	18.2	53.3	20.8	2.5	5.1			0.1	-1.2
30	30	114	新	ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員の書類作成等その他の事務は軽減しましたか	小	7.5	34.3	44.8	6.0	7.5			0.0	-11.8
					中	19.3	48.4	22.6	3.3	6.3			0.1	-25.9
31	31	114	18	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	小	11.5	66.2	19.6	1.4	1.4			0.0	-0.7
					中	12.2	61.5	22.6	2.6	1.1			0.1	4.0
32	32	114	19	児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	小	11.9	59.7	22.4	4.5	1.5			0.0	0.2
					中	11.7	57.8	25.3	3.9	1.3			0.0	2.1
33	33	114	18	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	小	31.8	66.9	1.4	0.0				0.0	3.9
					中	27.9	66.9	5.1	0.0				0.1	3.9
34	34	114	19	児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	小	17.9	70.1	11.9	0.0				0.0	-8.0
					中	25.9	65.4	8.6	0.1				0.0	-3.3
35	35	114	20	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小	29.7	64.9	5.4	0.0				0.0	0.4
					中	29.3	64.9	5.6	0.0				0.1	0.4
36	36	114	20	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小	22.4	65.7	11.9	0.0				0.0	-6.4
					中	28.8	64.5	6.6	0.1				0.0	-5.2
37	37	114	23	授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	小	33.8	60.8	4.7	0.7				0.0	1.8
					中	32.0	60.3	7.4	0.1				0.1	2.3
38	38	114	24	児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	16.4	64.2	19.4	0.0				0.0	-6.5
					中	22.9	59.4	17.4	0.3				0.0	-1.7
39	39	114	25	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している(オンラインでの参加を含む)	小	60.8	39.2	0.0	0.0				0.0	6.4
					中	54.4	43.3	2.2	0.0				0.1	2.3
40	40	114	24	児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	25.4	70.1	4.5	0.0				0.0	-14.6
					中	40.0	52.7	7.2	0.0				0.0	2.8
41	41	115	25	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している(オンラインでの参加を含む)	小	31.8	55.4	12.2	0.0				0.7	5.3
					中	26.5	57.1	15.9	0.4				0.1	3.6
42	42	115	新	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小	22.4	55.2	19.4	3.0				0.0	-0.7
					中	23.1	55.5	20.5	0.8				0.0	-1.0
43	43	115	新	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小	26.4	54.7	18.9	0.0				0.0	7.9
					中	18.5	57.5	23.7	0.3				0.1	5.1
44	44	115	新	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小	22.4	50.7	25.4	1.5				0.0	5.8
					中	16.6	56.4	26.7	0.3				0.0	0.1
45	45	115	新	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小	98.0	2.0	0.0	0.0				0.0	8.9
					中	89.1	4.9	5.3	0.6				0.1	6.0
46	46	115	新	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小	95.5	4.5	0.0	0.0				0.0	7.5
					中	88.0	6.7	4.5	0.8				0.0	5.3

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

質問番号	掲載P	R3 番号	質問事項	校種	選択肢(質問の選択項目は、P111を参照)							その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7			
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】														
23	23	115	29	調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	小	16.9	64.2	18.9	0.0				0.0	-2.4
					中	19.3	67.9	12.4	0.3				0.1	-6.1
24	24	115	30	調査対象学年の児童(生徒)は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	小	19.4	62.7	17.9	0.0				0.0	0.2
					中	19.2	68.7	11.9	0.1				0.0	-5.8
25	25	115	31	調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	小	8.8	65.5	25.0	0.7				0.0	-3.0
					中	11.8	63.3	24.4	0.4				0.1	-0.8
26	26	115	32	調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	小	11.9	61.2	25.4	1.5				0.0	-2.9
					中	14.8	65.9	19.1	0.2				0.0	-7.6
27	27	116	33	調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	小	14.2	68.9	16.9	0.0				0.0	-3.1
					中	17.3	66.5	15.8	0.2				0.1	-0.7
28	28	116	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	22.4	64.2	13.4	0.0				0.0	1.8
					中	20.6	66.7	12.6	0.1				0.0	-0.7
29	29	116	34	調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	小	9.5	73.0	17.6	0.0				0.0	-5.6
					中	15.1	65.8	18.8	0.3				0.1	1.6
30	30	116	36	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	20.9	67.2	11.9	0.0				0.0	0.6
					中	20.3	65.9	13.6	0.1				0.0	1.9
31	31	116	37	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	28.4	63.5	7.4	0.0				0.7	-3.0
					中	31.4	59.3	8.9	0.3				0.1	1.2
32	32	116	H30 27/ H30 26	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	46.3	50.7	3.0	0.0				0.0	4.0
					中	42.3	53.7	3.9	0.1				0.0	1.0
33	33	117	41	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	25.0	68.2	6.8	0.0				0.0	-9.5
					中	34.5	62.3	3.1	0.0				0.1	-3.6
34	34	117	42	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	25.4	71.6	3.0	0.0				0.0	-6.0
					中	31.4	65.7	2.8	0.0				0.1	-0.1
35	35	117	43	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	21.6	65.5	12.8	0.0				0.0	-10.0
					中	31.6	58.2	10.0	0.1				0.1	-2.7
36	36	117	44	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	22.4	58.2	19.4	0.0				0.0	-5.4
					中	27.8	59.2	12.8	0.2				0.1	-6.4
37	37	117	46	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	16.9	68.9	14.2	0.0				0.0	-4.3
					中	21.2	66.8	11.7	0.1				0.2	-2.2
38	38	117	47	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	11.9	68.7	19.4	0.0				0.0	-8.8
					中	20.7	67.5	11.7	0.0				0.1	-7.6
39	39	118	51	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	8.8	73.6	17.6	0.0				0.0	-7.8
					中	16.6	66.8	16.4	0.1				0.1	-1.0
40	40	118	52	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	4.5	71.6	23.9	0.0				0.0	-8.9
					中	13.4	63.2	23.1	0.2				0.1	-0.5
41	41	118	53	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	24.3	55.4	19.6	0.7				0.0	2.6
					中	21.7	60.9	17.1	0.2				0.1	-2.9
42	42	118	54	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	11.9	68.7	19.4	0.0				0.0	-5.8
					中	17.7	62.7	19.3	0.3				0.1	0.2
【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法】														
33	33	117	41	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	26.4	59.5	14.2	0.0				0.0	-6.0
					中	32.4	58.4	9.0	0.1				0.0	-4.9
34	34	117	42	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	28.4	50.7	19.4	1.5				0.0	-7.0
					中	35.4	54.2	10.2	0.1				0.0	-10.5
35	35	117	43	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	35.8	58.8	5.4	0.0				0.0	-1.3
					中	37.1	56.7	6.1	0.1				0.1	0.8
36	36	117	44	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	40.3	52.2	7.5	0.0				0.0	4.7
					中	35.6	57.7	6.6	0.1				0.0	-0.8
37	37	117	46	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	29.1	64.2	6.8	0.0				0.0	-2.3
					中	31.4	61.2	7.2	0.1				0.1	0.7
38	38	117	47	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	31.3	62.7	6.0	0.0				0.0	0.7
					中	30.6	61.1	8.2	0.1				0.0	2.3
39	39	118	51	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	33.1	63.5	3.4	0.0				0.0	-4.5
					中	37.6	59.3	3.1	0.0				0.0	-0.3
40	40	118	52	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	47.8	50.7	1.5	0.0				0.0	1.7
					中	46.1	51.6	2.3	0.0				0.0	0.8
【学習評価】														
37	37	117	46	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	36.5	58.1	5.4	0.0				0.0	-2.5
					中	39.0	58.0	2.8	0.0				0.1	-2.4
38	38	117	47	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	37.3	59.7	3.0	0.0				0.0	1.5
					中	35.8	60.8	3.3	0.0				0.1	0.4
39	39	118	51	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	13.5	64.2	22.3	0.0				0.0	-8.5
					中	22.0	62.1	15.7	0.2				0.1	-6.4
40	40	118	52	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	31.3	62.7	6.0	0.0				0.0	-3.1
					中	34.4	57.2	8.3	0.0				0.1	2.4
41	41	118	53	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	20.9	70.9	8.1	0.0				0.0	-8.1
					中	29.0	65.4	5.4	0.0				0.1	-2.6
42	42	118	54	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	35.8	62.7	1.5	0.0				0.0	-5.7
					中	41.5	56.0	2.4	0.0				0.1	1.0
43	43	118	55	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	27.7	66.2	6.1	0.0				0.0	-6.7
					中	34.4	61.0	4.5	0.0				0.1	-1.5
44	44	118	56	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	26.9	61.2	11.9	0.0				0.0	-10.8
					中	37.7	55.7	6.5	0.0				0.1	-5.3
45	45	118	57	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	18.9	74.3	6.8	0.0				0.0	-10.3
					中	29.2	63.5	7.1	0.0				0.1	0.5
46	46	118	58	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	43.3	49.3	7.5	0.0				0.0	-1.4
					中	44.7	51.4	3.8	0.0				0.1	-3.5
47	47	118	59	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	29.1	64.9	6.1	0.0				0.0	-5.3
					中	34.4	61.2	4.3	0.0				0.1	-1.6
48	48	118	60	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	38.8	52.2	9.0	0.0				0.0	-2.8
					中	41.6	54.2	4.0	0.1				0.1	-4.8

質問番号 小 中	掲載P	R3 番号	質問事項	校 種	選択肢(質問の選択項目は、P111を参照)							その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7			
【個に応じた指導】														
43	43	119	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する算数の指導として、前年度に、算数(数学)の授業における少人数による指導を行いましたか	小	20.9	3.4	8.1	12.2	55.4			0.0	-1.3
					中	22.2	6.6	5.4	9.4	56.2			0.1	-4.5
44	44	119	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する算数の指導として、前年度に、算数(数学)の授業における習熟度に応じた指導を行いましたか	小	16.4	1.5	3.0	6.0	73.1			0.0	-5.4
					中	21.8	4.4	5.1	6.1	62.5			0.1	-8.3
45	45	119	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する算数の指導として、前年度に、算数(数学)の授業におけるチーム・ティーチングによる指導を行いましたか	小	9.5	4.1	8.8	16.2	61.5			0.0	-6.4
					中	15.9	6.5	6.0	11.0	60.3			0.2	-8.8
46	46	119	57	調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小	10.4	0.0	1.5	10.4	77.6			0.0	-5.8
					中	16.2	4.3	5.6	7.4	66.3			0.1	-10.1
47	47	119	58	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行いましたか	小	16.2	10.1	9.5	23.6	40.5			0.0	0.2
					中	16.0	8.9	10.9	21.4	42.7			0.1	1.4
48	48	120	59	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童(生徒)がそのわけを理解できるように工夫していましたか	小	17.9	7.5	9.0	14.9	50.7			0.0	-1.5
					中	19.4	9.6	11.7	13.6	45.7			0.1	-3.6
【算数・数学科の指導方法】														
49	49	120	H30 41	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度に、教科担任制を実施していましたか	小	17.6	64.9	17.6	0.0				0.0	-0.3
					中	17.9	66.4	15.5	0.1				0.1	-1.8
50	50	120	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小	17.9	68.7	13.4	0.0				0.0	0.4
					中	17.5	65.3	16.9	0.2				0.1	3.8
51	51	120	新	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行いましたか	小	30.4	61.5	8.1	0.0				0.0	0.7
					中	29.7	62.7	7.5	0.0				0.1	-0.5
52	52	121	新	調査対象学年の生徒に対する算数の指導として、前年度までに、観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだす活動を行いましたか	小	17.9	64.2	16.4	1.5				0.0	0.1
					中	17.8	60.9	20.7	0.5				0.1	3.4
53	53	121	新	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童(生徒)がそのわけを理解できるように工夫していましたか	小	35.1	61.5	3.4	0.0				0.0	-5.7
					中	40.8	56.3	2.7	0.0				0.2	-0.5
54	54	121	新	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、児童(生徒)がそのわけを理解できるように工夫していましたか	小	43.3	50.7	6.0	0.0				0.0	0.6
					中	42.7	54.3	2.9	0.0				0.1	-3.0
55	55	121	新	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度に、教科担任制を実施していましたか	小	9.5	90.5						0.0	-5.9
					中	15.4	84.5						0.1	0.1
【理科の指導方法】														
56	56	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、自然の事象・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか	小	22.3	71.6	6.1	0.0				0.0	-5.8
					中	28.1	65.8	5.9	0.0				0.1	0.0
57	57	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか	小	25.4	71.6	3.0	0.0				0.0	-5.2
					中	30.6	63.8	5.4	0.1				0.1	2.6
58	58	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか	小	29.1	65.5	5.4	0.0				0.0	-1.8
					中	30.9	63.3	5.6	0.0				0.1	0.4
59	59	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか	小	38.8	59.7	1.5	0.0				0.0	-3.3
					中	42.1	54.7	3.0	0.0				0.1	1.7
60	60	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか	小	28.4	66.9	4.7	0.0				0.0	-8.4
					中	36.8	57.0	6.0	0.1				0.2	1.5
61	61	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか	小	28.4	47.8	22.4	1.5				0.0	4.0
					中	24.4	54.8	20.3	0.4				0.1	-3.0
62	62	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか	小	32.4	63.5	4.1	0.0				0.0	-10.3
					中	42.7	54.4	2.7	0.1				0.1	-1.2
63	63	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか	小	46.3	50.7	3.0	0.0				0.0	3.4
					中	42.9	51.7	5.1	0.1				0.1	2.4
64	64	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度に、児童(生徒)が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	小	52.0	45.3	2.7	0.0				0.0	7.2
					中	44.8	51.2	3.7	0.1				0.1	1.3
65	65	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の授業において、前年度に、教科担任制を実施していましたか	小	61.2	32.8	4.5	1.5				0.0	14.7
					中	46.5	44.7	7.5	1.3				0.1	2.8
66	66	121	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の授業において、前年度に、教科担任制を実施していましたか	小	64.9	35.1						0.0	11.3
					中	53.6	46.3						0.1	0.1
【ICTを活用した学習状況】														
67	67	121	66	前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICT機器を活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか	小	72.3	16.2	9.5	1.4	0.7			0.0	5.1
					中	67.2	19.0	9.6	2.5	1.7			0.1	2.3
68	68	121	68	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	小	58.2	25.4	13.4	3.0	0.0			0.0	-10.2
					中	68.4	19.3	8.2	2.4	1.7			0.1	-4.1
69	69	121	69	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか	小	50.0	39.2	10.8	0.0				0.0	-5.8
					中	55.8	38.9	5.1	0.1				0.1	-5.5
70	70	121	69	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか	小	47.8	38.8	13.4	0.0				0.0	-2.5
					中	50.3	40.5	8.8	0.3				0.1	-4.2
71	71	121	69	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか	小	35.1	25.0	20.9	18.9				0.0	1.4
					中	33.7	35.6	15.7	15.0				0.1	-9.2
72	72	121	69	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか	小	29.9	22.4	11.9	35.8				0.0	-6.0
					中	35.9	33.4	15.3	15.3				0.1	-17.0
73	73	122	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか	小	46.6	28.4	20.3	4.7	0.0			0.0	-11.6
					中	58.2	26.9	12.6	2.1	0.1			0.1	-10.1
74	74	122	新	調査対象学年の児童(生徒)が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	29.9	20.9	32.8	13.4	3.0			0.0	-25.6
					中	55.5	25.7	14.4	3.8	0.5			0.1	-30.4
75	75	122	新	調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	15.5	39.2	37.8	7.4	0.0			0.0	-5.7
					中	21.2	40.7	30.3	7.3	0.4			0.1	-7.2
76	76	122	新	調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	9.0	23.9	35.8	28.4	3.0			0.0	-13.6
					中	22.6	33.6	31.4	10.9	1.4			0.0	-23.3
77	77	122	新	調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	8.1	21.6	38.5	25.7	6.1			0.0	-5.6
					中	13.7	26.2	31.7	22.8	5.4			0.1	-10.2
78	78	122	新	教職員と調査対象学年の児童(生徒)がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	7.5	17.9	23.9	40.3	10.4			0.0	-7.1
					中	14.6	27.1	32.1	20.8	5.4			0.0	-16.3
79	79	122	新	教職員と調査対象学年の児童(生徒)がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	12.2	17.6	33.1	20.9	16.2			0.0	-10.4
					中	22.6	22.8	26.7	17.5	10.4			0.1	-15.6
80	80	123	73	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	小	11.9	9.0	22.4	23.9	32.8			0.0	-10.0
					中	21.9	22.2	26.7	17.2	12.1			0.1	-23.2
81	81	122	新	調査対象学年の児童(生徒)同士がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	7.4	16.2	30.4	27.0	18.9			0.0	-3.9
					中	11.3	20.0	27.8	21.4	19.4			0.1	-7.7
82	82	123	75	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	小	1.5	6.0	23.9	28.4	40.3			0.0	-8.7
					中	10.2	17.6	27.6	20.3	24.2			0.0	-20.3
83	83	123	73	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	小	0.0	2.7	10.8	11.5	20.9	54.1		0.0	-0.9
					中	0.9	2.9	11.2	11.1	23.1	50.7		0.1	-1.1
84	84	123	75	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	小	0.0	1.5	1.5	7.5	29.9	59.7		0.0	-0.7
					中	0.7	2.9	8.7	9.2	22.3	56.1		0.1	-2.1
85	85	123	73	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	小	6.1	25.0	39.2	29.7				0.0	-12.1
					中	18.2	32.1	34.6	14.9				0.1	-19.2
86	86	123	75	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	小	6.0	22.4	35.8	35.8				0.0	-11.9
					中	17.9	31.5	35.9	14.7				0.0	-21.0
87	87	123	75	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	小	0.0	0.0	25.0	25.7	13.5	35.8		0.0	-14.2
					中	14.2	13.2	39.5	11.1	3.1	18.9		0.1	-27.4
88	88	123	75	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	小	1.5	1.5	16.4	37.3	10.4	32.8		0.0	-15.5
					中	17.0	14.6	30.2	13.2	3.8	21.1		0.1	

質問番号 小 中	掲載P	R3 番号	質問事項	校 種	選択肢(質問の選択項目は、P111を参照)							その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7			
67 1	65 1	123	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、家庭におけるオンラインを活用した学習にどの程度活用していますか	小	0.7	0.0	2.7	8.1	87.8			0.7	-5.4
					中	6.1	6.3	14.3	14.6	58.4			0.3	-11.7
67 2	65 2	123	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童(生徒)のスタディ・ログを活用した学習状況等の確認にどの程度活用していますか	小	1.5	1.5	0.0	13.4	83.6			0.0	-6.6
					中	8.1	6.0	11.2	14.6	60.0			0.2	-11.1
67 3	65 3	123	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童(生徒)の特性・学習進度等に応じた指導にどの程度活用していますか	小	4.1	0.7	13.5	21.6	59.5			0.7	-0.5
					中	4.6	8.4	19.4	20.0	47.3			0.2	-8.2
67 4	65 4	123	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、不登校児童(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか	小	3.0	4.5	7.5	13.4	71.6			0.0	-0.8
					中	3.8	5.7	12.7	18.4	59.3			0.1	-2.0
67 5	65 5	124	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する児童(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか	小	4.1	5.4	26.4	27.0	36.5			0.7	-3.4
					中	7.5	13.6	27.5	21.7	29.4			0.2	-11.6
67 6	65 6	123	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、不登校児童(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか	小	4.5	11.9	16.4	23.9	43.3			0.0	-2.1
					中	6.6	9.0	19.7	22.4	42.2			0.2	0.8
68 7	66 7	124	76	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	小	5.4	6.1	10.1	11.5	66.2			0.7	-8.1
					中	13.5	9.4	14.7	12.5	49.0			0.9	-11.4
68 8	66 8	124	76	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	小	1.5	1.5	6.0	20.9	70.1			0.0	-13.9
					中	15.4	9.3	17.2	17.5	40.4			0.4	-21.7
68 9	66 9	124	76	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	小	10.1	15.5	18.9	19.6	35.1			0.7	-6.3
					中	16.4	14.5	20.7	14.0	34.0			0.3	-5.3
68 10	66 10	124	76	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	小	11.9	6.0	11.9	6.0	64.2			0.0	-3.8
					中	15.7	11.8	19.0	15.9	37.4			0.2	-9.6
【特別支援教育】														
68 11	66 11	124	76	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	小	36.5	58.8	4.1	0.0				0.7	-5.2
					中	41.7	52.6	4.8	0.6				0.2	1.0
68 12	66 12	124	76	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	小	46.3	49.3	4.5	0.0				0.0	3.3
					中	43.0	49.8	5.9	1.2				0.2	2.8
【小学校教育と中学校教育の連携】														
69 13	67 13	124	77	前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小	8.8	28.4	40.5	22.3				0.0	-6.1
					中	14.9	37.8	33.5	13.6				0.1	-15.5
69 14	67 14	124	77	前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小	22.4	31.3	28.4	17.9				0.0	0.2
					中	22.2	38.9	29.0	9.8				0.1	-7.4
69 15	67 15	124	77	前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小	8.8	35.8	25.7	29.7				0.0	-6.1
					中	14.9	33.3	28.7	23.0				0.1	-3.6
69 16	67 16	124	77	前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小	20.9	31.3	31.3	16.4				0.0	-1.6
					中	22.5	35.5	24.6	17.3				0.1	-5.8
69 17	67 17	124	77	前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小	5.4	12.8	45.9	35.8				0.0	-6.5
					中	11.9	32.6	33.4	22.0				0.1	-26.3
69 18	67 18	124	77	前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小	9.0	22.4	44.8	23.9				0.0	-6.1
					中	15.1	32.5	33.0	19.3				0.1	-16.2
【家庭や地域との連携等】														
70 19	70 19	124	80	職場見学を行っていますか	小	21.6	78.4						0.0	-8.3
					中	29.9	70.1						0.0	0.0
70 20	70 20	124	80	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか	小	61.2	32.8	4.5	0.0	1.5	0.0		0.0	-10.2
					中	71.4	18.5	6.9	0.5	1.6	1.0		0.1	4.1
70 21	70 21	125	81	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	小	15.5	58.1	25.7	0.7				0.0	-4.3
					中	19.8	62.2	17.2	0.7				0.1	-8.4
70 22	70 22	125	81	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	小	10.4	65.7	20.9	3.0				0.0	-8.2
					中	18.6	61.1	19.3	0.9				0.1	-3.6
70 23	70 23	125	82	保護者や地域の人々が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	小	52.7	41.2	6.1	0.0				0.0	1.2
					中	51.5	43.1	5.0	0.3				0.1	-0.7
70 24	70 24	125	82	保護者や地域の人々が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	小	22.4	61.2	14.9	1.5				0.0	-1.9
					中	24.3	53.2	20.1	2.3				0.1	6.1
70 25	70 25	125	83	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(74/72)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	小	25.7	51.4	18.2	4.7				0.0	-2.0
					中	27.7	43.1	21.5	7.6				0.1	6.3
70 26	70 26	125	83	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(74/72)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	小	11.9	46.3	35.8	6.0				0.0	-4.9
					中	16.8	39.0	31.8	12.3				0.1	2.4
70 27	70 27	125	84	(74/72)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	小	43.9	50.0	2.0	0.7	3.4			0.0	2.3
					中	41.6	52.1	3.1	0.3	2.8			0.1	0.2
70 28	70 28	125	84	(74/72)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	小	23.9	62.7	7.5	1.5	4.5			0.0	-5.9
					中	29.8	56.7	5.2	0.9	7.3			0.1	0.1
【家庭学習】														
71 29	75 29	125	86	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか	小	48.6	45.9	5.4	0.0				0.0	-0.1
					中	48.7	47.8	3.3	0.1				0.1	-2.0
71 30	75 30	125	86	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか	小	40.3	55.2	4.5	0.0				0.0	2.1
					中	38.2	55.4	6.1	0.2				0.1	1.9
71 31	75 31	125	86	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか	小	29.7	56.1	14.2	0.0				0.0	-7.7
					中	37.4	55.0	7.3	0.2				0.1	-6.6
71 32	75 32	125	86	調査対象学年の児童(生徒)の保護者に対して、前年度までに、児童(生徒)の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	小	23.9	59.7	13.4	3.0				0.0	-2.3
					中	26.2	60.5	12.8	0.5				0.1	-3.1
71 33	75 33	126	87	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童(生徒)が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かしましたか	小	23.6	60.1	15.5	0.7				0.0	-7.2
					中	30.8	58.9	9.9	0.2				0.1	-6.0
71 34	75 34	126	87	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童(生徒)が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かしましたか	小	25.4	55.2	19.4	0.0				0.0	0.1
					中	25.3	61.6	12.8	0.2				0.1	-6.3
【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】														
72 35	78 35	126	89	令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小	23.0	75.0	2.0					0.0	-6.9
					中	29.9	66.0	4.0					0.1	2.1
72 36	78 36	126	89	令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小	19.4	71.6	9.0					0.0	-4.2
					中	23.6	69.1	7.2					0.1	-1.7
72 37	78 37	126	91	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小	22.3	75.7	2.0	0.0				0.0	-7.4
					中	29.7	62.0	4.8	3.5				0.1	6.3
72 38	78 38	126	91	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小	29.9	67.2	3.0	0.0				0.0	6.3
					中	23.6	64.9	7.7	3.8				0.1	8.6
72 39	80 39	126	新	令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	小	5.4	67.6	27.0					0.0	-14.3
					中	19.7	66.5	13.6					0.1	-13.2
72 40	80 40	126	新	令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	小	7.5	52.2	40.3					0.0	-12.4
					中	19.9	60.7	19.4					0.1	-20.9

質問番号 小 中	掲載P	R3 番号	質問事項	校種	選択肢(質問の選択項目は、P111を参照)							その他※ ・無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7			
【新型コロナウイルス感染症の影響】														
I 1	I 1	新	令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響による、調査対象学年の児童(生徒)に対する、夏季等の長期休業期間の延長または臨時休業の日数(短縮授業・分散登校・学級単位の休業は含まない)	小	98.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	
				中	94.7	2.7	1.3	0.9	0.1	0.0	0.0	0.2	2.6	
I 2	I 2	新	令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響による、調査対象学年の児童(生徒)に対する、短縮授業・分散登校の日数(学級単位の実施は含まない)	小	98.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	
				中	94.8	4.4	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	
II 1	II 1	C2 1	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、教科書による学習(デジタル教科書を含む)を行っていましたか	小	96.6	2.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.9	
				中	82.7	9.8	5.6	0.7	0.5	0.2	0.2	0.3	6.1	
II 2	II 2	C2 2	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、学校が作成したプリントなどによる学習(電子メールや学校のHPなどを活用して配信する場合を含む)を行っていましたか	小	98.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.6	
				中	83.9	10.1	4.3	0.8	0.4	0.1	0.1	0.2	6.0	
II 3	II 3	C2 3	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、教科書会社その他民間が作成したプリントなどによる学習(電子メールや学校のHPなどを活用して配信する場合を含む)を行っていましたか	小	22.3	9.5	21.6	1.4	44.6				0.7	-4.5
				中	26.8	9.2	11.3	1.1	51.2					0.4
II 4	II 4	C2 7	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、都道府県や市町村教育委員会が作成した「問題集」・「復習ノート」などの教材を活用した学習(教育委員会のHPで配信されている場合を含む)を行っていましたか	小	16.4	6.0	26.9	4.5	46.3				0.0	-9.6
				中	26.0	7.6	13.5	2.2	50.6					0.1
II 5	II 5	C2 4	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、児童(生徒)の自由研究や自主学習ノートなどによる学習を行っていましたか	小	29.7	14.2	10.1	0.7	44.6				0.7	-0.8
				中	30.5	11.2	5.9	0.9	51.2					0.3
II 6	II 6	C2 10	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、テレビ放送を活用した学習を行っていましたか	小	23.9	11.9	13.4	4.5	46.3				0.0	-5.1
				中	29.0	10.8	8.0	1.5	50.6					0.1
II 7	II 7	C2 5	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、学校が作成した学習動画等を活用した学習を行っていましたか	小	18.9	11.5	22.3	2.0	44.6				0.7	-2.9
				中	21.8	14.7	10.3	1.5	51.2					0.4
II 8	II 8	C2 8	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、都道府県や市町村教育委員会が作成した学習動画等を活用した学習を行っていましたか	小	13.4	10.4	25.4	4.5	46.3				0.0	-1.8
				中	15.2	12.5	18.7	2.8	50.6					0.2
II 9	II 9	C2 9	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、公的機関や民間の音声・動画コンテンツなどを活用した学習(Ⅱ_7)及び(Ⅱ_8)を除く)を行っていましたか	小	4.7	8.1	37.8	4.1	44.6				0.7	-1.8
				中	6.5	12.7	26.3	2.8	51.2					0.3
II 10	II 10	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	10.4	7.5	28.4	7.5	46.3				0.0	4.3
				中	6.1	8.2	30.8	4.2	50.6					0.2
II 11	II 11	C2 10	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	35.8	14.9	4.1	0.0	44.6				0.7	21.0
				中	14.8	25.5	6.6	1.4	51.2					0.4
II 12	II 12	C2 11	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、ファイル共有機能等を活用した児童(生徒)による共同編集を行っていましたか	小	26.9	14.9	9.0	3.0	46.3				0.0	7.7
				中	19.2	13.3	13.4	3.4	50.6					0.2
II 13	II 13	C2 11	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、上記以外の民間のデジタル教材を活用した学習を行っていましたか	小	4.7	8.8	37.8	3.4	44.6				0.7	1.0
				中	3.7	11.1	30.9	2.8	51.2					0.4
III 1	III 1	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、運動会・競技会・球技会をどのように実施しましたか	小	1.5	0.0	46.3	6.0	46.3				0.0	0.4
				中	1.1	3.5	40.5	4.1	50.6					0.1
III 2	III 2	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、運動会・競技会・球技会をどのように実施しましたか	小	1.4	0.7	52.0	0.7	44.6				0.7	-0.2
				中	1.6	6.7	38.7	1.4	51.2					0.4
III 3	III 3	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、音楽会・合唱コンクールをどのように実施しましたか	小	0.0	1.5	50.7	1.5	46.3				0.0	-2.7
				中	2.7	8.0	36.4	2.2	50.6					0.2
III 4	III 4	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、音楽会・合唱コンクールをどのように実施しましたか	小	0.0	0.7	50.7	3.4	44.6				0.7	-3.0
				中	3.0	8.0	34.5	2.8	51.2					0.4
III 5	III 5	C2 8	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、都道府県や市町村教育委員会が作成した学習動画等を活用した学習を行っていましたか	小	1.5	4.5	40.3	7.5	46.3				0.0	-1.4
				中	2.9	5.7	36.0	4.6	50.6					0.1
III 6	III 6	C2 9	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、公的機関や民間の音声・動画コンテンツなどを活用した学習(Ⅱ_7)及び(Ⅱ_8)を除く)を行っていましたか	小	2.0	5.4	43.9	3.4	44.6				0.7	-1.7
				中	3.7	13.4	28.0	3.3	51.2					0.4
III 7	III 7	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	1.5	1.5	43.3	7.5	46.3				0.0	-1.2
				中	2.7	8.2	32.7	5.7	50.6					0.2
III 8	III 8	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	2.0	5.4	47.3	0.0	44.6				0.7	-13.1
				中	15.1	10.4	22.3	0.6	51.2					0.4
III 9	III 9	C2 9	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、公的機関や民間の音声・動画コンテンツなどを活用した学習(Ⅱ_7)及び(Ⅱ_8)を除く)を行っていましたか	小	0.0	3.0	49.3	1.5	46.3				0.0	-16.9
				中	16.9	7.9	23.3	1.1	50.6					0.2
III 10	III 10	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	1.4	8.1	45.3	0.0	44.6				0.7	-16.3
				中	17.7	10.1	20.1	0.5	51.2					0.4
III 11	III 11	新	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンラインによる学級活動(ホームルームなど)を行っていましたか	小	1.5	3.0	46.3	3.0	46.3				0.0	-20.2
				中	21.7	6.7	19.9	0.9	50.6					0.1
III 12	III 12	新	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、ファイル共有機能等を活用した児童(生徒)による共同編集を行っていましたか	小	0.7	4.1	50.0	0.0	44.6				0.7	-2.6
				中	3.3	13.2	30.4	1.5	51.2					0.4
III 13	III 13	C2 11	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、上記以外の民間のデジタル教材を活用した学習を行っていましたか	小	0.0	0.0	50.7	3.0	46.3				0.0	-4.9
				中	4.9	9.4	32.6	2.4	50.6					0.1
III 14	III 14	C2 11	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、上記以外の民間のデジタル教材を活用した学習を行っていましたか	小	3.4	7.4	41.9	2.0	44.6				0.7	-2.2
				中	5.6	9.7	29.8	3.3	51.2					0.4
III 15	III 15	C2 11	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、上記以外の民間のデジタル教材を活用した学習を行っていましたか	小	1.5	0.0	43.3	9.0	46.3				0.0	-4.0
				中	5.5	6.1	33.0	4.7	50.6					0.1
III 16	III 16	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、運動会・競技会・球技会をどのように実施しましたか	小	0.7	98.0	1.4	0.0					0.0	0.1
				中	0.6	97.7	1.1	0.1						0.4
III 17	III 17	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、運動会・競技会・球技会をどのように実施しましたか	小	1.5	95.5	3.0	0.0					0.0	0.2
				中	1.3	95.4	2.0	1.2						0.2
III 18	III 18	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、音楽会・合唱コンクールをどのように実施しましたか	小	0.7	10.1	13.5	75.7					0.0	0.5
				中	0.2	24.8	28.8	45.4						0.7
III 19	III 19	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、音楽会・合唱コンクールをどのように実施しましたか	小	4.5	65.7	19.4	10.4					0.0	3.3
				中	1.2	61.8	27.1	9.7						0.2
III 20	III 20	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、学芸会・文化祭をどのように実施しましたか	小	2.0	47.3	24.3	26.4					0.0	1.1
				中	0.9	45.3	15.7	37.4						0.7
III 21	III 21	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	3.0	31.3	6.0	59.7					0.0	1.7
				中	1.3	68.5	7.9	22.1						0.3
III 22	III 22	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	18.9	75.0	1.4	4.1					0.7	10.5
				中	8.4	59.0	12.9	19.1						0.6
III 23	III 23	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	11.9	41.8	17.9	28.4					0.0	7.7
				中	4.2	43.1	11.0	41.4						0.3
III 24	III 24	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	0.7	37.8	33.8	27.7					0.0	-3.2
				中	3.9	38.8	34.0	22.7						0.5
III 25	III 25	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	7.5	22.4	13.4	56.7					0.0	4.1
				中	3.4	22.7	22.8	50.8						0.3
III 26	III 26	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	2.0	7.4	9.5	80.4					0.7	0.4
				中	1.6	16.9	12.4	68.4						0.7
III 27	III 27	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	7.5	41.8	41.8	9.0					0.0	1.5
				中	6.0	30.7	53.3	9.9						0.2
III 28	III 28	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	0.0	85.1	10.8	4.1					0.0	-6.5
				中	6.5	83.9	7.8	1.4						0.5
III 29	III 29	C2 6	Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか	小	0.0	59.7	7.5	32.8					0.0	-3.3

学校質問紙 選択肢一覧

※ 質問番号の 数/数は、(小学校の番号)/(中学校の番号)を示す。

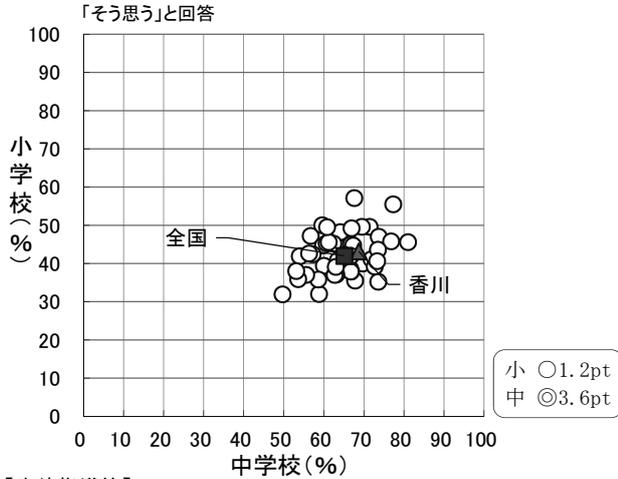
質問番号	選 択 肢
7、11、23～27	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない
8～10、28～32、37～42、46～48 50/49、51/50、52/51、53/52 68/66、69/67、70/68、71/69 75/73、77/75、78/76、79/77	1 よく行った 2 どちらかといえば、行った 3 あまり行わなかった 4 全く行わなかった
12、13	1 週に1回程度、または、それ以上行った 2 月に数回程度行った 3 学期に数回程度行った 4 年に数回程度行った 5 行わなかった 6 特に問題を抱えていなかった
14	1 よく取り組んでいる 2 どちらかといえば、取り組んでいる 3 あまり取り組んでいない 4 全く取り組んでいない
15	1 十分軽減した 2 どちらかといえば、軽減した 3 あまり軽減していない 4 軽減していない 5 当該業務を行うに当たり、ICTを活用していない
16～21	1 よくしている 2 ときどきしている 3 あまりしていない 4 全くしていない
22	1 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けており、当該教員が担っている 2 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、研究活動に関する業務を行う教員が担っている 3 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、教務主任や主幹教諭が担っている 4 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、2や3の教員以外が担っている
43～45	1 年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った 2 年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った 3 年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った 4 年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った 5 行わなかった
49/*、55/*	1 実施した 2 実施しなかった
54/53	1 週1回以上 2 月1回以上 3 学期に1回以上 4 ほとんど、または、全く行わなかった
56/54、59/57、60/58、61/59 62/60、63/61、67/65	1 ほぼ毎日 2 週3回以上 3 週1回以上 4 月1回以上 5 月1回未満
57/55、58/56	1 ある 2 どちらかといえば、ある 3 どちらかといえば、ない 4 ない
64/62	1 週1回以上 2 月1回以上 3 3ヶ月に1回以上 4 6ヶ月に1回以上 5 年1回以上 6 実施しなかった
65/63	1 よく活用している 2 どちらかといえば、活用している 3 あまり活用していない 4 全く活用していない
66/64	1 毎日持ち帰って、毎日利用させている 2 毎日持ち帰って、時々利用させている 3 時々持ち帰って、時々利用させている 4 持ち帰らせていない 5 持ち帰ってはいけないこととしている 6 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている
72/*	1 行っている 2 行っていない
*/70	1 実施しなかった 2 1日～2日 3 3日 4 4日 5 5日以上(連続して実施) 6 5日以上(分散して実施)
33～36、73/71	1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない
74/72	1 よく参加している 2 参加している 3 あまり参加していない 4 全く参加していない
76/74	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない 5 取組を行わなかった
80/78、82/80	1 よく行った 2 行った 3 ほとんど行わなかった
81/79	1 よく行っている 2 どちらかといえば、行っている 3 ほとんど行っていない 4 地方公共団体における独自の学力調査を実施していない
Ⅱ	1 基本的に全校で実施 2 一部の学年・学級で実施 3 実施していない 4 学校として統一的に把握していない
Ⅲ	1 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した 2 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した 3 実施をとりやめた 4 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない

4 学校質問紙 回答結果グラフ

【生徒指導等】

授業中の私語が少なく、落ち着いている

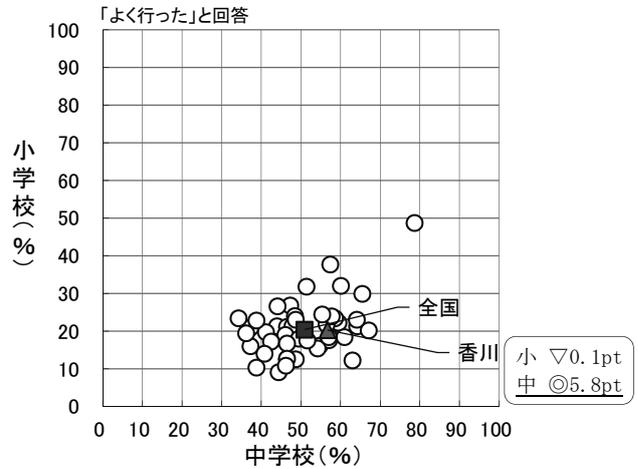
- 7/7 調査対象学年の児童(生徒)は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



【生徒指導等】

将来の仕事や夢について考えさせる指導

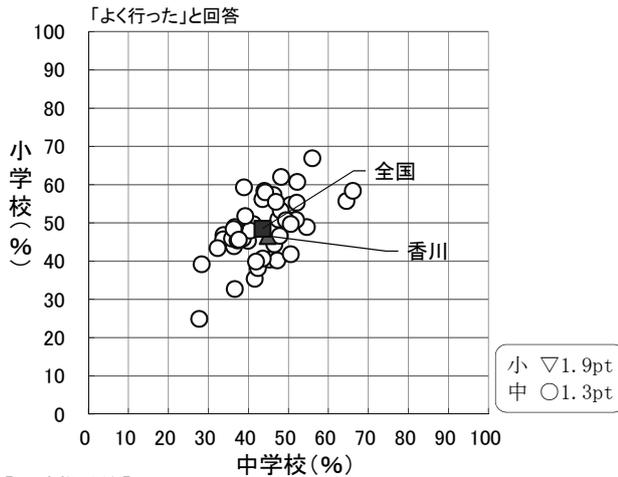
- 8/8 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか



【生徒指導等】

学級全員で挑戦する課題

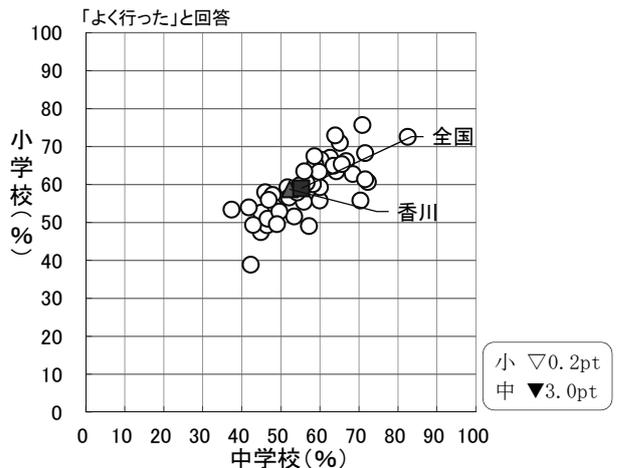
- 9/9 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか



【生徒指導等】

よい点や可能性への積極的な評価

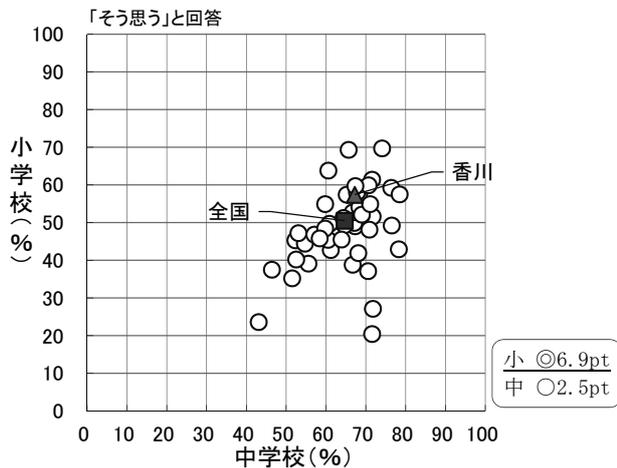
- 10/10 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか



【生徒指導等】

児童生徒が相談したい時に相談できる体制

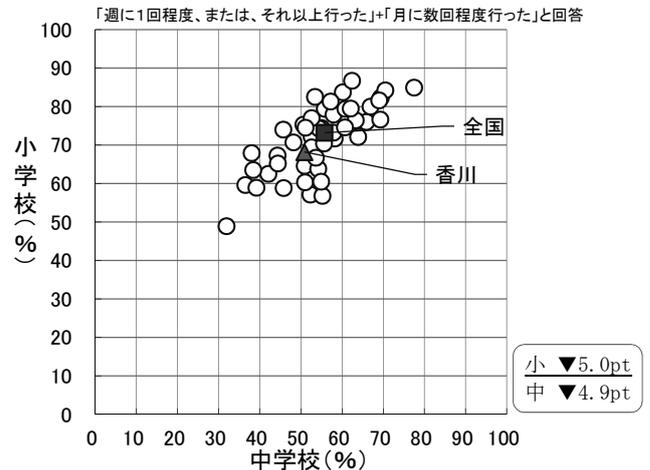
- 11/11 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童(生徒)が相談したい時に相談できる体制となっていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

授業で問題を抱えた教員への対応

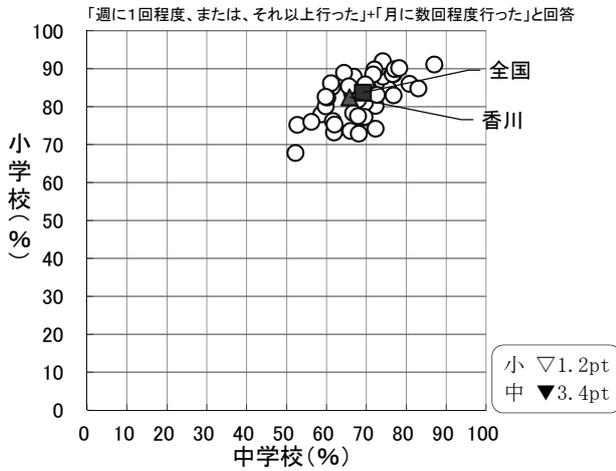
- 12/12 教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

学級の問題を抱えた教員とともに問題解決

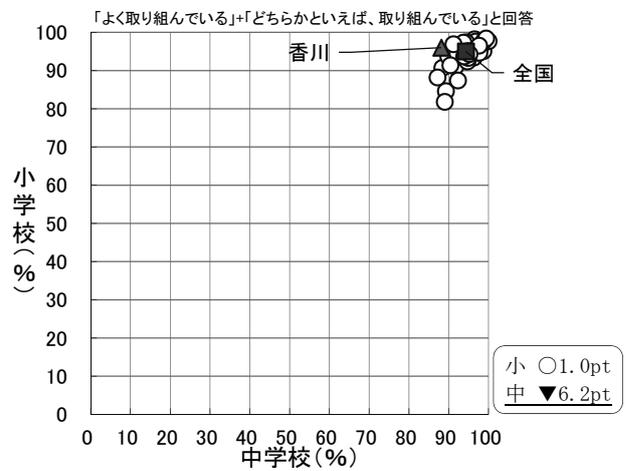
- 13/13 教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

ICT活用による校務の効率化への取組

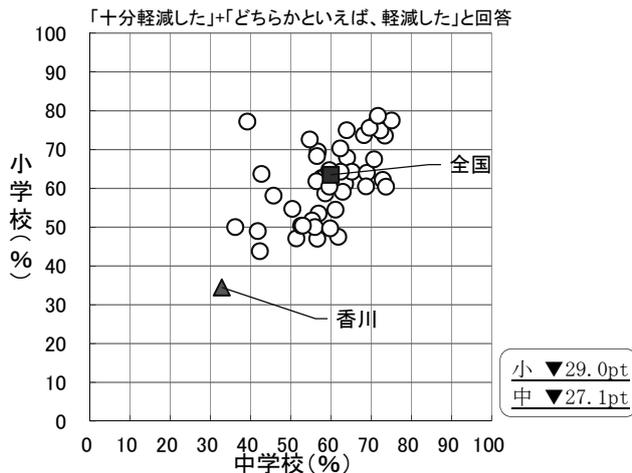
- 14/14 ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)に取り組んでいますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

ICT活用による出欠・遅刻に関する事務の軽減

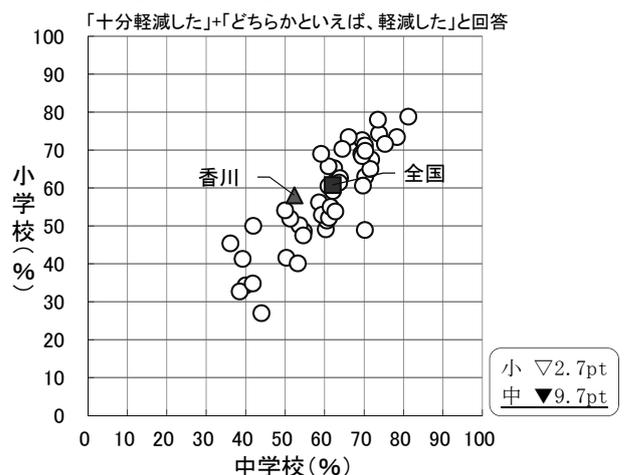
- 15-1 ICTを活用した校務の効率化を通じて、児童(生徒)の出欠・遅刻に関する事務は軽減しましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

ICT活用による家庭への調査等に関する事務の軽減

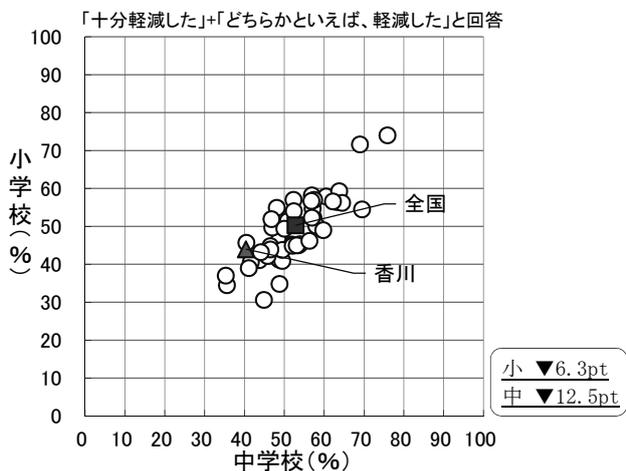
- 15-2 ICTを活用した校務の効率化を通じて、家庭への調査等に関する事務(個人面談等の日程調整や学校評価アンケートなどは軽減しましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

ICT活用による学校からのお知らせに関する事務の軽減

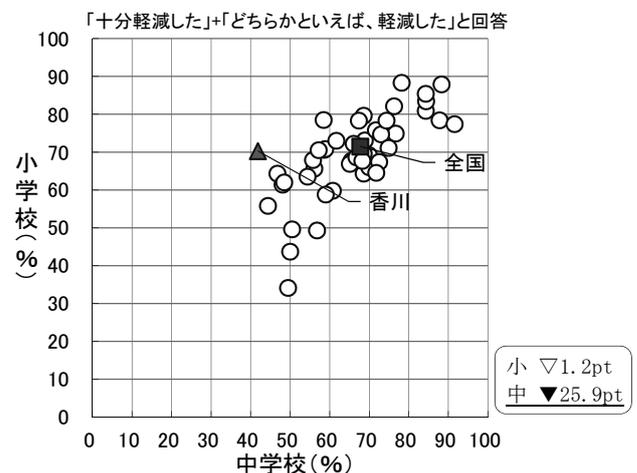
- 15-3 ICTを活用した校務の効率化を通じて、学校からのお知らせ(学校通信等)は軽減しましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

ICT活用による教職員等会議に関する事務の軽減

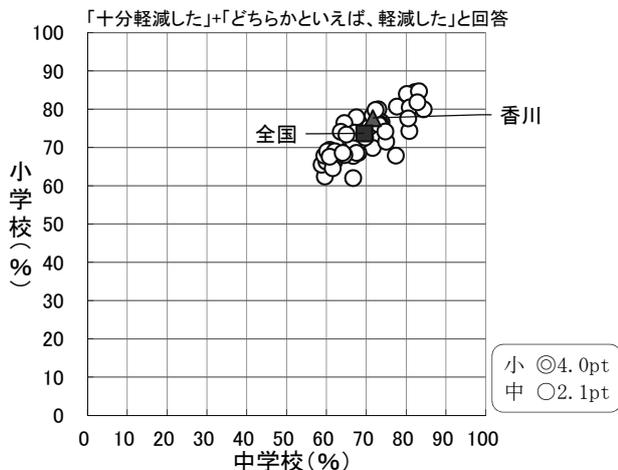
- 15-4 ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員等会議に関する事務は軽減しましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

ICT活用による教職員の書類作成等に関する事務の軽減

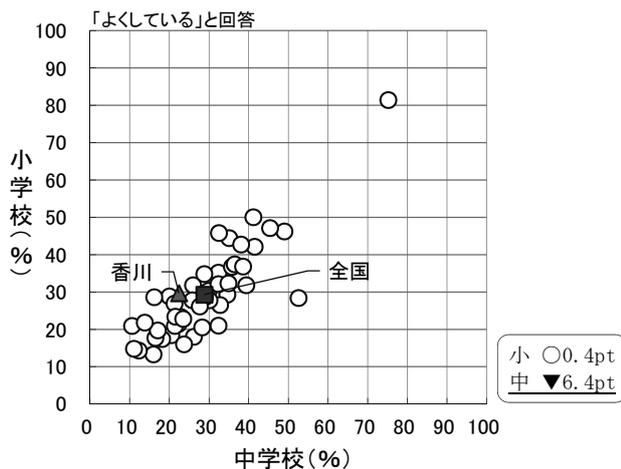
- 15-5 ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員の書類作成等その他の事務は軽減しましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

PDCAサイクルの確立

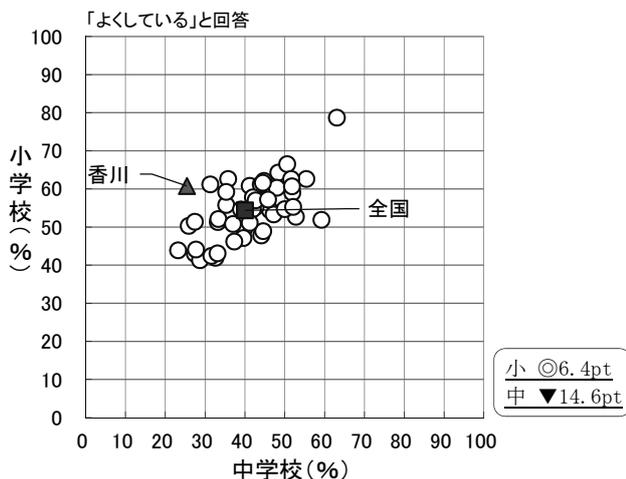
- 17/17 児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

実践的な研修

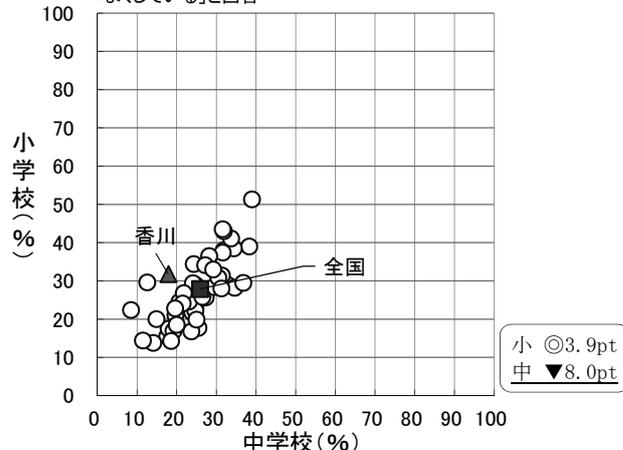
- 19/19 授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

横断的で内容を組織的に配列した指導計画

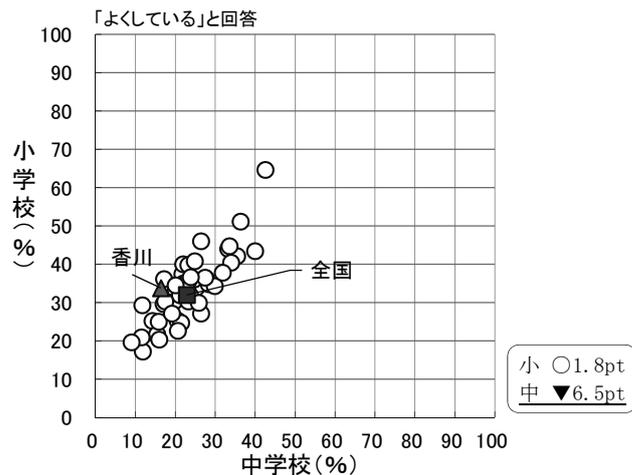
- 16/16 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか「よくしている」と回答



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

人的・物的資源等の活用

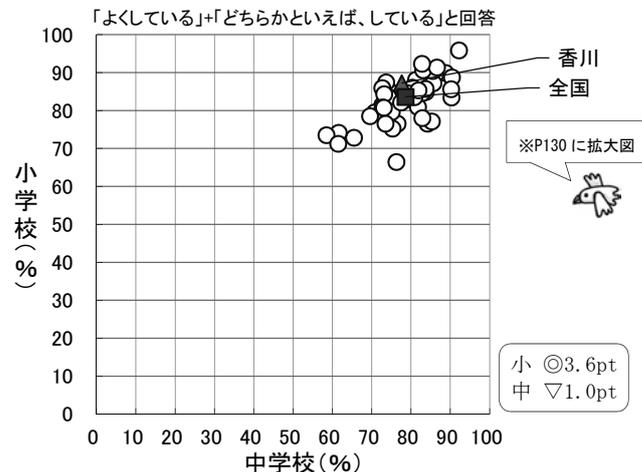
- 18/18 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

課題解決し、まとめ、表現する学習活動を学ぶ校内研修

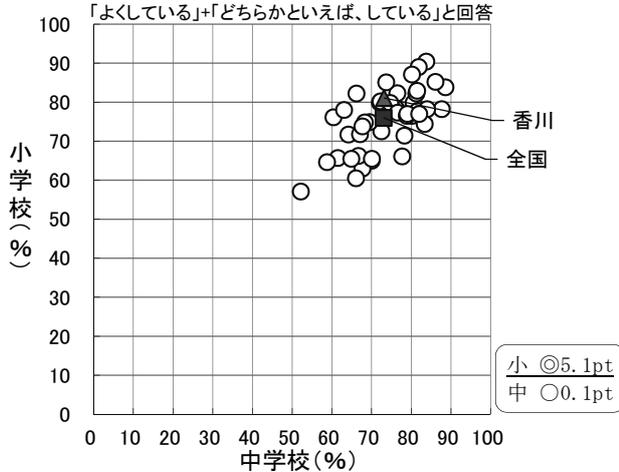
- 20/20 児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

学校外での研修の機会

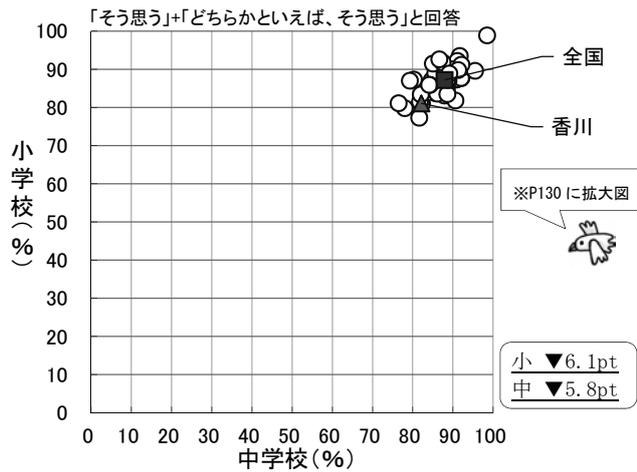
■ 21/21 個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分で考え、自分から取り組むことができる

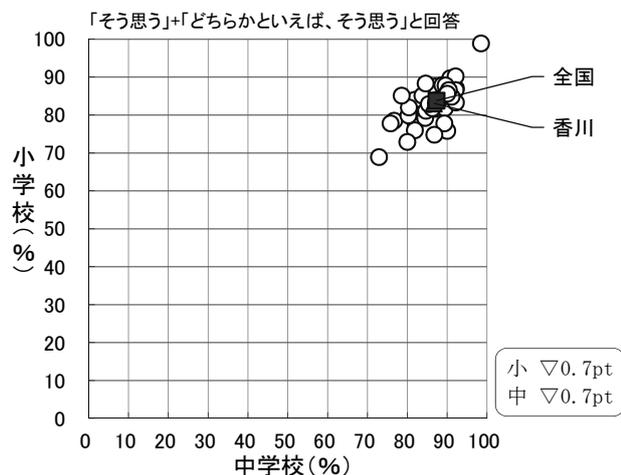
■ 23/23 調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えをしっかりと伝えることができる

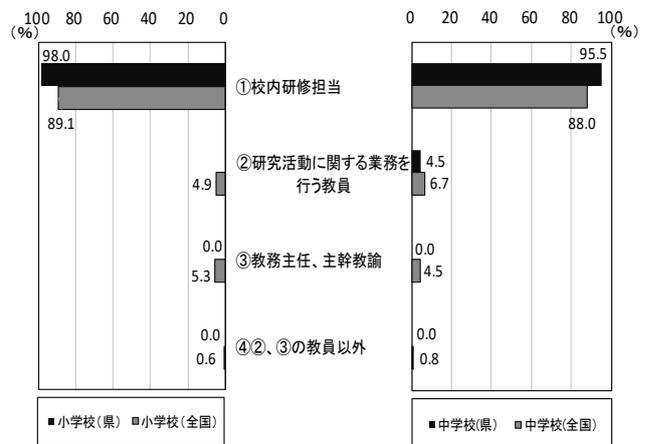
■ 25/25 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

校内研修に関する業務を行う分掌

■ 22/22 校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う業務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)

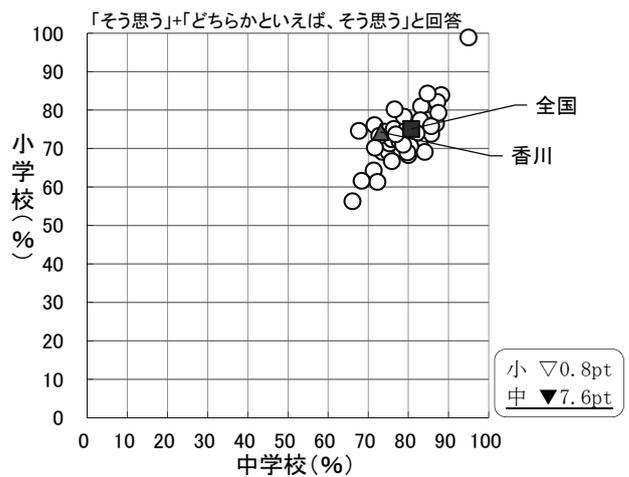


※回答選択肢の文言は、省略している。(P108 参照)

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

考えがうまく伝わるよう工夫して発言できる

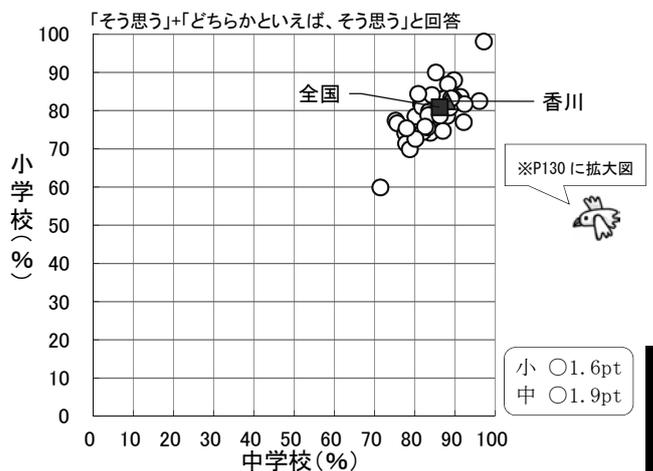
■ 24/24 調査対象学年の児童(生徒)は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えを深めたり広げたりする

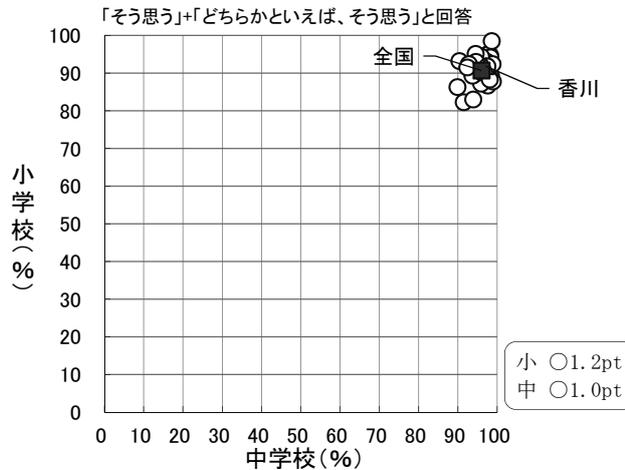
■ 26/26 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

相手の考えを最後まで聞くことができる

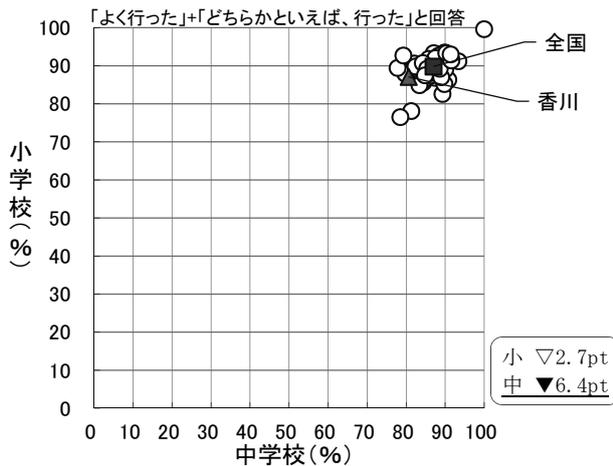
- 27/27 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

課題解決に向けた学習活動の取組

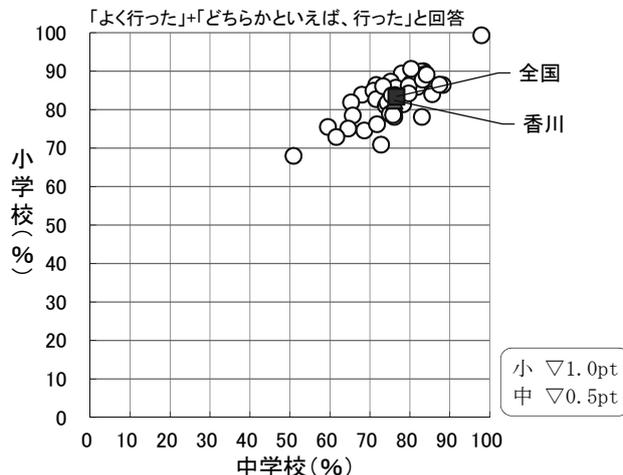
- 29/29 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かす機会

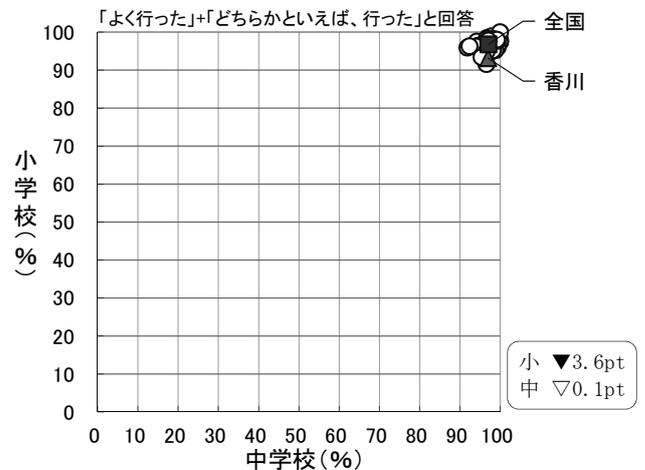
- 31/31 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

考えを引き出したり思考を深めたりする発問や指導

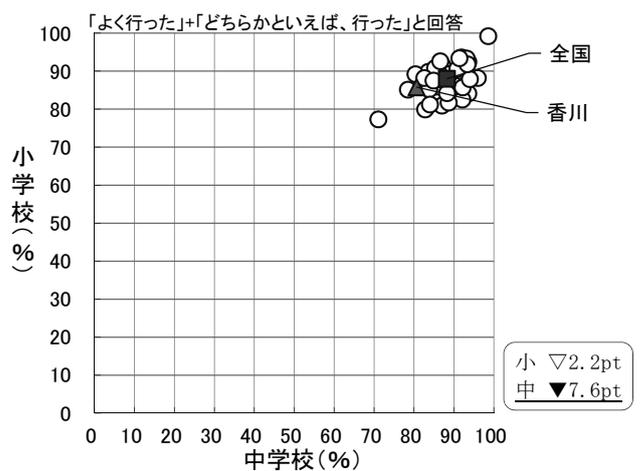
- 28/28 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導

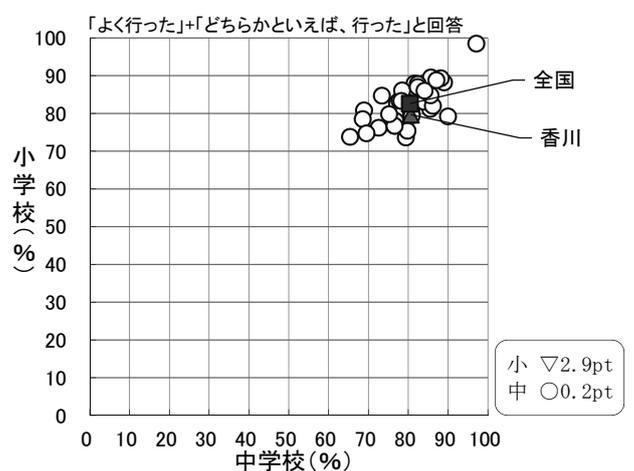
- 30/30 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

地域や社会で起こっている問題や出来事の取り扱い

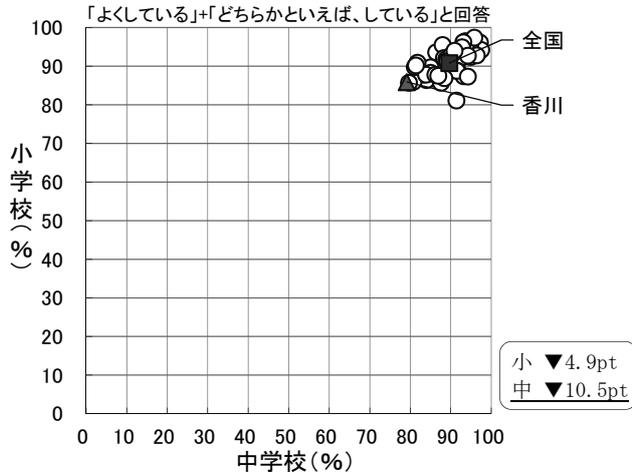
- 32/32 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法】

総合的な学習の時間の指導

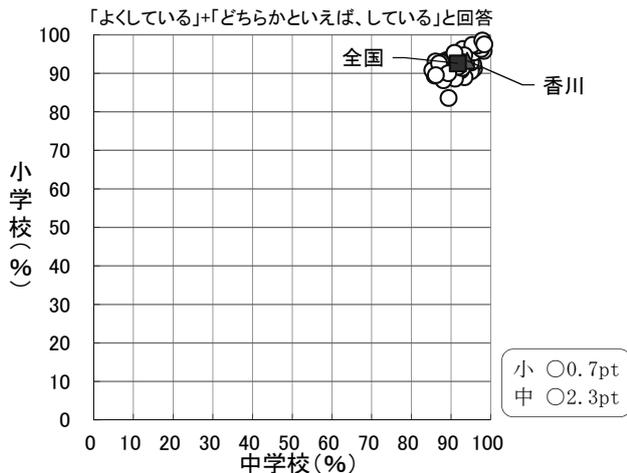
■ 33/33 調査対象学年の児童(生徒)に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法】

学級活動において意思決定できるような指導

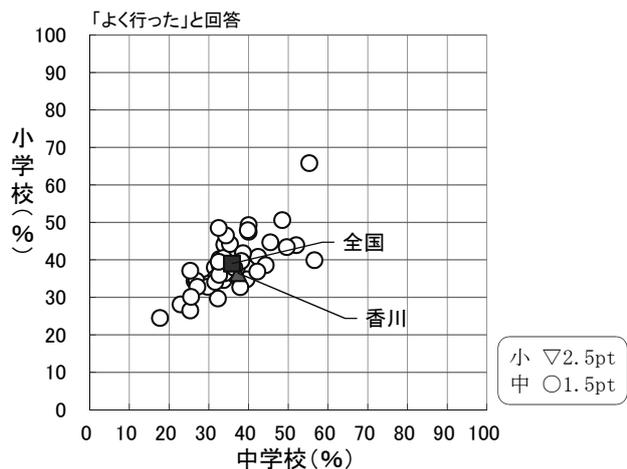
■ 35/35 調査対象学年の児童(生徒)に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童(生徒)が意思決定できるような指導を行っていますか



【学習評価】

学習の意義や価値を実感できる評価

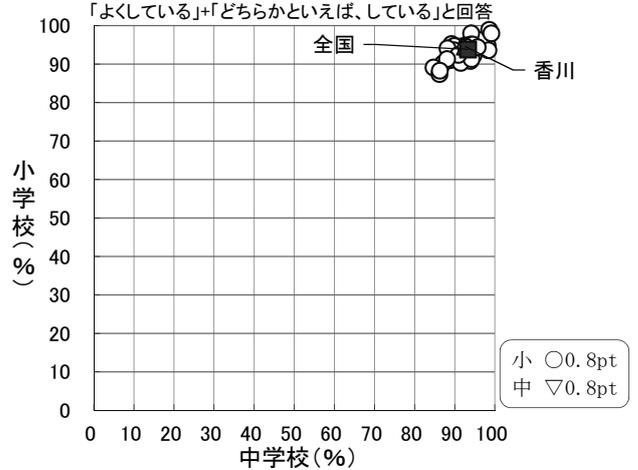
■ 37/37 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意味や価値を実感できるようにしましたか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法】

学級活動において合意形成できるような指導

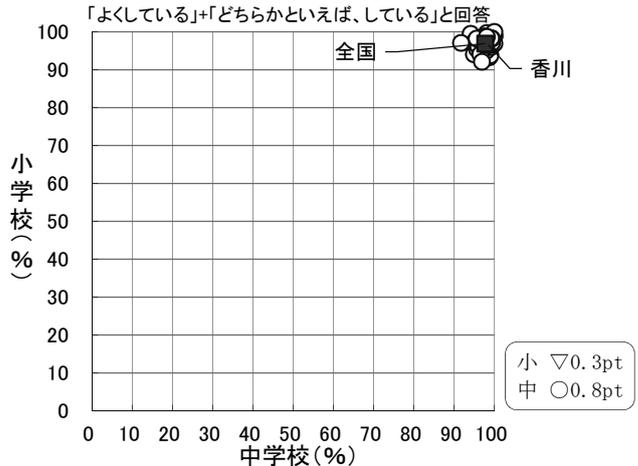
■ 34/34 調査対象学年の児童(生徒)に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法】

考え、議論する道徳の指導

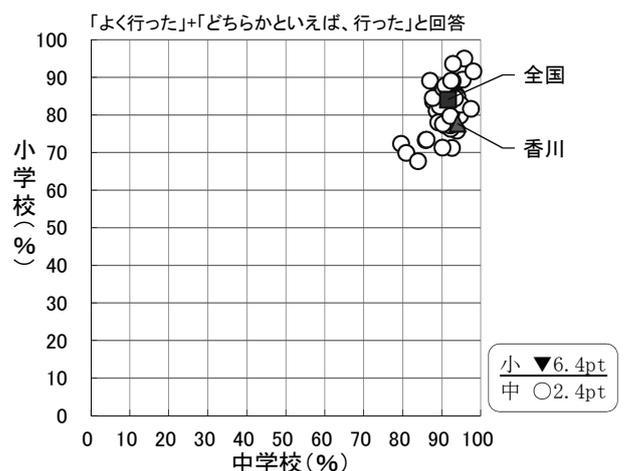
■ 36/36 調査対象学年の児童(生徒)に対して、特別の教科 道徳において、児童(生徒)自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか



【学習評価】

学習評価の組織的・計画的な取組

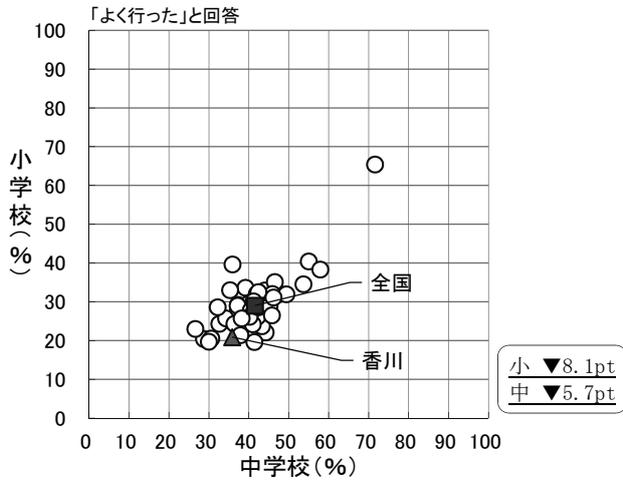
■ 38/38 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価基準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をしましたか



【国語科の指導方法】

言葉の特徴や使い方を理解したり使ったりする授業

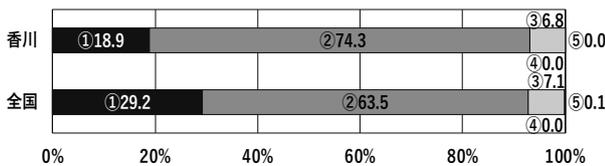
■ 39/39 前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか



【国語科の指導方法】

目的に応じて自分の考えが伝わるように書く授業

■ 41/* 前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか



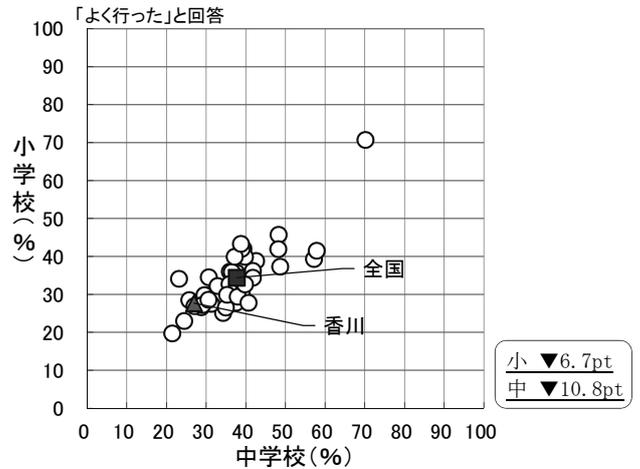
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差: 小 ▼10.3pt
①+②の差: 小 ○0.5pt

【国語科の指導方法】

目的に応じて考えを話したり質問したりする授業

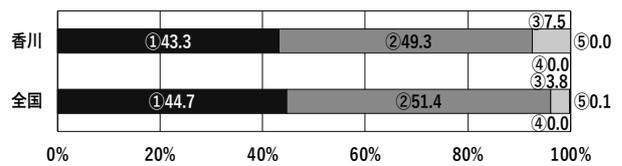
■ 40/40 前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか



【国語科の指導方法】

目的に応じて自分の考えが伝わるように書く授業

■ */41 前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか



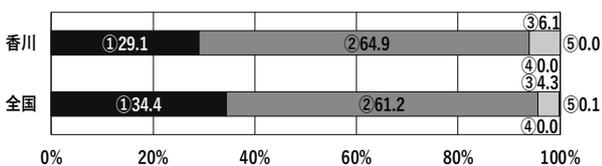
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差: 中 ▽1.4pt
①+②の差: 中 ▼3.5pt

【国語科の指導方法】

目的に応じて文章を読み、考えを広げたり深めたりする授業

■ 42/* 前年度までに、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行いましたか



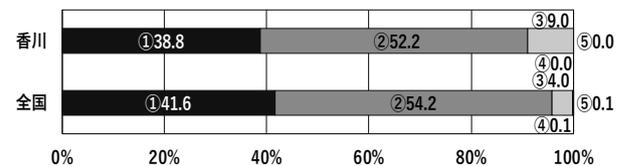
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差: 小 ▼5.3pt
①+②の差: 小 ▽1.6pt

【国語科の指導方法】

目的に応じて文章を読み、考えを広げたり深めたりする授業

■ */42 前年度までに、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりする授業を行いましたか



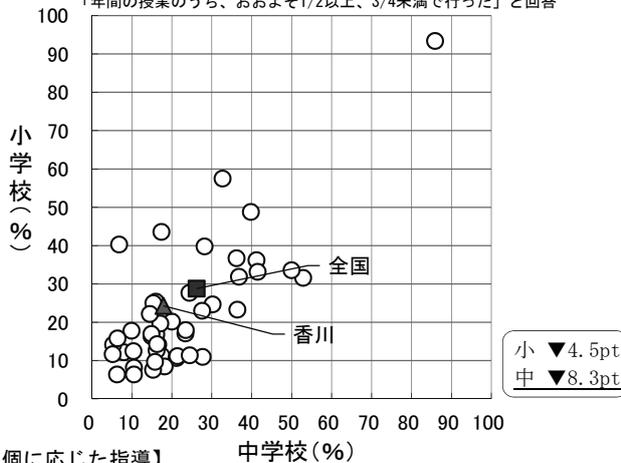
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差: 中 ▽2.8pt
①+②の差: 中 ▼4.8pt

【個に応じた指導】

少人数による指導（算数・数学）

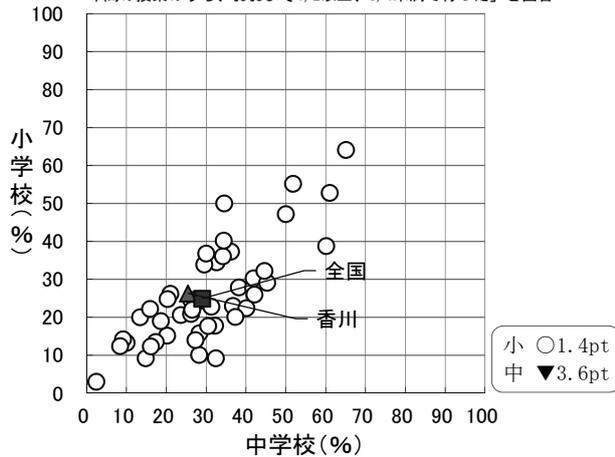
- 43/43 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度に、算数(数学)の授業における少人数による指導を行いましたか
 「年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った」+
 「年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った」と回答



【個に応じた指導】

チーム・ティーチングによる指導(算数・数学)

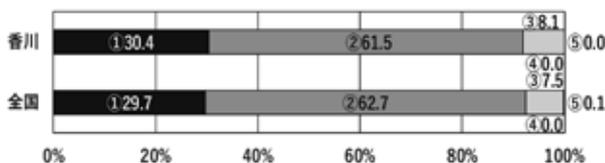
- 45/45 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度に、算数(数学)の授業におけるチーム・ティーチングによる指導を行いましたか
 「年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った」+
 「年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った」と回答



【算数・数学科の指導方法】

体験を伴った数量や図形の授業

- 47/* 前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか



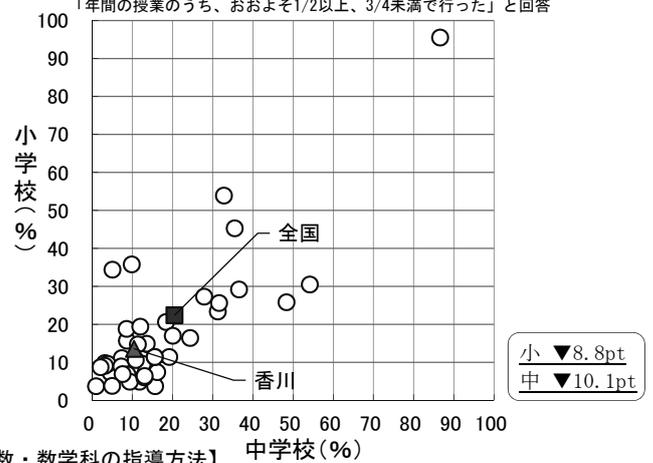
- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
 ③ あまり行わなかった ④ 全く行わなかった
 ⑤ その他・無回答

①の差 ①+②の差
 小 ○0.7pt 小 ▼0.5pt

【個に応じた指導】

習熟度に応じた指導（算数・数学）

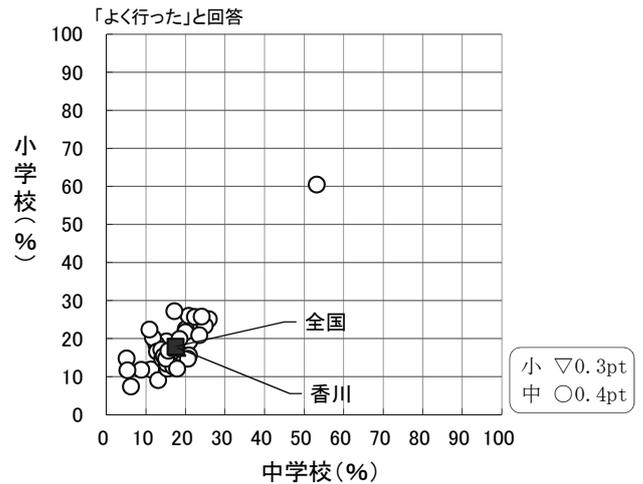
- 44/44 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度に、算数(数学)の授業における習熟度に応じた指導を行いましたか
 「年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った」+
 「年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った」と回答



【算数・数学科の指導方法】

実生活における事象との関連を図った授業

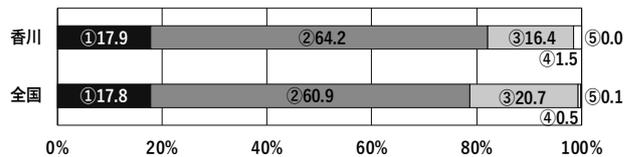
- 46/46 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

活動を通じた数量や図形の授業

- */47 前年度までに、観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだす活動を行いましたか



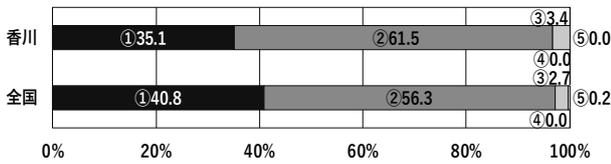
- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
 ③ あまり行わなかった ④ 全く行わなかった
 ⑤ その他・無回答

①の差 ①+②の差
 中 ○0.1pt 中 ◎3.4pt

【算数・数学科の指導方法】

公式やきまりなどのわけや根拠を理解できる指導の工夫

■ 48/* 前年度までに、公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していますか



- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

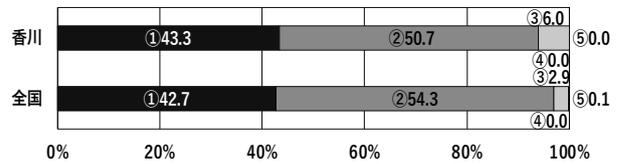
①の差
小 ▼5.7pt

①+②の差
小 ▽0.5pt

【算数・数学科の指導方法】

公式やきまりなどのわけや根拠を理解できる指導の工夫

■ */48 前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか



- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

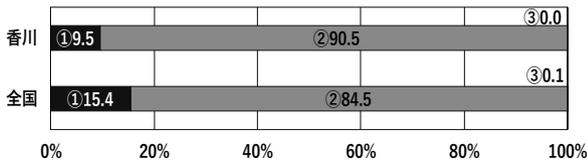
①の差
中 ○0.6pt

①+②の差
中 ▽3.0pt

【算数・数学科の指導方法】

教科担任制の実施

■ 49/* 算数の授業において、前年度に、教科担任制を実施していましたか



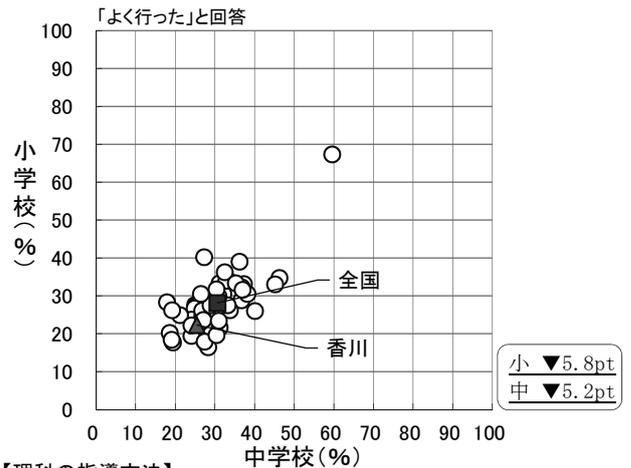
- ① 実施した
- ② 実施しなかった
- ③ その他・無回答

①の差
小 ▼5.9pt

【理科の指導方法】

自然の事物・現象から問題を見いだす指導

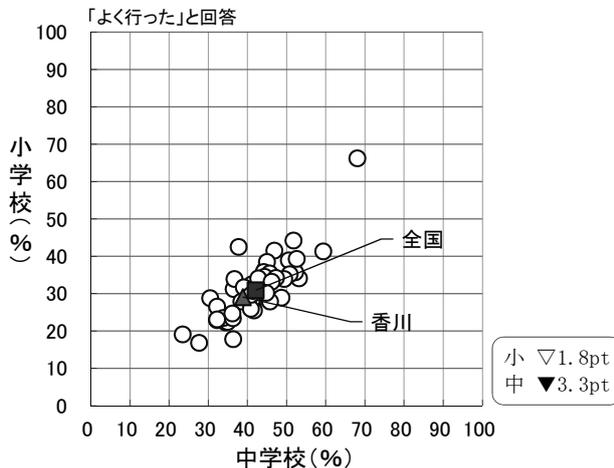
■ 50/49 調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか



【理科の指導方法】

実生活における事象との関連を図った授業

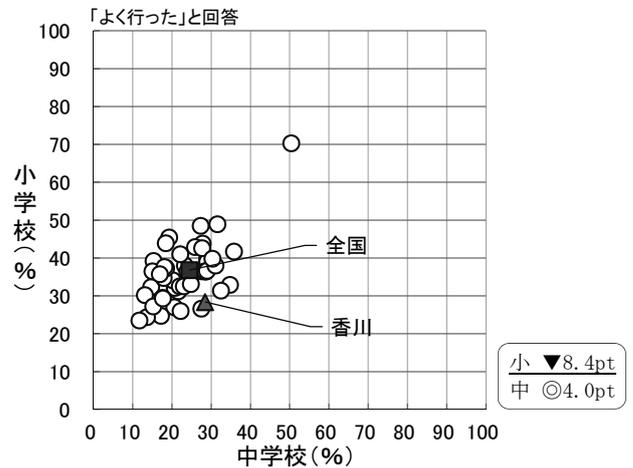
■ 51/50 調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



【理科の指導方法】

自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てる指導

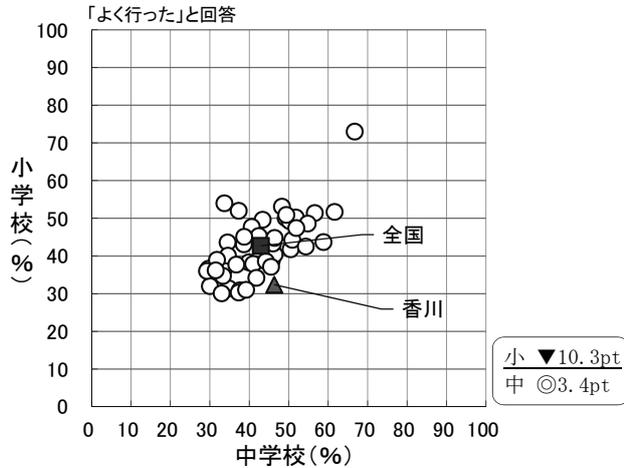
■ 52/51 調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか



【理科の指導方法】

観察や実験の結果を整理分析し、考察する指導

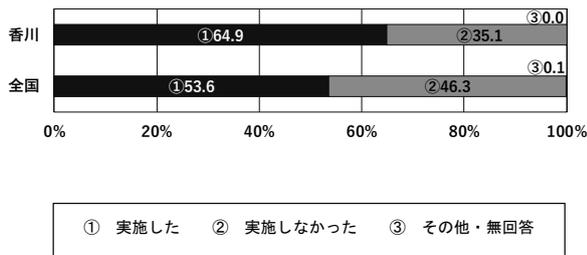
■ 53/52 調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか



【理科の指導方法】

教科担任制の実施

■ 55 /* 前年度に、教科担任制を実施していましたか



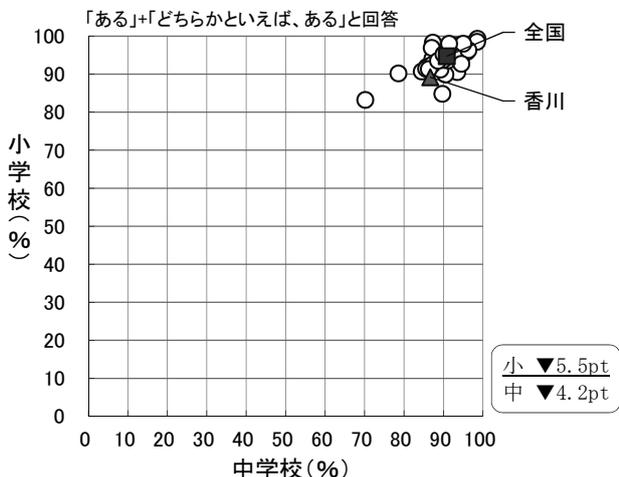
①の差

小 ◎11.3pt

【ICTを活用した学習状況】

ICT機器の使い方を学ぶ研修機会

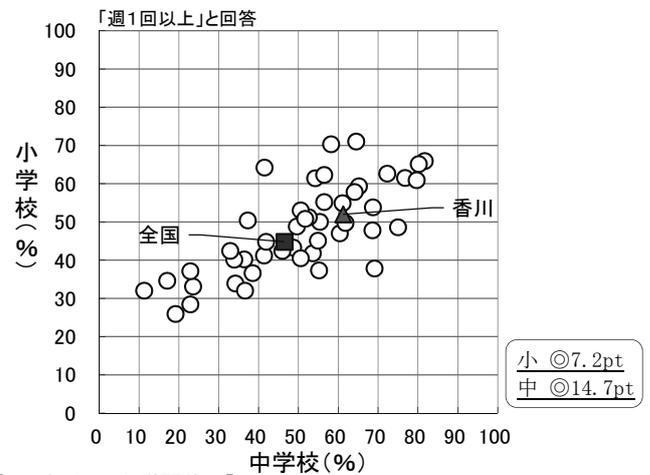
■ 57/55 教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか



【理科の指導方法】

児童生徒が観察や実験をする授業の実施

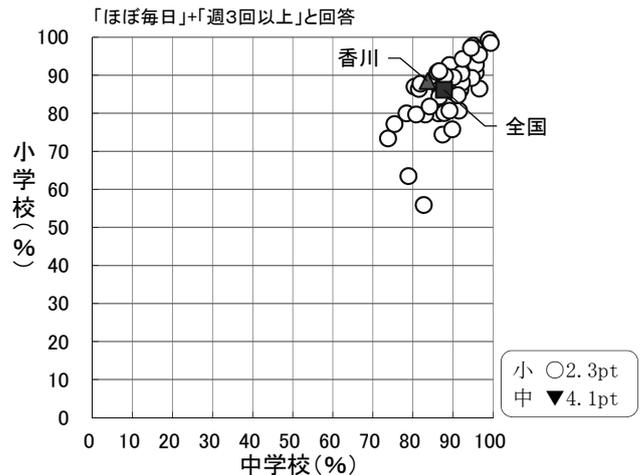
■ 54/53 調査対象学年の児童(生徒)に対する理科の指導として、前年度に、児童(生徒)が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか



【ICTを活用した学習状況】

大型提示装置等のICT機器を活用した授業

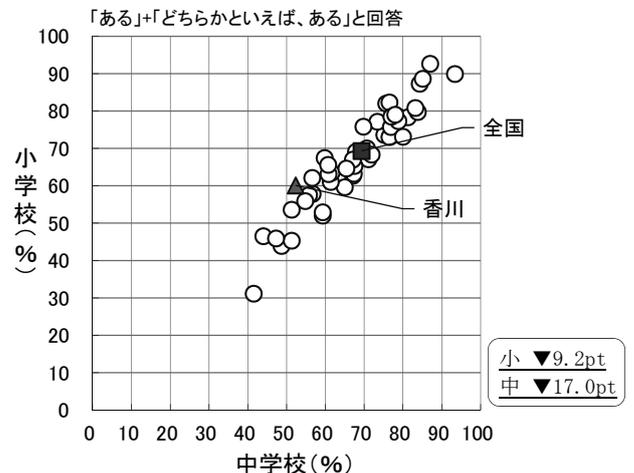
■ 56/54 前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか



【ICTを活用した学習状況】

専門スタッフ等、技術的なサポート体制

■ 58/56 コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか

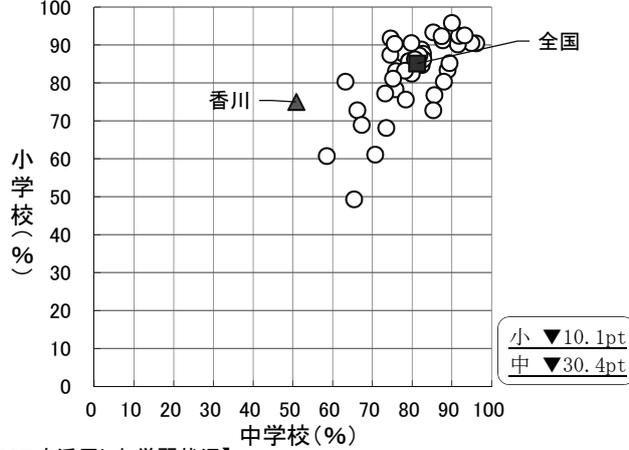


※「1人1台端末」とは、1人に1台ずつ配備されたICT機器のことを指す。

【ICTを活用した学習状況】

1人1台端末の授業での活用

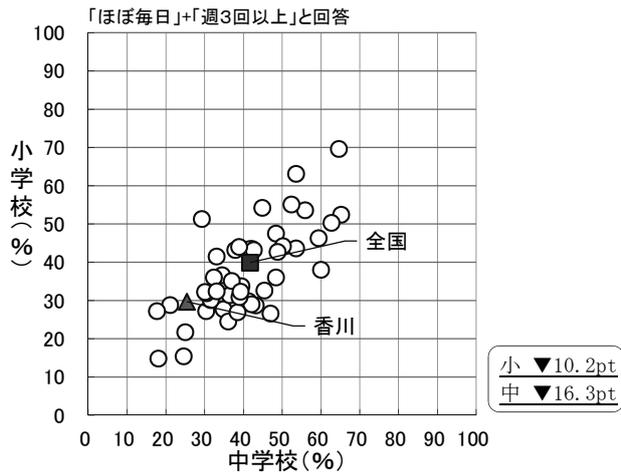
- 59/57 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業での程度活用しましたか
「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答



【ICTを活用した学習状況】

考えをまとめ、発表・表現する場面における1人1台端末の活用

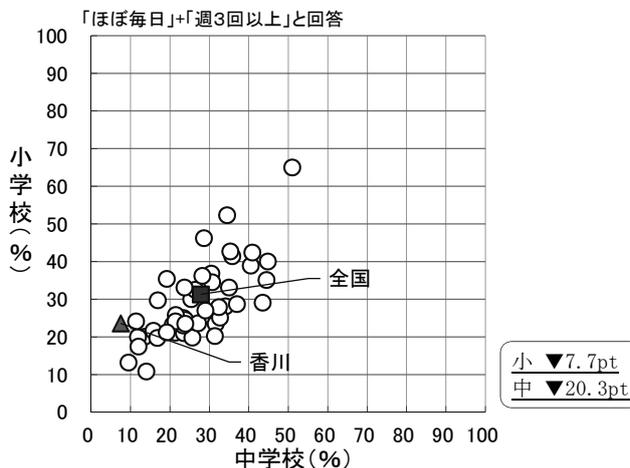
- 61/59 調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答



【ICTを活用した学習状況】

児童生徒同士がやりとりする場面における1人1台端末の活用

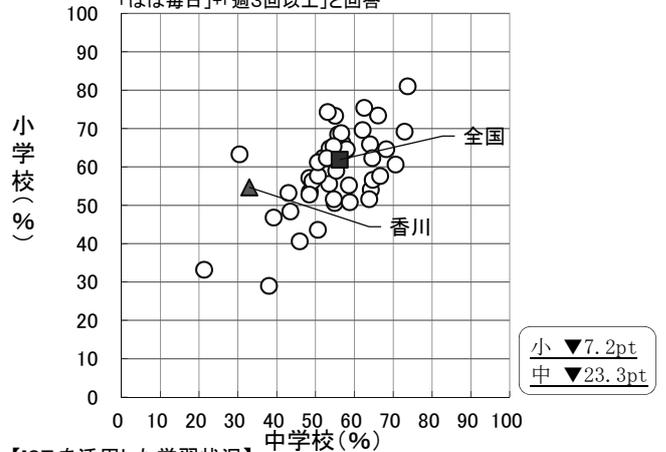
- 63/61 調査対象学年の児童(生徒)同士がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答



【ICTを活用した学習状況】

自分で調べる場面における1人1台端末の利用

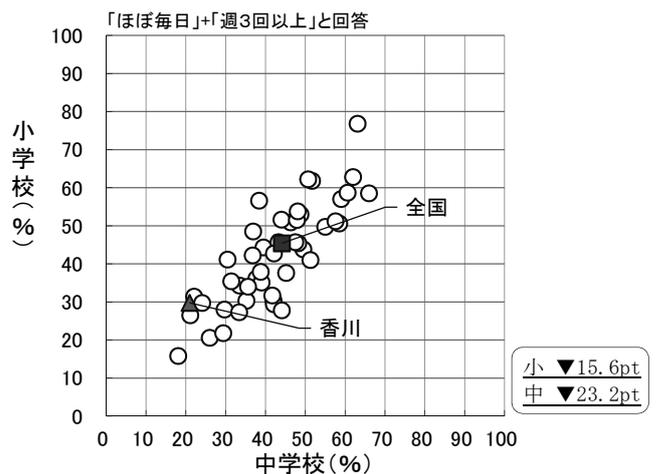
- 60/58 調査対象学年の児童(生徒)が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答



【ICTを活用した学習状況】

教職員と児童生徒がやりとりする場面における1人1台端末の活用

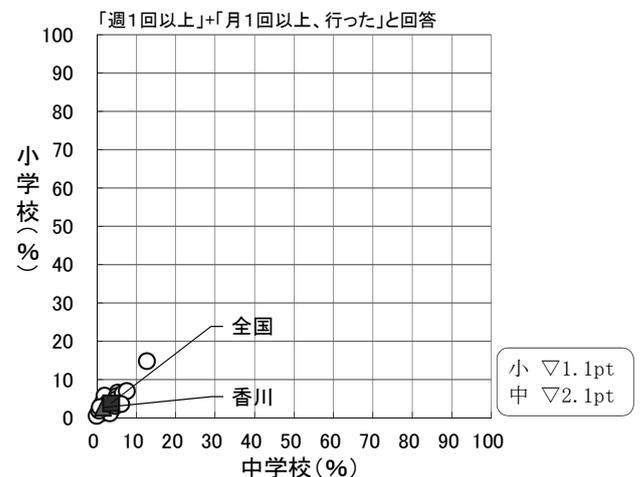
- 62/60 教職員と調査対象学年の児童(生徒)がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答



【ICTを活用した学習状況】

学校外の人々とやりとりする場面における1人1台端末の活用

- 64/62 前年度に、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童(生徒)が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか
「週1回以上」「月1回以上、行った」と回答

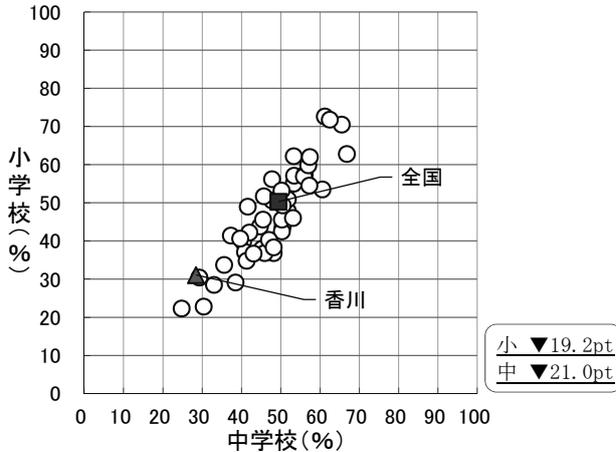


【ICTを活用した学習状況】

ICT 機器を活用した教職員と家庭との連絡

- 65/63 教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか

「よく活用している」+「どちらかといえば、活用している」と回答

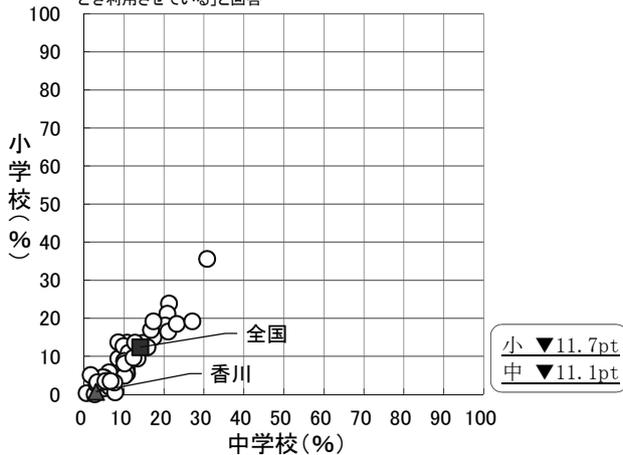


【ICTを活用した学習状況】

家庭におけるオンラインを活用した学習での1人1台端末の活用

- 67-1/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、家庭におけるオンラインを活用した学習にどの程度活用していますか

「毎日持ち帰って、毎日利用させている」+「毎日持ち帰って、ときどき利用させている」と回答

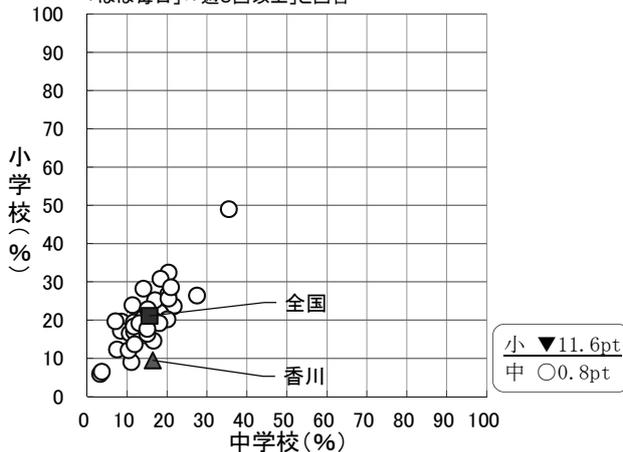


【ICTを活用した学習状況】

児童生徒の特性・学習進度等に応じた指導における1人1台端末の活用

- 67-3/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童(生徒)の特性・学習進度等に応じた指導にどの程度活用していますか

「ほぼ毎日」+「週3回以上」と回答

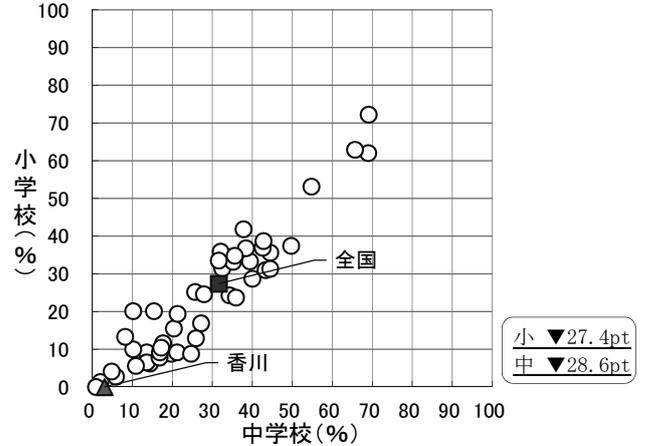


【ICTを活用した学習状況】

1人1台端末の家庭での活用

- 66/64 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

「毎日持ち帰って、毎日利用させている」+「毎日持ち帰って、ときどき利用させている」と回答

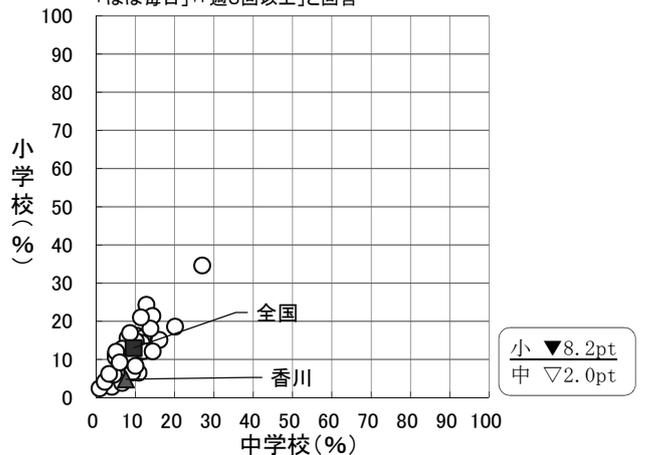


【ICTを活用した学習状況】

スタディ・ログを活用した学習状況等の把握における1人1台端末の活用

- 67-2/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童(生徒)のスタディ・ログを活用した学習状況等の確認にどの程度活用していますか

「ほぼ毎日」+「週3回以上」と回答

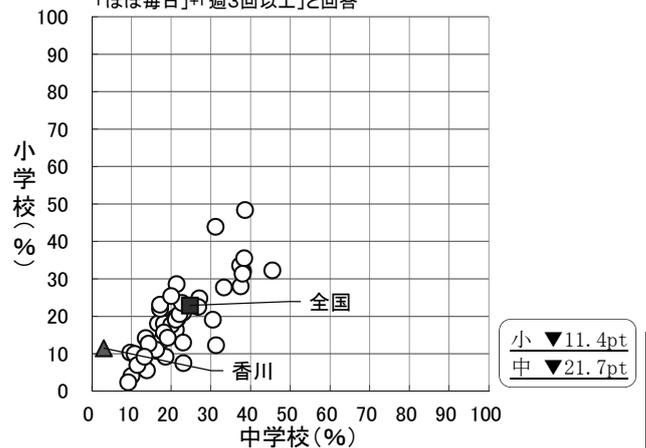


【ICTを活用した学習状況】

不登校児童生徒に対する学習活動等の支援における1人1台端末の活用

- 67-4/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、不登校児童(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか

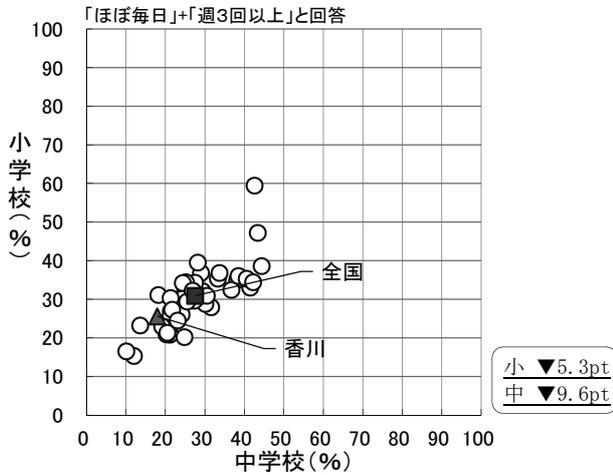
「ほぼ毎日」+「週3回以上」と回答



【ICTを活用した学習状況】

特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等における1人1台端末の活用

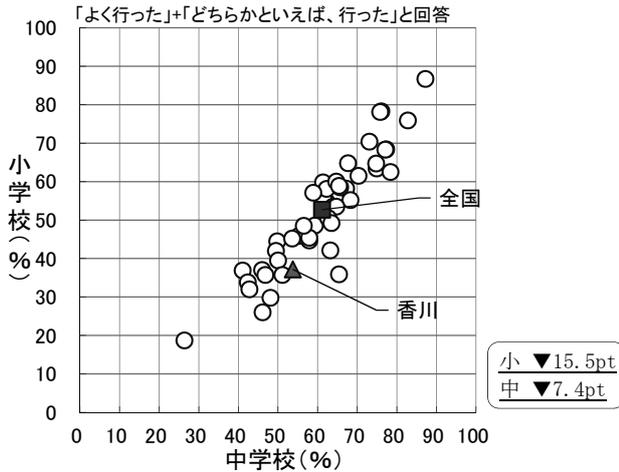
- 67-5/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する児童(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか



【小学校教育と中学校教育の連携】

小・中学校の教育課程に関する共通の取組

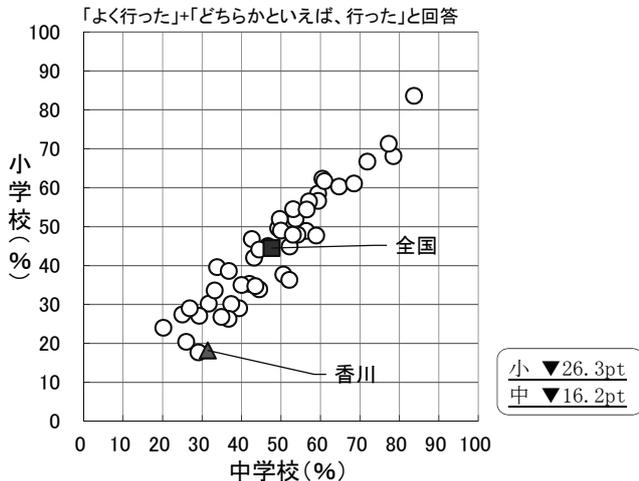
- 69/67 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか



【小学校教育と中学校教育の連携】

小・中学校間での成果や課題の共有

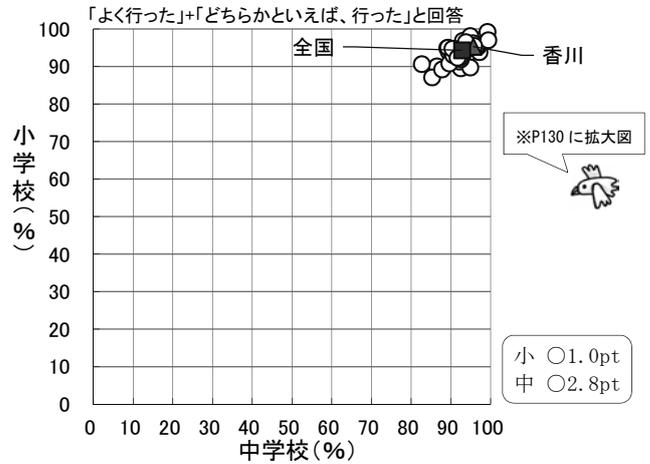
- 71/69 令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等中学校(小学校)と成果や課題を共有しましたか



【特別支援教育】

児童生徒の特性に応じた指導上の工夫

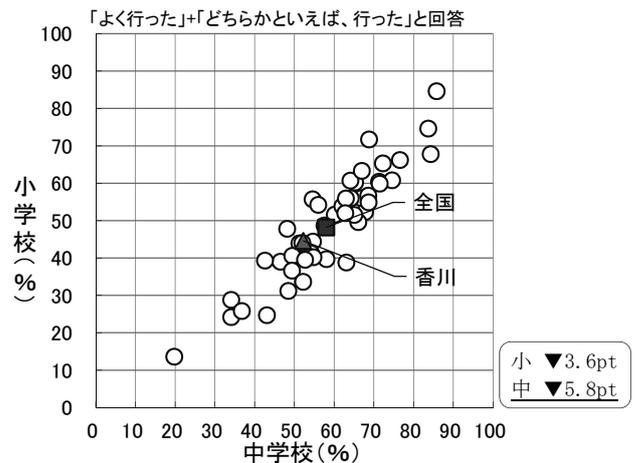
- 68/66 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか



【小学校教育と中学校教育の連携】

小・中学校の合同研修

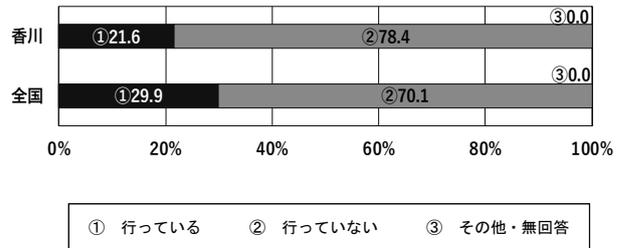
- 70/68 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか



【家庭や地域との連携等】

職場見学の実施

- 72/* 職場見学を行っていますか



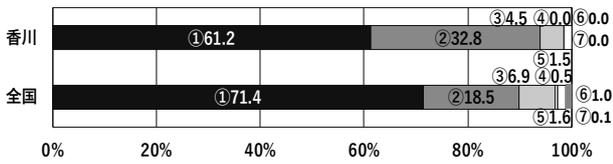
①の差

小 ▼8.3pt

【家庭や地域との連携等】

職場体験活動の実施

■ */70 前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか



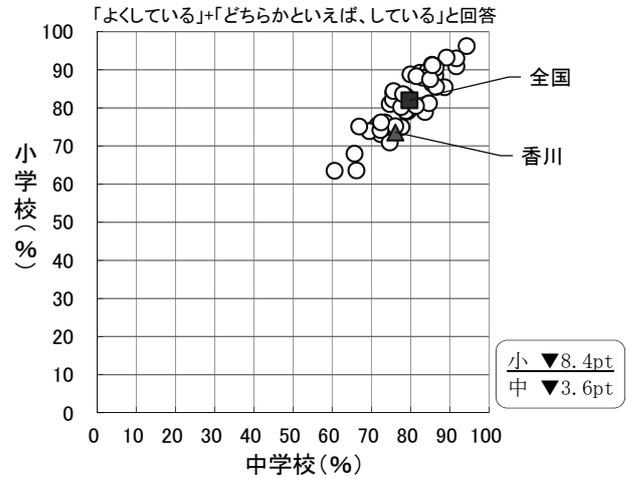
- ① 実施しなかった
- ② 1日～2日
- ③ 3日
- ④ 4日
- ⑤ 5日以上(連続して実施)
- ⑥ 5日以上(分散して実施)
- ⑦ その他・無回答

①の差 中 ▼10.2pt
①+②の差 中 ◎4.1pt

【家庭や地域との連携等】

教育課程の趣旨についての共有

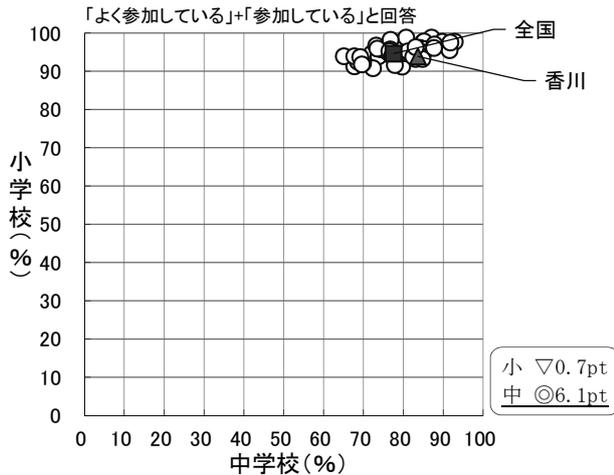
■ 73/71 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人への参加

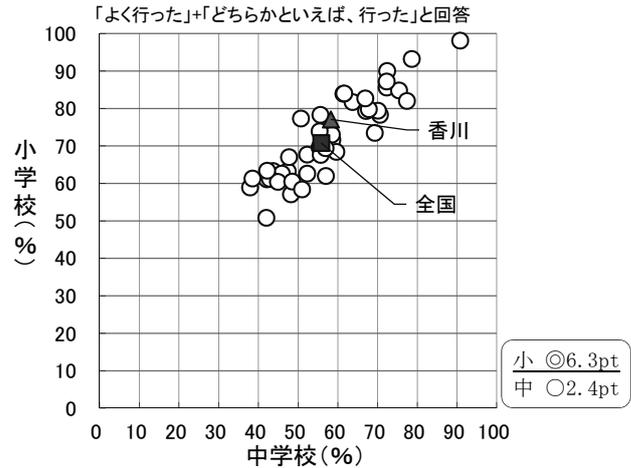
■ 74/72 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人との協働による活動

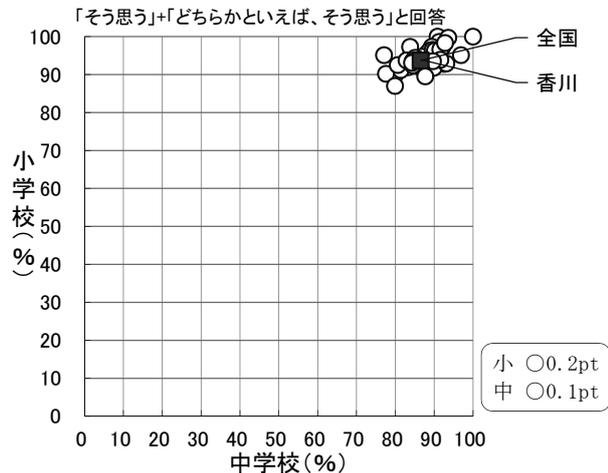
■ 75/73 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(74/72)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人との協働による活動の効果

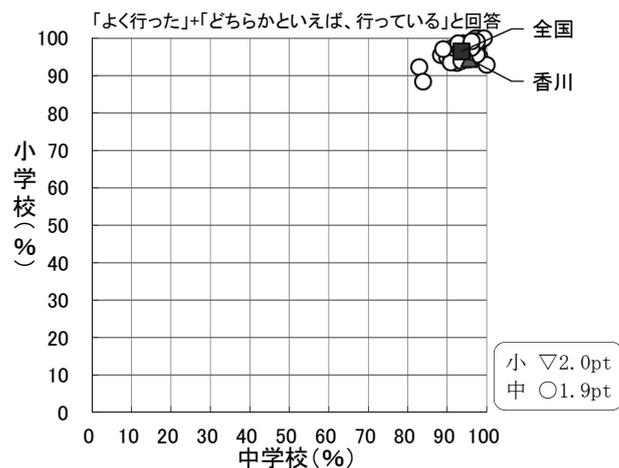
■ 76/74 (74/72)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか



【家庭学習】

家庭での学習方法等に関する指導

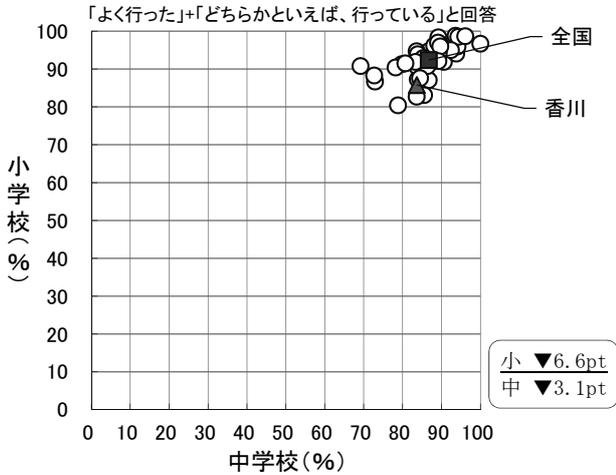
■ 77/75 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか



【家庭学習】

保護者に対する家庭学習を促す働きかけ

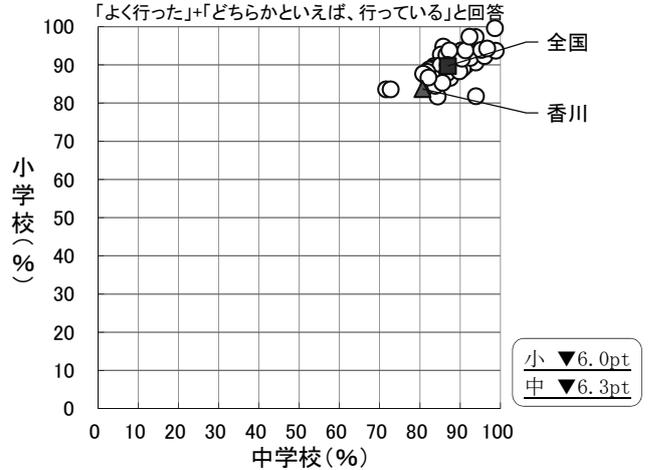
- 78/76 調査対象学年の児童(生徒)の保護者に対して、前年度までに、児童(生徒)の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか



【家庭学習】

家庭学習の課題を指導改善や学習改善に生かす

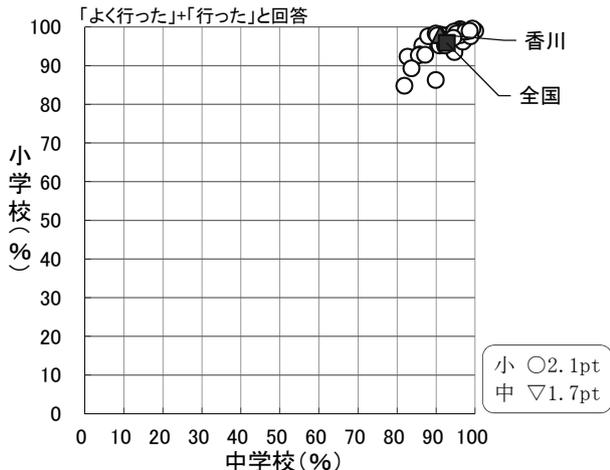
- 79/77 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童(生徒)が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かしましたか



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

学校全体で、教育活動を改善するために活用

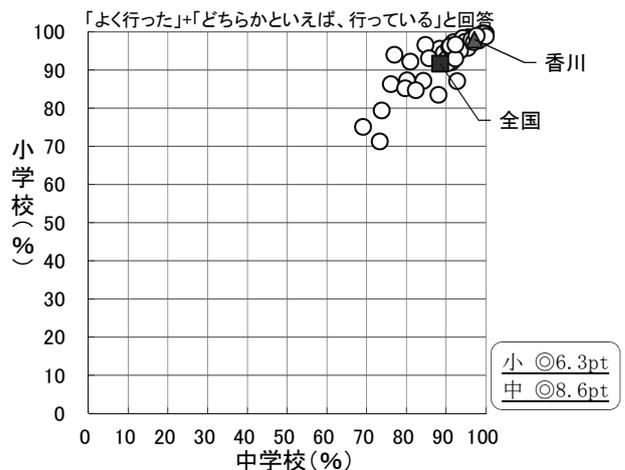
- 80/78 令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

具体的な教育指導の改善や指導計画への反映

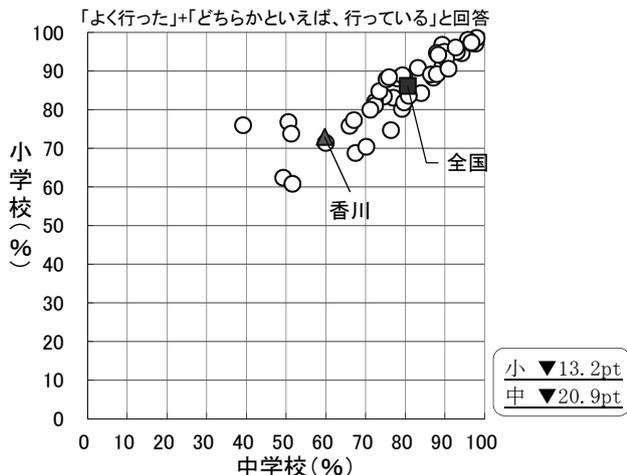
- 81/79 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



【全国学力・学習状況調査の結果等の活用】

自校の結果の公表や説明

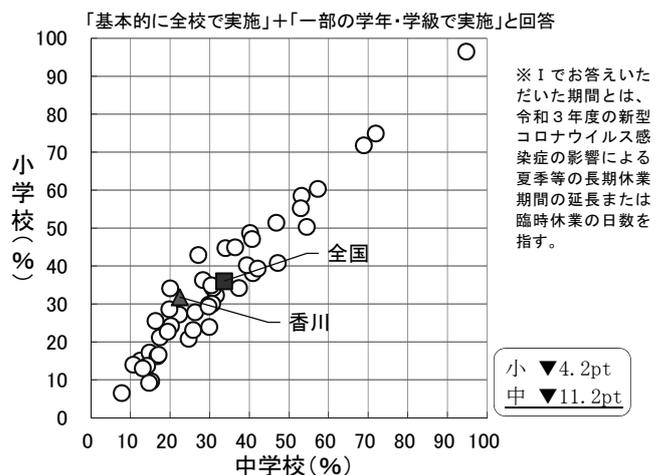
- 82/80 令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習①教科書による学習

- II-1 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の間を含む)、家庭での学習として、教科書による学習(デジタル教科書を含む)を行っていましたか

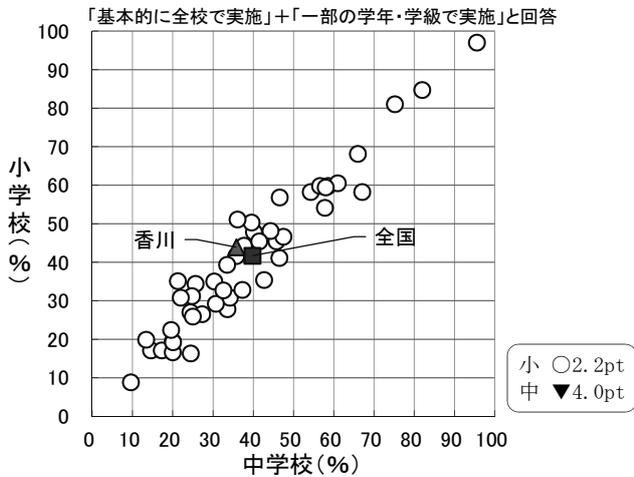


※ Iでお答えいただいた期間とは、令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響による夏季等の長期休業期間の延長または臨時休業の日数を指す。

【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習②学校作成のプリント等

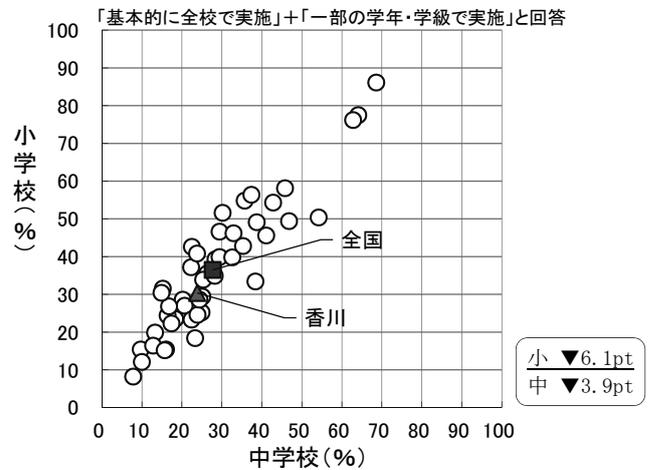
■ II-2 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、学校が作成したプリントなどによる学習(電子メールや学校のHPなどを活用して配信する場合を含む)を行っていましたか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習③教科書会社その他民間が作成したプリント等

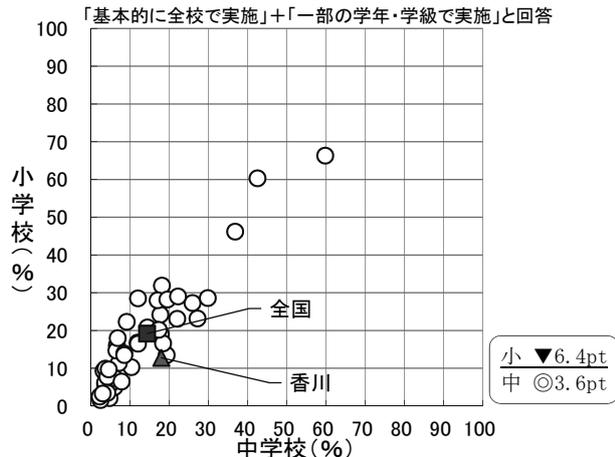
■ II-3 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、教科書会社その他民間が作成したプリントなどによる学習(電子メールや学校のHPなどを活用して配信する場合を含む)を行っていましたか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習④教育委員会が作成した問題集・復習ノート等の教材

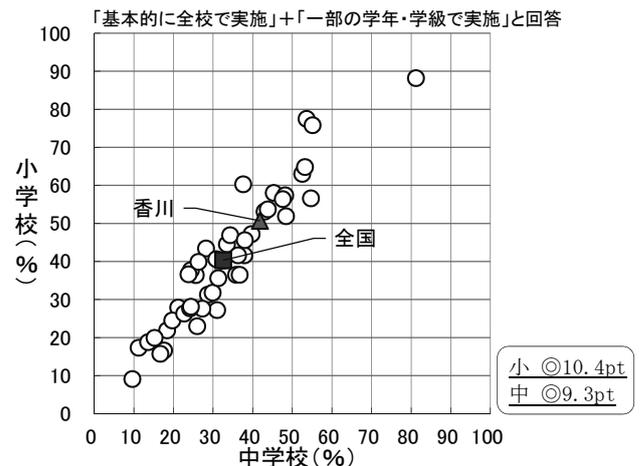
■ II-4 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、都道府県や市町村教育委員会が作成した「問題集」「復習ノート」などの教材を活用した学習(教育委員会のHPで配信されている場合を含む)を行っていましたか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑤自由研究や自主学習ノート

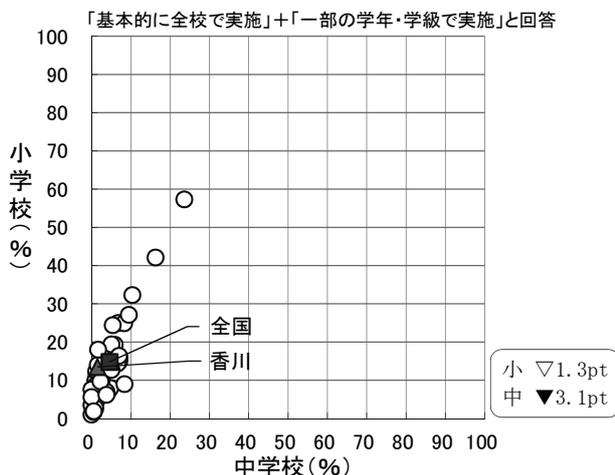
■ II-5 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、児童生徒の自由研究や自主学習ノートなどによる学習を行っていましたか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑥テレビ放送

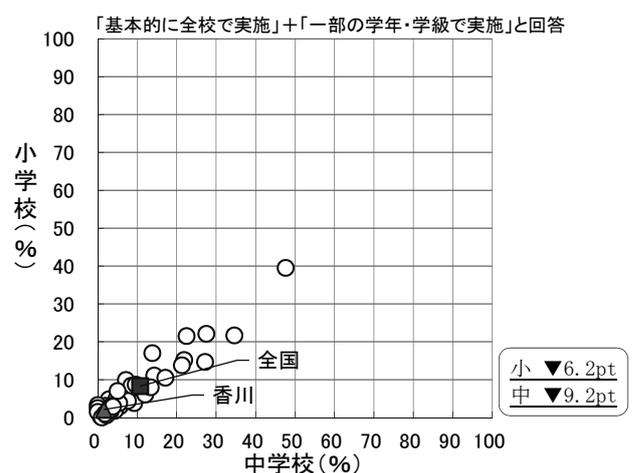
■ II-6 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、テレビ放送を活用した学習を行っていましたか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑦学校作成の学習動画等

■ II-7 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、学校が作成した学習動画等を活用した学習を行っていましたか

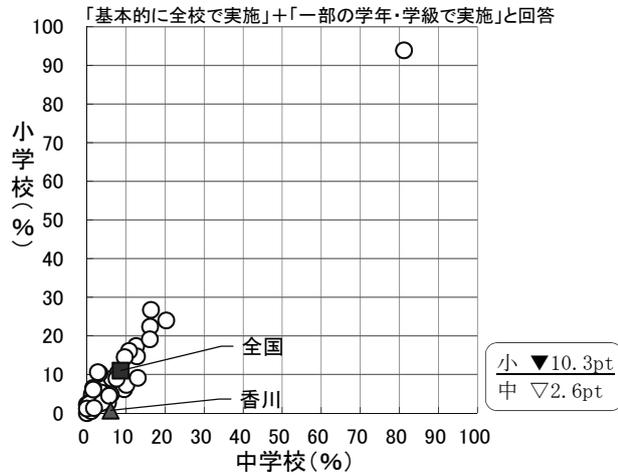


※ Iでお答えいただいた期間とは、令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響による夏季等の長期休業期間の延長または臨時休業の日数を指す。

【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑧教育委員会が作成した学習動画等

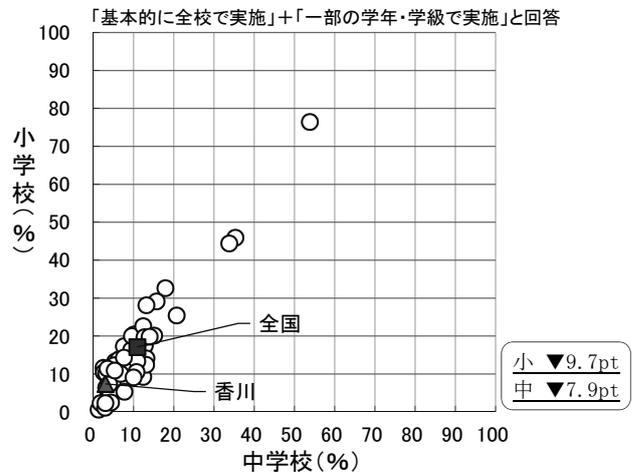
■ II-8 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、都道府県や市町村教育委員会が作成した学習動画等を活用した学習を行っていたか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑨公的機関や民間の音声・動画コンテンツ等

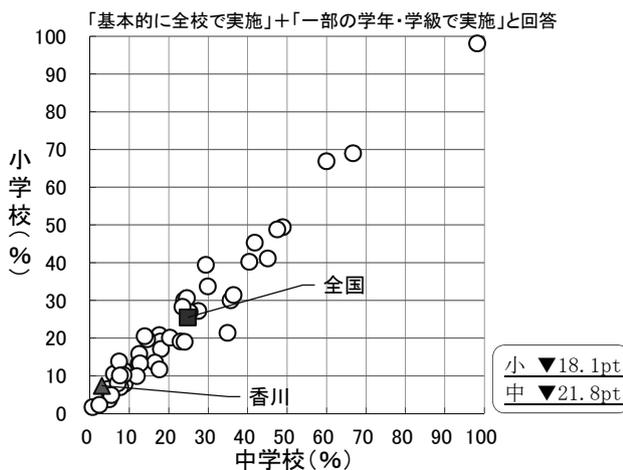
■ II-9 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、公的機関や民間の音声・動画コンテンツなどを活用した学習((II.7)及び(II.8)を除く)を行っていましたか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑩同時双方向型オンライン学習

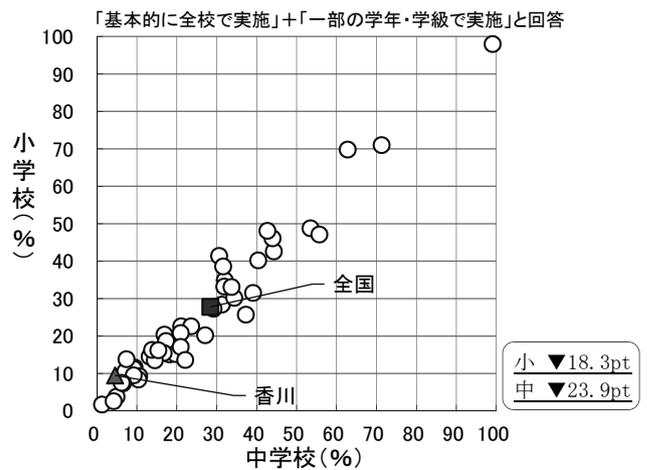
■ II-10 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンライン指導を通じた学習を行っていましたか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑪同時双方向型オンラインによる学級活動

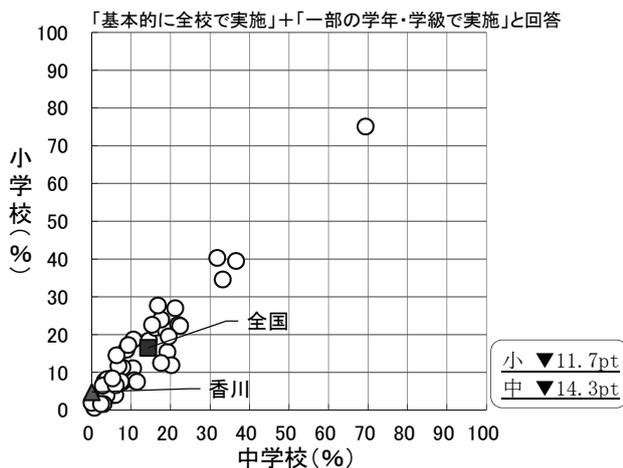
■ II-11 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、同時双方向型オンラインによる学級活動(ホームルームなど)を行っていましたか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑫ファイル共有機能で児童生徒が共同編集

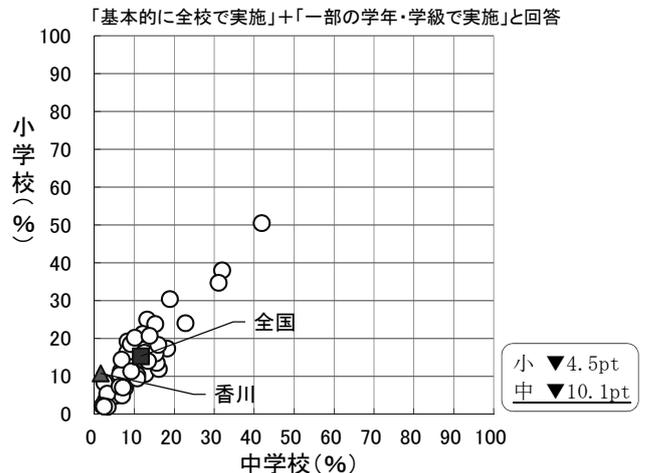
■ II-12 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、ファイル共有機能を活用した児童生徒による共同編集を行っていましたか



【新型コロナウイルス感染症の影響】

休業中の家庭学習⑬民間のデジタル教材

■ II-13 Iでお答えいただいた期間中(短縮授業・分散登校の期間を含む)、家庭での学習として、上記以外の民間のデジタル教材を活用した学習を行っていましたか

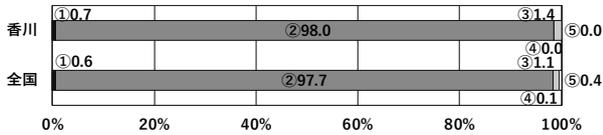


【新型コロナウイルス感染症の影響】

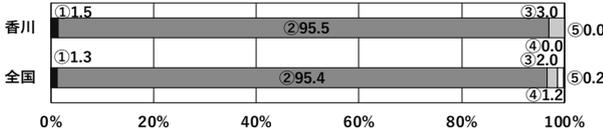
運動会・競技会・球技会の実施

■Ⅲ-1 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、運動会・競技会・球技会をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



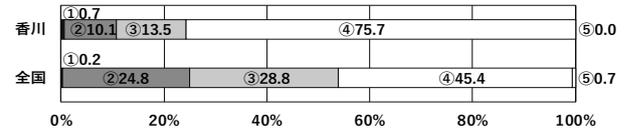
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

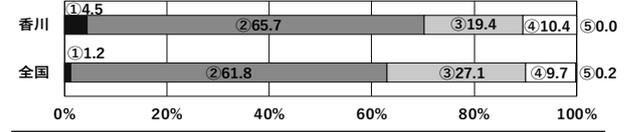
音楽会・合唱コンクールの実施

■Ⅲ-2 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、音楽会・合唱コンクールをどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



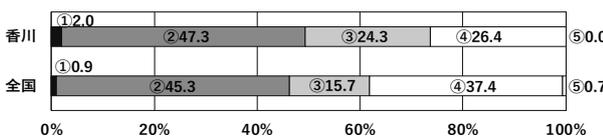
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

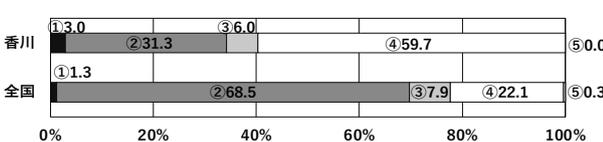
学芸会・文化祭の実施

■Ⅲ-3 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、学芸会・文化祭をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



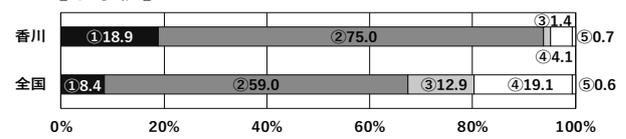
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

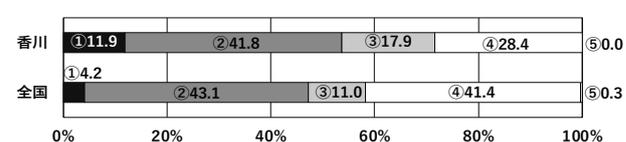
遠足の実施

■Ⅲ-4 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、遠足をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



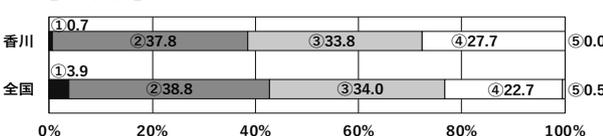
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

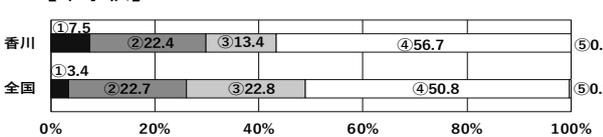
芸術鑑賞会の実施

■Ⅲ-5 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、芸術鑑賞会をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



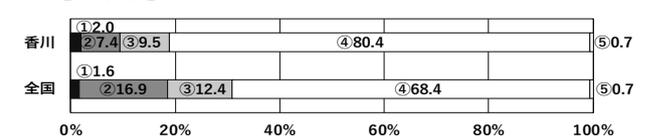
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

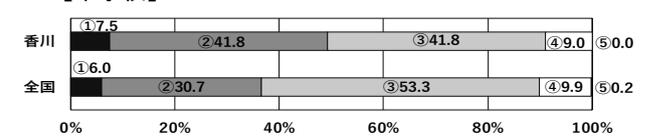
職場見学の実施

■Ⅲ-6 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、職場見学をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



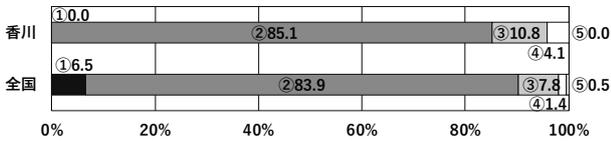
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

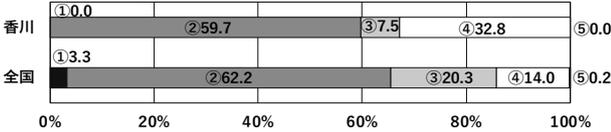
集団宿泊活動の実施

■ III-7 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、集団宿泊活動(修学旅行を含む)をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



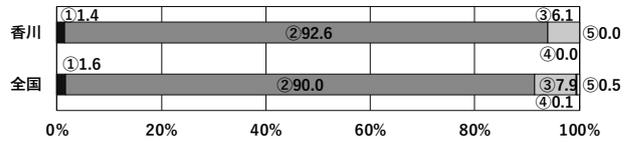
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

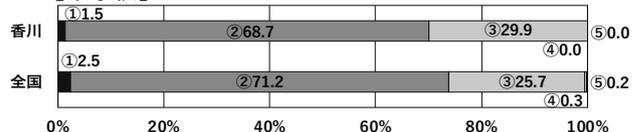
授業参観・学校公開の実施

■ III-8 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、授業参観・学校公開をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

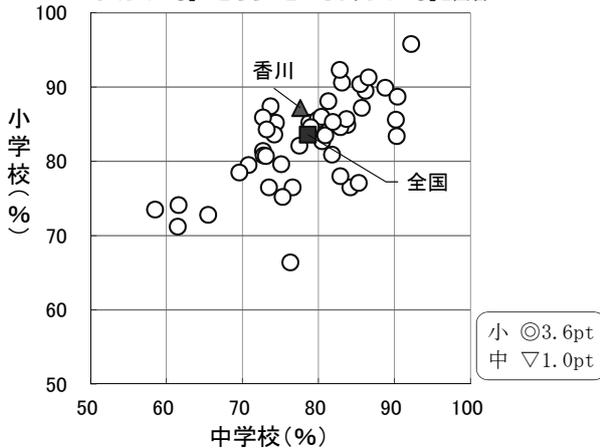
学校質問紙 回答結果グラフ 【拡大図】

【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

課題解決し、まとめ、表現する学習活動を学ぶ校内研修

■ 20/20 児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

「よくしている」+「どちらかといえば、している」と回答

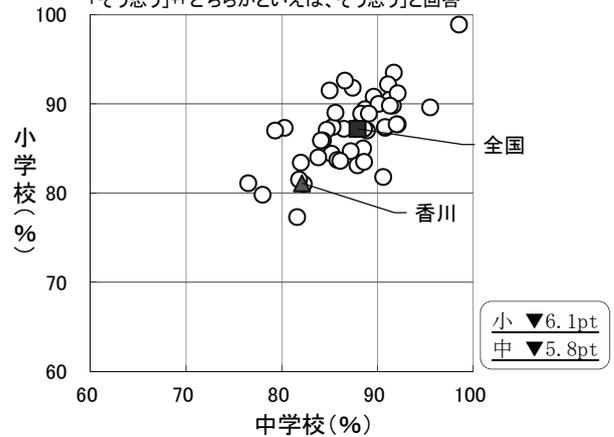


【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分で考え、自分から取り組むことができる

■ 23/23 調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると認めますか

「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」と回答

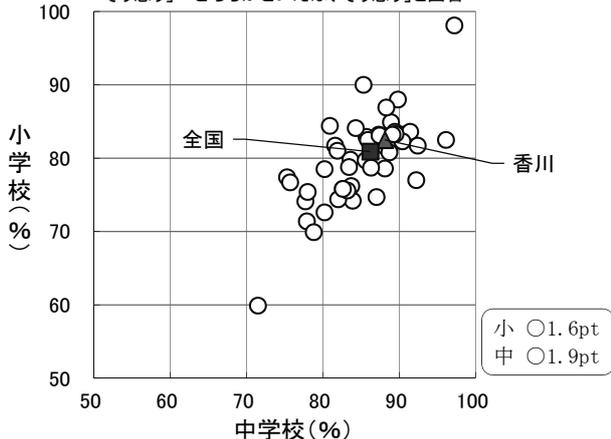


【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えを深めたり広げたりする

■ 26/26 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」と回答

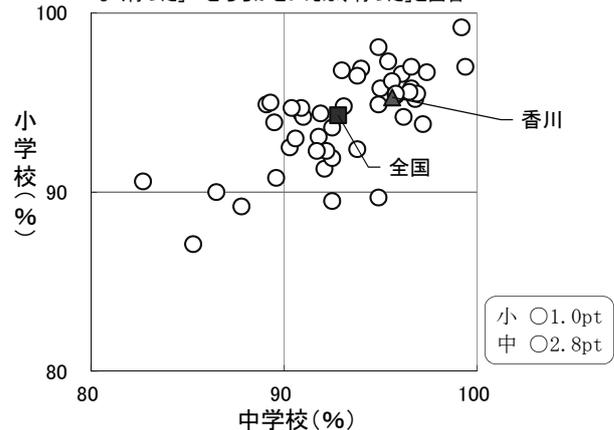


【特別支援教育】

児童生徒の特性に応じた指導上の工夫

■ 68/66 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか

「よく行った」+「どちらかといえば、行った」と回答



授業で大切にしたい 3つの「つなぐ」

本県では、「個に応じたきめ細かな指導」を通して、基礎基本の定着をはじめ、学力の育成に一定の成果を上げてきました。これからは、知識・技能を活用し、友達と協働しながら課題を解決することを通して、新たな価値を創造する力を身に付けさせる「個を活かす協働的な学び」を一層推進していく必要があります。

個が活躍する授業では、様々な考えが表出されます。そのよさに学ぶこともあれば、互いに高め合うために知恵をしぼる学習も大切です。協働的な学びは、友達も自分も伸びていく学びです。

友達とつなぐ

自分の考えをどのように友達に伝えるか。友達にどのようにアドバイスをするか。協働的な学びの中で育つ力があります。

本年度の調査問題から、次の問題を見てみましょう。

- ◆小理① 自分の観察記録と友達の観察記録をもとに、問題に対するまとめを見直して書く問題
(県正答率 67.7%)

同じナナホシテントウを観察していたあきらさんは、〈ひろしさんが記録を整理したもの〉がじゅうぶんではないことに気づきました。

(2) 〈ひろしさんが記録を整理したもの〉に、〈あきらさんの記録〉を加えます。ふさわしいまとめになるように、上のひろしさんの【問題に対するまとめ】を書きましょう。

- ◆中数⑧(2) 数学を活用する方法を考え、説明する問題 (県正答率 40.8%)  p. 77

全国学力・学習状況調査の調査問題は、実際の授業場面における児童生徒の学びの姿を取り上げています。そして、それらは目指す授業像を示したものでもあります。この理科の調査問題のように、友達の課題に気づき、よりよい学びを創り出していく力は、学び合いの中で育っていきます。数学の調査問題では、ある生徒はグラフを用いて、別の生徒は一次関数の式を用いて……など、様々な説明が引き出され得る学習場面を取り上げています。

このような授業を参考に、引き続き、さらに協働的な学びを進めていきましょう。

「読解力の育成」は、本県の教育課題の一つであり、香川県教育基本計画において、たくさんの本や文章から必要な情報を的確に見つけ出す力と情報を正しく読む力の育成を掲げています。そして、読解力育成の要となるのが国語科の授業です。

さぬきの教員 授業づくりの三訓

『語らせつないで』

授業中に「語る」のは、教師ではなく子どもたちです。教師は、子どものつづやきを全体に広げたり、思考をゆさぶることで知的好奇心を刺激したりしながら、子どもたちの頭の中にあることを引き出し、つなぎましょう。

さぬきの教員 授業づくりの三訓
一 しかけて待って
二 語らせつないで
三 認め励ます



情報をつなぐ

言葉、写真、図……、身の回りのたくさんの情報をつなぐと、一つの情報では見えなかったものが、見えてきます。

本年度の調査問題では、小学校、中学校とも、「読むこと」において文学的な文章が取り上げられました。そして、どちらにおいても、場面と場面を関係づけて読んだり、全体像を捉えたりする「情報をつなぐ」ことに課題が見られました。これらの二つの調査問題から、国語科における授業づくりを考えてみましょう。

- ◆中国③三 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える問題
(県正答率 60.4%)  p. 69

- ◆小国②三 物語の全体像と関わらせながら表現の効果を考える問題 (県正答率 45.1%)  p. 44

中学校の調査問題における「話の展開」も、小学校の調査問題における「全体像」も、文章の一部分だけを詳細に読んだり、場面ごとに読んだりしただけでは、捉えることができません。複数の場面をつないで想像したり、全体を俯瞰したりすることで味わえる文学的な文章の面白さがあります。

そして、複数の叙述をつなぐと読みが深まるのは、文学的な文章も、説明的な文章も同じです。次に掲載しているのは、令和3年度の小学校の調査問題における説明的な文章の例です。

◆【令和3年度】小国²三 目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付ける問題（県正答率 31.8%）

相川さんは、面ファスナーのくっつく仕組みについて考えています。メストラル（面ファスナーの考案者）は、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉（抜粋）

- 【資料】の中の文章と「面ファスナーの仕組み」（注：文章中の図）から言葉や文を取り上げて書くこと。

授業では、文章を読む際に、文章中の図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにした上で、文章と図表などの関係を捉えて読むことができるようにすることで、その内容を、より深く理解したり解釈したりすることができるようになります。

小学校中学年から高学年、そして中学校へ進むにつれ、しだいに抽象的な思考を使った学習が求められるようになります。学習につまずく子どもが増え、学力差が開いてくるのもこの時期です。

香川県教育基本計画では、「確かな学力の育成」を図る指標の一つとして「全国学力・学習状況調査における正答率40%未満の児童生徒の割合の全国平均との差」を挙げています。本年度の調査においては、小学校で約15%、中学校で約25%の児童生徒が、正答率40%未満という状況ですが、そのような児童生徒への支援の一つとして、学習を「生活とつなぐ」ということが挙げられます。

生活とつなぐ

日常生活や社会から課題を見つける。学んだことを生活に生かす。生活とつなぐと、学びは一層面白くなります。

本年度の調査問題においては、生活経験とつないだり、理科の学習を生活の事象に当てはめて考えたりすることに課題が見られました。

- ◆小算²(3) 果汁入り飲料の量を半分にしたときの、果汁の割合を考える問題（県正答率 20.9%）  p. 52
- ◆中理⁷(1) 液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する問題（県正答率 29.9%）

 p. 84

小学校算数の問題においては、「飲み物の量が1/2になると、果汁の割合も1/2になる」と解答した児童が7割近くいました。割合の考え方を日常生活に当てはめて理解する力に課題があると考えられます。「割合」（算数）、「水蒸気」（理科）などの抽象的理解になりがちな言葉は、生活におろすことで、確かな理解につながります。

授業では、①導入場面で、生活場面からの疑問を取り上げて児童生徒の興味・関心を高めて学習に臨むようにする、②学習の中で児童生徒がつまずきそうな場面で、身近な事象や具体的な事例を挙げて理解を助ける、③授業の終末では、学んだことを生活にどのように生かせるかを話し合う、などの工夫が考えられます。

 P25, 86

ICTの効果的な活用を

「5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問に対し、「ほぼ毎日」「週3日以上」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を下回っており、使用頻度が低くなっています（p.24 参照）。

ICT機器には、児童生徒一人一人に合った学びを保障し、協動的な学びを促す可能性をもっています。学習のどの場面で、どのように活用するのが効果的かを考えながら、授業づくりを進めていきましょう。

〈香川県教育基本計画における数値目標から〉

指標	令和元年度 (計画策定時)	令和2年度	令和7年度の目標
授業中にICTを活用して指導 することができる教員の割合	小学校：68.8%	67.2%	100%
	中学校：59.2%	58.0%	100%

